

生活单元学习

目 次

○ 指導計画作成の立場	99
○ 活用上の留意点	100
○ 単元一覧表	101
○ 指 導 計 画	
・ 小学部 低学年	102
・ 小学部 中学年	128
・ 小学部 高学年	154
・ 中 学 部	182
・ 高 等 部	214

1 指導計画作成の立場

(1) 基本的な考え方

本校の子供の様子を見てみると、生活上の課題に直面したときに、その課題が子供の興味・関心に基づいたもので、目的意識や課題意識が持てると、その課題を解決するための活動に個人、あるいは教師や友達、集団で取り組もうとしたり、目当てや見通しを持って活動しようとしたり、課題を解決するために必要な知識や技能を十分に生かして活動しようとしたりする面が見られる。

ところで、精神発達遅滞児は、一般的に精神構造が未分化で総合、応用等の働きが弱く、学習によって得た知識や技能が断片的になりやすく、実際の生活の場で応用されにくい。これらはつまり、教育内容を細かく分けての指導だけでは、知識・技能が断片的にとどまり、それが生活に役立つ知識や技能として習得するまでには高まっていかず、また、自分の欲求をうまくコントロールしながら共通した課題の中で教師や友達、あるいは集団とかがかわっていく経験が十分でないと考えられる。そこで、未分化な形で具体的な生活に即して、全部又は一部の領域・教科の内容を合わせて指導し、生活に役立つ生きた知識・技能の習得や人や物との適切なかかわりの拡大をねらう必要がある。そのような方法の一つとして、生活単元学習と呼ばれている指導の形態がある。

生活単元学習は、生活上の課題解決のための一連の目的活動を組織的に経験させることによって、現在及び将来の自立的な生活に必要な事柄を実際的、総合的に学習させようとするものである。つまり、子供が自分の生活を基盤にして環境に積極的に働き掛けることにより、生活経験の範囲を広げ、自発的・自主的行動ができるように行動の質的変容を目指すとともに生活力の育成を図っていかうとするものである。

ところで、「かかわり合いの豊かな子供」の育成を目指して、本校では、子供の欲求、興味・関心に基づいた内容や学習活動を準備し、それらを展開していく中で満足感や成就感といった自己実現の喜びを味わわせ、自我の成熟を促すことが重要であると考えている。

以上のようなことから、生活単元学習の指導計画の作成に当たっては、本校の子供の生活上の課題（現在、獲得しつつある事柄及び近い将来身に付けさせたい事柄）を自我の成熟段階や欲求、興味・関心の発達段階等と関連付けながら総合的に検討し、内容や学習活動を設定していくことにする。

その際、小・中・高等部という12年間の一貫教育の立場から、それぞれのかかわり合いの空間的・質的な広がりやを考慮しながら、次のように考えることとした。

小学部では、興味・関心が自分自身や身の周りの人や物に向いていることから、身の周りの人や物へのかかわりを促し、自分の身の周りの生活を充実していくような活動を中心に、集団や社会とのかかわりに関する内容も取り入れる。

中学部では、興味・関心が身近な人々や初歩的な社会的事象や事物に向かいつつあることから、身の周りの人や物、集団へのかかわりを促すような内容を中心に、社会とのかかわりに関する内容なども盛り込んでいくようにする。

高等部では、将来の生活や自分自身の生き方に興味・関心が向き始めていることから、集団でのかかわりや社会とのかかわりを促す内容を中心にしなが、自分自身に関する内容も盛り込んでいくようにする。

このように、生活単元学習の指導内容に、子供の生活上の課題を自我の成熟段階や欲求、興味・関心の発達段階等と関連付けながら取り入れていくことにより、これまで以上に自我関与や自己の意識化を促進させ、生活単元学習の意義を達成するための条件をより良く満たすことになると考える。さらに、そのことが、自我の成熟を促し、かかわり合いの豊かな子供を育てることにつながると考える。

(2) 目標

- 身の周りの人や物、出来事への興味・関心を広げ、自発的・自主的な態度を養う。
- 集団生活への参加の仕方を身に付けさせるとともに、生活に必要な初歩的な知識、技能を身に付けさせ、自主的・自立的生活態度を養う。
- 社会生活を円滑に行うために必要な基礎的・基本的知識、技能を身に付けさせるとともに、自主的・自立的な生活態度を養う。

(3) 指導計画作成上の配慮事項

- ① 子供の生活より発展し、子供の自我の成熟段階や欲求、興味・関心に基づいたもので、課題意識が持てるような単元を設定する。
- ② 単元配列に当たっては、子供の生活上の課題及び自我の成熟段階、欲求、興味・関心等を基盤にしながらか学校行事や季節等を考慮して、内容に偏りのないよう配列する。また子供の先行経験が生かされ意欲的に活動できるようにするために、年間を通してそれぞれの単元に関連を持たせるようにする。
- ③ 単元の目標や指導内容については、小学部、中学部、高等部それぞれの学部間に生活の系統性を持たせるようにし、身の周りの事物・事象→集団生活→社会生活といった広がりや発展性が図られるようにする。
- ④ 学習内容や活動を単元として組織する際は、子供の欲求や興味・関心及び子供の生活としての自然な流れやまとまりに十分に配慮するようにする。
- ⑤ 豊かな内容を含む活動で組織し、学習を通して経験を広げ、現実的な認識を深め、また感動を呼び起こすような体験的な活動を可能な限り指導内容に位置付ける。
- ⑥ 単元の活用を通して、現在及び将来の生活に必要な知識、技能、態度が身に付くように言語・数量などの知的内容を含めるとともに、それらが、学校外での生活にも適用され、単元終了後の生活にも生かされるような内容を位置付ける。
- ⑦ 週当たりの時数は、小学部で8時間、中学部で9時間、高等部で6時間とし、年間35週で算定し、それぞれの単元の内容に応じて時数を配当する。

2 活用上の留意点

- (1) 子供の生活経験の拡大や自主的活動を推進するため、他教科・領域及び家庭生活との関連を十分に図るとともに、一人一人がよりよく活動できる状況作りをするようにする。
- (2) 子供がかかわり合いながら活動に取り組めるように、全員が共通のテーマの下で、共に感動し、満足感・成就感を分かち合える生活を目指し、単元によっては、生活単元学習のテーマを学校生活のテーマとして、学校生活全体がまとまるようにする。
- (3) 実際の・現実的な活動を多く取り入れるようにするとともに、中心的活動を繰り返すことで、目当てと見通しを持って取り組めるようにする。
- (4) 教師も子供と共に活動し、教え、教えられる関係ではなく、成就感・満足感を分かち合う関係で、共感しながら学習に参加するようにする。

【生活単元学習 単元一覧表】

小 学 部					
月	週 数	時 数	単 元 名		
			低 学 年	中 学 年	高 学 年
4	2	16	友達になろう	楽しい学級	
5	3	24	のりもので遊ぼう	のりものごっこ	のりもの
6	4	32	学校にとまろう	校内宿泊学習	
7	2	16	楽しく遊ぼう (夏の遊び)	夏の遊び	
9	1	8	楽しい2学期		
	3	24	運動会		
10	4	32	とまりに いこう	校外宿泊学習 修学旅行(32)	
11	4	32	まつりを しよう	附養まつり	
12	3	24	もうすぐお正月		
1	1	8	楽しい3学期		
	2	16	楽しく遊ぼう (冬の遊び)	冬の遊び	
2	4	32	学習発表会		
3	2	16	もうすぐお別れ		

中 学 部					
月	週 数	時 数	単 元 名		
			1 年	2 年	3 年
4	2	18	中学生に なって	新しい学年	
5	3	27	修学旅行(27)		
			バスや電車の利用		
6	3	27	校内宿泊学習		
			校外宿泊学習		
7	2	18	楽しい夏休み		
	1	9			
9	3	27	運動会		
10	5	45	校内実習	現場実習	
	実習				
11	2	18	附養まつり		
12	3	27	年のくれ		
1	3	27	新しい年		
2	4	36	学習発表会		
3	2	18	もうすぐ進級	もうすぐ卒業	

高 等 部					
月	週 数	時 数	単 元 名		
			1 年	2 年	3 年
4	2	12	高校生 になって	高校2年生 になって	高校3年生 になって
5	3	18	働く生活Ⅰ	修学旅行(12)	
				働く生活Ⅱ	働く生活Ⅲ
6	実習				
7	3	18	臨海宿泊		
9	3	18	運動会		
10	4	24	職場の生活Ⅰ	職場の生活Ⅱ	職場の生活Ⅲ
	実習				
11					
12	3	18	忘年会		
1	3	18	公共施設の利用		
2	4	24	地域との交流		
3	2	12	もうすぐ進級 Ⅰ	もうすぐ進級 Ⅱ	もうすぐ卒業

小学部 低学年

単元名	友 達 に な ろ う		月(時数)	4月(16時間)
単 元 に つ い て	<p>入学したばかりの1年生は、保育園や幼稚園での集団生活の経験はあるものの、全く新しい環境のため、返事ができなかつたり体をこわばせたりといった、かなり緊張した様子や不安定な様子が見られ、慣れるまで時間がかかる。一方、2年生はまだ自分のしたいこと、自分と教師とのかわりを求め、なかなか1年生を受け入れるまでにいたらない状態である。</p> <p>そこで、本単元では、1、2年生それぞれ生活経験の違いがあるので、まず自発的に活動自体を楽しむことができる遊びを取り入れた活動を中心に展開し、伸び伸びと活動させ安心感を抱かせるようにする。このことで、新しい教師や友達と親しく活動できるようになり、徐々に新しい学校や学級の環境に慣れることができる考える。</p> <p>活動に当たっては、屋内や屋外での遊びの中で、自分の持てる力を十分に発揮することができるようにして、教師や友達と仲良く楽しく遊べるようにしたい。また、お返事遊びやあてっこ遊びにおいて、教師や友達のこと、自分の机やロッカーの位置等を知らせるようにしたり、校内巡り、一日の学校生活の流れを知る活動、歓迎会への参加等を通して、学部や学校のおおよその様子を知ることができるようにしたりする。さらに、春の自然のもとで、上級生とともに「仲良し散歩」に出掛けて、教師や友達と楽しく活動できるようにする。</p> <p>こういった活動を通して、子供たちは不安感や緊張感をほぐし、新しい教師や新しい友達を受け入れ、共に活動しようという気持ちを持てるようになり、学校で生き生きと過ごすことができるようになると考える。</p>			
目 標	<p>○ 屋内、屋外でのいろいろな遊び、お返事遊びやあてっこ遊び、「仲良し散歩」などを通して教師や友達を知り、仲良く活動できるようにするとともに、学校生活に慣れさせるようにする。</p>			
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準 備	関連内容	
<p>1 教師や友達と仲良くなる。</p> <p>(1) 屋内、屋外での遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 散歩、草つき等 ・ 固定施設遊び ・ 砂、水遊び ・ トランポリン、マット遊び ・ リズム、わらべうた遊び ・ 積み木、粘土遊び ・ ミニカー、プラレール ・ 絵本 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生の不安感や緊張感をほぐし、肌と肌を触れ合わせて遊べるようなわらべ歌を取り入れ、和やかな雰囲気になるよう心掛ける。 ・ 教師も遊びの中に入り、遊びを盛り上げて子供同士や、子供と教師間の信頼関係を密にしていこうにする。 ・ 一人一人の好きな遊びを基に、新しい遊びも少しずつ取り入れ経験させる。 ・ 思い切り遊べるように、遊具の準備や場の設定を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ シャベル ・ バケツ ・ ホース ・ トランポリン ・ マット ・ 積み木 ・ 粘土 ・ ミニカー ・ プラレール等 	<p>生・遊 1-1, 8</p> <p>道 2-(3)</p> <p>生・交 1-2, 3</p>	

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<p>(2) お返事遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「おへんじハイ」 「あなたのお名前は？」等 <p>(3) あてっこ遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 先生や友達 自分の机やロッカー 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく歌って活動する中で、自分の名前が呼ばれたら返事をしたり、マイクに向かって自分の名前を言ったりできるようにさせる。 名前を聞いて写真を取ったり、指さしたりさせ、教師や友達が分かるようにする。 使い方についても話すようにし、より適切に利用できるようにさせる。 写真を本人や友達の前において、対応をさせ、友達や教師への意識を高める。 シールはりをさせ自分の位置が分かりやすいようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 名前カード 個人別写真 絵カード 絵シール 	<p>国 1-8, 9 生・交 1-1</p> <p>算 1-2, 6 生・基 1-34 国 1-17</p>
<p>2 新しい学校に慣れる。</p> <p>(1) 校内巡りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 校舎内 校舎外 <p>(2) 「一日の学校生活の流れ」を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一日の大まかな学校生活 <p>(3) 歓迎会に参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 歌、リズム 	<ul style="list-style-type: none"> トイレや特別教室、固定施設等の場所や使い方、約束事を知らせるとともに、安全面についても実際の場で具体的に取り扱うようにする。 2年生へは改めて確認させたり、1年生に教えさせたりする。 更衣、朝の会、給食などの絵カードを見せて、一日の学校生活の流れを知らせる。 1年生へは、自分の学級以外にもたくさんの友達がいることを知らせる。 自分の名前や組等の簡単な自己紹介をさせる。 音楽に合わせて呼名し、返事をして手を挙げさせて、楽しく自己紹介ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵カード 名前カード 	<p>生・健 1-6 生・決 1-4 生・決 1-1 国 1-8, 9 生・交 1-1, 3, 5 道 2-(1)</p>
<p>3 「仲良し散歩」に出掛ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「仲良しさん」の相手 <p>春の一日遠足に参加する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学部内の「仲良しさん」（上級生）と手をつないで、学校の近辺の甲突川、公園、玉里の林などへ歩いて出掛け、春の草花に触れたり、おにぎりを食べたり、レクリエーションをしたりして、楽しく過ごさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> リュックサック 水筒 弁当箱 	<p>生・交 1-3 生・自 1-2, 4 道 3-(1)</p>

小学部 低学年

単元名	のりもので遊ぼう		月(時数)	5月(24時開)
単 元 に つ い て	<p>子供たちは、教師や友達とのかかわりが少しずつ見られるようになり、教師や友達を遊びに誘おうとしたり、一緒に自転車で乗ろうとしたりすることも見られるようになりつつある。しかし、まだ感覚的な一人遊びにふけていたり、友達が遊んでいても傍観的に眺めていたり、平行遊びになったりすることも多い。このような子供たちにとって、身近にあり興味・関心がある乗り物は、サイレンなどの音やランプなどの光といった感覚的に訴えるものが多く、また、自転車や足こぎ車、模擬バスなど体全体を動かして遊ぶことができるので、子供たちの実態に合っているといえる。</p> <p>そこで、本単元では乗り物を取り上げ、乗り物での活動を通して教師や友達と一緒に楽しく遊ぶことができるようにする。まず、実際にいろいろな乗り物を見学したり、乗ったりして、乗り物に関する興味・関心を高めるようにする。そして、教師や友達と一緒に乗り物のおもちゃで遊んだり、自転車や足こぎ車などの乗り物に乗ったりすることで、教師や友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わわせるようにする。その際、いろいろな乗り物のおもちゃを用意し、好きなおもちゃを選んで自由に遊んだり、みんなで乗り物に乗って一緒に歌を歌ったり、校内を走り回ったりして楽しく遊ぶことができるようにする。</p> <p>このような活動を通して、子供たちはふだんの遊びの中でも自然に教師や友達とかかわりながら遊ぶことができるようになるものと考える。</p>			
目 標	<p>○ 教師や友達と一緒に乗り物のおもちゃで遊んだり、いろいろな乗り物に乗ったりして、楽しく遊ぶことができるようにする。</p>			
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容	
<p>1 乗り物の見学に行く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バス、パトカー、白バイ、船、電車(列車)、飛行機 <p>2 乗り物のおもちゃで遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乗用車、パトカー、白バイ、救急車、消防車、バス、船、飛行機、電車等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通機動隊や港、駅、空港などに行つて見学させるようにする。 ・ 見学場面では、見るだけではなく実際に乗り物に乗車させて、体験的に学習させるようにする。 ・ 子供たちが日ごろ目にする乗り物や、興味・関心のある乗り物等のおもちゃを用意し、それらで自由に遊ばせる中で、乗り物で遊ぶ楽しさを味わわせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乗り物のおもちゃ 	<p>生・遊 1-1 5,8 道 4-(1)</p>	

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<p>3 乗り物で遊ぶ。</p> <p>(1) 一人で乗る乗り物で遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手こぎ足こぎ車 ・ 三輪車, 自転車 ・ アコーレーサー <p>(2) 乗り物競争をする。</p> <p>(3) 二人以上で乗る乗り物で遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 箱車 ・ 模擬バス <p>(4) 運転手さんやお客さんになって遊ぶ。</p> <p>○ 乗り物に乗って遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 箱車をつないだ列車 ・ 模擬バス(電車) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で好きな乗り物を選ばせ, 自由に遊ばせる。 ・ 友達と交代で乗ることについても知らせるようにする。 ・ 友達と交代で乗ることについても知らせてあげたり, 友達と一緒に遊ばせる。 ・ 車を押ししてもらったり, 二人乗りになったりして, 教師や友達と一緒に遊んでいることを意識させ, 遊びに広がりを持たせるようにする。 ・ みんなで乗り物に乗り, 一緒に歌を歌ったり, 校内を走ったりして, みんなで一緒に遊ぶ楽しさを十分味わわせる。 ・ バスセンターなどに行き, 運転手さんに会ったり, バスの中の様子を見学したりし, さらに, 路線バスなどに実際に乗って社内の様子を見たり聞いたりして, 乗り物の知識を広げ, 乗り物遊びが更楽しくできるようにする。 ・ 教師が中心となり, 降車ボタンや友愛バス等も取り入れながら, 運転手さん, お客さんを交代して遊んだり, ピクニックに行くなどの活動を設定したりして, 教師や友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わわせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手こぎ足こぎ車 ・ 三輪車 ・ アコーレーサー ・ 箱車 ・ 模擬バス ・ 帽子 ・ 模擬バス ・ 箱車 ・ 友愛バス 	<p>生・遊 1-7</p> <p>2-1</p> <p>4, 5</p> <p>道 4-(3)</p> <p>生・遊 1-2,</p> <p>8</p> <p>2-1</p> <p>4, 5</p>

小学部 低学年

単元名	学校にとまろう		月(時数)	6月(32時間)
単 元 に つ い て	<p>子供たちは、4月に新しい教師や友達と出会い、様々な活動を共にする中で、教師や友達と一緒に活動する楽しさを味わいつつあり、もっと教師や友達と一緒に楽しい活動をしたいという欲求を持っている。また、2年生は、前年度に校内や校外で宿泊した経験から、教師や友達と一緒にいろいろな活動することを楽しみにしている。しかし、家庭以外で親と離れて過ごした経験は少なく、学校に泊まることへの期待感はあるものの、どんなことをするのか分からなかったり、泊まることへの不安があったりする。</p> <p>そこで、本単元では、このような子供たちに対して、子供たちの興味・関心のある活動を当日の日程に組み、それらを事前に何回か楽しませる中で、教師や友達と一緒にいろいろな活動をしたいという子供たちの欲求を満たし、お互いの共感関係を深め、一緒に活動する楽しさを一層味わわせたり、校内宿泊での活動そのものを楽しませたりしていきたい。活動に当たっては、昨年度のVTRを見せたり、期日や日程などを知らせたり、実際に使う宿泊用具を扱わせたりなどして、学校に泊まってどんな活動をするのかを具体的に分からせるようにする。その際、服を脱ぐ⇒ふろに入る⇒服を着る、お楽しみ会をする⇒着替えをする⇒寝る準備をするといったように、個々の活動を別個に扱うのではなく、一まとまりの活動として設定し、流れに沿った活動ができるようにする。また、教師や友達と一緒におふろで体をこすり合ったり、パジャマに着替えた後はみんなで毛布にくるまって寝たりなど、体を一緒に動かしながら、楽しくかかわり合えるような活動を設定する。このような活動を繰り返していくことにより、「学校に泊まる」ことへの興味・関心や期待感を高めるとともに、当日、意欲を持って活動できるようになる。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ おやつ作りやお楽しみ会の練習をしたり、おふろに入ったなどの活動を行うことにより、学校に宿泊することへの期待感を高めることができるようにする。 ○ 教師や友達と一緒に活動に参加して、楽しく学校に宿泊できるようにする。 			
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容	
<p>1 「学校にとまろう」について話を聞く。</p> <p>(1) VTRで昨年の様子を見る。</p> <p>(2) 学校に泊まることについて話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日, 主な活動 <p>2 学校に泊まる練習をする。</p> <p>(1) おやつ作りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ジュース, ゼリーなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊の様子をVTRで見せたり、用具を扱わせたりして; 宿泊に対する関心を持たせる。 ・ 活動の様子がよく分かる絵カードを準備する。 ・ 練習を行っていく際には、2(1)~(3)の活動を順序よくするのではなく、子供たちの興味・関心などを大切にしながら行うようにする。 ・ どんなおやつを作るか子供たちに発表させ、意欲的に取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 宿泊用具 ・ 絵カード ・ 写真 	<p>生・遊 1-3 道 2-(1) 国 1-3</p> <p>道 1-(1) 4-(2)</p>	

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<p>(例) ジュース作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 果物缶を開ける。 ○ ミキサーに入れる。 ○ 砂糖, 水, 氷を足す。 ○ ミキサーのスイッチを入れ, かき混ぜる。 ○ ボトルに入れる。 <p>(2) 入浴の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 準備をする。 ○ 衣服を脱ぐ。 ○ ふろに入る。 ○ 洗う(手足, 顔)。 ○ 衣服を着る。 <p>(3) お楽しみ会と寝起きの練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ すいか割りをする。 ○ 花火をする。 ○ 手洗いをする。 ○ 着替えをする。 ○ 寝る(起きる)。 ○ 洗面をする(歯を磨く)。 <p>3 学校に宿泊する。</p> <p>4 反省をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衛生面には十分気を付け, 事前に手洗いを必ず行わせたり, 材料に直接手を触れずスプーンやフォークなどの用具を使わせたりさせる。 ・ ジュース作りでは, いろいろな役割を設定し, 役割を交替させながら楽しくジュース作りができるようにする。 ・ 校内のふろで練習した後, 宿泊で利用する銭湯に行き雰囲気分かるようにする。 ・ 校内のふろでは, 遊具で遊ばせたり, 歌と一緒に歌ったりなどして, 楽しい雰囲気の中で入浴できるようにする。 ・ すいか割りの活動は単独で行う。 ・ 目隠しを漫画キャラクターのものにしたがり, 棒の太さや長さの違うものをいくつか用意したりして, 楽しくすいか割りができるようにする。 ・ 花火は, 安全面に留意し, 正しく扱うように言葉掛けするとともに, 一人で持つて, 楽しむ機会も多く設定する。 ・ ボタン掛けの難しい子供には, かぶり式のパジャマを準備し, できるだけ一人で着替えができるようにする。 ・ 着替えたら教師や友達と一緒にタオルケットにくるまるなどして, 楽しみながら活動できるようにする。 ・ 宿泊当日前後の家庭や学校での体温や体調など健康の状態を調べ, 子供の健康状態を把握する。 ・ 当日は, 子供たちを追い立てないように, 子供たちのペースに合わせて日程を進める。 ・ VTRを視聴させて, どんな活動をしたかを思い出させるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 果物の缶詰 ・ 缶切り ・ 砂糖 ・ 水, 氷 ・ ペットボトル ・ 脱衣かご ・ タオル ・ 遊具 ・ ビニール袋 ・ 着替え ・ すいか ・ 目隠し ・ 棒 ・ 花火 ・ ござ ・ 着替え ・ パジャマ ・ タオルケット ・ タオル ・ 歯ブラシ ・ 健康調査票 ・ 事前調査票 ・ VTR 	<ul style="list-style-type: none"> 生・基 1-1 ~6 道 2-(3) 生・基 1-27~31 道 4-(2) 生・遊 1-5 生・基 1-21 生・基 1-18 ~20 道 1-(1) 2-(1), (3) 4-(2) 国 1-3

小学部 低学年

単元名	楽しく遊ぼう（夏の遊び）		月（時数）	7月（16時間）
単 元 に つ い て	<p>子供たちは、教師に抱っこしてもらったり、おんぶしてもらったりすることが大好きである。また、教師や友達と追い掛けっこをしたり、砂場で砂をコップや皿に出し入れしたりして遊んでいる様子が休み時間など多く見られる。このように、子供たちは、感覚的、運動的な遊びに興味を持ってきている。特に、気候的に暑くなるこの時期は、ホースから水を出して体に掛けたり、口に入れてするなど体全体で水に触れて遊ぼうとしている。その遊びの様子を見ると、一人遊びになりがちではあるが、水を掛け合ってはしゃいだり、道具を一緒に使ったりなど、教師や友達とのやり取りをしながら遊んでいる。</p> <p>そこで、本単元では、このような子供たちに、教師や友達と一緒に水掛け遊びや泥んこ遊びなどの水を使った遊びを、体全体を使ってダイナミックにさせていきたい。</p> <p>指導に当たっては、子供たちの日ごろの遊びと関連させながら、水掛け遊びや泥んこ遊び、氷遊びなどの中から、子供たちの好きな遊びを選んだり、組み合わせたりして学習を展開していくようにする。その際、ミニプールやシャワー、ホースなどを準備して体全体で水に触れて遊ぶことができるようにするとともに、子供の感じていることや思っていることを教師が言葉にして表現するなどして、教師や子供たちが、お互いにかかわりながら遊べるようにしていきたい。</p> <p>このような活動を通して、子供たちは、教師や友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わうことができるとともに、水掛け遊びや泥んこ遊び、氷遊びなどのいろいろな水を使った遊びに触れることができると思われる。</p>			
	<p>○ 教師や友達と一緒に、水掛け遊びや泥んこ遊びなどの水を使った遊びをすることができるようにする。</p>			
目 標				
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)		準備	関連内容
<p>1 水を使って遊ぶ。</p> <p>○ 水掛け遊びをする。</p> <p>・ ホース、ミニプール、シャワー、スプリンクラー、バケツ、水鉄砲、じょうろ、洗面器、霧吹きなどを使った活動</p>	<p>・ 子供の実態に応じて、左記の遊びの中から選んだり、組み合わせたりして、遊びを展開していくようにする。</p> <p>・ 水掛け遊びをさせるときには、いろいろな容器やおもちゃを準備し、子供たちが、自由に選んで遊べるようにする。</p> <p>・ 水の感触を知らせるために、砂と土を組み合わせるとえたり、水を掛ける、水で流すなどの様々な方法で水に触れさせたりする。</p>		<p>・ ホース</p> <p>・ ミニプール</p> <p>・ シャワー</p> <p>・ スプリンクラー</p> <p>・ バケツ</p> <p>・ 水鉄砲</p> <p>・ じょうろ</p> <p>・ 洗面器</p> <p>・ 霧吹き</p>	<p>道 2-(3)</p> <p>3-(1)</p> <p>生・遊 1-1,</p> <p>2,5,</p> <p>8</p>

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<ul style="list-style-type: none"> ○ 泡立て遊びをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ せっけん水の入ったミニプールで、泡を作って遊ぶ活動 ・ シャボン玉作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミニプールに泡をたくさん作らせたり、泡を教師や友達で分け合ったりして、楽しく活動させる。 ・ ミニプールに泡をたくさんため、その中に教師と一緒に入るなどして、泡の感触を味わわせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バケツ ・ ホース ・ せっけん ・ ミニプール 	生・自 1-8 体 1-21
<ul style="list-style-type: none"> ○ 泥んこ遊びをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 穴、溝掘り ・ 型ぬき、だんご作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スコップやいろいろな型抜きを準備し穴を掘らせたり、おにぎりを作らせたりする。 ・ 少しずつ足や手に泥や砂を触れさせながら、泥遊びや砂遊びに関心を持たせる。 ・ 泥を友達の顔に付けたり、泥の付いた手で目をこすったりすることのないように安全面、衛生面に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スコップ ・ ホース ・ 型 ・ 容器 	国 1-1, 2
<ul style="list-style-type: none"> ○ 氷遊びをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 氷触れ ・ かき氷作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミニプールに大きな氷を浮かべて触ったり、持ったり、また、みんなで大きなかき氷を作って食べたりなど、いろいろな方法で氷に触れさせるようにする。 ・ 遊んだ後の片付けや着替えなども個に応じて指導するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 氷 ・ ミニプール ・ かき氷器 ・ かき氷のみつ ・ 皿・果物 	体 1-21
<ul style="list-style-type: none"> 2 海に出掛け、遊ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水遊び、砂遊び ・ すいか割り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海では、なるべく自由に遊ばせるが、事故のないように安全面には十分注意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スコップ ・ すいか 	道 3-(1) 生・自 1-1, 2
<ul style="list-style-type: none"> 3 夏休みの生活について話を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 海に行くこと ・ プールに行くこと ・ 花火をすること など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に花火をしたり、海やプールの絵や写真を見せたりして、夏休みへの興味関心を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵 ・ 写真 ・ 花火 	国 2-5, 6

小学部 低学年

単元名	楽しい2学期		月(時数)	9月上旬(8時間)
単元に につ いて	<p>子供たちは、夏休み期間中、ゆったりとした生活を送るとともに、海や山に出掛けるなどの経験を積んできている。しかし、夏休みの生活は、長期間、学校を離れて家族との関係を中心とした生活であったために、2学期が始まったばかりのこの時期、子供たちは久しぶりに教師や友達に会えてうれしそうな様子を見せるものの、1学期に比べ、やや緊張感を持っている。また、自己中心的で依存的な行動や態度が随所に見られ、再び始まった学校生活に慣れるまでには至っていない状態である。</p> <p>本単元は、このような子供たちに対して、教師や友達と遊ぶ活動を中心に展開しながら伸び伸びと活動させていく。その中で、友達の名前を呼んだり、手をつないだり、話しをしたり、夏休みの思い出や出来事に触れさせたりして、子供と教師、子供同士のかかわりが十分持てるようにすることで学校生活への緊張感を和らげるとともに、自己中心的な面を改善し教師や友達と一緒に活動することの楽しさを味わわせたいと考える。また、遊んだ後の用具の後始末や汚れた衣服の着替え等の活動において、教師が適切に援助することで、依存的な行動や態度についても改善していきたいと考える。</p> <p>このような活動を通して、子供たちは、家族との関係が中心であった夏休みの生活から教師や友達との関係を中心とした学校生活への気持ちをスムーズに切り替えることができ、楽しい2学期を送ることができるようになっていくと考える。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師や友達と一緒に水遊びや砂遊びなどをする中で、教師や友達の名前を呼んだり、言葉掛けや手つなぎなどをしたり、用具の後始末や汚れた衣服の着替え等をする事を通して教師や友達と一緒に活動することの楽しさを味わわせる。 ○ 自分のことは自分でしなければいけないということに気付かせ、2学期当初の学校生活に慣れさせるようにする。 			
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容	
<p>1 教師や友達と遊ぶ。</p> <p>(1) 屋内外で遊ぶ。</p> <p>[屋外での遊び]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水遊び ・ 砂遊び ・ 乗り物遊び(箱車等) ・ ままごと遊び ・ 固定施設遊び など <p>[屋内での遊び]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トランポリン遊び ・ リズム遊び ・ 塗たくり遊び など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全面には十分配慮しながらも、自由な雰囲気の中で伸び伸びと活動させる。 ・ 遊び道具類は、教師や友達と一緒に持ち運びできるように、適当な大きさの箱に入れておく。 ・ 水遊び等の際は、夏休みにプールや海に行ったこと等も話題にする。 ・ 遊びの中で言葉掛けや手つなぎなどをして、子供と教師、子供同士のかかわりが十分持てるようにする。 ・ いろいろな遊び道具を準備するとともに安全面には十分注意してみんなと楽しく遊べるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水着 ・ ビニールプール ・ ままごと道具 ・ 箱車 ・ 三輪車 など 	<p>道 2-(3)</p> <p>生・遊 1-1, 2</p> <p>生・交 4~7 1-3</p> <p>体 1-11, 12</p> <p>国 1-10</p> <p>体 1-6, 12 25</p>	

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
(2) 後始末、着替え等をする。	<ul style="list-style-type: none"> 可能な限り子供たちに活動させるように適宜、教師が援助をして自分で後始末や着替えができた喜びを味わわせる。 		音 1-2, 9 図 1-1, 5
2 夏休みの写真やVTRを見たり、先生の話を聞いたりする。 <ul style="list-style-type: none"> 水遊び、花火、キャンプ、旅行、墓参り など 夏休みの課題帳、採集物など 	<ul style="list-style-type: none"> 写真の人物名や場所、様子などを言わせたり、作品名を言わせたりして夏休みの生活を振り返らせる。 生活表(母親記入)や写真等を基に、教師が話をしてあげたり、教師の話を基に写真や作品を指差させたりして、夏休みの生活を振り返らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真 課題帳 作品 生活表 	生・基 1-28 30 31 生・遊 1-8 国 1-1, 3 生・白 1-4
3 先生や友達の名前、自分の机や靴箱などを確かめる。 (1) 自分、先生、友達の名前調べをする。 <ul style="list-style-type: none"> 写真、絵カード、文字カードと本人のマッチング 返事、挙手の仕方 	<ul style="list-style-type: none"> 教師や友達と一緒に「おへんじハイ」や「あなたのおなまえは」といったような友達の名前を呼んだり当てたりする歌や遊び、ゲーム等を取り入れて、楽しく活動させる。 呼名されたら返事をして、右手を挙げることを思い出させる。 子供の前に立って呼名したり、呼名しながら肩を叩いたりして、名前を呼ばれていることに気付かせ、右手を挙げさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真 絵カード 名前カード 	生・交 1-1, 2 4~5 国 1-8, 9
(2) 自分の机・いす・ロッカー靴箱等の位置、使い方を確かめる。 (3) 学級の簡単な係を決める。 <ul style="list-style-type: none"> 金魚のえさ係 天気調べ係 暦めぐり係 など 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の指導とも関連を持たせ、一日の学校生活の流れの中でも随時指導するようにする。 教師が実際に活動をして見せたり、写真や絵カードを見せたりすることで係の仕事へ興味・関心を持たせる。 一日の学校生活の流れの中で繰り返し指導するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 名前カード 記号シート 写真 絵カード 	国 1-17 生・役 1-2, 4

小学部 低学年

单元名	運 動 会		月 (時数)	9月 (24時間)
単 元 に つ い て	<p>子供たちは、走り回ったり、音楽に合わせて身体表現したりなど、体を動かすことが好きである。体を動かす競技や演技で組織される運動会は、このような子供たちの欲求や興味・関心を十分に満たしてくれるものとする。低学年の子供たちは、家族が見守る中、あるいは大声援の中で競技や演技をした経験があるので、ある程度運動会のイメージを持つことはできる。そのため、かけっこや足行進曲を聞かせたり、かけっこをさせたりなど具体的に働きかけると運動会への期待感も持てる状態であるといえる。しかし、これまでの学習でみんなと一緒に体を動かす楽しさや喜びは味わえるようになってきつつあるものの、指示や合図を守って集合したり、競技や演技をしたりすることにはまだ慣れていない子供が多い。</p> <p>そこで、このような子供たちに対して本単元では、運動会のビデオを見たり、期日や種目を調べたりして、運動会への期待感を高めていくようにしたい。また、子供たちの好きな曲や動きをリズムの中に取り入れたり、子供たちのできる運動を「赤かて白かて」（団体競技）に設定したりして、子供たちが意欲的に競技や演技に参加できるようにしたい。そして、かけっこやリズム、「赤かて白かて」といった学部種目などの練習を繰り返し行わせる中で、みんなと一緒に体を動かす楽しさを味わわせるとともに、集合や整列などを含んだ集団行動を少しでもできるように指導していきたいと考える。</p> <p>このような活動を通して、子供たちは、競技や演技、集団行動に慣れることができ、運動会に楽しく参加することができるようになっていくと考える。</p>			
	目 標	<p>○ 教師や友達と一緒に、かけっこやリズム、「赤かて白かて」などの学部種目をしたり、集合や整列をしたりすることにより、みんなと一緒に体を動かす楽しさを味わわせるとともに、競技や演技、集団行動に慣れさせ、運動会に楽しく参加することができるようにする。</p>		
主な学習活動・内容	(High) 留 意 点 (Low)	準 備	関連内容	
<p>1 運動会について話を聞く。</p> <p>(1) VTRで昨年の運動会を見る。</p> <p>(2) 今年の運動会について話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ かけっこ ・ 「赤かて白かて」 ・ リズム ・ 綱引き ・ 応援 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTRで見た用具を実際に使わせたり、かけっこや綱引きなどの模倣をさせたりして、種目について知らせ、運動会への興味・関心を持たせる。 ・ 帽子をかぶらせたり、うちわを振らせたりなど、実際に使う道具を準備し、かけっこや応援などの模倣をさせて、具体的なイメージを持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 運動会用具 	<p>国 1-1</p> <p>国 1-4</p>	

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容				
<p>2 運動会の練習をする。</p> <p>(1) 自分の組を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 赤組…赤い帽子 ・ 白組…白い帽子 <p>(2) かけっこをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スタート、ゴールの位置 ・ ピストルの合図 <p>(3) リズムをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入退場の場所 <p>(4) 「赤かて白かて」(団体競技)をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平均台→トンネル→大玉転がし→… <p>(5) 全体練習に参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集合、整列 ・ 開閉会式 ・ 綱引き ・ 紅白リレー <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>運動会に参加する</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紅白の応援旗や万国旗を教室に設置し、運動会の雰囲気を盛り上げるようにする。 ・ 紅白の帽子の絵カードの上に、自分の名前カードを置くなどして帽子の色に着目させ、自分の組に気付かせる。 <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px dotted black; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の援助を徐々に少なくしていき、ピストルの合図で、一人でゴールまで走れるようにする。 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師と一緒に走り、スタートやゴールの位置、ピストルの音などに慣れさせる。 </td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px dotted black; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師や友達の動き方等を見ながら、模倣して活動できるようにする。 </td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師と一緒にしたりして、具体的に動き方等を身に付けさせるようにする。 </td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な活動を繰り返し行うことにより、種目に対するイメージを育てていくとともに、教師や友達と一緒にスムーズに行動できるようにする。 ・ 教師や上級生たちと手をつながせたり、模倣をさせたりしながら活動できるようにする。 ・ 練習中の水分補給や練習後のうがい・手洗い、汗ふきなどを十分にさせて、健康面に留意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の援助を徐々に少なくしていき、ピストルの合図で、一人でゴールまで走れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師と一緒に走り、スタートやゴールの位置、ピストルの音などに慣れさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師や友達の動き方等を見ながら、模倣して活動できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師と一緒にしたりして、具体的に動き方等を身に付けさせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 応援旗 ・ 万国旗 ・ 体育帽子 ・ 絵カード ・ 名前カード ・ ピストル ・ ゴールテープ ・ テープレコーダー ・ 手具 ・ 運動会用具 	<p>体 1-19 2-15</p> <p>音 1-8</p> <p>体 1-23</p> <p>道 1-(2) 2-(3)</p> <p>体 1-2, 3 生・決 1-2</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の援助を徐々に少なくしていき、ピストルの合図で、一人でゴールまで走れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師と一緒に走り、スタートやゴールの位置、ピストルの音などに慣れさせる。 						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師や友達の動き方等を見ながら、模倣して活動できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師と一緒にしたりして、具体的に動き方等を身に付けさせるようにする。 						
<p>3 運動会の反省をする。</p> <p>○ VTRを見る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTRの場面に合わせて、簡単に再活動させながら、運動会を思い起こさせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 運動会用具 	<p>国 1-3, 10</p>				

小学部 低学年

単元名	とまりにいこう		月(時数)	10月(32時間)
単元について	<p>この時期、乗り物に乗ったり、固定施設で遊んだり、プレイヤードの鶏やうさぎ、草花などに興味・関心を示し好んで見たり、草花を摘んだり、子供たちの戸外での活動が活発になっていく。また、バスなどに乗って出掛けたり、野原で思い切り駆け回ったりするなど、校外で活動することが好きである。宿泊に関しては、1・2年生共に6月に校内宿泊をし、教師や友達と一緒に活動することや宿泊学習の楽しさを体験してきている。しかし、1年生は校外で宿泊するのは初めてで、2年生にとっても2回目であり、どんな活動があるのか知らなかったり、どのようにして活動すればよいのか分からなかったりする子供がほとんどである。</p> <p>そこで、本単元では、このような子供たちに対して、校内及び近くの野原や野山で遊ばせたり、虫取りや落ち葉拾い・草花摘みなどをさせたりすることで、秋の自然と体全体で触れ合い、自然と遊ぶ楽しさを味わわせたり、自然に対する喜びや驚きなどを感じ取らせたりしたい。また、実際に泊まる場所を見学したり、野山に行き遊んだり、「学校にとまろう」でも学習し、子供たちが興味・関心を持って取り組むおふろやお楽しみ会、寝起きの練習などの活動を繰り返し行わせたりすることで、校外に宿泊することへの期待感を高め、当日教師や友達と一緒にスムーズに活動に参加できるようになると考える。</p> <p>このような学習を通して、子供たちは教師や友達と一緒に楽しく活動し、校外に宿泊することの経験を積むことができるようになると思う。</p>			
目標	<p>○ 教師や友達と一緒に泊まる場所に行ったり、秋の自然の中で遊んだり、虫取りや木の実拾いなどをしたり、おふろに入ったり、寝る練習をしたりして、校外に宿泊することへ期待感を高めることができるようにする。</p> <p>○ 教師や友達と一緒に活動に参加して、楽しく校外に宿泊することができるようにする。</p>			
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容	
<p>1 校外宿泊について話を聞く。</p> <p>(1) VTRで昨年の様子を見る。</p> <p>(2) 校外に泊まることについて話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日, 場所, 主な活動 <p>2 泊まりに行く練習をする。</p> <p>(1) 泊まりに行く場所を見学したり、野山で遊んだりする。</p> <p>(2) 野原や野山などで遊ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊の様子をVTRで見せたり、用具を扱わせたりして、宿泊に対する関心を持たせる。 ・ 1年生は、経験がないことから、6月の「学校にとまろう」の写真や絵カードを使って、活動を関連づける。 ・ 縦割りでの活動を組み入れる。 ・ 子供の実態により活動の順序を変える。 ・ 泊まりに行く場所に見学に行ったり、野山で実際に遊んだりさせて、校外へ宿泊することへの期待感を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 宿泊用具 ・ しおり ・ 写真 ・ 絵カード ・ 捕虫網 ・ 虫かご ・ ビニール袋 ・ マニラボール ・ はさみ 	<p>生・遊 1-3 図 1-1~3</p> <p>道 1-(1) 4-(2) 生・自 1-1~6</p>	

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<p>○ 自由に遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 散策 ・ 木登り ・ 草花摘み など <p>○ 虫取りや落ち葉集めをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 虫取り ・ 落ち葉集め ・ 木の実集め <p>(3) 入浴の練習をする。</p> <p>○ 準備をする。</p> <p>○ 衣服を脱ぐ。</p> <p>○ ふろに入る。</p> <p>○ 洗う。</p> <p>○ 体をふく。</p> <p>○ 衣服を着る。</p> <p>(4) 寝起きの練習をする。</p> <p>○ パジャマに着替える。 普段着を脱ぐ。 パジャマを着る。</p> <p>○ 寝る。(起きる。)</p> <p>○ 普段着に着替える。 パジャマを脱ぐ。 普段着を着る。</p> <p>○ 顔を洗う。(歯を磨く。)</p> <p>(5) お楽しみ会の練習をする。</p> <p>○ キャンドルファイヤーをする(例)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 迎え火の式 ・ レクリエーション ・ 送り火の式 <p>3 校外に宿泊する。</p> <p>4 反省をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びに没頭できるように配慮するとともに、教師がかかわって一緒に遊び、秋の自然にも触れるようにする。 ・ 校内や公園だけでなく、近くの野原や野山に出掛け、自然の中で自由に遊ぶ経験を多くする。 ・ 子供が集めた落ち葉や木の実で、お面や首飾りを作るなどして、子供たちが集めることを楽しめるようにするが、無理強いすることがないように配慮する。 ・ 校内のふろや銭湯で練習させる。 ・ 一人で脱いだり、 畳んだりするように 促す。 ・ 部分的に援助し、 一人でできる部分が 多くなるようにする。 ・ 自分から始めたり、できたりしたことは褒めるとともに、「～しようか」と言葉掛けをし、行動を促すようにする。 ・ できるだけ一人で着替えることができるように、家庭と連携して、パジャマの前(後)に印を付けるなどの工夫をする。 ・ 就寝時(起床時)の歯磨き、洗面として活動させる。 ・ 楽しい雰囲気の中でキャンドルファイヤーができるように、安全面やレクリエーションの内容に配慮する。 ・ お楽しみ会の終わった後に寝る準備をするといった流れで練習させる。 ・ 縦割りのグループで活動させる。 ・ 事前に健康調べなどをして、健康面や安全面に十分配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 落ち葉 ・ 木の実 ・ ござ ・ 脱衣かご ・ 着替え ・ タオル ・ 入浴用タオル ・ くし ・ せっけん ・ シャンプー ・ ビニール袋 ・ パジャマ ・ 毛布 ・ 脱衣かご ・ 洗面器 ・ 歯ブラシ ・ 絵カード ・ ケミホタル ・ テープレコーダー ・ ろうそく台 ・ VTR 	<p>道 3-(1) ～(3)</p> <p>生・基 1-25 27～31</p> <p>生・基 1-18 2</p> <p>道 1-(1) 2-(1), (3) 4-(2)</p> <p>国 1-1～3</p>

小学部 低学年

単元名	まつりをしよう		月(時数)	11月(32時間)
単 元 に つ い て	<p>1年生の子供たちは、附養まつりの経験はなく、附養まつりの活動内容も知らないものの、大抵の子供は各地の祭りや縁日等に行き、踊りを見たり、出店で買物をしたりと祭りの楽しさを体験している。2年生は、昨年附養まつりを体験したことで、祭りの曲に合わせて踊ったり、みこしを担ぐまねやお店屋さんごっこのまねをしたりと、断片的であるが附養まつりのイメージを身振りや言葉で表現できる。</p> <p>そこで本単元では、導入の段階でVTRを見たり、昨年のみこしを担いだり、お店屋さんごっこをしたりなどの祭りの活動をさせることで、祭りのイメージを高めていくとともに、大学祭などの祭りへ実際に出掛け、出店の並びやにぎやかさ、売り買いの様子などを知ることを通して、附養まつりへの興味・関心を高めるようにしたい。また、どんなみこしにするか、何の店にするかは絵本や絵カードの中から選んで決めるようにし、その飾り付けでは、子供たちの自由な発想を十分取り入れたり、意欲的に活動に取り組めるように飾り付けの仕方を工夫したりして、子供たちがそれぞれの活動を自由に、しかも、体全体で楽しめるようにしていきたい。さらに、自分たちの作ったみこしを担いだり、お店屋さんごっこで品物を渡したりもらったりして友達とのやり取りを楽しみながら、みんなと一緒に祭りに楽しく参加できるようにしていきたい。</p> <p>このような活動を通して、子供たちは、教師や友達と一緒に作ったり、作ったもので活動したりする喜びを味わうことができるようになると思う。</p>			
目 標	<p>○ みこしやうちわ、店で売る品物などを作る活動や、みこし担ぎ、お店屋さんごっこなどの模擬的な活動を楽しむことができるようにするとともに、みんなと一緒に楽しく祭りに参加できるようにする。</p>			
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容	
<p>1 祭りについての話を聞く。</p> <p>(1) 祭りのVTRを見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の附養まつり ・ 校外の祭りの様子 (おはら祭り、大学祭) <p>(2) みこしを担いだり、お店屋さんごっこをしたりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生は、祭りは初めてなので、昨年のVTRやみこしや法被を見せて祭りへの関心を高める。 ・ 模擬的な活動を通して、祭りのイメージを持たせる。 ・ 祭りの活動を言葉や身振りで表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 写真 ・ 絵カード ・ みこし ・ 法被 ・ 暦 ・ 絵カード 	<p>国 1-3 2-2 生・遊 1-1, 2 国 1-7 音 2-4</p>	

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<p>(3) 期日, 日程を知る。</p> <p>2 他の祭りの見学をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学祭の見学 ・ 玉江祭りの見学 など <p>3 祭りの準備をする。</p> <p>(1) みこしやうちわを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作りたい物の発表 ・ みんなで作る活動 <p>(2) 出店で売る品物を作る。</p> <p>(3) 出店の飾り付けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 塗たくりなど自由な色付け <p>(4) 案内状を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なぞり書き ・ 複写 <p>4 祭りの練習をする。</p> <p>(1) みこしパレードをする。</p> <p>(2) お店屋さんごっこをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 先生と一緒に ・ 友達同士 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>附養まつりに参加する</p> </div> <p>5 反省をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文字や数字を書い て, 曆にはらせる。 ・ 実際の祭りを見学し, 買物をするこ とで, 出店や祭りにぎわいなど祭りの雰 囲気を肌で感じられるようにする。 ・ 子供たちが興味を示すような絵本や絵 カードなどを準備しておき, その中から 選ばせて決めるようにする。 ・ みこしは, 子供たちが見通しを持って 作る活動に取り組めるように, あらかじ め型を作っておく。 ・ 子供の発想を生かしながら飾り付けを していく。 ・ 繰り返し品物を作ったり, 食べたりし て活動への意欲を持たせ, 親しませる。 ・ 大きなキャンパスに, 体全体を使って 飾り付けができるようにする。 ・ 文字のなぞり書き や視写をさせる。 ・ 郵便局に行き, 案内状をポストに投か んさせる。 ・ 掛け声を出してパ レードを楽しめるよ うにさせる。 ・ 友達とのやり取り を楽しませる。 ・ 教師や保護者と一緒に品物を売った り, 買ったりさせる。 ・ VTRを見せ, どんな活動をしたかを 思い出させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 祭りの絵に色を塗 らせ, 曆にはらせる。 ・ 絵に色を付けたり, 文字のなぞり書きを したりさせる。 ・ 笛や鈴を鳴らした り, うちわやまとい を振ったりしながら 楽しく参加させる。 ・ 品物を渡したり, もらったりできるよ うにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペン ・ 財布 ・ お金 ・ 絵本 ・ 絵カード ・ ダンボー ル箱 ・ 空き箱 ・ 広幅用紙 ・ 絵の具 ・ 色紙 ・ 色テープ ・ 調理用具 ・ 広幅用紙 ・ 絵の具 ・ 色画用紙 ・ ペン ・ うちわ ・ 鈴 ・ 笛 ・ まとい ・ 引換券 ・ みこし ・ うちわ ・ 法被 ・ 豆しぼり ・ VTR 	<ul style="list-style-type: none"> 国 1-9 2-5 生・役 1-3 生・金 1-1, 3 図 1-5, 11 12, 14 国 2-7, 10 道 2-(3) 生・役 2-5 図 1-5 国 2-15, 19 音 2-7 生・遊 2-1 生・金 1-1 2-2 道 2-(3) 生・役 1-1 国 2-3

小学部 低学年

単元名	もうすぐお正月		月(時数)	12月(24時間)
単元に につ いて	<p>12月になると、あちこちの街頭や家庭で「ジングルベル」の曲が聞こえてきたり、クリスマス会が開かれてプレゼントをもらったりする。子供たちに、サンタクロースの絵やプレゼントの包みを見せると、にっこり笑ったり、ちょうだいのしぐさをしたりなど、興味・関心を示す子供は多く、クリスマス会への興味・関心はある。また、この時期は、年賀状を書いたり、もちつきをしたりなど、正月を迎える雰囲気があふれている。さらに、正月を迎えると、家族や親せきの人たちの間で新年のあいさつを交わしたり、かるた取りやたこ揚げなど正月の遊びをしたりする機会が多い。</p> <p>そこで、本単元は、壁飾りや帽子を作ったり、「ジングルベル」のリズムを練習したりして、クリスマス子ども会への興味・関心や期待感を高めるとともに、クリスマス子ども会当日をみんなと楽しく過ごせるようにしたい。また、教師や友達と一緒に、手形やスタンプを押して年賀状を作りポストに投かんしたり、正月のあいさつや遊びの練習をしたりしておくことにより、これから迎える正月に興味・関心を持たせ、家族や親せきの人たちと少しでもかかわり合いながら、楽しく過ごすことができるようになると思える。</p> <p>このような活動を通して、子供たちは、クリスマス子ども会や正月に興味・関心を持つと同時に教師や友達と一緒に活動することの楽しさを味わうことができると考える。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ ツリーを飾ったり、壁飾りを作ったりして、教師や友達と一緒に楽しくクリスマス子ども会をすることができるようにする。 ○ 教師や友達と一緒に手形やスタンプを押して年賀状を作ったり、正月のあいさつや遊びの練習をしたりすることを通して、正月への興味・関心を持たせるようにする。 			
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容	
<p>1 年末のことや正月のことについて話を聞く。</p> <p>(1) 写真やVTRを見る。</p> <p>(2) クリスマス子ども会、もちつき大会、正月について話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行事の内容 ・ 期日 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTRや写真、絵カードを見せ、クリスマス子ども会やもちつき大会などの行事があることや正月の様子を知らせる。 ・ クリスマス子ども会やもちつき大会でどんなことをするか写真や絵カードで知らせる。 ・ もちつきごっこをしたり、年賀状や福笑い、たこ、のし袋(お年玉)などを見せて正月について関心を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 写真 ・ 年賀状 ・ のし袋 ・ 福笑い ・ たこ ・ 暦 ・ 絵カード ・ クリスマスツリー 	<p>国 1-1, 2, 3 9, 14</p>	

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<p>2 クリスマス子ども会をする。</p> <p>(1) 準備や練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ツリー ・ 壁飾り ・ 帽子 <p>(2) 歌やリズムの練習をする。</p> <p>(3) プレゼントをもらう準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 欲しいプレゼント <p>(4) クリスマス子ども会に参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歌, リズム ・ サンタからのプレゼント ・ クリスマスケーキほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 帽子や壁飾りの元絵は、あらかじめ教師の方で作っておき、子供たちには色紙をはらせたり、色を塗らせたりする。 ・ 歌やリズムの練習については、音楽や朝の会とも関連を図るようにする。 ・ 子供の表現をできるだけ取り入れ楽しく行わせる。 ・ 自分の欲しいプレゼントを写真や絵本、絵カードから選ばせる。 ・ 家族からの連絡帳や学校での様子から教師の方でプレゼントを決める。 ・ サンタクロースからプレゼントをもらうときは「ありがとう」とお礼を言わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広幅用紙 ・ 色紙 ・ パス ・ クレヨン ・ のり ・ はさみ ・ 写真 ・ 絵本 ・ 絵カード ・ プレゼント ・ ケーキ 	<p>道 2-(3)</p> <p>図 1-5, 8, 11, 12</p> <p>生・遊 1-2 音 1-6, 7</p> <p>国 1-11, 12</p> <p>生・役 1-1 生・社 1-1</p>
<p>3 年賀状を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スタンプ ・ 投かん 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手形やえとのスタンプを押して親や友達あての年賀状を作らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年賀状 ・ スタンプ台 	<p>国 1-11 12</p> <p>道 2-(1)</p>
<p>4 正月の過ごし方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつの仕方 「おめでとうございます」 ・ お年玉のもらい方 「ありがとうございます」 ・ 遊び ・ 絵かるた ・ たこ揚げ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教室にジュータンや座布団を敷いて、座ってあいさつをする練習をさせる。 ・ 両手でもらうようにし、頭を下げながら、頭を下げるよ ・ 身振りで頭を下げて、お札の気持ちを表わさせる。 ・ 大型の絵かるたやトランプで絵合わせをして遊ぶことを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ジュータン ・ 座布団 ・ のし袋 ・ 絵かるた ・ トランプ ・ たこ ・ うす 	<p>生・公 2-10</p> <p>生・遊 1-5 生・交 1-4, 6</p>
<p>5 もちつき大会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ つき方 ・ 丸め方 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師や親と一緒にもちつきや丸め方をさせ、もちの柔らかい手触りを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ きね ・ もろぶた 	<p>生・役 1-3 生・基 1-34</p>
<p>6 身の回りの整理をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の持ち物の整理をさせる。 		

小学部 低学年

単元名	楽しい3学期		月(時数)	1月中旬(8時間)
単元に ついて いて	<p>子供たちは、冬休み期間中、正月の買い物や初もうでに連れて行ってもらったり、もちを食べたり、お年玉をもらったりと、年末・年始に関するいろいろな体験をしてきている。また、冬休み中は、様々な場所に出掛けたり、来客があったりして、毎日の生活が慌ただしく、不規則になりがちであったため、3学期が始まったばかりのこの時期、子供たちは学校生活に慣れるまでには至っていない状態である。</p> <p>そこで本単元では、このような子供たちに対して、冬休みを振り返りながら正月に関する活動を中心に展開し、伸び伸びと活動させていくことにより、生活のリズムを整えさせていく。具体的には、みんなで「おめでとうございます」という正月のあいさつをし合ったり、もちを焼いてこたつに入って食べたりするなかで、冬休みに体験した楽しかった思い出などを語り合わせていく。また子供と教師だけでなく、子供同士のかかわりが十分に持てるような場面を設定し、自己中心的な行動や依存的な態度を改善していくようにする。さらに、新年子ども会に参加して、みんなと一緒に歌やリズムをしたりお雑煮やもちを食べたりして、楽しい雰囲気の中で3学期への期待を持たせていく。</p> <p>このような活動を通して子供たちは、学校生活へ気持ちを少しずつ切り替えることができ、楽しい3学期を送ることができるようになっていくと考える。</p>			
目 標	<p>○ 教師や友達と一緒に「おめでとうございます」という正月のあいさつをしたり、もちを焼いたり、新年子ども会に参加したりして、みんなと楽しく活動することにより、3学期当初の学校生活に慣れさせるようにする。</p>			
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容	
<p>1 教師と一緒に、冬休みの思い出を発表する。</p> <p>(1) 正月のあいさつをする。 「おめでとうございます」 「ありがとうございます」</p> <p>(2) 楽しかった思い出を発表する。 ・ 思い出の発表</p>	<p>・ 正月のあいさつをしたり、お年玉をもらったりする活動をする中で、冬休みに体験したことを思い出させる。</p> <p>・ 場面に応じてきちんといさつをさせると頭を下げさせる。</p> <p>・ ホットプレートでもちを焼いて、それをこたつに入って食べる活動を取り入れることにより、和やかな雰囲気を作るとともに、のんびりと過ごさせる。また、その中で冬休みの思い出や3学期の行事についても話題にしていく。</p>	<p>・ 課題帳 ・ 写真 ・ お年玉袋</p> <p>・ もち ・ ホットプレート ・ しょうゆ ・ 砂糖</p>	<p>道 2-(1) 生・交 1-1 2, 4 5, 6 国 1-8, 9~ 10 生・交 1-5 国 1-8~10 生・基 1, 13</p>	

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<p>(3) 3学期の行事について聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新年子ども会 ・ 持久走大会 ・ 節分子ども会 ・ 学習発表会 ・ お別れ遠足 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTRや写真、絵カードを見せたり、動作化したりしながら、3学期の行事について知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皿、はし ・ VTR ・ 写真 ・ 絵カード ・ 係カード 	<p>生・役 1-2 国 1-9</p>
<p>2 新年子ども会をする。</p> <p>(1) 教師と一緒にもちを焼く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調理用具の準備 ・ もち焼き ・ 調理用具の片づけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供たちができるだけ簡単にもちを焼けるように、ホットプレートを使用させる。その際、電源や熱いプレートに触らないように、安全面には十分配慮する。 ・ しょうゆやきなこを付けて焼くようにさせる。 ・ できる部分は、用具や材料の準備・片付けの活動も一緒にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホットプレート ・ もち ・ しょうゆ ・ 砂糖 ・ きなこ ・ 皿、はし 	<p>生・基 1-1 2, 3 31</p> <p>道 2-(3)</p>
<p>(2) 会食をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「あけまして、おめでとうございます」 ・ 「いただきます」 ・ 「ごちそうさま」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学部全員の参加のもと、鏡開きの行事とも併せて行うとともに、自分たちで焼いたもちだけでなく、上級生が作った正月のごちそうを食べることにより、正月の雰囲気味わわせる。 ・ 正月に関する曲やわらべ歌等の音楽を流す中で会食をさせ、正月の雰囲気を作り出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 料理 ・ いす ・ 机 ・ テープレコーダー ・ 皿、など 	<p>生・基 1-1, 13</p> <p>道 2-(1)</p>
<p>(3) 冬休みの出来事を教師と一緒に発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クリスマス ・ 旅行 ・ 初もうで ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真や絵カードを基に、写真の人物や来事などを動作化させ、簡単な話をさせてある。 ・ 写真や絵カードを基に、楽しかった出来事を動作化させたり、教師が代わりに話したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真 ・ 絵カード 	<p>生・交 1-1, 5</p> <p>国 1-8, 9</p>
<p>(4) 歌ったりリズムをしたりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正月に関する曲だけでなく、子供たちが好きな軽快な曲も取り入れ、楽しい雰囲気を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テープレコーダー ・ ピアノ 	<p>音 1-6, 7 9</p>

小学部 低学年

単元名	楽しく遊ぼう（冬の遊び）		月（時数）	1月（16時間）
単 元 に つ い て	<p>子供たちは、前単元「楽しい3学期」の学習を通して、みんなで冬休みの出来事を振り返ったり、新年子ども会をしたりして、教師や友達と一緒に活動する楽しさを思い出してきつつある。この時期の子供たちの休み時間の様子を見てみると、室内で本を見たり、テープレコーダーで聴いたり、室外で砂遊びをしたりなど、寒くて部屋に閉じこもりがちであったり、寒いにもかかわらず外であまり体を動かさずに遊んでいたりする。また、教師や友達を誘って遊ぼうとする様子が見られるようになりつつあるものの、実際に遊び始めると、一人遊びや平行遊びになりがちである。</p> <p>そこで、本単元では、このような子供たちに対して、教師や友達と一緒に歌ったり、体を触れ合わせたりして感覚や情動に訴えていくわらべ歌遊びをしたり、たこ揚げや鬼ごっこなどをしたり、また、落ち葉や枯れ枝集めをして遊び、そこで焼き芋をして食べたりなどして、教師や友達と一緒に、楽しく、体全体を動かして、遊ぶことができるようにしていきたい。</p> <p>指導していくに当たっては、教師と子供、子供同士のやり取りが楽しめるような場を多く設定したり、子供たちの好きな音楽やテレビ、絵本などのキャラクターを遊びの中や遊具の中に取り入れたりして、子供たちが、くつろいだ雰囲気の中で、楽しく活動できるようにしていきたい。また、大きなさいころや絵合わせ盤を準備するなどして、全身で遊びを楽しめるように工夫していくようにしたい。</p> <p>このような活動を通して、子供たちは教師や友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わうことができ、また、たこ揚げや鬼ごっこ、絵合わせ遊びなどのいろいろな冬の遊びに親しむことができると思われる。</p>			
	目 標	<p>○ たこ揚げや鬼ごっこ、わらべ歌遊びなどを、教師や友達と一緒に、楽しく体全体を動かしてすることができるようにする。</p>		
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容	
<p>1 わらべ歌遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一本橋ちょこちょ ・ なべなべそこぬけ ・ いもむしごごろ ・ おしくらまんじゅう など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供の実態に応じて、左記の遊びの中から選んだり、組み合わせたり、他の体全体を動かしてするような遊びを取り入れたりする。 ・ 教師が歌ったり、歌に合わせて子供たちの体に触れたり、子供たちに二人組を作らせて活動させたりなどする。 ・ 教師と子供、子供同士のかかわりを多くし、楽しい雰囲気の中で、わらべ歌遊びができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テープレコーダー 	<p>道 2-(3) 生・遊 1-2 音 1-6, 9, 10</p>	

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<p>2 室外での遊びをする。</p> <p>○ たこ揚げをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グニャグニャたこ ・ やったたこ ・へびたこ ・ はがきたこ など <p>○ 鬼ごっこをする。</p> <p>○ かくれんぼうをする。</p> <p>○ 落ち葉集めをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 落ち葉集め ・ 焼き芋 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろなたこを用意し、教師が揚げて見せることにより、たこ揚げに興味を持たせるようにする。 ・ たこのひもを短くしたり、教師が一緒に持って走ったりなどして、子供たちが楽しく活動できるようにする。 <p>・ 教師が鬼の面をかぶって子供たちを追いかけたり、捕まえたりして、楽しく活動できるようにする。</p> <p>・ 教師が背負って逃げたり、手をつないで逃げたりして、触れ合いを持たせながら鬼ごっこに参加させるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなで、落ち葉を掛け合ったり、集めたりして楽しく遊ばせる。その中で、たき火を囲んで、焼き芋をして食べるなどして、温かい雰囲気味わわせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろなたこ ・ 鬼の面 ・ 芋 ・ 水 ・ アルミはく 	<ul style="list-style-type: none"> 道 2-(3) 3-(1) 4-(1) 生・遊 1-2 生・自 1-8 生・遊 2-1 生・遊 2-1, 4, 5 生・遊 2-4, 5 生・自 1-2
<p>3 室内での遊びをする。</p> <p>○ 絵合わせ遊びをする。</p> <p>(1) 絵や文字さいころを振る。</p> <p>(2) さいころの絵や文字と同じ遊びをする。</p> <p>(3) さいころの絵や文字と同じ板をはめ込みパズル盤にはめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供の実態に応じて、関心のある遊びの絵の文字の書いてある大きく、軽いさいころを準備する。 ・ さいころだけでなく、ボール転がしやルーレットなど、子供たちが関心の持てるような、遊具を準備するようにする。 ・ 光が出たり、音が出たりなど工夫してそれを手がかりに絵合わせなどのゲームが楽しくできるようにする。 ・ 学級だけでなく、学部全体で遊ぶ機会も設定し、より大きな集団で遊ぶ楽しさを味わわせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ さいころ ・ パズル盤 	<ul style="list-style-type: none"> 道 2-(3) 4-(1) 生・遊 1-5, 3 生・遊 2-4, 7 算 1-3

小学部 低学年

単元名	学 習 発 表 会		月 (時数)	2月 (32時間)
単 元 に つ い て	<p>子供たちの休み時間の様子を見てみると、テープレコーダーやテレビから流れる曲に合わせて歌ったり踊ったりしており、歌や動作で表現することには興味があると思われる。しかし、休み時間などの自由な雰囲気の中や、友達と一緒にいる場面では自分を表現することはできるが、まだ多くの人の前で発表する経験が少ないため、慣れない場面であったり、大勢の人が見ていると、緊張してうまく表現できない場面も見られる。つまり、表現したいという気持ちは持っているが、表現することの楽しさをまだ十分には味わっていない。また、簡単な粗筋の物語を理解したり、自分をその登場人物に置き換えたりすることのできる子供は少なく、劇の中で自分のせりふや動きを意識して演じることのできるまでには至っていない。</p> <p>そこで本単元は、このような子供たちに対して、子供たちの日常生活場面の中から興味・関心のあるようなものや子供たちができるようになったことなどを出し物の内容に取り入れていくことにより、出し物の内容を理解させやすくするとともに、言葉や歌、動作で表現することへの関心を持たせていく。また、練習の際も和やかな雰囲気の中で、子供たちが自由に動く中から自然に発した言葉や動作を取り入れたり、役に合わせて衣装を工夫したり、マイクを使って声を拡張したりすることにより、楽しみながら活動させていく。</p> <p>このような活動を通して、子供たちは思い切り声を出したり、音楽に合わせて身体を動かしたりして表現することの楽しさを味わうことができると考えられる。</p>			
	目 標	<p>○ 教師や友達と一緒に、歌やリズム遊びなどを取り入れた簡単な出し物の練習をすることを通して、声を出したり、音楽に合わせて身体を動かしたりしてみんなの前で表現する楽しさを味わわせる。</p>		
主な学習活動・内容	(High) 留 意 点 (Low)	準 備	関連内容	
<p>1 学習発表会について話を聞く。</p> <p>(1) VTRで昨年の発表会を見る。</p> <p>(2) 出し物について話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTRを見せたり、教師が演技したりして、学習発表会の様子を知らせる。 ・ 昨年の出し物について、登場人物を発表させる。 ・ 1年間を振り返り、子供たちがよく活動したことや個々の特徴を踏まえたものなどを取り入れて出し物を構成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 絵カード ・ ペーパーサート ・ 指人形 	<ul style="list-style-type: none"> 国 1-1, 2, 3 国 1-14, 16 国 1-6, 7, 16 	

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 劇やリズムなど <p>(2) 出し物の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 場面ごとに ・ 全体を通して ・ ステージで <p>(3) 小道具を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 面作り, 色塗りなど <p>(4) 予行練習に参加する。</p> <p>3 案内状を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 塗り絵, ゴム板など <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>学習発表会に参加する</p> </div> <p>4 反省をする。</p> <p>(1) VTRを見る。</p> <p>(2) 楽しかったことを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 劇の際は, 粗筋をペープサートや指人形を使った寸劇などを見せることにより内容を知らせ, 関心を持たせていく。 ・ 粗筋に沿って, 自由に活動させる中で個々に合ったせりふや動作を取り入れていく。 ・ マイクを使って声を拡張して, 声を出すおもしろさを味わわせる。 ・ 練習の途中でも, よくできたところなどを褒めたり, もう一度発表させたりすることにより, 発表することへの意欲を高める。 ・ 小道具作りは, 手伝い程度にとどめ, 衣装を着けたり, 小道具を使ったりする機会を多くし, それらを身に着けて表現する楽しさを味わわせる。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵や文字をかいたり, ゴム板を使ったりして案内状を作らせる。 </div> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 色を塗ったり, ゴム板を使ったりして案内状を作らせる。 </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ VTRを視聴させ, 思い出す手だてとするとともに, 子供が頑張ったことを賞賛して成就感を持たせる。 ・ 衣装や小道具を基に, 自分のせりふや役を発表させる。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師と一緒に, 自分の役の絵カードを選ばせる。 </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵カード ・ 衣装 ・ 小道具 ・ マイク ・ テーブルレコーダー ・ レコード ・ 小道具 ・ ポスターカラー ・ 紙 ・ ゴム板 ・ 絵の具 ・ VTR ・ 衣装 ・ 小道具 	<p>生・遊 1-2</p> <p>国 1-10</p> <p>音 1-6, 10</p> <p>道 2-(3)</p> <p>生・基 1-31</p> <p>図 1-5</p> <p>道 2 -(3)</p> <p>生・役 1-1</p> <p>図 1-5</p> <p>国 1-5</p> <p>12~14</p> <p>生・役 1-1</p> <p>国 1-1, 2</p> <p>3</p> <p>国 2-9</p> <p>生・交 1-5</p>

小学部 低学年

単元名	もうすぐお別れ		月(時数)	3月(16時間)
単元に ついて	<p>低学年の子供たちは、これまでの学習を通して学級の友達と一緒に活動しようとするようになってきており、自分や友達の学年、組についても徐々に意識が持てるようになってきている。また、着替えが少しずつ一人でもできるようになったことや、これまでのいろいろな行事や学習などに教師や友達と頑張ってきたことなど賞賛されたい欲求を持っている。さらに、6年生が卒業していくことやもうすぐ教師や友達と別れて、進級するということについては具体的な活動を通すと、断片的ではあるが理解することができる。</p> <p>そこでこの単元では、VTRや写真、作品帳など学習の記録などを見て、これまでの主な行事や係の仕事などを、教師や友達とみんなで楽しく活動してきたことを振り返らせて、1年間頑張ってきたことを認めて、それぞれの成長を賞賛するようにしたい。そして、写真カードや文字カードなどで、1年生、2年生の友達について確認をしたうえで、2年生は3年生になって2組へ行ってしまふことや、1年生は2年生になって1組に残ることなどを、写真カード等の具体物の操作や、実際に2組の教室を見に行くといった活動を通してとらえさせ、みんながもうすぐ別れることを知らせるようにする。また、6年生へプレゼントを作ってお別れ会で贈ったり、一緒に踊ったり歌ったりしたあと「おめでとうございます」「さようなら」と言えるようにしたり、卒業式に参加したりすることを通して、6年生とお別れすることを具体的に知らせるようにしたい。最後に、1年間の作品帳の表紙作りや教室の整理をさせるようにしたい。</p>			
目 標	<p>○ VTRや写真などを見て、1年間みんなでいろんな学習をしたことを振り返らせたり、絵カード等の具体物の操作や、2組を見に行くといった実際の活動を通して、もうすぐ学級の友達や教師と別れて新しい学年になることを知らせたり、お別れ会や卒業式を通して6年生と別れることに関心を持たせるようにしたりする。</p>			
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容	
<p>1 1年間を振り返る。</p> <p>(1) 主な行事を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入学式、学校にとまろう 運動会、附養まつり等 <p>(2) 成長したことを聞く。</p> <p>(3) もうすぐ別れることを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTRや写真を見せたり、用具を提示したりして、これまでの行事や学習したことを思い出させる。 ・ 体が大きくなったことや、行事や学習等で頑張ってきたことなどを、成長の記録表や身体図、連絡帳等で具体的に取上げて一人一人の成長を賞賛する。 ・ 写真や文字カード 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 行事や学習に使った用具 ・ 成長の記録表 ・ 身体図 ・ 連絡帳 ・ 写真カード 	<p>生・交 1-5</p> <p>国 1-3</p> <p>2-3, 6</p> <p>道 1-(2)</p> <p>生・交 1-2, 4</p>	

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<p>2 お別れ会をする。</p> <p>(1) お別れ会について話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日, 日程, 内容 <p>(2) プレゼントを作る。</p> <p>(3) お別れの言葉の練習をする。</p> <p>(4) お別れ会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 別れの言葉 ・ 歌, リズム ・ プレゼント <p>3 卒業式の全体練習に参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石席, 拍手, 礼 ・ 式歌 <p>卒業式に参加する</p> <p>4 作品や教室の整理をする。</p> <p>(1) 作品展を作る。</p> <p>(2) 教室の整理をする。</p>	<p>組になったり, 1年生が1組に残ることなどを知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ VTR等で6年生と一緒に活動したことを思い出させる。 ・ 6年生の写真を選ばせて, 関心を高めさせる。 ・ プレゼントは手形押しや自由描きの絵などをもとに製作させる。 ・ お辞儀をしたり, 握手をしたりしながらお祝いの気持ちを「おめでとうございます」「さようなら」などと言葉や行動で表現させるようにする。 ・ VTRを通して, 卒業生の成長の様子を知らせる。 ・ 卒業生と一緒に, 手をつないで歌ったり, 踊ったりする場面を設定する。 ・ 昨年のVTRを見せて, 拍手や礼をしたり, 話の間静かにしたりすることなど卒業式の様子を知らせるようにし, 儀式の改まった雰囲気を感じ取らせる。 ・ 1年間の学習の作品をつづった作品展の表紙の絵を描いたり, 名前を書いたりさせる。 ・ 次の1組さんのために, 教室をきれいにしてあげingことを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文字カード ・ VTR ・ 写真カード ・ 紙粘土 ・ 色画用紙等 ・ 文字カード ・ VTR ・ テープレコーダー ・ VTR ・ 作品 ・ 画用紙 ・ クレパス 	<p>算 1-6</p> <p>生・交 1-2</p> <p>図 1-5, 6</p> <p>国 2-14 道 2-(1) 生・交 1-4</p> <p>生・役 1-1 音 1-18</p> <p>生・決 1-2 道 2-(1) 音 1-18</p> <p>図 1-15</p> <p>生・手 2-3, 5 道 2-(2)</p>

小学部 中学年

単元名	楽しい学級		月(時数)	4月(16時間)
単 元 に つ い て	<p>初めてランドセルを買ってもらい喜んで登校してきた3年生の子供たちは、教室や友達、教師が変わったことで、1組から進級したことをようやく理解しつつある。引き続き2組の4年生は、学級の様子が変わって、新たな学校生活が始まることへ期待感を抱いている。とはいえ、3、4年生とも学級の構成メンバーが変わったり、今までと違う活動に取り組んだりすることで情緒が不安定になりやすい子、環境の変化にすぐ対応できない子等も見受けられる。</p> <p>そこで、本単元では進級した子供たちが、新しい教師や友達と楽しく活動できるようにし、進級の喜びを持たせ、早く新しい学級になじませ、学級の一員として生活しようとする態度を養うようにする。具体的には、学年や組、教師や友達、自分の机やロッカーの場所、係の仕事など子供たちの学校生活にとって、より身近な事柄を取り上げて知らせ、安心感を持たせるようにする。次に、一日の学校生活の流れや一学期の行事調べをして、これからの生活への期待感を持たせるようにする。また、紙の輪飾りのプレゼントを作ったり、自己紹介をしたりなど歓迎会の準備や練習をして参加することで、新入生を温かく迎えるようにする。更に、「仲よし散歩」に出掛け、リュックサックなど持ち物の取り扱い方や集団行動に慣れさせる活動をしながら、春の自然のもと、教師や友達と伸び伸びと活動させるようにする。</p> <p>こういった学習を通して、2組の子供たちは新しい学校生活へ早く慣れ、友達と教師との信頼関係を育てることができるようになる。そして、活動にも広がりが出てきて、学級の一員として、生き生きと学校生活を送ることができるようになると思える。</p>			
	目 標	<p>○ 新しい先生や友達、学年、組などを知ったり、新入生の歓迎会に参加したり、春の自然のもとで「仲よし散歩」等の活動をしたりすることにより、進級の喜びを持たせるとともに、学級の一員として生活しようとする態度を養う。</p>		
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容	
<p>1 新しい学級について話し合う。</p> <p>(1) 自分の学年、組を知る。</p> <p>(2) 先生や友達のことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 先生や友達の名前 <p>(3) 自分の机、靴箱、ロッカー等の位置を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年生は、1組から2組に移動したことやバッグからランドセルに変ったことなどから、進級の喜びを持たせる。 ・ 4年生へは3年生を温かく迎えるよう上級生としての態度について話をする。 ・ 個人別写真と対応して、名前カードを置いたり、名前を書いたりさせる。 ・ 机や靴箱、ロッカーへ名札をはりさせることにより、自分の位置を知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人別写真 ・ 名前カード ・ 絵カード ・ 名札 	<p>生・交 2-1, 2</p> <p>国 2-11 20</p> <p>生・基 2-38</p>	

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<p>(4) 学級の係を決める。</p> <p>2 「1日の学校生活の流れ」を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 登校→更衣→係の仕事→1校時→…給食→昼休み→清掃→更衣→下校 <p>3 一学期の行事を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一日遠足, 小運動会, 乗り物見学, 宿泊学習など <p>4 歓迎会の準備をして参加する。</p> <p>(1) 自己紹介の練習をする。</p> <p>(2) プレゼント作りをする。</p> <p>(3) 歓迎会に参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 歌, リズム <p>5 「仲良し散歩」をする。</p> <p>(1) 「仲良しさん」の相手を知る。</p> <p>(2) 「仲良し散歩」に出掛ける。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 20px;">春の一日遠足に参加する</div>	<ul style="list-style-type: none"> • どの係があるか発表させ、やりたい係を決めさせる。 • 絵カードの中から係を選ばせる。 • 4年生は絵カードや写真等で思い出させる。3年生は、係の仕事や清掃など初めてのことがあるので、実際に活動させて知らせる。 • 昨年度の写真や、VTRなどで一学期の行事を見せて、楽しい活動があることを知らせる。 • 名前, 学年, 得意なことなど話せるようにする。 • 文字カードや身体表現などで簡単な自己紹介をさせる。 • プレゼントは簡単な輪飾りを作らせる • 新入生や新任の教師とも、手をつないだりあいさつをしたり等、かかわる場を設ける。 • 学部の「仲良しさん」は、互いの実態を考慮して決める。 • 学部の「仲良しさん」と手をつないで学校の近辺の川べり, 公園などへ歩いて出掛け, おやつを食べたり, 遊んだりして楽しく過ごさせる。 • 決まりを守って行動させるとともに, お弁当の準備や持ち物の整理など, 個々の実態に合わせてできるだけ自分でさせるようにする。 • つくしや白つめ草などを摘んだり, 花飾りを作ったりして, 春の草花へも目を向けさせる。 • 春の一日遠足でも, 「仲良し散歩」で学習したことを思い出させ行動できるようにして, 楽しく参加させる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 絵カード • 絵カード • 写真 • VTR • 文字カード • 色紙 • テープレコーダー • 絵カード • リュック • サック • 水筒 • 弁当箱 • はし入れ • 手ふき • 敷物 • ビニール袋 	<ul style="list-style-type: none"> 生・役 1-2 2-4 生・決 1-1 3-1 生・交 3-1 国 3-4 2-11 道 2-(1) 図 2-10 生・交 2-9 生・基 2-11 生・基 3-1 生・自 2-1 道 3-(1) 生・交 1-3

小学部 中学年

単元名	のりものごっこ		月(時数)	5月(24時間)
単 元 に つ い て	<p>子供たちは、自由に乗り物のおもちゃで遊んだり、自転車や模擬バスなどの乗り物に乗ったりして遊ぶことが好きである。その遊びの様子を見ると、まだ一人遊びや平行遊びをしていたり、自分のしたいようにして遊んでいた様子が見られるものの、模擬バスなどを使って友達と一緒に運転手やお客さんになって楽しく遊んでいる様子も見られるようになってきつつある。</p> <p>そこで本単元では、このような子供たちの興味・関心がある乗り物を取り上げ、教師や友達と一緒に乗り物ごっこをすることができるようにするとともに、乗り物への興味・関心や知識を広げるようにする。その際、模擬バスを使って乗り物ごっこをさせるが、運転手やお客さんの役を交代して遊ぶなどの簡単な決まりや役割を決めて遊ばせ、子供たちに遊びのルールや遊びの中での自分の役割を体験的に学習させるとともに、教師や友達と一緒に遊ぶ楽しさを十分味わわせていきたい。また、実際に乗り物を見学したり、乗り物の絵本を見たりおもちゃで遊んだりする中で乗り物の名前調べや音当てをしたりして、乗り物への興味・関心や知識を広げるようにしたい。さらに、自家用車通学や親子一緒にバス通学から、一人通学へと変わる子供もいる中学年段階の実情も考慮し、実際にバスを使って出掛ける活動も経験させ、利用の仕方も知らせるようにしたい。</p> <p>このような学習を通して、子供たちは、ふだんの遊びの中で教師や友達とかかわりを持ちながら遊ぶようになったり、いろいろな乗り物に興味・関心を持つようになったりするものと考えている。</p>			
目 標	<p>○ 教師や友達と一緒に、乗り物の名前調べや音当て、リズムをしたり、模擬バスを使って乗り物ごっこをしたりすることができるようにするとともに、乗り物への興味・関心や知識を広げる。</p>			
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容	
<p>1 乗り物の見学に行く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バス、パトカー、白バイ、船、電車(列車)、飛行機 <p>2 乗り物調べをする。</p> <p>(1) 乗り物のおもちゃで遊んだり、絵本を見たりする。</p> <p>(2) 乗り物の音当てをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通機動隊や港、空港などに行って見学させる。 ・ 見学場面では、見るだけでなく実際に乗り物に乗車させて、体験的に学習させるようにする。 ・ 身近な乗り物のおもちゃや絵本を用意し、遊ばせたり、見せて名前を言わせたり、仲間集めなどをさせたりする中で、乗り物への興味・関心や知識を広げるようにする。 ・ 救急車、パトカーなどの音を出して走 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乗り物のおもちゃ ・ 絵本 ・ 絵カード 	<p>生・遊 1-3, 5</p> <p>生・社 1-3</p> <p>図 2-2</p>	

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<p>(3) リズム遊びをしたり、模倣したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歌やリズム ・ 乗り物の模倣 <p>3 乗り物ごっこをする。</p> <p>(1) 乗り物で遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手こぎ足こぎ車 ・ 三輪車、自転車 ・ アコーレーサー ・ 箱車 ・ 模擬バス <p>(2) 乗り物ごっこをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 模擬バス（電車） ・ 運転手 ・ 降車ボタン ・ 友愛パス ・ 整理券 <p>4 乗り物に乗って出掛ける。</p> <p>(1) 行き先を聞く。</p> <p>(2) 利用の仕方を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 停留所等での待ち方 ・ 整理券の取り方 ・ 友愛パスの見せ方 ・ 車内でのマナー <p>(3) 乗り物に乗って出掛ける。</p> <p>5 反省をする。</p>	<p>る車だけでなく、電車やバスなどの音も聞かせてその名前が分かるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵や写真、VTR、おもちゃなどを見せたり、いろいろな乗り物の音を聞かせたりしながら、乗り物に関する興味・関心を持たせる。 ・ 子供たちが慣れ親しんでいる曲を選択し、表現は簡単な内容にとどめるようにする。 ・ 最初は、自分で好きな乗り物を選び、自由に遊んだり、順番に乗ったりさせる。 ・ 乗り物は交代で選ばせるようにするとともに、教師が押してあげたり、逆に押させたりして遊ばせる。 ・ より楽しい雰囲気になるように、バスの効果音や音楽などを流す。 ・ 運転手や乗客のつもりになって遊べるように、帽子を用意したり、バス停や駅の表示を設定したりする。 ・ 簡単な決まりや役割を決めたり、切符やパスなどを持たせたりして、状況が連想しやすいようにする。 ・ 遊びは教師がリードしないように配慮しながら、役割を交代したり、子供同士、子供と教師がかかわることができるようにしたりする。 ・ ごっこ遊びで学習したことを実際の場面に反映させるために、市電や市バス等を利用させ、バスを使ったり、切符（回数券）を使ったりさせる。 ・ 整理券の取り方、降車ボタンの押し方等や車内でのマナーについて知らせ、事前に模擬的な日程で実際練習をさせる。 ・ 通学と関連付け、まとめるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テープレコーダー ・ 絵 ・ 写真 ・ VTR ・ 乗り物のおもちゃ ・ テープレコーダー ・ 手こぎ足こぎ車 ・ 三輪車 ・ 自転車 ・ アコーレーサー ・ 模擬バス ・ 箱車 ・ 帽子 ・ バス停や駅の表示 ・ 模擬バス ・ 友愛パス ・ 切符 ・ 友愛パス ・ 回数券 ・ 整理券 ・ お金 ・ 財布 ・ VTR 	<p>算 1-4</p> <p>音 2-4, 6, 8</p> <p>国 1-7</p> <p>生・遊 1-7</p> <p>2-4</p> <p>5, 9</p> <p>道 2-(3)</p> <p>生・遊 2-1</p> <p>道 2-(3)</p> <p>4-(1)</p> <p>生・決 1-7</p> <p>2-8</p> <p>道 4-(1)</p>

小学部 中学年

単元名	校内宿泊学習		月(時数)	6月(32時間)
単 元 に つ い て	<p>子供たちは、4月からこれまでに教師や友達と一緒に自己紹介や遠足ごっこをしたり、乗り物ごっこをしたりして、教師や友達と一緒に活動する楽しさを味わうとともに、自己紹介や遠足の用具の取り扱い、友愛パスの使い方など自分のことは自分でしようとする様子が見られる。身辺処理の様子を見ても、衣服の着脱や洗面は大まかにできるようになってきている子供が多い。また、衣服の着脱や歯磨き・手洗いなどについて教師の部分的身体的援助を必要としたり、必要以上に援助を求めたり、行動をなかなか起こそうとしなかったりする子供でも、小さなボタンからつかみやすい大きさのボタンに替えると、援助を求めることなく自分からボタンはめをしようとするなど、できそうなことは自分でしようとする様子は見られる。また、1年生から2～3回校内宿泊を経験し、6月末に行われる校内宿泊に対する興味・関心を持っている。</p> <p>そこで、本単元では、このような子供たちに対して、校内に宿泊する当日の日程に、子供たちの興味・関心のあるおやつ作り・お楽しみ会などの活動や身辺処理に関する入浴、就寝・起床時の衣服の着脱、洗面、歯磨きなどの活動を組み込んだり、事前に繰り返して練習させたりして、教師や友達と一緒に校内に宿泊することの楽しさを味わわせるとともに、自分のことは自分でしようとする意欲や態度を促し、身辺処理の技能を高めようとするものである。</p> <p>このような学習を通して、子供たちは、教師や友達と一緒に楽しく校内に宿泊することができるようになるとともに、自分のことは自分でやり遂げたいという満足感を味わい、自立心を育てていくと考えられる。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 衣服の着脱や洗面、歯磨きなどの基本的な身辺処理を自分からしようとする態度を育てる。 ○ 教師や友達と一緒に簡単なおやつを作ったり、お楽しみ会をしたりして、楽しく学校に宿泊できるようにする。 			
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容	
<p>1 校内宿泊学習について話し合う。</p> <p>(1) VTRで昨年の宿泊学習の様子を見る。</p> <p>(2) やりたいことを発表する。</p> <p>2 宿泊の準備や練習をする。</p> <p>(1) お楽しみ会と寝起きの練習をする。</p> <p>○ 花火の練習をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ おやつ作りやお風呂、お楽しみ会を中心に見せ、どんな活動をどのようにしたかを絵カードや用具なども一緒に提示して見せることで、宿泊学習に対する意欲を高める。 ・ やりたいことを発表したり、文字カードに書いたりさせる。 ・ 絵カードを指さしたり、用具を取ったりさせる。 ・ 子供たちの興味・関心のある活動を中心に持ってきて、身辺処理に関する活動は独立した活動としてではなく、興味・関心のある活動の自然な流れの中や日程の流れに沿った形で扱うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 宿泊用具 ・ 絵カード ・ 文字カード ・ 花火 ・ 花火入れ ・ ござ ・ バッグ 	<p>生・遊 2-2 ～3 道 2-(1)</p> <p>国 2-2～3</p> <p>道 1-(1) 4-(2)</p> <p>生・基 2-19～24</p>	

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<ul style="list-style-type: none"> ○ 手洗いをする。 ○ 着替えをする。 ○ タオルケットを広げる。 ○ 寝る(起きる)。 ○ タオルケットを畳む。 ○ 洗面をする。 ○ 歯磨きをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の興味・関心のあるキャラクターのものや種類の違う花火を用意し、選ばせ、安全に注意させながら、一人で遊べるようにする。 ・花火が見え、取りやすいように入れ物を工夫し、自分で選ばせるようにする。「きれいだね」、「もっとしたいね」などの言葉掛けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・脱衣かご ・着替え ・パジャマ ・タオルケット ・タオル ・歯ブラシ 	道 2-(1)
<p>(2) おやつ作りの練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 買物をする。 ○ 給食着を着る。 ○ 調理(例 ホットケーキ)をする。 手を洗う。 材料をボールに入れる。 混ぜる。 焼く。 飾り付けをする。 ○ 食べる。 ○ 給食着を脱ぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度までに作ったおやつを準備しておき、見せたり、絵カードを示したりして、選ばせる。 ・材料や用具を準備するところから手伝わせ、おやつ作りの活動への見通しを持たせる。 ・使う用具を幾種類か用意し、選ばせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達と一緒に材料や用具を選ばせ、材料や用具に親しませる。 ・混ぜる、切るなどの活動をさせるときできるだけ一人でできるように用具を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品例 ・給食着 ・絵カード ・材料 ・調理用具 <p>生・役 2-5 生・金 1-3 2-2 道 2-(3)</p>
<p>(3) 入浴の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 準備をする。 ○ 衣服を脱ぐ。 ○ ふろに入る。 ○ 洗う(手足、顔)。 ○ 衣服を着る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・脱いだ衣服を自分で始末できるようにロッカーを決めさせたり、脱衣かごや汚れ物用のビニール袋を用意したりする。 ・できるだけ一人で衣服の着脱ができるように、衣服の種類やボタン、着方などを工夫させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タオル ・入浴用タオル ・せっけん ・シャンプー — 	<p>生・基 2-30 ~34 道 4-(2) 道 1-(1)</p>
<p>3 校内に宿泊する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当日はできるだけ指示を少なくして、自分でしたり、教師や友達と一緒にしたりするように促す。 		<p>2-(1), (3) 4-(2)</p>
<p>4 反省をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・VTRを視聴させて、した活動や楽しかった活動を発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・VTR ・宿泊用具 	<p>国 2-2~3</p>

小学部 中学年

単元名	夏の遊び		月(時数)	7月(16時間)
単 元 に つ い て	<p>子供たちは、休み時間、友達と一緒に同じ乗り物に乗って遊んだり、砂場でだんごや山を作ったりして遊んでいる。暑くなると、ホースから水を出して泥んこ遊びをしたり、発泡スチロールやプラスチックの容器などを水に浮かべて遊んだりしている子供も見られる。その様子を見ると、教師や友達を誘って一緒に遊んでいたかと思うと、すぐに自分の遊びだけに夢中になってしまいがちではあるが、教師が中に入ると、言葉を掛け合ったり、道具を貸し合ったりして遊ぶこともできるようになってきつつある。</p> <p>そこで、本単元では、このような子供たちに対して、教師や友達と一緒に、水鉄砲で水の掛け合いっこをさせたり、シャボン玉を作って飛ばしっこをさせたり、流しっこ遊びをさせたりなどして教師や友達とかわり合いながら水を使った遊びをすることができるようにしていきたい。</p> <p>指導に当たっては、子供たちの日ごろの遊びを取り入れながら、子供たちが、話をしたり、おもちゃと一緒に使ったりなどする場を多く設定して、教師と子供たちが、そして、子供たち同士がかわり合いながら遊べるようにしていきたい。また、空の容器などの身近な材料に、自分なりに飾りを付けたり、簡単な絵を描いたりして、水鉄砲やシャボン玉吹きなどを作らせ、それらを使って遊ぶことによって、自分たちで作った物で遊ぶ楽しさも味わわせていくようにしたい。</p> <p>このような活動を通して、子供たちは、教師や友達とかわり合いながら遊ぶ楽しさを一層味わい、自分から教師や友達を誘って遊ぼうとするようになると思われる。</p>			
目 標	<p>○ 水鉄砲を作ったり、シャボン玉吹きを作ったりなどして、教師や友達と一緒に、楽しく遊ぶことができるようにする。</p>			
主な学習活動・内容	(High)	留意点	(Low)	準備 関連内容
<p>1 夏の遊びについて話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水遊び ・ 六月灯 ・ 「海へ行こう」 <p>2 水遊びをする。</p> <p>○ 水鉄砲遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水鉄砲作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTRや写真などを見せて、今まで経験した夏の遊びを思い出させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTRや写真などを見せたり、実際にさせてみたりするなどして、夏の遊びについて知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 写真 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水着 	<p>道 3-(1) 国 2-3, 5, 6</p> <p>道 2-(3) 4-(1) 図 2-11</p>

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 水鉄砲遊び 	<ul style="list-style-type: none"> ・ シャンプーやペットボトルの空容器などいろいろな身近な材料を準備し、子供たちに自由に選ばせながら絵をかいたりテープを張ったりなどして作らせる。 ・ 子供たちに基地を 作らせ、水鉄砲で掛 け合いをさせるなど して遊ばせる。 ・ 教師と一緒に水を 掛けたり、逃げたり して、水鉄砲遊びに 参加させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空容器 ・ 油性ペン ・ ビニールテープ ・ 水鉄砲 	<p>生・遊 2-7</p>
<p>○ 流っこ遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 船、魚作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発泡スチロールに油性ペンで形や模様をかいたり、切ったり、組み合わせたりなどして船や魚を作らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発泡スチロール ・ 接着剤 	<p>図 2-11</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 流っこ遊び 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 滑り台などの下にミニプールを置いたり、ビニールシートを敷いたりしておき、その中に物を流し入れさせたり、子供たちにも滑らせたりなどしてダイナミックに活動させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 油性ペン ・ 滑り台 ・ ミニプール ・ 水着 	<p>生・遊 2-7 体 1-21</p>
<p>○ シャボン玉遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シャボン玉吹き作り ・ シャボン玉遊び 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな形、大きさのストローを準備し、シャボン玉をさせるようにする。 ・ シャボン玉のできるおもちゃを使った り、シャボン玉割り をさせたりして、遊 びをさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ストロー ・ シャボン玉液 	<p>図 2-11 生・遊 1-8</p>
<p>3 氷遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 氷作り ・ かき氷作り ・ ジュース作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 氷を作ったり、触ったり、かき氷やジュース作りをしたりして、いろいろな方法で氷に触れさせるとともに、氷を使った遊びに関心を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 氷 ・ かき氷器 ・ かき氷のみつ 	
<p>4 海に出掛け、遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水遊び、砂遊び ・ すいか割り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海では、なるべく自由に遊ばせるが事故のないように安全面には十分注意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皿 ・ 果物 ・ ミキサー 	<p>道 3-(1) 生・自 1-1, 2</p>
<p>5 夏休みの生活について話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海へ行くこと ・ プールへ行くこと ・ 花火をすること など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に花火をしたり、海やプールの絵や写真を見せたりして、夏休みへの興味・関心を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コップ ・ 暦 ・ 絵・写真 ・ 花火 	<p>国 2-5, 6</p>

小学部 中学年

単元名	新しい2学期		月(時数)	9月上旬(8時間)
単 元 に つ い て	<p>子供たちは、夏休み期間中、ゆったりとした生活を送るとともに、海や山に出掛けたり、ラジオ体操に参加したりなどの経験を積んできている。その中で頑張ったことや楽しかったことなどに喜びを感じ、教師や友達に伝えたいという欲求を持ちつつある。しかし、夏休みの生活は、長時間、学校を離れて家族との関係を中心にした生活であったために、2学期が始まったばかりのこの時期は1学期に比べ、やや自己中心的な行動や態度を示し、再び始まった学校生活のリズムに慣れ、意欲を持って活動に取り組もうとするまでには至っていない状態である。つまり、友達と仲良く活動できなかったり、1日の学校生活の流れや学級の係等が不明確であったり、また、2学期にはどのような行事があるのかといった期待感を持ってなかったりする子供が多い。</p> <p>本単元は、このような子供たちに対して、写真や絵日記等を基に教師や友達と一緒に夏休みの思い出や出来事を話し合ったり、夏休みに体験した水遊びや花火などを追体験したりすることにより夏休みの生活を振り返らせるとともに、友達のことにも関心を持たせ、教師や友達と一緒に活動することの楽しさを味わわせたいと考える。また、VTRや写真、教師の話等を基に1日の学校生活の流れや学級の係等を確かめ合ったり、2学期の行事について、模擬の活動をしたりすることを通して、1日の学校生活の流れや学級の係等を再確認するとともに、2学期の学校生活に期待感を持たせるようにしようとするものである。</p> <p>このような活動を通して、子供たちは、夏休みに経験したことを振り返るとともに学校生活へ気持ちをスムーズに切り替えることができ、楽しい2学期を送ることができるようになっていくと考える。</p>			
	<p>目 標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教師や友達と一緒に夏休みの思い出を発表したり、水遊びや花火などを追体験することにより夏休みの生活を振り返るとともに、教師や友達と一緒に活動することの楽しさを味わわせる。 ○ 教師や友達と一緒に、学級の係や1日の学校生活の流れを確かめたり、行事を調べたりすることを通して、2学期の生活への意欲を持たせる。 			
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)		準備	関連内容
<p>1 教師と一緒に夏休みの思い出を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 写真、夏休みの課題帳、採集物 ・ 水遊び、花火、おやつ作りキャンプ、旅行、墓参りなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭から持ってきた写真や作品等を基に、教師が質問して子供がそれに答えるといった方法で発表させる。 ・ 生活表(母親記入)や写真等を基に、教師が話をし、写真に写っている自分を指さしさせたり、動作化させたりする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真 ・ 課題帳 ・ 生活表 ・ 採集物 	<p>国 2-6 生・役 2-4 生・自 2-2</p>

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<p>2 友達や教師と遊ぶ。</p> <p>(1) 準備をする。</p> <p>○ 遊び道具を運ぶ。</p> <p>(2) 水遊び, 砂遊び, ままごと遊び等をする。</p> <p>(3) 後始末をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最初にあった場所 ・ 教師や友達と一緒に 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊び道具類は, 友達と一緒に持ち運びしやすいように適当な大きさの箱等に分けて入れておく。 ・ 自由な雰囲気の中で伸び伸びと活動させるとともに, 夏休みに家庭で行った遊び等も取り入れて, 子供たちが互いにかかわり合えるような場の設定をする。 ・ 使った物は自分たちで後始末するよう言葉掛けし, 後始末させる。 ・ 教師や友達の活動を見せるなどして, 後始末させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水着 ・ ビニールプール ・ ままごと道具 	<p>道 2-(3)</p> <p>生・遊 2-1</p> <p>生・遊 2-1</p> <p>5, 7, 11</p> <p>12</p> <p>体 2-7, 8,</p> <p>17, 18</p> <p>生・基</p> <p>2-32~34</p> <p>生・交 2-7</p>
<p>3 「1日の学校生活の流れ」を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登校→連絡帳提出→更衣→係の仕事→1校時→給食→掃除→更衣→下校 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵カードや写真等を見せたり, 実際に活動させたりして一日の学校生活の大きな流れを思い出させる。 ・ 写真や文字カード等を使って, 1日の生活の流れ図を作らせる。 ・ 絵カードや写真等を見せてその活動名を言わせたり, 簡単な活動をさせたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真 ・ 絵カード 	<p>生・決 2-3</p> <p>9</p> <p>10</p>
<p>4 学校の係や当番を確認する。</p> <p>(1) 係や当番を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 金魚のえさ係 ・ 天気調べ係 ・ 暦のめくり係 ・ 花の水掛け係 ・ 机ふき係 <p>(2) 係や当番の仕事の内容を確かめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間を通して同じ係をさせることにより, 自分の係を意識させ, 定着させるようにする。 ・ 係や当番の活動をしているところの写真や絵カードを見せたり, 教師と一緒に実際の活動を行わせたりして, 内容や手順を思い出させる。 ・ 日常生活の指導と関連を持たせ, 実際的な状況下で定着するまで段階的に指導するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真 ・ 絵カード ・ 係黒板 ・ 係の用具 	<p>生・役 2-4</p> <p>生・交 2-9</p> <p>算 2-13</p>
<p>5 教師の話の聞いたり写真やVTRを見たりして, 2学期の行事を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動会, 校外宿泊学習, 附養まつり, もちつき大会, クリスマス子ども会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度の写真やVTRを見せ, 2学期の行事を知らせる。 ・ 写真やVTR, 行事で使用する用具等を基に, 教師や友達と一緒に簡単な活動をさせ, 2学期も楽しい活動がたくさんあることを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵カード ・ 写真 ・ VTR ・ 行事の用具 など 	<p>国 2-2, 4</p>

小学部 中学年

单元名	運 動 会		月 (時数)	9月 (24時間)
単 元 に つ い て	<p>子供たちは、走ったり、ボールで遊んだり、身体表現したりするなど、教師や友達と一緒に楽しく体を動かすことが好きで、体全体を動かす競技や演技のある運動会を楽しみにしている。また、ここまでに家族の声援の下、かけっこや団体競技などを頑張った経験が何回もあり、運動会のイメージを持ちやすく、運動会への期待感も見られる。しかし、子供たちは教師や友達と一緒に楽しく体を動かしたい欲求はあるものの、自分の好きな運動会が中心になってしまったり、指示や合図に従って集合や整列、あるいは競技や演技をしたりすることが十分にできなかったりするために、教師や友達と一緒にかけっこや団体競技などの運動をする楽しさを十分味わっている様子はなかなか見られない状態であると言える。</p> <p>そこで、このような子供たちに対して本単元では、教師や友達と一緒にかけっこや団体競技などをしたり、集合や整理をしたりする活動を楽しくさせることで、運動をする楽しさを十分味わわせていくとともに、指示や合図を守って集団行動をすることができるようにしていきたい。また、運動会の練習を繰り返したり、身近な人へ案内状を書いたりして、運動会への期待感や意欲を高め、自分から進んで参加しようとする気持ちを持たせるようにしていきたい。</p> <p>このような活動を通して、子供たちは、運動会への期待感が高まり、積極的に運動会に参加しようとする気持ちを持つことができるようになっていくと考える。</p>			
	目 標	<p>○ 教師や友達と一緒に、かけっこや団体競技、綱引きなどをしたり、集合や整列をしたりすることにより、運動をする楽しさを味わわせるとともに、指示や合図を守って競技や演技、集団行動ができるようにする。</p> <p>○ 運動会の練習を繰り返したり、案内状を作ったりして、積極的に参加しようとする態度を培う。</p>		
主な学習活動・内容	(High) 留 意 点 (Low)		準 備	関連内容
<p>1 運動会について話を聞く。</p> <p>(1) VTRで昨年の運動会を見る。</p> <p>(2) 今年の運動会について話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出場種目 ・ 期日 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTRを見せたり、運動会の用具を提示したりして、出場した種目などを発表させる。 ・ 種目の絵カードや 曆などを見せ、種目 や期日などを知らせ る。 ・ 種目の絵カードを 見せたり、模倣をさ せたりして、運動会 への期待感を高める ようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 運動会用具 ・ 絵カード ・ 曆 	<p>生・交 2-4</p> <p>国 2-2</p>

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<p>2 運動会の準備や練習をする。</p> <p>(1) 自分の組を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組分け ・ 仲間調べ <p>(2) かけっこをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スタートの姿勢 <p>(3) リズムをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入退場の仕方 <p>(4) 「赤かて白かて」(団体競技)をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平均台→トンネル→大玉転がし→… <p>(5) 案内状を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なぞり書き <p>(7) 全体練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集合、整列、行進 ・ 開、閉会式 ・ 綱引き ・ 紅白リレー など <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>運動会に参加する</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師や友達の活動を模倣させたり、飾り付けをさせたりしながら、運動会のイメージを膨らませていく。 ・ 写真カードや名前カードを使って、自分の組や友達を調べさせる。 ・ 具体的な活動を繰り返し行わせることにより、活動の仕方や用具の使い方に慣れさせる。 ・ 各種目は、入場から退場までの一連の流れで練習させ、見通しを持って活動できるようにする。 ・ 教師や友達の動き方を見たり、模倣したりして、一人で活動できるようにする。 ・ 絵カード(種目名)と文字カード(用具名)をマッチングさせたり、塗り絵をさせたりしながら、名称の定着を図る。 ・ 教師の指示により、友達と一緒に決められた場所に集まらせて、上級生と一緒にスムーズに活動できるようにする。 ・ 練習中の水分補給や練習後のうがい・手洗い、汗ふきなどを十分にさせて、健康面に留意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 応援旗 ・ 万国旗 ・ 体育帽子 ・ 顔写真カード ・ 名前カード ・ 運動会用具 ・ ゴールテープ ・ テープレコーダー ・ 絵カード ・ 文字カード ・ 運動会用具 ・ VTR 	<p>算 2-2 道 2-(3)</p> <p>体 2-15</p> <p>体 2-23, 24</p> <p>生・役 2-2 国 2-15 道 4-(6)</p> <p>生・決 2-9 体 2-4 道 1-(3)</p> <p>国 2-4, 5 6</p>
<p>3 運動会の反省をする。</p> <p>(1) VTRを見る。</p> <p>(2) 楽しかったことを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTRの場面に合わせて、再活動させながら、自分の出場した種目を発表させる。 		

小学部 中学年

単元名	校外宿泊学習		月(時数)	10月(32時間)
単 元 に つ い て	<p>子供たちは今までに2～3回校外宿泊を経験し、おふろやお楽しみ会、寝起きなど学級を解いた縦割りのグループで、教師や友達と一緒に活動する楽しさを体験してきた。また、教師の言葉掛けや援助は必要なものの、一人で衣服の着脱や歯磨き、洗面などを自分からしようとするが多くなってきている。さらに、豊かな自然の中で解放され、その中で遊ぶ楽しさを味わったり、虫取りや落ち葉拾い、草花摘みなどをしたりして、自然に対する喜びや驚きをその子供なりに感じ取り、自然に対する興味・関心を持ちつつある。</p> <p>そこで本単元では、このような子供たちに対して、野山での活動やお楽しみ会、各グループでの活動で縦割りしたグループの中心的な役割やそれに近い役割をすることで、自分から教師や友達とかかわって一緒に活動する楽しさを味わわせ、校外に楽しく宿泊できるようにする。また、衣服の着脱や歯磨き、洗面などの身の回りのことを、子供が興味・関心を持って取り組む寝起きや入浴の練習の中で繰返し行うことで、活動への見通しを持たせ、教師の言葉掛けや援助がなくても、できるだけ自分からしようとする態度を育てる。さらに、野山で教師や友達と一緒にくっつけごっこやかくれんぼ、忍者ごっこなどの遊びをすることを通して、秋の自然に親しむことができるようにする。このような活動を通して、身辺処理を自分でしようとする態度を養い、集団での活動の楽しさが分かり、自然に対して興味・関心を持つことができると考える。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ お楽しみ会や寝起き、野山での遊びや虫取り、木の実集めなどの活動を通して、教師や友達と一緒に活動する楽しさを味わわせるとともに、楽しく校外に宿泊できるようにする。 ○ 衣服の着脱や洗面、歯磨きなど基本的な身辺処理を自分からしようとする態度を育てる。 ○ くっつけごっこやかくれんぼなどの遊びをしたり、虫取りや木の実集めをしたりして、秋の虫や草花などに親しむことができるようにする。 			
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)		準備	関連内容
<p>1 校外宿泊学習について話し合う。</p> <p>(1) VTRで昨年の様子を見る</p> <p>(2) やりたいことを発表する。</p> <p>2 宿泊の準備や練習をする。</p> <p>(1) 宿泊する場所を見学したり、野山で遊んだり、木の実拾い・虫取りをしたりする。</p> <p>(2) お楽しみ会の練習をする。</p> <p>○ キャンドルファイヤーをする(例)。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ やりたいことを発表したり、文字カードに書いたりする。 ・ 宿泊する場所を実際に見学したり、野山に行って遊んだり、木の実拾いや虫取りをさせたりして、活動を思い出させたり、見通しを持たせたりする。 ・ 縦割りで活動を2、3に組み入れる。 ・ 簡単な誓いの言葉を考えさせ、練習させる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 宿泊用具 ・ しおり ・ 写真 ・ 絵カード ・ ろうそく ・ ろうそく台 	<p>生・遊 2-2</p> <p>国 2-2 ～3</p> <p>道 1-(1)</p> <p>4-(2)</p> <p>国 2-6</p>

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容		
<p>迎え火の式 レクリエーション 送り火の式</p> <p>(3) 寝起きの練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ パジャマに着替える。 ○ 布団や毛布などを敷く。 ○ 寝る。(起きる。) ○ 普段着に着替える。 パジャマを脱ぐ。 普段着を着る。 ○ 布団や毛布などを畳む。 ○ 顔を洗う(歯を磨く)。 <p>(3) 入浴の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 準備をする。 ○ 衣服を脱ぐ。 ○ ふろに入る。 ○ 洗う。 ○ 体をふく。 ○ 衣服を着る。 <p>3 野山で遊んだり、虫取りや草花・木の実集めをしたりする。</p> <p>(1) いろいろな遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自由遊び ・ くっつけごっこ ・ かくれんぼ ・ 忍者ごっこ など <p>(2) 虫取りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 虫取り ・ 飼育 <p>(3) 草花や木の実を集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 採集 ・ ごっこあそび <p>4 校外に宿泊する。</p> <p>5 反省をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師や友達と一緒にかかわってレクリエーションができるようにする。 ・ 高学年がいない場合は、迎え火の式や送り火の式の司会などいろいろな係をさせる。 ・ 子供ができるだけ自分から着替えるように、家庭と協力して、ボタンの有無、ボタンやボタンホールの大きさ、パジャマの形、質、着脱のしやすさなどを検討する。 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入浴に必要な物を自分でバックから取り出させ、ビニール袋に下着類、ふろの中に持っていくものなどを分けさせる。 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 衣服の前後、裏表を区別できるように、後ろのすその部分にマークを付け、必ずマークを見てから着るように指導する。 </td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人で自由に遊ばせるとともに、教師や友達と一緒にかかわって、楽しく遊べるように、遊びを工夫する。 ・ 近くの公園や野原、野山などにも出掛け、自然そのものを生かした遊びを多く経験させる。 ・ 虫の鳴き声を聞かせたり、虫を近くでよく見せたり、飼育させたりして、虫を嫌がる子供にも親しみを持たせるようにする。 ・ 集めたものを使って、ままごとごっこをさせたり、お面などの簡単なものを作ったりさせて遊ばせる。 ・ 縦割りのグループで活動させる。 ・ 楽しかったことを中心に発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入浴に必要な物を自分でバックから取り出させ、ビニール袋に下着類、ふろの中に持っていくものなどを分けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衣服の前後、裏表を区別できるように、後ろのすその部分にマークを付け、必ずマークを見てから着るように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テープレコーダー ・ パジャマ ・ 布団 ・ 毛布 ・ ござ ・ 絵カード ・ 洗面器 ・ 着替え ・ ビニール袋 ・ 脱衣かご ・ タオル ・ 入浴用タオル ・ せっけん ・ シャンプー ・ くし ・ 捕虫網 ・ 虫かご ・ ビニール袋 ・ マニラボール ・ はさみ ・ のり ・ 草花 ・ 木の実 ・ VTR 	<p>生・基 2-19~24</p> <p>生・基 2-30~34 2-28</p> <p>生・自 2-1~2 7,8 道 3-(1) ~(3)</p> <p>道 1-(1) 2-(1), (3) 4-(2)</p> <p>国 2-2~3</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 入浴に必要な物を自分でバックから取り出させ、ビニール袋に下着類、ふろの中に持っていくものなどを分けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衣服の前後、裏表を区別できるように、後ろのすその部分にマークを付け、必ずマークを見てから着るように指導する。 				

小学部 中学年

単元名	附 養 ま つ り		月 (時数)	11月 (32時間)
単 元 に つ い て	<p>子供たちは、これまで2、3回の附養まつりを経験したり、実際に大学祭などを見学したりしてきており、祭りの雰囲気や活動内容など、大まかなイメージを持っており、身振りや言葉で附養まつりを表現することができる。また、これまでの経験から附養まつりを楽しみにしており、教師や友達と一緒に準備をしたり、みんなで祭りをしたりしようという意識を持ちつつある。</p> <p>そこで本単元では、どのようなみこしを作るか、出店の品物として何を販売するか、また、店の飾り付けはどのようにするかなど、祭りの準備についてみんなで話し合い、材料をみんなで準備したり、道具を交代で使いながらみこしや出店の飾りなどを作ったりすることを通して、祭りに向けてみんなと一緒に祭りに必要な物を作っていくという意識を高めていきたい。さらに、自分たちの作ったみこしをみんなで担いだり、品物の売り買いの練習で教師や友達とのやり取りを楽しんだりする活動を通して、教師や友達と一緒に活動する喜びを味わわせていきたい。</p> <p>このような活動を通して、子供たちは、教師や友達と一緒に活動する喜びを味わい、教師や友達との関係を深めるとともに、みんなで祭りをしようとする態度を育てていくことができるようになると思う。</p>			
目 標	<p>○ みこしや出店の品物など作りたい物をみんなで話し合い、祭りに必要な物を作ったり、作った物で活動したりすることを通して、教師や友達と一緒に活動する楽しさを味わわせるとともに、みんなで祭りをしようとする態度を育てる。</p>			
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準 備	関連内容	
<p>1 祭りについて話を聞く。</p> <p>(1) 祭りのVTRを見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の附養まつり ・ 校外の祭りの様子 (おはら祭り、大学祭) <p>(2) 期日、日程を知り、みこしや出店などについて話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな祭りの様子を見せることで祭りのイメージを膨らませる。 ・ VTRを見せたり、祭りに実際使う物を見せたりすることで、附養まつりでの活動を思い出させ、附養まつりへの期待感を高める。 ・ 期日を知らせて暦に印を付けさせたり、日程や活動内容を知らせて学習意欲を高めたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 写真 ・ 絵カード ・ みこし ・ 法被 ・ 暦 ・ 絵カード ・ ペン 	<p>国 1-3 2-2,3</p> <p>国 2-5</p>	

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<p>2 他の祭りの見学をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学祭の見学 ・ 玉江祭りの見学 など <p>3 みこしやうちわを作る。</p> <p>(1) みこしやうちわを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作りたい物の発表 ・ みんなで作る活動 <p>(2) 出店で売る品物を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作りたい物の発表 ・ みんなで作る活動 <p>(3) 出店の飾り付けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スタンプ押し ・ ローラー など <p>(4) 案内状や引換券を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なぞり書き ・ 視写 ・ 印刷 <p>4 祭りの練習をする。</p> <p>(1) みこしパレードをする。</p> <p>(2) お店屋さんごっこをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 売る役 ・ 買う役 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 附養まつりに参加する </div> <p>5 反省をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出店で買い物をさせ、出店の様子や売り買いの仕方に気付かせる。 ・ 今までのみこしを参考に、絵本や絵カードなどの中から選ばせるなどして、作りたいみこしを自分たちで決めさせる。 ・ みんなで材料を準備させたり、友達と交替で道具を使わせたりして作らせる。 ・ 絵カード等の中から選ばせて発表させるが、決める際は、できるだけ子供たちの手でできる品物になるようにする。 ・ スタンプやローラーなどを使い、みこし作りとは違った活動を工夫していく。 ・ 誰に出すかを考え、絵や文字をなぞらせてから書かせる。せる。 ・ 案内状はポストに投かんさせる。 ・ 交代しながら全員に印刷をさせる。 ・ 交代しながら笛や太鼓を鳴らしたり、うちわやまといを振ったりしながら楽しく参加させる。 ・ 飾り付けをした出店を使って、お店屋さんごっこをさせる。 ・ 品物や引換券、お金を使い、実際にやり取りをしながら活動させる。 ・ 子供たちが中心になって品物を売ったり、買ったりできるようにさせる。 ・ 保護者とも一緒に売ったり、買ったりできるようにし、いろいろな人との交流が図れるようにする。 ・ VTRを見せ、楽しかったことを中心に発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財布 ・ お金 ・ 絵本 ・ 絵カード ・ ダンボール箱 ・ 絵の具 ・ 絵カード ・ 広幅用紙 ・ スタンプ ・ ローラー ・ 色画用紙 ・ ペン ・ 簡易印刷機 ・ 笛 ・ 太鼓 ・ うちわ ・ まとい ・ 引換券 ・ お金 ・ みこし ・ うちわ ・ 法被 ・ 豆しぼり ・ VTR 	<ul style="list-style-type: none"> 生・役1-3 生・金 1-1, 3 2-1~3 図 2-7, 10 11 道 2-(3) 生・役 2-5 図 2-3, 4 3-3 国 2-15, 17 19 生・公 2-4 道 2-(3) 生・役 2-1 生・遊 2-1, 4 生・金 1-1, 2 2-1, 2 道 2-(3) 生・役 2-2 国 2-3

小学部 中学年

単元名	もうすぐお正月		月(時数)	12月(24時出)
単元に ついて いて	<p>子供たちは、これまで学校や家庭において「ジングルベル」のリズムをしたり、プレゼントをもらったりしてきている経験から、クリスマスに興味・関心を持っている。</p> <p>12月になると、あちこちの街頭や家庭で「ジングルベル」の曲が聞こえてきたり、クリスマス飾りが見られたりする。また、この時期は、年賀状を書いたり、もちつきをしたりなど、正月を迎える雰囲気があふれている。さらに、正月を迎えると、家族や親せきの人たちの間で新年のあいさつを交わしたり、かるた取りやたこ揚げなど正月の遊びをしたりする機会が多い。</p> <p>そこで、本単元は、教師や友達と一緒に力を合わせて、壁飾りやクリスマスツリーを作ったり、「ジングルベル」のリズムを練習したり、プレゼントのお願いをしたりして、クリスマス子ども会への期待感や参加意欲を高めるとともに、クリスマス子ども会当日をみんなと楽しく過ごさせるようにしたい。また、スタンプを押したり、絵をかいたりして年賀状を作り、ポストに投かんしたり、正月のあいさつや遊びの練習をしたりしておくことにより、これから迎える正月に興味・関心を高め、家族や親せきの人たちとかかわり合いながら、楽しく過ごすことができるようになると考える。</p> <p>このような活動を通して、子供たちは、教師や友達と一緒に力を合わせて活動することの喜びを味わうことができるとともに、家族や親せきの人たちとこれまで以上にかかわり合いながら楽しく正月を過ごしたいという気持ちを持つことができると思う。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師や友達と一緒に壁飾りやクリスマスツリーを作ったり、「ジングルベル」のリズムの練習をしたりすることを通して、みんなと一緒に力を合わせて活動することの喜びを味わわせるようにする。 ○ 年賀状を書いたり、正月のあいさつや遊びの練習をしたりすることを通して、正月への興味・関心を高めるとともに、家族や親せきの人と楽しい正月を過ごそうとする態度を養うようにする。 			
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容	
<p>1 年末の行事や正月のことについて話し合う。</p> <p>(1) VTRや写真を見る。</p> <p>(2) クリスマス、もちつき大会、お正月について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日 ・ 行事の内容 <p>2 クリスマス子ども会をする。</p> <p>(1) 飾り作りや飾り付けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 壁飾り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTRや写真(クリスマス子ども会、もちつき大会など)年賀状やのし袋、福笑いやたこなどを見せ、昨年どんなことをしたかを思い出させる。 ・ 期日を知らせたり、VTRや写真、具体物を見せながら、今年はどのような内容でクリスマス子ども会などを行いたいかを話し合わせる。 ・ 色紙をはったり、色を塗ったりして、飾りを作らせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 写真 ・ 年賀状 ・ のし袋 ・ 福笑い ・ たこ ・ 暦 ・ 広幅用紙 ・ 色紙 	<p>国 2-2,3</p> <p>生・社 2-8</p> <p>道 2-(3)</p> <p>図 2-2,3</p>	

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ ツリー ・ 帽子 (2) 歌やリズムの練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ サンタクロース ・ ジングルベル ほか (3) プレゼントをもらう準備をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ サンタクロースへの手紙 ・ プレゼントを入れる袋 (4) クリスマス子ども会に参加する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 歌, リズム ・ サンタからのプレゼント ・ クリスマスケーキ ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌やリズムの練習については、音楽や朝の会とも関連を図るようにする。 ・ 写真や絵本、広告紙などから自分の欲しいプレゼントを選び、その品物を文に書いたり、なぞったりして手紙とする。 ・ 自分たちで作った壁飾りなどでもできるだけ自分たちで飾らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ パス ・ クレヨン ・ のり ・ はさみ ・ 写真 ・ 絵本 ・ 絵カード ・ 広告紙 ・ 鉛筆 ・ 油性ペン ・ プレゼント ・ ケーキ 	<ul style="list-style-type: none"> 図 2-4, 7 生・遊 2-1 音 2-4, 5 国 2-8, 15 道 2-(3) 生・役 2-1, 2
<ul style="list-style-type: none"> 3 年賀状を書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ スタンプ ・ あいさつ文 ・ 投かん 	<ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつや自分の名前を教師と一緒になぞったり、視写させたり、暗写させたりする。 ・ スタンプを押したり、シールなどを貼ったりしてあいさつ文を作らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年賀状 ・ スタンプ ・ シール 	<ul style="list-style-type: none"> 国 2-8, 15
<ul style="list-style-type: none"> 4 正月の過ごし方を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつの仕方 「おめでとうございます」 ・ お年玉のもらい方 「ありがとうございます」 ・ 遊び <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵かるた ・ たこ揚げ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教室にジュータンや座布団を敷いて、座ってあいさつをする練習をさせる。 ・ お年玉をもらうときには、両手でもらうようにし、おじぎをしながらお礼を言うように練習させる。 ・ 簡単なルールや遊び方を知らせ、正月にみんなとするように家庭にも知らせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ジュータン ・ 座布団 ・ のし袋 ・ 絵かるた ・ トランプ ・ たこ 	<ul style="list-style-type: none"> 道 2-(1) 生・交 2-3, 7
<ul style="list-style-type: none"> 5 もちつき大会をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ つき方 ・ 丸め方 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供用のきねを準備し、できるだけ子供たち自身でつけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ うす ・ きね 	<ul style="list-style-type: none"> 生・役 2-2 3
<ul style="list-style-type: none"> 6 教室の整理をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教室やプレイルームの鏡もちは、親と一緒に丸めるようにさせる。 ・ 自分の机やかばん棚, ロッカーなどの整理をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ もろぶた 	<ul style="list-style-type: none"> 生・基 2-38

小学部 中学年

単元名	楽しい 3 学期		月 (時数)	1月中旬 (8時間)
単 元 に つ い て	<p>子供たちは冬休み期間中、正月の買い物や初もうでに出掛けたり、お年玉をもらったりなどの年末年始の様々な体験をしてきており、楽しい思い出を話したいという気持ちを持って登校してきている。また、3学期のいろいろな行事の中で教師や友達と一緒に活動することを楽しみにしており、早く学校生活に慣れたいと思っている。</p> <p>本単元はこのような子供たちに対して、写真や課題帳、絵日記等を基に、教師や友達と一緒に冬休みの思い出や出来事を話し合い、冬休みの生活を振り返らせたり、みんなで新年子ども会をしたりすることにより、新しい年の雰囲気に触れさせるとともに、友達のことにも関心を持たせ、教師や友達と一緒に活動することの楽しさを味わわせたいと考える。その際、新年子ども会の準備にも参加させ、材料の買い物や簡単な調理などの活動も経験させていく。また、VTRや写真、教師の話や実際の活動を基に、1日の学校生活の流れや学級の係、3学期の行事等を確認めたり、今年自分で頑張ることを決めて発表したりすることを通して、3学期の学校生活に期待感を持たせるようにしようとするものである。</p> <p>このような活動を通して子供たちは、学校生活へ気持ちをスムーズに切り替えることができ、楽しい3学期を送ることができるようになっていくと考える。</p>			
目 標	<p>○ 冬休みの思い出や出来事を話し合うことにより冬休みを振り返らせたり、新年子ども会をしたりすることにより、新しい年の雰囲気に触れさせるとともに、教師や友達と一緒に活動することの楽しさを味わわせる。</p> <p>○ VTRや教師の話、模擬活動を基に、1日の学校生活の流れや3学期の行事等を確認することにより、3学期の学校生活に期待感を持たせるようにする。</p>			
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容	
<p>1 教師と一緒に冬休みの思い出を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クリスマス、もちつき、初もうで、お年玉、年賀状 ・ 冬休みの課題帳、写真、日記など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正月のあいさつや、お年玉をもらう動作をさせたり、具体物（もち、お年玉袋など）や家庭から持ってきた写真等を基に、冬休みの出来事を思い出させて発表させたりする。 ・ 楽しかったこと、簡単な話をさせる。 ・ 絵カードや写真から、楽しかったことを選ばせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ もち ・ お年玉袋 ・ 写真 ・ 年賀状 ・ 課題帳 ・ 日記 	<p>道 2-(1)</p> <p>生・交 2-3, 4</p> <p>国 2-6, 10</p>	
<p>2 「1日の学習の流れ」を確認める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵カードや写真を流れに沿って並べさせたり、実際に動作化させたりして、1日の生活の大まかな流れを思い出させる。 		<p>生・決 2-3</p> <p>3-1</p>	

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<ul style="list-style-type: none"> 登校→更衣→係の仕事→1校時…→給食→清掃…→更衣→下校 	<ul style="list-style-type: none"> 絵カードや写真を見て、その活動内容を発表させる。 係の仕事についても、再度確認させておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵カード 写真 係カード 名前カード 	<ul style="list-style-type: none"> 国 2-6, 10 11 生・役 1-2
<p>3 3学期の行事について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 持久走大会 節分子ども会 学習発表会 お別れ会 など 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度の写真やVTRを見せ、3学期の行事を思い出させるとともに、学習への意欲を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> VTR 写真 絵カード 	<ul style="list-style-type: none"> 国 2-5, 6 10
<p>4 新年子ども会をする。</p> <p>(1) 教師と一緒に正月料理を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 栗きんとん 柿なます など 	<ul style="list-style-type: none"> できるだけ材料の買い物にも参加させて、調理名や材料にも関心を持たせる。 フードカッターや皮むき器などを使用させ、できるだけ教師の援助が少なくして作れるようにするとともに、安全面には十分に注意する。 必要な材料や道具を発表して、準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> 調理材料 調理用具 	<ul style="list-style-type: none"> 生・基2-1 2, 32 33 生・健安 2-6 生・交 2-5
<p>(2) 会食をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 焼きもち、雑煮、柿なます、栗きんとん など 	<ul style="list-style-type: none"> 各学級で作った料理を持ち寄って、学部全員で会食をする。 正月に関する曲や、わらべうた等の音楽を流す中で会食をさせ、正月の雰囲気を作り出す。 	<ul style="list-style-type: none"> テーブル いす 料理 	<ul style="list-style-type: none"> 道 2-(3) 生・基 2-3 ~12 35 道 2-(1)
<p>(3) 冬休みの出来事を教師と一緒に発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 課題帳や写真等を基に、楽しかったことの話させる。 絵カードや写真を基に、動作化しながら話させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題帳 写真 絵カード 	<ul style="list-style-type: none"> 生・交 2-4 国 2-6, 11
<p>(4) 歌ったりリズムをしたりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 正月に関する曲だけでなく、子供たちが好きな軽快な曲も取り入れて、楽しい雰囲気を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> テーブルコーダー マイク 	<ul style="list-style-type: none"> 音 2-4, 6, 10

小学部 中学年

単元名	冬の遊び		月(時数)	1月(16回開講)
単元について	<p>子供たちは、12月の単元「もうすぐお正月」の中で、教師や友達と一緒にたこ揚げやかるた取り、すごろく遊びなどをしたり、冬休みに家族や親せきの人たちと一緒にそうした遊びをしたりしてきている。そうした経験から、近くにたこがあると、自分たちからたこ揚げをして外で遊ぼうとする様子が見られる。また、かるた取りなどの簡単なルールのある遊びの様子を見ると、かるた取りで読み札に対応した絵札を取るということが分かりつつあり読み札に対応した絵札を取ろうとしたり、すごろく遊びでさいころの出た目の数だけ進むということが分かりつつあり出た目の数だけこまを進めようとしたりするが、ルールを完全に理解しているところまでは至らず、ルールのある遊びを十分に楽しめない状態である。</p> <p>そこで、本単元では、このような子供たちに対して、教師や友達と一緒に歌ったり、体を触れ合わせたりしてわらべ歌遊びをしたり、自分たちで作ったたこでたこ揚げをしたり、鬼ごっこをしたりして、教師や友達と一緒に体全体を動かして遊ぶことができるようにしていきたい。また、大きなかるたをみんなで作って遊んだり、子供たちが実際に動いて行うようなすごろくを準備をしたりして、体全体でゲームを展開させて、簡単なルールを展開させ、ゲームを楽しませていきたい。</p> <p>指導していくに当たっては、子供たちの興味・関心のある食べ物や動物などに関したかるたを作るようにしたり、ゲームのルールを確認しながら、遊んだりすることによって、子供たちが、体全体を動かして、楽しい雰囲気の中で、ルールのある遊びをしていけるようにしていきたい。</p> <p>このような活動を通して、子供たちは、体全体を動かしての遊びや簡単なルールのある遊びの楽しさを味わうことができ、自分たちでそうした遊びをしようとするようになると思われる。</p>			
目標	<p>○ たこ揚げや鬼ごっこ、大型かるた取りや人間すごろくなどの体全体を動かす遊びや簡単なルールのある遊びを、教師や友達と一緒にすることができるようにする。</p>			
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)		準備	関連内容
<p>1 冬の遊びについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ たこ揚げ ・ かるた取り ・ すごろく など <p>2 いろいろな遊びをする。</p> <p>(1) わらべ歌遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ げんこつ山のためきさん ・ おしくらまんじゅう ・ かごめかごめ など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊具や遊んでいる様子の絵カードなどを見せることによって、冬の遊びの種類や方法を知らせる。 ・ 遊具に触れさせたり、実際に遊びをさせてみたりすることにより、冬の遊びへの関心を持たせる。 ・ 子供の実態に応じて、左記の遊びの中から選んだり、組み合わせたり、他の体全体を動かしてするような遊びを取り入れたりして学習を展開させていく。 ・ じゃんけんが勝負が決まること、線から出たら負けになることなど、初めに、子供たちと簡単なルールを確認し合う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊具 ・ 絵カード ・ テーブルコーダー 	<p>道 3-(1) 国 2-2, 5, 6</p> <p>道 2-(3) 4-(1) 生・遊 2-3, 4 音 1-6 2-10</p>

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<p>(2) 室外での遊びをする。</p> <p>○ たこ作り、たこ揚げをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グニャグニャたこ ・ 絵だこ など <p>○ 鬼ごっこをする。</p> <p>○ かくれんぼうをする。</p> <p>○ 落ち葉遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 落ち葉集め ・ 焼き芋 <p>(3) 室内での遊びをする。</p> <p>○ 大型かるた取りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大型文字かるた、絵かるた作り ・ かるた取り競争 <p>○ 人間すごろくをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ さいころ作り・人間すごろく 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師や友達のとこが揚がる様子も言葉掛けして見せるなどして、教師や友達を意識させながらたこ揚げをさせる。 ・ 鬼には帽子をかぶせたり、捕まった子供のいる場所を決めたりなどして、簡単なルールを意識させるようにする。 ・ 子供たちに落ち葉を集めさせたり、さつま芋をアルミはくにくるんで、落ち葉の中に入れさせたりなどして、準備や後始末も一緒にさせるようにする。 ・ 大きな絵と文字のかるたを準備して、体全体を動かしてそれを取るなど、子供たちが活動しやすいものを準備する。 ・ 子供たちの好きな食べ物やキャラクターなどのかるたも作らせ、楽しく活動できるようにする。 ・ 最初は、1対1でする、枚数を少なくしてするなど、ルールを簡単に行い徐々に複雑にしていくようにする。 ・ 子供たち自身がこまとなって動いて遊べるような大きなすごろくを準備して、体全体で遊べるようにする。 ・ 学級だけでなく、学部全体で遊ぶ機会も設定し、より大きな集団で遊ぶ楽しさを味わわせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろなたこが揚がるのを見せて、たこ揚げへの興味・関心を持たせる。 ・ 子供たちの好きなキャラクターを絵とするとともに、かるた取りをする際に、それと対応した音楽を流すなどして、楽しく活動できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広幅用紙 ・ ビニール袋 ・ 角材 ・ セロハンテープ ・ ひも ・ フェルトペン ・ 帽子 ・ 芋 ・ 水 ・ アルミはく ・ 広幅用紙 ・ フェルトペン ・ テープレコーダー 	<p>道 3-(1)</p> <p>生・遊 2-7</p> <p>図 2-7</p> <p>生・遊 2-1, 4, 5</p> <p>生・遊 2-1, 4, 5</p> <p>生・遊 2-12</p> <p>生・自 2-1</p> <p>生・遊 2-4, 5, 6, 7</p> <p>国 2-14, 15, 17</p> <p>生・遊 2-4, 5, 6</p> <p>算 2-4, 5, 6</p>

小学部 中学年

単元名	学 習 発 表 会		月 (時数)	2月 (32時間)
単 元 に つ い て	<p>子供たちの休み時間の様子を見ると、テレビやテープレコーダーから流れてくる音楽を聴いて歌や踊りをしたり、ごっこ遊びをしたりしており、音楽リズムや劇遊びなどへの興味・関心があると思われる。また、休み時間などの自由な雰囲気の中では、様々な言葉や身振りで自分を表現し、知らない人の前や慣れない場面においても、緊張したり恥ずかしがったりせず声を出したり動いたりできつつある。さらに劇においても、自分のせりふや動きをおおまかに理解して友達と一緒に楽しく参加し、劇の粗筋や友達の役も意識できるようになってきつつある。</p> <p>そこで、本単元では、このような子供たちに対して、小道具を持たせたり、衣装を着けさせたり楽器を使用させたりすることにより、劇や合奏などに関心を持たせていくとともに、効果音を使ってせりふや動作のタイミングを分かりやすくしたり、友達の役についても興味を持たせたりしていく。また、出し物の内容については子供たちが好きな歌やリズムを取り入れて、興味・関心を持って活動できるようにするとともに、個々に合ったせりふや動作、楽器などを工夫して取り入れ、賞賛しながら活動させていくことにより、成就感や満足感を味わわせていき、表現することに自信を持たせて、みんなの前でも表現できるようにしていく。さらに、出し物で使う小道具作りにも参加させることにより、出し物への興味・関心を持たせていくようにしたい。</p> <p>このような活動を通して子供たちは、教師と一緒に表現する喜びを味わいながら表現することに自信を付けていき、みんなの前でも言葉や動作で表現しようとする態度を身に付けていくことができると考える。</p>			
目 標	<p>○ 歌やリズム遊びなどを取り入れた簡単な出し物の練習をすることを通して、教師や友達と一緒に表現する楽しさを味わわせるとともに、みんなの前で言葉や動作や楽器などで自分から表現しようとする態度を育てる。</p>			
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準 備	関連内容	
<p>1 学習発表会について話し合う。</p> <p>(1) VTRで昨年の発表会の様子を見る。</p> <p>(2) 期日や日程を知り、出し物について話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTRを見せることにより、昨年の学習発表会の様子を思い出させ、学習への関心を高める。 ・ 暦の日付に印を付けたり、「学習発表会」というカードをはったりして期日を知らせるとともに、当日までの意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 写真 ・ 暦 ・ 文字カード 	<p>国 2-1,3</p> <p>算 3-7</p>	
<p>2 出し物の練習や準備をする。</p> <p>(1) 出し物の内容について話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出し物の内容には、子供たちが学習したことや関心のあるものを取り入れ、興味を持って練習できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵 ・ ペーパーサート 	<p>国 2-3</p>	

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<p>(2) 配役などを決める。</p> <p>(3) 練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 場面ごとに ・ 全体を通して ・ ステージで <p>(4) 小道具を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 面づくり, 色塗りなど <p>(5) 予行練習に参加する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 劇の場合, 紙芝居や指人形などにより粗筋を分かりやすくする。 ・ 子供の能力や特性も考慮しながら, 配役などの分担をする。 ・ せりふの長さや言葉, 身体動作は, 子供の実態により考慮する。 ・ マイクを使って声を拡張して, 声を出すことへの意識を持たせる。 ・ せりふに合った動作を取り入れたり, 効果音を流したりして, せりふや出番を分かりやすくなる。 ・ 色の塗ったり, 紙をはったりと, できるだけ子供たちの手で行えるように工夫するとともに, 一緒に作っていく中で出し物への関心も持たせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指人形 ・ 配役カード ・ テープレコーダー ・ レコード ・ マイク ・ 衣装 ・ 小道具 ・ ダンボール箱 ・ ポスターカラー ・ ペン ・ 紙 ・ 封筒 ・ 切手 ・ VTR ・ 小道具 ・ 衣装 	<p>生・役 2-1</p> <p>国 2-9</p> <p>生・遊 2-1</p> <p>音 2-4~6</p> <p>9, 10</p> <p>道 2-(3)</p> <p>生・基 2-32</p> <p>33</p> <p>34</p> <p>図 2-3</p> <p>道 2-(3)</p> <p>生・交 2-9</p> <p>生・役 2-1</p>
<p>3 案内状を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 塗り絵, なぞり書きなど <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>学習発表会に参加する</p> </div> <p>4 反省をする。</p> <p>(1) VTRを見る。</p> <p>(2) 楽しかったことを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 塗り絵やなぞり書きなどをして家族への案内状を作らせることにより, 身近な人の前で発表することへの意識を高めていく。 ・ VTRを視聴させ, 思い出す手だてするとともに, 子供が頑張ったことを賞賛して成就感を持たせる。 ・ 出し物で使った衣装や小道具を基に, 自分の役やせりふなどを発表させる。 ・ 出し物で使った衣装や小道具を使って教師と一緒に体を動かして表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国 2-15, 17, 19 ・ 生・交 3-11 ・ 生・役 2-1 ・ 2 ・ 国 2-1, 2, 3.6 ・ 国 2-10 	<p>生・役 2-1</p> <p>国 2-15, 17, 19</p> <p>生・交 3-11</p> <p>生・役 2-1</p> <p>2</p> <p>国 2-1, 2, 3.6</p> <p>国 2-10</p>

小学部 中学年

単元名	もうすぐお別れ		月(時数)	3月(16時開)
単 元 に つ い て	<p>2組の子供たちは、これまでの学習を通して友達と仲良く活動するようになってきている。そして、自分の体が大きくなったことや、自分の身の回りのことを大分自分でできるようになってきたこと、1年間頑張ってきたことなどに喜びを感じ、自分の成長を認めてほしいという欲求を持っている。</p> <p>また、教室の移動や担任の変更があることを知っていて、もうすぐ進級することを大まかにとらえている。更に、お別れ会や卒業式に何回か参加してきているので、6年生が中学校へ行ってしまうことは理解して、卒業生を祝う気持ちを持つようとしているが、具体的にどうすればよいかは分かっていない。そこでその単元では、VTRや写真など学習の記録や成長の記録表を見て、宿泊学習や運動会、附養まつりなどこれまでの主な行事や学習を振り返り、体が大きくなったことや着替えや登校下校など身の回りのことで、一人でもできることが増えてきたこと等に気付かせみんなに発表したり、1学期からやってきたそれぞれの係の仕事や頑張ってきたことなど発表したりする。また、絵や課題帳など、この1年間を、学級の友達とみんなと一緒に頑張ってきた喜びを持たせるようにしたい。それから、卒業する6年生のために、5年生と一緒にお別れ会を開いて、作ったプレゼントを贈ったり、お別れの言葉を言ったり歌を歌ったり、あるいは、卒業式に参加したりして、6年生の卒業を祝う気持ちを具体的な場で表現させるようにしたい。</p> <p>このように、具体的に自分の成長に気付かせたり、友達のことを祝福する気持ちを持たせたりすることにより、自分自身のことに気付かせることができると考える。</p>			
目 標	<p>○ VTRや写真などを見て1年間を振り返り、自分の成長の跡や係の仕事等を発表したり、作品の整理をして作品帳作りをしたりすることを通して、1年間みんなで頑張った喜びを持たせるとともに、お別れ会や卒業式を通して、6年生の卒業を祝う気持ちを持たせるようにする。</p>			
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容	
<p>1 1年間の様子を聞いたり、話し合ったりする。</p> <p>(1) 主な行事を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乗り物学習、宿泊学習、運動会、附養祭り、学習発表会等 <p>(2) 成長したこと、頑張ってきたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身長、体重 ・ 登校下校、更衣等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年間の学習や行事での様子を、VTRや写真を見て思い出させる。 ・ どのような活動をしたか、頑張ったこと等について絵カード等を使って、発表させる。 ・ 行事や学習に使った用具を用いて表現しながら、発表させる。 ・ 身体面の成長の跡を成長の記録表で、学習や生活面の成長の跡を学習の記録や連絡帳でそれぞれ具体的に取り上げ一人一人の成長を認めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 写真 ・ 行事や学習に使った用具 ・ 絵カード ・ 成長の記録表 ・ 文集「たけのこ」 ・ 連絡帳 	<p>生・交 2-4</p> <p>国 2-3, 6</p> <p>算 1-8, 10</p> <p>道 1-(2)</p>	

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<p>(3) もうすぐ別れることを知る。</p> <p>2 お別れ会をする。</p> <p>(1) お別れ会について話を聞く。 ・ 期日, 日程, 内容</p> <p>(2) プレゼントを作る。</p> <p>(3) お別れの言葉の練習をする。</p> <p>(4) お別れ会をする。 ・ 別れの言葉 ・ 歌, リズム ・ プレゼント</p> <p>3 卒業式の全体練習に参加する。 ・ 着席, 礼, 拍手 ・ 式歌</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">卒業式に参加する</div> <p>4 作品や教室の整理をする。</p> <p>(1) 作品帳を作る。</p> <p>(2) 教室の整理をする。</p>	<p>・ 写真や文字カードでの具体的な操作をしたり, 4年生は3組で過ごす。3年生は2年生と一緒に2組で過ごすなど体験入級する機会を設定したりして, 4年生が3組になったり, 3年生が2組に残ることなどを知らせる。</p> <p>・ VTR等で6年生と一緒に活動したことを思い出させ, 別れを惜しむ気持ちを持てるようにする。</p> <p>・ プレゼント作りは, 図画工作科の学習と関連づけて, 卒業生一人ずつに対して学級のみみんなで作らせる。</p> <p>・ 「おめでとうござ います」「頑張って ください」などを言 葉で言ったり, 文字 で書いたりさせる。</p> <p>・ 卒業生の写真カードを選ばせたり, 「さ ようなら」とお辞儀 や握手をすることを 知らせる。</p> <p>・ 5年生と一緒にあって, お別れ会の係を分担して運営に当たらせる。</p> <p>・ VTRを通して, 卒業生の成長の様子を知らせる。</p> <p>・ 前年のVTRを見せて, 拍手や礼をしたり, 話の間静かにしていたりすることなどを知らせる。</p> <p>・ 緊張感の漂う式の雰囲気味わうとともに, 式の流れに沿った行動の仕方を身に付けさせる。</p> <p>・ 1年間の学習の作品をつづった作品の表紙の絵を描いたり, 名前を書いたりさせる。</p> <p>・ 次の2組さんのために, 教室をきれいにしてあげてを知らせる。</p>	<p>・ 写真カード</p> <p>・ 文字カード</p> <p>・ VTR</p> <p>・ 紙粘土, 色紙等</p> <p>・ 写真カード</p> <p>・ 文字カード</p> <p>・ VTR</p> <p>・ テープレコーダー</p> <p>・ VTR</p> <p>・ 作品</p> <p>・ 画用紙</p> <p>・ クレパス</p>	<p>生・交 1-2, 4</p> <p>道 2-(3)</p> <p>図 3-5</p> <p>国 2-4, 14, 15, 19</p> <p>道 2-(1)</p> <p>生・役 2-1, 2</p> <p>音 2-9, 19</p> <p>生・決 2-9</p> <p>道 2-(1)</p> <p>音 2-18</p> <p>図 2-12, 13</p> <p>生・手 2-3, 5</p> <p>道 2-(2)</p>

小学部 高学年

単元名	楽しい学級		月(時数)	4月(16時間)
単 元 に つ い て	<p>教室を移動し3組に入ってきた5年生、最高学年を迎えた6年生、それぞれに初めての教師や環境に対して戸惑いがあるものの、これから始まる新しい学校生活への期待感を持っている。とはいえ、まだ新学級での具体的な活動の見通しが持てなかったり、小学部の最上級生としてどんな活動があるのか、どういう振る舞いをしたら良いのかよく知らなかったりしている。</p> <p>そこで、本単元では学年、組、友達など、新しい学級の具体的な事柄や、1日の学校生活の流れを確かめる活動、1学期の行事を知る活動などを通して、進級した子供たちが毎日の学校生活に見通しや意欲を持てるようにする。また、新入生の歓迎会の計画を立てて、準備や練習を3組の子供たちを中心に進めさせることで、高学年としての意識を持たせるようにする。更に、学部での「仲よし散歩」や学級でのピクニックなどを通して、リュックサックや弁当箱などの持ち物の取り扱いや集団行動に慣れる活動をさせながら、春のうららかな自然のもとで、学級・学部の新しい集団の中で、楽しく伸び伸びと行動できるようにする。指導に当たっては、学級のことだけでなく、「仲よしさん」をはじめ、学部の下級生の世話をすることや、中・高等部の生徒と共に委員会活動、クラブ活動等に取り組むことも取り上げて、高学年の自覚を促すようにし、学部の一員として生活しようとする態度も養うようにしたい。</p> <p>これらの活動を通して、子供たちは新しい学校生活へ安心感を持つようになり、学級・学部の子供たちとの活動を広げたり、教師との信頼関係を深めたりして、学校で生き生きと過ごすことができるようになると思う。</p>			
	目 標	<p>○ 新しい先生や友達、学年、組などを知ったり、新入生の歓迎会を開いたり、春の自然のもとで「仲よし散歩」等の活動をしたりすることにより、進級の喜びを持たせるとともに、学級・学部の一員として生活しようとする態度を養う。</p>		
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容	
<p>1 新しい学級について話し合う。</p> <p>(1) 自分の学年、組を知る。</p> <p>(2) 教師や友達のことを知る。</p> <p>(3) 高学年になったことを知る。</p> <p>(4) 自分の机、靴箱、ロッカー等の位置を決める。</p> <p>2 「1日の学校生活の流れ」を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人別写真や名前カードで、自分の学年や組、学級の友達や教師を確かめさせる。 ・ 下級生の名前を確かめたり、下級生とどうかかわったらよいかなどを話し合わせたりして、高学年としての意識を持たせる。 ・ 自分の位置を決めさせてから、机や靴箱、ロッカーへ名札はりをさせる。 <p>・ 絵カードや写真などで、1日の学校生活の流れを思い出させる。その際、5年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人別写真 ・ 名前カード ・ 名札 ・ 絵カード ・ 写真 	<p>生・交 1-1 2-2</p> <p>国 2-14. 20</p> <p>生・基 3-34 35</p>	

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<p>登校→更衣→係の仕事→委員会活動→1校時→…給食→昼休み→清掃→更衣→下校</p> <p>3 一学期の行事を調べる。</p> <p>(1) 教師の話聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一日遠足, 小運動会, 乗り物見学, 校内宿泊学習など <p>(2) 行事暦を作成する。</p> <p>4 一学期の目当てを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 頑張ること 毎日続けること <p>5 歓迎会をする。</p> <p>(1) 歓迎会について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 歓迎会の係の分担 歌やリズムの決定 <p>(2) 歓迎会の練習や準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 プレゼント作り <p>(3) 歓迎会をする。</p> <p>6 「仲良し散歩」をする。</p> <p>(1) 「仲良しさん」の相手を知る。</p> <p>(2) 「仲良し散歩」に出掛ける。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 春の一日遠足に参加する </div>	<p>生に対しては、委員会活動やクラブ活動があることを知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度の写真やVTRをみせ、一学期の学校生活に期待感を持たせる。 カードに行事名や期日などを書かせ、大まかな見通しを持たせる。 それぞれの行事の塗り絵をさせ、どんな行事があるか知らせる。 自分たちで作成した行事暦を基に、頑張ることを発表させる。 短冊に書かせて展示する。 3組が中心になって会を進行することを知らせ、司会や歓迎の言葉、プレゼント等の係分担や、歌、リズムなどの内容について話し合わせる。 4月の国語の題材と関連付けて、自分の好きなことなども含めて、要領よく自己紹介できるようにさせる。 プレゼントは、簡単にできる輪飾りを作らせる。 学部の「仲良しさん」は子供の希望を取り、互いの実態を考慮して決める。 学校の近辺の川べり、公園などへ歩いて出掛け、「仲良しさん」の相手の世話をしながら、おやつを食べたり、遊んだりして楽しく過ごさせる。 リュックサックの中身の整理や弁当箱の扱い方や後始末、集団行動での決まりや注意の確認も取り上げて指導する。 草花を摘んだり、花飾りを作ったりして、春の草花へも関心を向けさせる。 春の一日遠足でも、「仲良し散歩」で学習したことを発揮できるようにさせ、楽しく参加させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真 VTR 文字カード 絵カード 行事暦 色紙等 のり はさみ テーブルコーダー リュックサック 水筒 弁当箱 はし入れ 手ふき 敷物 ビニール袋 	<p>生・決 1-1 3-1</p> <p>生・交 3-1</p> <p>国 2-19 3-15</p> <p>国 3-4</p> <p>生・役 2-1 3-1</p> <p>道 1-(3)</p> <p>国 3-3, 4, 8.9</p> <p>道 2-(1) 図 3-11</p> <p>生・公 1-3 道 2-(2)</p> <p>生・基 3-1, 34</p> <p>生・自 2-1 道 3-(1)</p> <p>生・決 2-4 8.9</p>

小学部 高学年

単元名	の り も の		月(時数)	5月(24時間)
単 元 に つ い て	<p>子供たちは、休み時間に自転車に乗って遊んだり、模擬バスを使ってバスごっこをして遊んだりしている。また、救急車やパトカー、消防車等の名前やその役割なども分かり始めており、乗り物への興味・関心は高い。さらに、高学年になると、通学時にバスを利用する者も増え、バスの利用の仕方に慣れてきつつあるが、バス(友愛バス)を提示しないまま下車したり、車内でのマナーに問題があったりするなど、公共の乗り物を利用する上での課題はまだある。</p> <p>そこで、本単元では乗り物ごっこをしたり、実際にバスや電車、列車に乗って目的地まで出掛けたりすることにより、整理券やバス、料金の扱い方が分かるようにするとともに、乗り物等を利用するときは他の乗客の迷惑にならないようにするなど、利用の仕方に慣れさせるようにする。具体的には、運転手や乗客などの役割や整理券、バス、料金の扱い方等の内容を取り入れて乗り物ごっこをしたり、みんなで行き先を決め、乗り物の利用の仕方を練習して実際に出掛けたりする。その際、実際に公共の乗り物や施設を利用するので、順番を守って乗降する、車内では静かに過ごすなど他の乗客の迷惑にならないようにすることや、駅や公園などでは壊したり汚したりしないようにすることなど、公共施設の使い方や集団で安全に行動するための基礎的な内容も扱うようにしたい。</p> <p>これらの学習を通して子供たちは、いろいろな乗り物を興味を持って見るようになったり、通学時においてもマナーや安全を意識した行動ができるようになったりするものと考えている。</p>			
	<p>○ 乗り物ごっこをしたり、実際に電車、バス、列車などに乗ったりすることにより、整理券やバス、料金の扱い方が分かるようにする。</p> <p>○ 順番を守って停留所で待ったり、乗り降りをしたり、静かに車内で過ごしたりする態度を育てるとともに、公園や遊園地、待合室などの公共施設の使い方に慣れさせるようにする。</p>			
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容	
<p>1 乗り物について話し合う。</p> <p>(1) 乗り物調べをする。</p> <p>(2) 学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行き先 ・ 利用する乗り物調べ ・ 学習計画表(暗写, 視写, なぞりがき) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供たちの乗り物への興味を広げるために、VTRや写真、絵カード、おもちゃなどを用意する。 ・ 候補地を幾つかVTRで提示し、みんなで話し合って行き先を決めるようにする。候補地は、バスや電車、列車などいろいろな乗り物を使って行けるような場所をあらかじめ選定しておく。 ・ 絵カードや写真などを使って、日程や利用する乗り物等を調べるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 写真 ・ 絵カード ・ 乗り物のおもちゃ ・ 絵カード ・ 写真 	<p>生・社 2-9 3-9</p> <p>国 3-1.4</p>	

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
2 乗り物の見学に行く。	<ul style="list-style-type: none"> 見学場面では、見るだけでなく実際に乗り物に乗車させて、体験的に学習させるようにする。 		
3 乗り物の利用の仕方を知る。 (1) 乗り物ごっこをする。 <ul style="list-style-type: none"> 役割分担 	<ul style="list-style-type: none"> 運転手、乗客などの役割や切符の買い方、料金の払い方等の内容を盛り込んでごっこ遊びができるようにする。 乗り物の歌を取り入れるなどして、楽しく活動できるようにする。 役割を意識できるようにハンドル等の教具を用意したり、押す役をさせたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 模擬バス ハンドル 自動販売機 料金箱 	<ul style="list-style-type: none"> 生・遊 3-1 生・金 3-5 道 4-(1)
(2) 利用の仕方の練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> 停留所等での待ち方 整理券の取り方 料金の払い方（友愛パスの見せ方） 切符の買い方 降車ボタンの押し方 	<ul style="list-style-type: none"> 停留所や駅などを設置し、模擬バスに乗る場面を設定し、利用の仕方を体験的に学習できるようにする。 切符購入に必要なお金を運ばせたり、自動販売機で買う練習をさせたりする。 自動販売機にお金を入れさせたり、ボタンを押させたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> バス停の表示 整理券 友愛パス 模擬バス 自動販売機 	<ul style="list-style-type: none"> 生・金 3-5 生・社 3-1
4 乗り物(バス、電車、列車)に乗って目的地に出掛ける。 <ul style="list-style-type: none"> 集団行動 信号の見方や横断歩道の渡り方 乗り物の利用の仕方 公共施設の利用の仕方 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に模擬的な日程で実際練習させ、本番ではいろいろなことができるだけ一人できるようにする。 教師に依存しないように留意しながら、友達と一緒に行動させ、一人でできる内容は可能な限り自分でさせるように配慮する。 乗り物の中では他の乗客の迷惑にならないようにすることや、駅の公園などでは壊したり汚したりしないようにすることなど場に応じてその都度指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 友愛パス お金 財布 	<ul style="list-style-type: none"> 生・健 3-10 11 生・決 2-7 8 生・公 3-1 7 道 4-(2)
5 反省をする。	<ul style="list-style-type: none"> 乗り物の利用の仕方だけでなく、公共の施設を利用するときの留意事項を再確認させるとともに、通学時に気を付けることにも触れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> VTR 	

小学部 高学年

単元名	校内宿泊学習		月(時数)	6月(32時間)
単 元 に つ い て	<p>子供たちは、単元「楽しい学級」「のりもの」での活動を通して、高学年として自覚が出てきたり、自分で友愛パスや切符を利用して乗り物に乗ったりなど、自分のことは進んでしようとする様子が見られてきた。また、教師や友達と協力して新しい友達や先生の歓迎会をしたり、役割を分担して乗り物ごっこをしたりなど、友達と協力して活動することも経験してきている。そして、1年生からこれまでに4～5回校内宿泊を経験し、校内に宿泊する興味・関心も高い。宿泊する際必要な身辺処理に関することも、衣服の着脱や洗面など大まかにできるようになってきている子供が多く、友達と協力して何かをしたいという欲求を持っている。</p> <p>そこで、本単元では、このような子供たちに対して、宿泊当日を目指して、入浴、就寝、起床時の寝具の取り扱いや衣服の着脱などの活動や食事作りやお楽しみ会などの活動をさせることで、進んで身辺処理をしようとする意欲や態度を高め、役割を分担したり、協力したりして活動する態度を育てようとするものである。活動を行う際には、「自分のことは自分でしたい」といった子供たちの思いを大切に、活動の時間を十分確保していくとともに、一人一人の活動を十分認めるようにしていく。また、食事作りやお楽しみ会の計画、進行では、お互いに役割を分担したり、協力して準備したりできるように、用具の準備や買い物など子供たちにそれぞれ準備するものや買う品物を決めさせたり、必要な者を自分たちで作らせたりする。</p> <p>このような学習を通して、子供たちは、日常生活をより自立的・発展的に行おうとする意欲や態度を育むとともに、友達と協力して活動しようとする態度を身に付けるようになる。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 入浴の仕方や寝具の扱い方などの基本的な身辺処理を進んで行おうとする態度を育てる。 ○ 集団の中での自分の役割を意識させるとともに、友達と協力して食事を作ったり、お楽しみ会をしたりして、学校に宿泊できるようにする。 			
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)		準備	関連内容
<p>1 校内宿泊学習について話し合う。</p> <p>(1) VTRで昨年の宿泊学習の様子を見る。</p> <p>(2) 学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日, 日程, 主な活動 ・ 学習計画表 <p>2 宿泊の準備や練習をする。</p> <p>(1) 宿泊用具の準備をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTRを見て昨年度はどんな活動をしたか、今年はどうなことをしたいかなどを公表させ、宿泊への意欲を高める。 ・ 日程表を作ったり、学習計画を立てたりして、宿泊への見通しを持たせる。 <p>・活動に必要な用具を公表させたり、バックから取らせたりする。</p> <p>・絵カードや実物を見せて、同じ物を取らせるようにする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 宿泊用具 ・ 絵カード ・ 日程表 ・ 学習計画表 ・ バック ・ ござ 	<ul style="list-style-type: none"> 国 2-2～3 3-1 道 2-(1) 国 2-14, 15 3-12, 15 道 1-(1) 4-(2) 算 3-6

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<p>(2) お楽しみ会と寝具の取り扱い方を練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ お楽しみ会の計画と準備をする。 ○ すいか割りの練習をする。 ○ 花火の練習をする。 ○ 手荒いをする。 ○ 着替えをする。 ○ タオルケットを広げる。 ○ 寝る(起きる)。 ○ タオルケットを畳む。 ○ 洗面をする(歯を磨く)。 <p>(3) 食事作りの練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 献立を決める。 ○ 買物をする。 ○ 調理(例 カレーライス)をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 野菜の皮をむく。 ・ 材料を切る。 ・ 材料を鍋に入れる。 ・ ルウを入れる。 ・ 米をとぐ。 ・ 炊く。 ○ 皿に盛る(食べる)。 ○ 片付けをする。 <p>(4) 入浴の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 準備をする。 ○ 衣服を脱ぐ。 ○ ふろに入る。 ○ 洗う(手足, 顔)。 ○ 衣服を着る。 <p>3 校内に宿泊する。</p> <p>4 反省をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ お楽しみ会は何をするか, どんなことをするか話し合わせ, 計画を立てたり, 準備をしたりさせる。 ・ 花火の取り扱いについては, 安全面に十分留意させるとともに, できるだけ一人で扱うようにし, 花火を楽しめるようにする。 ・ 一人でパジャマの準備をさせたり, 着替えさせたりする。 ・ タオルケットの端に印を付けたり, 畳む順序を示したりする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ カレーライスやロールキャベツ, サラダなど簡単に作れるものの中から, 子供たちが作りたいものを選ばせる。 ・ 買う物を分担させ, 一人一人自分で行うことができるようにする。 ・ 野菜などをむいたり, 包丁で切ったり ・ 包丁や火を扱うときには, 安全面に十分気を付けさせる。 ・ 皿に盛ったり, 洗ったりすることも子供たちにさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 入浴の準備から衣服を着るまでの活動を一通り自分でさせる中で, 細かい部分を援助する。 ・ 子供たちが自分たちで, また, 協力しながらできるように, 教師の援助をできるだけ少なくする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ござ ・ バック ・ 脱衣かご ・ 着替え ・ パジャマ ・ タオルケット ・ タオル ・ 歯ブラシ ・ 作品例 <ul style="list-style-type: none"> ・ 材料 ・ 調理用具 <ul style="list-style-type: none"> ・ タオル ・ 入浴用タオル ・ せっけん ・ シャンプー <ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 宿泊用具 	<ul style="list-style-type: none"> 生・遊 3-1 道 2-(1) <ul style="list-style-type: none"> 生・基 2-25 3-11~16 <ul style="list-style-type: none"> 生・金 2-1, 2 生・役 2-5 3-4 道 2-(3) <ul style="list-style-type: none"> 生・基 2-30 ~34 道 4-(2) <ul style="list-style-type: none"> 道 1-(1) 2-(1), (3) 4-(2) 国 2-2~3

小学部 高学年

単元名	夏の遊び		月(時数)	7月(16時間)
単 元 に つ い て	<p>子供たちは、休み時間、お互いに言葉を掛け合いながら自転車に乗って遊んだり、砂場でトンネルを作ったのぞき合ったりなど、教師や友達とかかわり合いながら遊ぶ様子が見られるようになってきている。そして、教師と一緒に遊びに加わると、楽しそうに友達と一緒に何かを作ったり、作った物を使って自分たちで遊ぼうとする様子が見られつつある。</p> <p>そこで、本単元では、このような子供たちに対して、子供たちが乗れるような大きな船や子供たちが入れられるようなプールや砂場のある水遊び場などを協力して作り、それを使ってみんなで遊ぶことを通して、友達と一緒に物を作ったり、それで遊んだりすることができるようにしていきたい。</p> <p>指導に当たっては、子供たちの日ごろの遊びの様子を考慮しながら、船や水遊び場など子供たちが水に物を浮かべたり、泥んこ遊びをしたりしながら、楽しく作っていきける物を設定していくようにする。作る際には、子供たちの発想を生かしながら作っていくとともに、協力して材料を準備したり、役割分担をして作業を進めたり、後始末をみんなでしたりなど、お互いに協力して活動し合う場面を多く作っていくようにしたい。また、作った物で遊ぶ際には、簡単なルールなどを話し合うような場面も作って、子供たちが、より楽しく遊べるように工夫させていきたい。</p> <p>このような学習を通して、子供たちは、友達と一緒に作ったり、遊んだりする楽しさを味わうことができ、休み時間なども一層友達同士でかかわり合いながら遊ぶようになっていくと思われる。</p>			
目 標	<p>○ 友達と協力して材料を運んだり、組み合わせたりして、船などを作り、みんなでそれを使って遊ぶことができるようにする。</p>			
主な学習活動・内容	(High)	留意点	(Low)	準備 関連内容
<p>1 夏の遊びについて話し合う。</p> <p>(1) いろいろな夏の遊びについて話し合う。</p> <p>(2) みんなで作って、遊びたい物を話し合う。</p> <p>(3) 学習計画を立てる。</p>	<p>・VTRや写真などを見せて、今まで経験した夏の遊びを思い出させる。</p>	<p>・VTRや写真などを見せたり、実際にさせてみたりするなどして、夏の遊びについて知らせる。</p>	<p>・VTR</p> <p>・写真</p> <p>・学習計画表</p>	<p>道 3-(1)</p> <p>国 2-3</p> <p>3-3</p> <p>国 3-14, 15</p>
<p>2 みんなで作って、遊ぶ。</p>	<p>・子供の実態に応じて、みんなで楽しく協力しながら作れるものを設定するようにする。</p>			<p>道 2-(3)</p> <p>4-(1),</p> <p>(2), (3)</p>

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<p>○ 船を作って、遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 船作り ・ 遊び 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな物をプールに浮かべて遊ぶなどして、船作りへの意欲を高める。 ・ 発泡スチロールを土台にしたり、牛乳パックを組み合わせたリ、身近な材料で飾り付けをしたりするなどして、子供たちの発想を生かしていくようにする。 ・ 材料をみんなで運んだり、道具を準備したりなど、協力して活動できるような場を多く設定する。 ・ 作った船で、競争させたり、応援させたりして、友達とのかわりながら遊べるようにする。 ・ 友達と一緒に船に乘せたり、応援させたりして、友達とのかわりを楽しませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発泡スチロール ・ 牛乳パック ・ ベニヤ板 ・ ビニールテープ ・ 接着剤 ・ 釘 ・ 金づち 	<p>図 3-6, 8, 9</p>
<p>○ 水遊び場を作って、遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 穴を掘ってプール作り ・ 川作り ・ ダム作り ・ 遊び 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 泥遊びや砂遊びなどを発展させて、穴を掘ったり、ミニプールを作ったり、川やダムを作ったりしながら水遊び場を作らせるようにする。 ・ みんなで作ったプールや川やダムなどに水を流し、その中で自由に遊ばせるなどして、楽しませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミニプール ・ スコップ ・ バケツ ・ ビニールシート 	<p>生・遊 3-1, 4, 8</p>
<p>3 海に出掛け、遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水遊び、砂遊び ・ すいか割り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海では、なるべく自由に遊ばせるが、事故のないように安全面には十分注意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浮き輪 ・ スコップ ・ すいか 	<p>道 3-(1) 生・自 1-1, 2</p>
<p>4 夏休みの生活について話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海に行くこと ・ プールに行くこと ・ 花火をすること ・ かき氷作り ・ ジュース作り など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びを中心に、絵や写真を見せ、夏休みへの期待感を持たせる。 ・ 冷蔵庫から氷や果物などを持って来させたり、みんなで切ったりさせて夏のおやつ作りを経験させたりして、夏休みにも作ろうという意欲を持たせる。 ・ 教師や友達と一緒に氷に触れさせたり果物をちぎらせたり皿やコップを持ってこさせたりして、夏のおやつ作りに興味を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵・写真 ・ 暦・花火 ・ 氷 ・ かき氷器 ・ かき氷のみつ ・ 果物 ・ ミキサー 	<p>国 3-3</p>

小学部 高学年

単元名	楽しい 2 学期		月 (時数)	9月上旬 (8時間)
単 元 に つ い て	<p>子供たちは、夏休み期間中、プールや海、山に行ったり、ラジオ体操に参加したり掃除等の家の手伝いをしたりなど様々な体験をしてきて、夏休みにあった出来事や頑張ったことなどを教師や友達に話すことを楽しみにしている。しかし、夏休みの生活は、長期間、学校を離れて家族との関係を中心にした生活であったために、2学期が始まったばかりのこの時期は、ほとんどの子供たちが規則正しい学校生活のリズムやみんなと協力して行う活動に慣れていない状態である。反面、子供たちは、1学期の初めに比べ2学期にはどのような行事があるのかといった期待感や見通し、さらには、2学期間を通して頑張ることといった目当て等を持ちつつある。</p> <p>本単元は、このような子供たちに対して、写真や絵日記、課題帳等を基に夏休みの思い出を話し合ったり、みんなで協力して作品を展示させたりする活動を通して、互いの夏休みの生活を振り返らせるとともに、同じ学級集団の仲間として再び一緒に活動し、生活していくことの喜びを味わわせたい。また、絵カードや写真で、1日の学校生活の流れを確かめさせたり、VTRや教師の話をもとに2学期の行事暦を作成させたり、さらに、この行事暦を基に自分の頑張ることを発表させたりすることを通して、2学期の学校生活への期待感や意欲を高めようとするものである。</p> <p>このような活動を通して、子供たちは、1学期以上に友達や教師との関係を深めるきっかけをつくるとともに、学習活動や学校生活に積極的に参加しようとする意欲を持つようになり、楽しい2学期を送ることができるようになっていくと考える。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夏休みの思い出を発表したり、協力して作品展示したりする活動を通して、夏休みの生活を振り返らせるとともに、学級集団として一緒に活動することの喜びを味わわせる。 ○ 1日の学校生活の流れを確かめたり、2学期の行事暦を作成したり、目当てを発表したりすることを通して、2学期の生活への期待感や意欲を高めるようにする。 			
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)		準備	関連内容
<p>1 夏休みの思い出を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旅行、遊び、出来事 ・ 絵日記、生活表 ・ 夏休みの課題帳、採集物など <p>2 夏休みの作品を展示する。</p> <p>(1) 作品を発表する。</p> <p>(2) 作品を展示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題帳、絵日記、採集物、生活表、写真 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭から持ってきた作品や写真等を基に、簡単な話をさせたり、絵をかかせたりする。 ・ 生活表(母親記入)や写真等を、教師が話をしたり、その内容を指差しさせたり、動作化させたりする。 ・ 氏名や作品名をラベルに書く係、ラベルをもらって作品にはる係といったように子供の実態に応じて活動させるようにするとともに、できるだけ子供たちがかわり合いながら活動できるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵日記 ・ 生活表 ・ 課題帳 ・ 採集物 ・ 写真 ・ 油性ペン ・ ラベル ・ のり ・ テープ 	<p>国 3-1, 3</p> <p>生・自 3-1, 2</p> <p>生・交 3-5</p> <p>生・役 3-4</p> <p>国 3-1, 3, 14, 15</p> <p>道 2-(3)</p>

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<p>3 係や当番を決めたり確認したりする。</p> <p>(1) 学級の係や当番を分担する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 花瓶の水替え, 天気調べ, 本棚の整理, 黒板の粉ふき, 机ふき, 金魚のえさ係など ・ 日直 <p>(2) 係や当番の仕事の内容を確かめる。</p> <p>(3) 朝の委員会活動の仕事の内容を確かめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活の指導や学級活動とも関連を図りながらすすめる。 ・ 係や当番の活動をしているところの写真や絵カード等を提示し, いろいろな活動を思い出させる。 ・ 自分のしたい係を 発表させる。 ・ 具体的な場面を設定して, 活動の内容や手順を実際に確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真 ・ 絵カード 	<p>生・役 3-3, 4 生・手 3-10 11 算 3-10 国 3-4</p>
<p>4 「1日の学校生活の流れ」を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登校→更衣→係の仕事→委員会活動→1校時→給食→掃除→更衣→下校 ・ チャイム, 放送の合図 ・ 授業の始まり, 委員会活動掃除 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活の指導とも関連させながら, 写真や絵カード等で1日の学校生活の流れを確かめさせることにより, 1日の学校生活の流れに見通しを持たせる。 ・ 掃除開始や委員会活動開始時の放送や始業時のチャイムを録音しておき, 合図の意味について知らせるとともに, それらの合図を鳴らし, 疑似的に活動させる。 ・ 昨年度の写真やVTRを見せたり, 行事で使用する用具等を見せたりして, 2学期の行事を知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真 ・ 絵カード ・ テーブルコーダー ・ 写真 ・ 絵カード ・ VTR ・ 行事の用具 	<p>生・決 3-1, 2, 3 算 3-6 生・社 3-7 国 3-1, 3</p>
<p>5 2学期の行事を調べる。</p> <p>(1) 教師の話の聞いたり, 写真やVTRを見たりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動会, 校外宿泊学習, 修学旅行(隔年), 附養祭り, もちつき大会, クリスマス子ども会 <p>(2) 行事曆を作成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真やVTR, 行事で使用する用具等を基に, 行事名や簡単や活動内容を発表させたり短冊に書かせたりする。 ・ 教師や友達の身振りや行事で使用する用具等を見たり, 行事名を聞いたりして写真や絵カードを取らせたり, 教師や友達と一緒に簡単な活動をさせたりする。 ・ 自分たちで作成した行事曆を基に頑張ることを発表させる。 ・ 短冊に書かせて展示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短冊 ・ 油性ペン 	<p>算 3-7 国 3-7</p>
<p>6 2学期の目当てを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 頑張ること ・ 毎日続けること 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 短冊 ・ 油性ペン 	<p>国 3-4, 14, 15</p>

小学部 高学年

単元名	運 動 会		月 (時数)	9月 (24時開)
単 元 に つ い て	<p>高学年の子供たちは、休み時間になると教師や友達と追いかけてっこをしたり、ボールを蹴ってサッカーごっこをしたりなど、運動をして過ごそうとする子供が多く、運動する楽しさを味わいつつある。そのため、体全体を動かす競技や演技のある運動会を楽しみにしており、積極的に参加しようという態度も高まりつつある。しかし、子供たちは合図や決まりを守って集合や整列をしたり、競技や演技をしたりしようとするようになってきつつあるものの、まだ、自分の好きなことをしたいという気持ちもあり、集団行動の仕方が十分身に付いているとはいえない状態である。</p> <p>そこで、このような子供たちに対して本単元では、運動会の競技や演技などを入場から退場までの一連の流れの中で繰り返し練習させることで、運動をする楽しさを味わわせるとともに、合図や決まりを守って集合や整列、競技や演技などの集団行動ができるようにしたい。また、運動会の期日を調べたり、学習計画を立てたりして、見通しを持って主体的に活動できるようにする。さらに、リズムや「赤かて白かて」などの学部種目に必要な用具を作ったり、案内状を作ったりするなど、運動会に必要な準備をさせることで、積極的に運動会に参加できるようにしていく。</p> <p>このような活動を通して、子供たちは、集団行動ができるようになるとともに、見通しを持って、より積極的に運動会に参加することができるようになっていくと考える。</p>			
	目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ かけっこや綱引きなどをしたり、集合や整列をしたりすることにより、運動をする楽しさを味わわせるとともに、合図や決まりを守って競技や演技、集団行動ができるようにする。 ○ 運動会の練習を繰り返したり、リズムや「赤かて白かて」などの学部種目の用具など運動会に必要な準備をしたりしながら、積極的に参加しようとする態度を育てる。 		
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)		準 備	関連内容
<p>1 運動会について話し合う。</p> <p>(1) VTRで昨年の運動会を見る。</p> <p>(2) 学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日、日程調べ ・ 出場種目の確認 など <p>2 運動会の準備や練習をする。</p> <p>(1) 自分の組を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組分け 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTRを見て、どんな種目があったか、どんな種目に出場したかを発表させる。 ・ 暦を見て期日を調べたり、出場種目の練習計画を立てさせたりする。 ・ 同じ組の友達や先生なども知らせ、仲間意識を持たせる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 暦 ・ 種目絵カード ・ 計画表 	<p>生・交 2-4</p> <p>国 3-3 算 3-7</p> <p>算 2-2 生・決 2-9</p> <p>道 2-(3)</p>

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<p>(2) 係を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 種目紹介 得点発表 など <p>(3) かけっこをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 順位 賞状のもらい方 <p>(4) リズムをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 体形づくり <p>(5) 「赤かて白かて」(団体競技)をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平均台→トンネル→大玉転がし→… <p>(6) 用具作りをする。</p> <p>(7) 応援をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 呼び子やうちわの使い方 <p>(8) 案内状を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> あて名書き 色塗り <p>(9) 全体練習に参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 集合、整列、行進 開閉会式 綱引き 紅白リレー など <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">運動会に参加する</div>	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人に応じた役割を持たせるようにし、進んで活動できるようにする。 教師の指示により、素早く集合するなどの行動ができるようにする。また、友達と協力してリズムなどの用具を準備させたり、同じ組の下級生と手をつないで並んだりさせる。 繰り返し行うことにより、見通しを持って活動できるようにする。 種目の内容については、できるだけ子供の意見を取り上げていくようにする。 自分の組の友達を調べさせたり、勝敗について知らせたりして、積極的に活動できるようにする。 リズムや団体競技の小道具を作らせる。その際、練習をする中で必要な用具をイメージさせて作らせ、作った用具を使って練習させるようにする。 あて名や種目名、案内文を視写や暗写で書かせたり、塗り絵をさせたりして、案内状を作らせる。 必要に応じて、自分たちが出場する種目名を書いたプログラムを作る。 練習中の水分補給や練習後のうがい、手荒い、汗ふきなどを十分にさせて、健康面に留意する。 	<ul style="list-style-type: none"> 得点板 運動会用具 賞状 メダル 手具 テーブルコーダー 絵カード 文字カード 案内状 塗り絵 VTR 	<p>生・役 3-2</p> <p>生・手 2-7</p> <p>算 3-1</p> <p>体 3-16</p> <p>算 2-4</p> <p>生・遊 2-5</p> <p>3-7</p> <p>道 2-(2)</p> <p>4-(1)</p> <p>図 3-11</p> <p>道 4-(1)</p> <p>生・手 2-7</p> <p>生・交 3-11</p> <p>国 3-15</p> <p>体 2-2</p> <p>3-2, 4</p> <p>5</p> <p>道 1-(3)</p> <p>2-(2)</p> <p>4-(1)</p> <p>国 2-5</p>
<p>3 運動会の反省をする。</p> <p>(1) VTRを見る。</p> <p>(2) 楽しかったこと、頑張ったことを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> かけっこの順番や優勝した組のこたなどを発表させる。 出場した種目を再活動させながら、楽しかったこと等を発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> VTR 	<p>国 2-5</p>

小学部 高学年

単元名	校外宿泊学習		月(時数)	10月(32時間)
単元にたいして	<p>運動会が終わったこの時期、子供たちは集団の中で決まりを守って行動しようとしたり、秋の自然の中で開放感を味わい秋の虫や草花などに親しんだりしてきている。また、子供たちは、6月に校内宿泊を経験し、集団の中での自分の役割に気付き、教師と一緒に友達と協力して活動する様子が見られるようになってきている。その中で、入浴のしかたや寝具の取り扱いなど基本的な身辺処理を大まかではあるが進んでできるようになってきた。さらに、校外宿泊に関してはこれまで4回経験し、自然にかかわる活動やお楽しみ会、入浴などの宿泊当日の活動についてある程度見通しを持ち、校外宿泊を楽しみにしている。</p> <p>そこで、本単元は、このような子供たちに対して、学級を解いた縦割りのグループを作り、そのグループの中で活動する際に中心的な役割をさせることにより、集団の中での自分の役割が分かり、進んで役割を果たしたり、下級生の世話をしたりする態度を育てる。また、子供たちが興味・関心を持ち、自分から活動しようとする入浴や寝具の取り扱いを活動として設定する中で、身体や髪を洗うことや寝起きの準備や着替えなど基本的な身辺処理に関することを進んでできるようにする。さらに、野山などでの遊び、草花・木の実集め、おもちゃ作りの活動を通して、秋の自然に親しみ、秋の自然の特徴や季節の変化に気付いたりできるようにする。</p> <p>以上のような活動を行う際には、「自分のことは自分でしたい」、「欲求が満足される範囲内で下級生の世話をしたい」といった子供たちの気持ちを大切に、一人での活動の時間を十分確保するとともに、下級生と共に活動できる場の設定を工夫していく。</p>			
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ お楽しみ会や寝起き、野山での遊びや虫取り、木の実集めなどの活動を通して、集団の中での自分の役割を意識し、自分から役割を果たしたり、下級生の世話をしたりする態度を育てる。 ○ 入浴や寝具の取り扱いなど基本的な身辺処理を進んでしようとする態度を育てる。 ○ 野山などでの遊びや草花・木の実集め、おもちゃ作りを通して、秋の自然にかかわる楽しさを味わわせ、秋の自然の特徴に関心を持つことができるようにする。 			
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容	
<p>1 校外宿泊学習について話し合う。</p> <p>(1) VTRなどで昨年の校外宿泊学習の様子を見る。</p> <p>(2) 学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日、日程、主な活動 ・ 学習計画表、日程表 <p>2 宿泊の準備や練習をする。</p> <p>(1) 宿泊する場所を確認したり野山の虫や木の実を、観察したり、取ったりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR、写真、しおりなどを見せて、どんな活動があったか、どんな活動をしたかを発表させ、校外宿泊への意欲を高める。 ・ 日程表を作ったり、学習計画を立てたりして、宿泊への見通しを持たせる。 ・ 縦割りでの活動を2、3に組み入れる。 ・ 宿泊する場所を見学し、どんな活動をするのか確認させたり、野山の虫や木の実などを観察させ、秋の自然の様子を知らせたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 写真 ・ しおり ・ 宿泊用具 	<p>生・遊 2-2</p> <p>国 2-2~3</p> <p>3-1, 12</p> <p>~15</p> <p>道 1-(1)</p> <p>4-(2)</p>	

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<p>(2) お楽しみ会の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ キャンドルファイヤーをする(例)。 迎え火の式 レクリエーション 送り火の式 <p>(3) 寝起きの練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ パジャマに着替える。 ○ 布団や毛布などを敷く。 ○ 寝る。(起きる。) ○ 布団や毛布などを畳む。 ○ 普段着に着替える。 <p>(4) 入浴の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 準備をする。 ○ 衣服を脱ぐ。 ○ ふろに入る。 ○ 洗う。 ○ 体をふく。 ○ 衣服を着る。 <p>3 野山などで遊んだり、おもちゃを作ったり、遊んだりする。</p> <p>(1) いろいろな遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ かくれんぼ ・ すずきのとばしっこなど <p>(2) 草花や木の実を集めたり、虫取りをししたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 秋の自然調べ ・ 草花・木の実集め ・ 虫取り <p>(3) おもちゃを作って遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お面 ・ 洋服 など <p>4 校外に宿泊する。</p> <p>5 反省をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 迎え火の式での誓いの言葉は、できるだけ自分たちで考えさせ練習させる。 ・ 下級生を集めたり活動の進行をさせたりする。 ・ 布団や毛布に印をつけたり、援助を少なくしたりして、一人で敷いたり畳んだりできるようにする。 ・ 脱いだ服が着替えと混ざらないようにしたり、シャンプーを適量にとるようにしたりなど細かい部分にも気を付けさせ、一人でさせる。 ・ 自然の中で十分遊ばせるとともに、空や山、草木などにも目を向けさせる。 ・ 友達や教師と一緒にしかかわることができるような遊びをさせる。 ・ 近くの公園や野山などにも出掛け、秋の自然の様子を知る機会を多く設定する。 ・ 外に出て、図鑑や絵カードなどで、秋の動植物について、調べさせる。 ・ 意欲的に集めることができるように、事前に何を作るかを決めさせておく。 ・ 作りながら遊ばせたり、遊ばせながら、工夫させたりする。 ・ 縦割りのグループで活動させる。 ・ 自分でできたことを中心に発表させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 動作化させたり、最初の部分を発声させたりして、誓いの言葉を練習させる。 ・ 一緒に手をつないだり、共に活動させたりする。 ・ 援助の仕方を工夫して、布団や毛布を一人で敷いたり、畳んだりする部分が多くなるようにする。 ・ 洗いやすい部位から洗わせたり、「今度はおなかゴシゴシ」と洗う部位を教師が言葉掛けしながら洗わせたり、一人で洗わせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ろうそく ・ ろうそく台 ・ テープ ・ カセットテープレコーダー ・ パジャマ ・ 布団 ・ 毛布 ・ ビニル袋 ・ ござ ・ 脱衣かご ・ 着替え ・ 洗面器 ・ タオル ・ 入浴用タオル ・ くし ・ 捕虫あみ ・ 虫かご ・ 図鑑 ・ 絵カード ・ ビニル袋 ・ マニラボール ・ 木の実 ・ 草の実 ・ 葉っぱ ・ 花びら ・ 新聞紙 ・ 輪ゴム ・ 包装紙 ・ VTR 	<ul style="list-style-type: none"> 国 2-6~9 生・遊 3-1, 5, 6 生・基 3-14 ~16 生・基 3-18 21~28 生・自 3-1, 7 2-8 道 3-(1) ~ (3) 道 1-(1) 2-(1), (3) 4-(2) 国 2-2

小学部 高学年

単元名	修学旅行（隔年）		月（時数）	10月（32時間）
単 元 に つ い て	<p>子供たちは、これまでの乗り物学習や一日遠足などの学習を通して教師や友達と一緒に出掛けることをとても楽しみにするようになったり、バス・列車などの交通機関や駅・公園などの公共施設の利用の仕方や利用する態度、集団行動の仕方などをほぼ身に付けてきたりしている。また、校内宿泊や校外宿泊の経験を通して、教師や友達と一緒に泊まることへの興味・関心も出てきており、身辺処理も大まかであるが自分のことは自分でしようとするようになってきつつある。このような子供たちに、動物園や遊園地などの子供たちの楽しめる場所へ、家族を離れて旅行し、自分の持っている力を発揮したり、友達とたくさんの楽しい思い出を作ったりすることは、意義あることであると思われる。また、こうした旅行を通じて、社会経験を広めることができ、お互いのかかわりを一層深める機会にもなる。</p> <p>そこで、本単元では、修学旅行の期日や目的地の様子、日程等を知らせたり、交通機関の利用の仕方や宿泊先での着替えや入浴の仕方などを練習したり、友達と一緒に行動する練習をしたりすることによって、旅行への期待感やみんなで楽しい思い出を作ろうという気持ちを高め、修学旅行で見通しを持って、積極的に行動できるようにしていきたい。</p> <p>このような学習を通して、子供たちに、自分たちでできたという喜びを味わわせ、自信を持たせていくことによって、これから、更に、積極的に生活しようとする気持ちを持たせることができると思われる。</p>			
目 標	<p>○ 修学旅行の期日や目的地、交通機関の利用の仕方を知ったり、身辺処理や集団行動の練習をしたりすることにより、修学旅行への期待感を高めるとともに、修学旅行で見通しを持って、積極的に行動できるようにする。</p>			
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容	
<p>1 修学旅行について話を聞く。</p> <p>(1) VTRや絵はがきを見る。</p> <p>(2) 期日や目的地等について話を聞く。</p> <p>・ ○月△日～○月□日</p> <p>(3) 学習計画を立てる。</p> <p>2 修学旅行の準備をする。</p> <p>(1) 目的地の様子や日程等について調べる。</p>	<p>・ 一昨年度のVTRや目的地の絵はがきなどを見せることによって、修学旅行に対する期待感を持たせるとともに、学習への意欲付けを行う。</p> <p>・ 学習計画表を作るなどして、これからの学習に見通しを持たせる。</p> <p>・ 期日、時刻などを基に大まかな日程表を作成させることに</p>	<p>・ VTR</p> <p>・ 絵はがき</p> <p>・ 暦</p> <p>・ 学習計画表</p> <p>・ 日程表</p> <p>・ 写真</p> <p>・ 絵カード</p>	<p>生・社 3-5</p> <p>国 3-1</p> <p>国 3-14, 15</p> <p>生・社 3-5</p> <p>算 3-6, 7</p>	

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<p>(2) 持ち物の確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 記名確認 ・ 整理の仕方 <p>3 修学旅行の練習をする。</p> <p>(1) 交通機関の利用の仕方や車内での過ごし方などの練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 列車やバスなどの利用の仕方 ・ 車内での態度 など <p>(2) 見学の仕方を練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見学地での行動 ・ 土産の買い方 など <p>(3) 宿泊先での過ごし方を練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 着替えの仕方 ・ 入浴の仕方 ・ 寝具の取り扱い方 ・ お楽しみ会の練習 など <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>修学旅行に参加する</p> </div> <p>4 反省をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しかったこと など 	<p>よって、旅行の全体的な流れをつかませる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子供たちに、各活動に必要な物を問いつながり、持ち物を出させ、記名の確認や整理の仕方を知らせるようにする。 ・ 模擬の乗り物や切符を使って、日程表に沿って活動することによって、利用の仕方や態度についての理解を深める。 ・ 子供の実態を考慮して、二人組を作らせ、お互いに助け合って行動できるように言葉掛ける。 ・ 見学地や宿泊先を模擬的に設定したり、近くに仮の目的地を設定して実際に列車やバスなどを使って出掛け、見学する機会を設定したりして、体験的に学習できるようにする。 ・ 土産については、家庭で話し合わせて決めさせておくようにする。 ・ 入浴の手順や寝具の取り扱い方などについては家庭とも連絡をとり、個に応じた指導ができるようにする。 ・ お楽しみ会の練習では、子供たちの好きな歌やダンスを中心に出し物を話し合わせ、練習させるようにする。 ・ VTRや写真などを使って、旅行した場所や楽しかったことなどを思い出させ発表させたり、絵に描いたりさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旅行バック ・ 旅行用具 ・ 絵カード ・ 模擬の乗り物 ・ 切符 ・ 土産 ・ 財布 ・ 入浴用具 ・ 布団一式 ・ 寝巻き ・ テーブルコーダー ・ VTR ・ 写真 	<p>道 1-(1) 生・基 3-3, 4</p> <p>道 1-(1) 2-(1), (2), (3) 4-(1), (2) 生・公 2-1 生・決 2-7, 8 生・金 2-2, 3 生・基 3-11 12, 15 16, 17, 23 24, 25, 26</p> <p>音 3-7, 9</p> <p>国 2-2 3-3 図 2-2</p>

小学部 高学年

単元名	附 養 ま つ り		月 (時数)	11月 (32時間)			
単 元 に つ い て	<p>子供たちは、これまで附養まつりを4, 5回経験してきており、祭り当日の雰囲気や活動内容等、及び祭りに向けての準備など附養まつりについてのイメージを持っており、ある程度の見通しを持って活動に取り組める。また、これまでの学校生活を通して、子供たちは教師や友達と一緒に活動する楽しさや、みんなと仲良く協力して自分の役割を頑張ることを学んできた。</p> <p>そこで本単元では、目的に向けてみんなで役割を分担したり、協力したりすることを通して、自分から進んで祭りに参加しようとする態度を育てていきたい。</p> <p>指導に当たっては、これまでの附養まつりの経験を基に、みこしや店の飾りなどを自分たちで決めさせたり、学習計画を立てさせたりしたい。また、みんなで作る場面においては、それぞれの子供に活動を分担し、役割を意識させていくとともに、友達の活動を手伝ったり、グループの人と協力して活動したりすることで、子供たちが自分たちで附養まつりを作り上げていこうとする態度を育てていきたい。</p> <p>このような活動を通して、子供たちは、友達と一緒に協力して活動する楽しさを味わうとともにみんなで祭りをしようとする態度を伸ばしていくことができるようになると思う。</p>						
目 標	<p>○ みんなで祭りに必要な物の準備をしたり、みこしパレードやお店屋さんごっこをしたりすることを通して、友達と役割を分担し、協力して活動する楽しさを味わわせるとともに、みんなで祭りをしようとする態度を伸ばす。</p>						
主な学習活動・内容	(High) 留 意 点 (Low)	準 備	関連内容				
<p>1 祭りについて話し合う。</p> <p>(1) 昨年のVTRを見る。</p> <p>(2) 学習計画を立てる。</p> <p>2 他の祭りの見学をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学祭の見学 ・ 玉江祭りの見学 など 	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 祭りの活動内容を発表させる。 ・ 期日や活動内容を知らせ、見通しを持って取り組めるようにする。 ・ 店の造りや売り買いの仕方に気付かせる。 </td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 祭りの活動を身体表現させたり、絵カードを取らせたりする。 ・ 祭りの雰囲気を味わわせる。 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 祭りの活動内容を発表させる。 ・ 期日や活動内容を知らせ、見通しを持って取り組めるようにする。 ・ 店の造りや売り買いの仕方に気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 祭りの活動を身体表現させたり、絵カードを取らせたりする。 ・ 祭りの雰囲気を味わわせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 写真 ・ 絵カード ・ 法被 ・ 暦 ・ 日程表 ・ 財布 ・ お金 	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> 国 2-3, 5 3-1 生・役 2-3 生・金 2-1 ~3 3-2, 3 </td> </tr> </table>		<ul style="list-style-type: none"> 国 2-3, 5 3-1 生・役 2-3 生・金 2-1 ~3 3-2, 3
<ul style="list-style-type: none"> ・ 祭りの活動内容を発表させる。 ・ 期日や活動内容を知らせ、見通しを持って取り組めるようにする。 ・ 店の造りや売り買いの仕方に気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 祭りの活動を身体表現させたり、絵カードを取らせたりする。 ・ 祭りの雰囲気を味わわせる。 						
<ul style="list-style-type: none"> 国 2-3, 5 3-1 生・役 2-3 生・金 2-1 ~3 3-2, 3 							

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<p>3 祭りの準備をする。</p> <p>(1) みこしやうちわを作る。</p> <p>○ 話し合いをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みこし, うちわ ・ 材料, 役割分担 <p>○ みこしを作る。</p> <p>(2) 出店で売る品物を作る。</p> <p>○ カレンダーを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各月の絵, 月日 ・ 印刷 ・ 製本 <p>○ ポップコーンを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポップコーン作り ・ 袋詰め <p>(3) 出店の飾り付けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 落ち葉を使った飾りなど <p>(4) 案内状を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 視写 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供たちの好きな動物やアニメの主人公などの絵や写真を見せるなどしながらどんなみこしを作りたいか話し合わせる。 ・ 一人一人に応じた役割を分担して, 協力して作業ができるようにさせる。 ・ 必要な材料をみんなで準備させる。 ・ 行事, 動物, 物語等を基に12か月分の絵やデザインを決めさせる。 ・ 数字や文字を書いたり, 絵をかいたりして作らせる。 ・ 子供の特性等に応じて係や活動を分担するとともに, 流れ作業の形式を取り入れて根気強く取り組ませるようにする。 ・ 飾り方をみんなで話し合い, みこし作りとは違った活動を工夫していく。 ・ 一人一人に応じた役割を分担して, 協力して作らせるようにする。 ・ 案内状はポストに投かんさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真 ・ 絵カード ・ 絵の具 ・ 色紙 ・ カレンダー ・ 行事曆 ・ 絵本 ・ スタンプ ・ シール ・ 簡易印刷機 ・ 菓子用袋 ・ 広幅用紙 ・ 色紙 ・ 絵の具 ・ 色画用紙 	<p>図 2-7, 10 11 3-11</p> <p>道 2-(3) 算 3-1 4-9 図 3-5~7 11, 12</p> <p>道 2-(3) 生・役 3-4 図 2-4 3-5 国 2-19, 20 3-15 生・公 2-4</p>
<p>4 祭りの練習をする。</p> <p>(1) みこしパレードをする。</p> <p>(2) お店屋さんごっこをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 品物の並べ方 ・ 言葉遣い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交代で笛や太鼓などを鳴らさせ, みんなで祭りの雰囲気盛り上げさせる。 ・ 売る役や買う役などの係を交代して, お店屋さんの簡単な仕組みを分からせる。 ・ 言葉遣いにも気を付けさせながら, 買 ・ 品物を身振りや簡単な言葉で買うことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 笛 ・ 太鼓 ・ みこし ・ 模擬店 ・ お金 ・ 引換券 	<p>生・役 2-1</p> <p>生・遊 2-1, 4</p> <p>生・金 2-1, 2</p>
<p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">附録まつりに参加する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 販売活動など, 子供たちが中心になって取り組めるようにさせる。 ・ いろいろな人との触れ合いが持てるように配慮していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ みこし ・ うちわ ・ 法被 ・ 豆しぼり 	<p>生・役 2-2 3-2</p>
<p>5 反省をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTRを見て, 頑張ったことや楽しかったことなどの発表をさせ, 祭りの反省をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR 	<p>国 3-1</p>

小学部 高学年

単元名	もうすぐお正月		月(時数)	12月(24時間)
単 元 に つ い て	<p>子供たちは、毎年、学校や家庭において「ジングルベル」などのリズムをしたり、プレゼントをもらったりしてきている経験から、クリスマスに大変強い興味・関心を持っている。また、12月のこの時期は、家庭においても年賀状を書いたり、もちつきをしたり、大掃除をしたりなど正月を迎える雰囲気があふれ、正月を迎えると、家族や親せきの人たちの中で新年のあいさつを交わしたり、かるた取りやたこ揚げなど正月の遊びをしたりする機会が多い。こうしたことから、子供たちの中には、自分たちで正月の準備をしたいという願いをもっている者もいる。</p> <p>そこで、このような時期に、飾り付けを行ったり、会の進行をしたりしてクリスマス子ども会をしたり、自分たちが作ったカレンダーを見たり、もちつき大会の準備や年賀状作りをしたりすることを通して、年が変わることや1年の流れに気付き、友達と協力して活動することや根気強く最後まで頑張る態度を育てることは意義のあることだと考える。さらに、正月の行事を調べたり、新年のあいさつの仕方や正月の遊びの仕方を練習したりしておくことにより、これから迎える正月を家族や親せきの人たちとかかわり合いながら、楽しく過ごすことができるようになると思う。</p> <p>このような活動を通して、子供たちは、協力して、根気強く最後まで頑張る態度を育てたり、年が変わることや1年間の流れに気付いたりするとともに、家族や親せきの人たちとこれまで以上にかかわり合いながら楽しい正月を過ごそうとする態度を養うことができると考える。</p>			
目 標	<p>○ クリスマス子ども会やもちつき大会、年賀状作りなどを通して、友達と協力して、根気強く最後まで頑張る態度を伸ばすようにするとともに、年が変わることや1年の流れに気付くことができるようにする。</p> <p>○ 正月の行事を調べたり、正月のあいさつや遊びの練習をしたりすることを通して、家族や親せきの人に進んでかかわり合いながら楽しい正月を過ごそうとする態度を養うようにする。</p>			
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容	
<p>1 年末の行事や正月のことについて話し合う。</p> <p>(1) VTRや写真を見る。</p> <p>(2) 学習計画を立てる。</p> <p>2 クリスマス子ども会をする。</p> <p>(1) 飾り作りや飾り付けをする。</p> <p>(2) 歌やリズムの練習をする。</p> <p>(3) プレゼントのお願いの手紙やプログラムを書く。</p> <p>(4) クリスマス子ども会をする。</p> <p>・ 進行、プログラム係ほか</p>	<p>・ VTRや写真で昨年のクリスマス子ども会の様子や暮れの街、年末年始の行事、家庭の様子などを見せ、学習計画を立てさせる。</p> <p>・ リズムの出し物の練習や飾り作りなどについては、音楽や朝の会などの時間とも関連させる。</p> <p>・ 子供の希望を生かして係を分担し活動させる。</p> <p>・ 教師や友達と一緒に準備や係の活動をさせるようにする。</p>	<p>・ VTR</p> <p>・ 写真</p> <p>・ 暦</p> <p>・ 年賀状</p> <p>・ のし袋</p> <p>・ クリスマスツリー</p> <p>・ 飾り</p> <p>・ プログラム</p>	<p>国 3-1, 2</p> <p>生・社 3-7, 8</p> <p>音 3-7</p> <p>算 3-7</p> <p>国 3-14, 15</p> <p>生・役 3-1, 2</p>	

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<p>3 正月の準備をしたり、過ごし方を知ったりする。</p> <p>(1) 自分たちの作ったカレンダーを配ったり、見たりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ お世話になった人に配る。 ○ 特別教室などにはる。 ○ カレンダーを見たり、1年間の行事を振り返ったりする。 <p>(2) 正月の行事について、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真やVTRを見て、行事を発表する。 ○ 自分たちがしたいことやできることを発表する。 <p>(3) 年賀状を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつ文 ・ あて名書き ・ 投かん <p>(4) あいさつの仕方を練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「あけましておめでとうございます」 ・ 「ありがとうございます」(お年玉をもらったとき) <p>(5) 正月の遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ かるた取り、トランプ、福笑い、たこ揚げ ほか <p>(6) もちつき大会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 準備 ・ つき方、丸め方 <p>(7) 教室の整理をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11月に作ったカレンダーを保管しておく。 ・ 校長室、事務室、給食室など、日ごろお世話になっている方に配るようにさせる。 ・ 子供に応じてあいさつを言わせたり、カレンダーを渡したり、はったりさせる。 ・ 今年のカレンダーや写真などで1年間の行事を振り返らせたり、自分たちで作った来年のカレンダーを見たりさせて、年が変わることに気付かせる。 ・ 写真やビデオを見せ行事を発表させたり、行われる順に絵カードを並べたりさせる。 ・ あいさつ文や自分の名前、住所を一人で見せたり、写真、暗写させたりする。 ・ スタンプを押したり、シールをはったり、教師と一緒にしる。 ・ 教室にジュータンや座布団を敷いて、座ってあいさつをする練習をさせる。 ・ お年玉をもらうときには、両手でもらうようにし、おじぎをしながらお礼を言うように練習させる。 ・ 簡単なルールや遊び方を知らせ、正月にみんなとするように家庭にも知らせる。 ・ 米を洗わせたり、うすやきねを運ばせたりなど協力して準備させる。 ・ 年末の大掃除と関連させて行わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来年のカレンダー ・ 今年のカレンダー ・ 写真 ・ VTR ・ 絵カード ・ 画びょう ・ 写真 ・ VTR ・ 絵カード ・ 年賀状 ・ 簡易印刷機 ・ 油性ペン ・ スタンプ ・ シール ・ ジュータン ・ 座布団 ・ のし袋 ・ かるた ・ トランプ ・ うす ・ きね ・ もろぶた ・ ほうき 	<ul style="list-style-type: none"> 国 3-3 道 2-(2) 生・交 3-8 国 3-3 国 2-8 国 3 -14, 15 道 2-(1) 生・交 3-2, 8, 11 道 2-(1) 生・交 3-4, 8 生・遊 3-4, 5 生・役 3-4 生・基 3-35

小学部 高学年

単元名	楽しい3学期		月(時数)	1月中旬(8時間)
単元に ついて いて	<p>子供たちは冬休み期間中、正月の買い物や初もうでに行ったり、お年玉をもらったり、大みそかの大掃除をしたりなど、年末年始のさまざまな体験をしてきており、それについてみんなと話をすることを楽しみにしている。また、3学期が始まったばかりのこの時期は、規則正しい学校生活のリズムに慣れていない子供もいるが、2学期の初めと違い、ほとんどの子供が3学期にはどのような活動や行事があるのかといった期待感や見通しをある程度持てるようになっており、3学期を通して頑張ることといった目当て等も持てるようになりつつある。</p> <p>本単元は、このような子供たちに対して、写真や絵日記、課題帳等を基に冬休みの思い出を発表させて冬休みの生活を振り返らせたり、みんなで協力して新年子ども会をしたりすることを通して新年を迎えた雰囲気味わわせるとともに、同じ学級集団の仲間として再び一緒に活動し、生活していくことの喜びを味わわせたい。また、絵カードや写真で1日の学校生活の流れを確かめさせたり、VTRや教師の話を中心に3学期の行事暦を作成したり、自分の目当てを発表させたりすることを通して3学期の学校生活への期待感や意欲を高めようとするものである。</p> <p>このような活動を通して子供たちは、2学期以上に友達や教師との関係を深めるきっかけを作るとともに、学習活動や学校生活に積極的に参加しようとする意欲を持つようになり、楽しい3学期を送ることができるようになっていくと考える。</p>			
目 標	<p>○ 冬休みの思い出を発表することにより冬休みの生活を振り返らせたり、新年子ども会をしたりすることを通して、新年を迎えた雰囲気を味わわせるとともに、学級集団として一緒に活動することの喜びを味わわせる。</p> <p>○ 1日の学校生活の流れを確かめたり、3学期の行事暦を作成したり、目当てを発表したりすることを通して、3学期の生活への期待感や意欲を高めるようにする。</p>			
主な学習活動・内容	(High)	留意点	(Low)	準備 関連内容
<p>1 冬休みの思い出を話し合う。</p> <p>(1) 思い出を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旅行、遊び、出来事 ・ 写真、課題帳、作品などを見て <p>(2) 冬休みの作品を展示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題帳、絵日記など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体物(もち、お年玉袋等)や写真を基に、冬休みの思い出させ簡単な話をさせたり、絵をかかせたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体物や写真等を基に、教師が話をしあげ、その内容を指差しさせたり、動作で表現させたりする。 ・ 子供の実態に応じて分担させながら活動させるようにするとともに、できるだけ子供たちがかわり合いながら活動できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ もち ・ お年玉袋 ・ 写真 ・ 画用紙 ・ パス ・ 課題帳 ・ 作品 	<p>道 2-(3)</p> <p>生・交 3-5</p> <p>国 1-1, 2, 3, 8, 9</p> <p>生・役 3-4</p> <p>道 2-(3)</p>
<p>2 「1日の学校生活の流れ」を確かめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵カードや写真を流れに沿って並べたり、実際に動作化させたりして1日の学校生活の流れを確かめさせることにより、学 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵カード ・ 写真 	<p>生・決 3-1, 3</p>

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 登校→更衣→係の仕事→委員会活動→1校時…→給食→清掃→…→更衣→下校 ・ チャイム, 放送の合図 (始業, 委員会活動, 清掃) <p>3 3学期の行事を調べる。</p> <p>(1) 教師の話の聞いたり, 昨年度のVTRを見たりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 持久走大会, 節子ども会, 学習発表会, お別れ会, 卒業式など <p>(2) 行事暦を作成する。</p> <p>(3) 目当てを発表する。</p> <p>4 新年子ども会をする。</p> <p>(1) 会場の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テーブル, いすなど <p>(2) ごちそうを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雑煮 など <p>(3) 会食をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雑煮, 焼きもち, 栗きんとん, 柿なます など <p>(4) 冬休みの出来事や今年が目当てを発表する。</p> <p>(5) 歌ったりリズムをしたりする。</p> <p>(6) 後始末をする。</p>	<p>校の生活に見通しが持てるようにするとともに, 自分の係や委員会活動なども再確認させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チャイムや放送の合図に従って活動させるようにする。 ・ 昨年度の写真やVTRを見せ, 3学期の行事を知らせる。 <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top; border-right: 1px dotted black;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 写真やVTRを基に, 行事名や簡単な活動内容を発表させる。 ・ 自由に行事の絵暦をかかせる。 ・ 行事絵暦を基に発表させる。 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師や友達の身振りを見たり, 行事名を聞いたりして, 写真や絵カードを取らせる。 ・ 行事の絵に色を塗らせる。 </td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 準備や会の進行係など中心になって活動させることにより, 上級生としての自覚を持たせていく。 ・ 調理内容に関しては, できるだけ子供たちができるものを準備し, 安全面についても十分に配慮する。 ・ できるだけ, 材料の買い物や調理用具の準備にも参加させる。 ・ 各学級で作った料理を持ち寄って, 学部全体で会食をする。 ・ 正月に関する曲やわらべ歌等の音楽を流すことにより, 正月の雰囲気を作る。 <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top; border-right: 1px dotted black;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しかったことや短冊カードに書いた目当てを発表させる。 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 写真や絵カードを取らせたり指ささせたりして発表させる。 </td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ お正月に関する歌だけでなく, 子供たちが好きな軽快な曲も整備し, 楽しい雰囲気を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真やVTRを基に, 行事名や簡単な活動内容を発表させる。 ・ 自由に行事の絵暦をかかせる。 ・ 行事絵暦を基に発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師や友達の身振りを見たり, 行事名を聞いたりして, 写真や絵カードを取らせる。 ・ 行事の絵に色を塗らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しかったことや短冊カードに書いた目当てを発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真や絵カードを取らせたり指ささせたりして発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーブルコーダー ・ 写真 ・ VTR ・ 画用紙 ・ パス ・ 油性ペン ・ テーブル ・ いす ・ 調理材料 ・ 調理用具 ・ 目当てカード ・ 写真 ・ テーブルコーダー 	<p>生・役 1-2</p> <p>国 3-1, 2, 3, 4</p> <p>国 3-8, 9</p> <p>算 3-7</p> <p>国 3-14, 15</p> <p>国 2-4</p> <p>生・基 2-1</p> <p>3-1, 31</p> <p>生・健 3-8</p> <p>生・役 3-4</p> <p>生・基 3-3, 4, 34</p> <p>道 2-(3)</p> <p>道 2-(1)</p> <p>生・交 3-5</p> <p>国 3-1~4, 8, 9</p> <p>音 3-5</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真やVTRを基に, 行事名や簡単な活動内容を発表させる。 ・ 自由に行事の絵暦をかかせる。 ・ 行事絵暦を基に発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師や友達の身振りを見たり, 行事名を聞いたりして, 写真や絵カードを取らせる。 ・ 行事の絵に色を塗らせる。 						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しかったことや短冊カードに書いた目当てを発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真や絵カードを取らせたり指ささせたりして発表させる。 						

小学部 高学年

単元名	冬の遊び		月(時数)	1月(16時間)
単元	<p>子供たちは、12月の単元「もうすぐお正月」の中で、教師や友達と一緒にたこ揚げやかると取り、すごろく遊びなどをしたり、冬休みにそうした遊びを家族や親せきの人としたりして、体を動かして遊んだり、簡単なルールのある遊びをしたりする楽しさを味わってきつつある。しかし、口ごろの遊びの様子を見ると、近くにたこがあればたこ揚げもしようとするが、自分から求めて、たこ揚げをしようとする子供は少ない。かると取りなどの簡単なルールのある遊びでは、札をたくさん取った方が勝ち、早くゴールに着いた方が勝ちといった勝敗の意味が分かりつつあり、こうした遊びをしたがる子供が多い。また、教師が中に入ると、友達同士でやり方を教え合ったり、役割を話し合ったりして遊ぼうとする様子も見られる。</p> <p>そこで、本単元では、このような子供たちに対して、友達同士で教え合ったり、手伝ったりしながら自分たちでたこを作り、それを競争して揚げて遊んだり、鬼をみんなで決めて鬼ごっこをしたりして体全体を動かしてする遊びを楽しませたい。また、通じゃんせや花いちもんめなどの役割のあるわらべ歌遊びをしたり、かると取りやすごろく、トランプ遊びなど簡単なルールや役割をみんなで決めて楽しくしたりすることによって、友達と一緒に簡単なルールや役割のある遊びをすることができるようにしていきたい。指導していくに当たっては、子供たちの自由な発想を遊びに取り入れていくなどして、子供たちが主体的に遊びを展開できるようにしていきたい。</p> <p>このような活動を通して、子供たちは体全体を動かしての遊びや簡単なルールや役割のある遊びの楽しさ味わい、自分たちで話し合ってそうした遊びをするようになると思われる。</p>			
目	<p>○ たこ揚げや鬼ごっこ、かると取りやすごろく遊び、トランプ遊びなどの体全体を動かす遊びや簡単なルールや役割のある遊びを友達と一緒にすることができるようにする。</p>			
標				
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)		準備	関連内容
<p>1 冬の遊びについて話し合う。</p> <p>(1) いろいろな冬の遊びを発表する。</p> <p>(2) どんな遊びをするか、学習計画を立てる。</p> <p>2 いろいろな遊びをする。</p> <p>(1) わらべ歌遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ かごめかごめ ・ 通じゃんせ ・ 花いちもんめ など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊具や絵カードなどを見せることにより、冬の遊びの種類や方法を知らせる。また、吐く息の白さや服の変化、暖房装置などにも注目させて寒さにも気付かせる。 ・ 子供の実態に応じて、左記の遊びの中から選んだり、組み合わせたり、他の遊びを取り入れたりと学習を展開する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊具 ・ 絵カード ・ 夏服 ・ 暖房装置 ・ 学習計画表 ・ テーブル ・ コーダー 	<p>道 3-(1)</p> <p>生・自 2-7</p> <p>国 2-3</p> <p>3-3</p> <p>国 3-14, 15</p> <p>道 2-(3)</p> <p>道 4-(2), (3)</p> <p>生・遊 3-3</p> <p>音 2-10</p>

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<p>(2) 室外での遊びをする。</p> <p>○ たこ作り, たこ揚げ競争をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵たこ ・ 字たこ など <p>○ 鬼ごっこをする。 〔鬼の役, 逃げる役など〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 影踏み鬼 ・ 二人鬼 など <p>(3) 室内での遊びをする。</p> <p>○ かるた取りをする。 〔読み手, 取り手など〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文字かるた, 絵かるた作り ・ かるた取り競争 <p>○ すごろくをする。 〔こま役, 振る役, 審判役など〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ さいころ作り ・ 人間すごろく ・ すごろく <p>○ トランプをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カード合わせ ・ 数字並べ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高く揚がった方がよいことを知らせ, 競争やゲームを取り入れ, 友達を意識しながら遊べるようにする。 ・ ルールを子供たちと話し合っ て決め, それを意識させながら活動できるようにする。 ・ 外で遊びながら焼き芋をするなどして暖かい雰囲気を一層感じさせる。 ・ 文字かるたや絵かるたなど, 見本絵を準備しながらかるた取り競争をさせる。 ・ 取った枚数をみんなで数えるなどして多く取った方が勝ちであることを知らせる。 ・ 早くゴールに着いた方が勝ちであることを知らせ, お互いに競争意識を持たせながら遊べるようにする。 ・ すごろくのルールが分かるようになったら, こま役や振る役, 審判役など, 子供たちで話し合っ て決めて遊べるようにする。 ・ 市販のトランプだけでなく, 子供たちの好きな絵を取り入れ, 分かりやすいトランプを工夫する。 ・ 学級だけでなく, 学部全体で遊ぶ機会も設定し, より大きな集団で遊ぶ楽しさを味わわせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広幅用紙 ・ ビニール袋 ・ 角材 ・ セロテープ ・ ひも ・ フェルトペン ・ 帽子 ・ 厚紙 ・ フェルトペン ・ すごろく ・ さいころ ・ トランプ ・ VTR 	<p>道 3-(1)</p> <p>生・遊 3-1, 4, 5</p> <p>生・自 3-10</p> <p>図 2-7</p> <p>生・遊 3-1, 5</p> <p>生・遊 3-5, 8</p> <p>国 2-14</p> <p>3-14, 15</p> <p>算 2-4, 5, 6</p> <p>算 2-4, 5, 6</p> <p>算 2-4, 5, 6</p> <p>算 2-4, 5, 6</p> <p>図 2-2</p> <p>3-3</p>
<p>3 反省をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな遊びの反省を基に, 友達同士や家族でもやってみたいという気持ちを持たせる。 		

小学部 高学年

単元名	学 習 発 表 会		月 (時数)	2月 (32時間)
単 元 に つ い て の 目 標	<p>子供たちは、今までに数回の学習発表会を経験しており、発表会についておおまかに理解し、楽しみにしている。また、ほとんどの子供が、友達と一緒に表現する楽しさを味わってきており、小さな集団では自分を表現できるようになっている。そして、劇の粗筋を理解し、大きな集団の中でも自分や友達の劇のせりふや動きを意識して演技しようとしつつある。また、この時期になると今までの様々な経験から、友達と一緒に活動する中で、お互いに協力して準備などをする態度も育ってきている。</p> <p>そこで、本単元では、このような子供たちに対して、劇や合奏などの簡単な出し物を繰り返し練習させることにより出し物の内容を理解させるとともに、自分や友達の役や分担を意識し、楽しく活動できるようにする。出し物の内容については、子供たちが知っている物語や曲、リズム遊びなどを取り入れて分かりやすいものにし、興味・関心を持って活動できるようにするとともに、個々に合ったせりふや動作、活動などを工夫して取り入れたり、マイクを使わせたりすることにより、大きな声や大きな動作で表現できるようにする。また、出し物で使う小道具作りにも参加させることにより、出し物への興味を高めるとともに、その中でできるだけ子供同士でかわり合いながら活動する場面を設定していくことにより、友達と協力して活動する意識を高めていく。</p> <p>このような活動を通して、子供たちは、大きな集団でも恥ずかしがらずに表現できるようになると考えられる。</p>			
	<p>○ 歌やリズム遊びなどを取り入れた簡単な出し物の練習をすることを通して、自分や友達の役を意識させるとともに、みんなの前で自分の役を大きな声や動作で進んで表現しようとする態度を育てる。</p> <p>○ 色を塗ったり、紙をはったりして、劇の小道具などの準備を友達と協力してすることができるようにする。</p>			
主な学習活動・内容	(High) 留 意 点 (Low)	準 備	関連内容	
<p>1 学習発表会について話し合う。</p> <p>(1) VTRで昨年の発表会の様子を見る。</p> <p>(2) 学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日、日程 ・ 出し物 <p>2 出し物の練習や準備をする。</p> <p>(1) 出し物の内容について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 劇 ・ 合奏 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTRを見せ、昨年の出し物の内容や自分の役を発表させることにより、学習発表会への意欲を高める。 ・ 絵カードなどを使って学習計画を作ることにより、発表会までの学習の見通しを持たせる。 ・ 出し物の内容には、子供たちが学習したことや関心のあるものを取り入れる。 ・ 劇の場合は、紙芝居やペープサートなどによる寸劇を見せることにより、粗筋を知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 写真 ・ 暦 ・ テープレコーダー ・ 紙芝居 	<p>国 2-2, 3 3-1, 3</p> <p>算 3-7 国 3-14</p> <p>国 3-1, 2</p>	

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
(2) 配役などの分担について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> • 子供たちの希望を取り入れながら、能力や適性なども考えて活動内容を決めて分担していく。 	<ul style="list-style-type: none"> • ペープサート • 指人形 	国 2-8 国 3-4, 8, 9
(3) 練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> • 場面ごとに • 表現法を工夫しながら • 全体を通して • ステージで 	<ul style="list-style-type: none"> • せりふの長さや言葉、身体動作は、子供の実態により考慮する。 • せりふカードを提示したり、効果音を流したりして、自分のせりふや出番を分かりやすくする。 • マイクを使って声や音を拡張させることにより、声や音を出すことへの意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> • テープレコーダー • レコード • せりふカード • マイク • 衣装 • 楽器 など 	国 2-9 3-7, 9 音 3-6, 10 生・遊 3-1 道 2-(3) 生・基 3-27 28, 34
(4) 小道具を作る。	<ul style="list-style-type: none"> • 色塗りをしたり、折り紙を切ったりなど、できるだけ子供たちの手で行えるように工夫していく。また、練習の際にも使用して、出し物への関心を高めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> • 小道具 • ダンボール箱 • ポスターカラー 	図 3-5, 6 道 2-(3)
(5) 予行練習に参加する。			生・役 3-2
3 プログラムや案内状を作る。 <ul style="list-style-type: none"> • 絵、なぞり書き、視写など <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 学習発表会に参加する </div>	<ul style="list-style-type: none"> • 家族や日ごろお世話になっている人たちにプログラムや案内状を作って渡すことにより、みんなの前で発表することへの意識を高めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> • ペン • 紙 • 封筒 • 切手 	国 3-14, 18 図 3-7 図 2-(2) 生・交 3-11 生・役 3-2
4 反省をする。			国 2-2, 3
(1) VTRを見る。	<ul style="list-style-type: none"> • VTRを視聴させ、思い出す手だてとするとともに、子供が頑張ったことを賞賛して成就感を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> • VTR 	国 3-3
(2) 楽しかったことや頑張ったことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> • 出し物で使った衣装や小道具を基に、自分の役やせりふなどを思い出させて、楽しかったことなどを発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 出し物で使った衣装や小道具を使って教師と一緒に体を動かして表現させる。 • 衣装 • 小道具 • 絵カード 	国 2-2 3-1, 3, 4

小学部 高学年

単元名	もうすぐお別れ		月(時数)	3月(16時間)
単元について	<p>3組の子供たちは、これまで友達と協力して頑張ってきたことや、下級生の面倒を見ることができたことなど、自分自身の成長を承認してほしいという欲求を持っている。また、何回もお別れ会や卒業式に参加したり、折りに触れ先生や親から進学の話の聞いたりして、6年生は中学部へ進学することや、5年生は最高学年になることを大まかに理解はしている。</p> <p>そこでこの単元では、6年生は入学当初からの様子をVTRや写真、あるいは文集など学習の記録等を見ていくことで、体が大きくなったことや登校下校、着替えなど一人でできるようになったことが増えたこと、友達と仲良くしたり、下級生の面倒を見たりしてきたこと等を具体的に知らせる。さらにお世話になった人たちを思い出し、お別れ会でお礼の言葉を言ったり、自分たちで作ったプレゼントを贈ったり、厳粛な雰囲気の中で卒業式に参加したりすることで、自分が成長した喜びや感謝の気持ち、卒業の喜び、進学への期待感を持たせるようにする。5年生へは、6年生と一緒にこれまでの学習の様子を振り返らせ、互いの成長を喜び合うようにし、さらに卒業生のお別れ会を開いてプレゼントを贈ったり、卒業式に参加したりすることを通して、卒業生を祝う気持ちを持たせるようにしたい。</p> <p>展開に当たっては、5、6年生はこれまで一緒に活動してきており、またクラスとして最後の学習でもあるので、成長の記録と一緒に見合ったり、お別れ会に向けてプレゼント作りや案内状作り等の活動を共にしたりすることで、クラスの雰囲気を大事にしながら卒業式を迎えさせるようにしたい。</p>			
目標	<p>○ 卒業生は、学習の記録を見て6年間の成長を振り返ったり、お世話になった人にお別れ会でプレゼントを贈ったり卒業式に参加したりすることで、自分自身の成長の喜びや身近な人への感謝の気持ち、卒業する喜びや進学する期待感を持たせるようにする。(6年生)</p> <p>○ 5年生は、卒業生と共にこれまでの学習の様子を振り返ったり、お別れ会を開いてプレゼントを贈ったり、卒業式に参加したりすることで、自分の成長を喜んだり、卒業生を祝ったりする気持ちを持たせるようにする。(5年生)</p>			
主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容	
<p>1 進級や卒業について話し合う。</p> <p>(1) 進級や卒業することについて話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業式 ・ もうすぐ中学生 <p>(2) 学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お別れ会 ・ 卒業式の期日 ・ 日程、練習内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の卒業式の様子を見せたり、卒業生の様子を知らせたり、実際に中学部の作業学習へ参加させたりすることで、進級や卒業についての理解を助ける。 ・ 準備や練習する内容、心構え、学習の日程等について計画を立てさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 絵曆 	<p>国 3-2,3</p> <p>生・交 3-5</p> <p>生・社 3-7</p> <p>算 3-7</p>	

主な学習活動・内容	(High) 留意点 (Low)	準備	関連内容
<p>2 6年間を振り返る。</p> <p>(1) VTRや写真を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入学式, 遠足, 運動会等 <p>(2) 成長の跡を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通学の様子, 身体の成長, 学習の作品等 <p>3 お別れ会をする。</p> <p>(1) お別れの言葉やお礼の言葉の練習をする。</p> <p>(2) プレゼントを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お世話になった人 ・ お母さん <p>(3) 案内状を作る。</p> <p>(4) お別れ会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 別れの言葉 ・ お礼の言葉 ・ 歌, リズム, プレゼント <p>4 卒業式の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 別れの言葉, 送る言葉 ・ 返事, 証書のもらい方, 礼 ・ 式歌 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">卒業式に参加する</div> <p>(以下, 5年生のみ)</p> <p>5 作品や教室の整理をする。</p> <p>(1) 作品帳を作る。</p> <p>(2) 教室の整理をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学時からそれぞれ成長していることに気付かせる。 ・ 6年間の担任を思い出させたり, 母親や父親をはじめ周りの人に世話してもらったことなど話し合わせたりすることで感謝の気持ちを持たせる。 ・ 5年生は, 3~4年生と一緒にしてお別れ会の係を分担して運営に当たらせる。 ・ 「頑張ってください」「お世話になりました」などを言葉や文字で言ったり書いたりさせる。 ・ 卒業生は両親やお世話になった人へプレゼントや案内状を作らせ, 感謝の気持ちを持たせる。 ・ 5年生は卒業生に対して作らせて, 卒業を祝う気持ちを持たせる。 ・ 保護者やお世話になった人にも参加してもらい, 6年間の成長を振り返るVTRを視聴する。 ・ 厳肅な雰囲気の中で, 式の流れを分からせるとともに, 一人で行動ができるように前のVTRを見たり, 証書のもらい方を中心に個別的に指導したりする。 ・ 実際には3と4の活動は日程的に平行して行われるので, 6年生が卒業式の練習に参加している時間は, 5年生は3・4年生とお別れ会の準備をする。 ・ 1年間の学習の作品をつづる作品帳の表紙の絵を描いたり, 名前を書いたりさせる。 ・ 教室をきれいにし, 下級生に譲ることを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 写真 ・ 身体図 ・ 文集 「たけのこ」等 ・ 文字カード ・ 紙粘土, 色紙等 ・ VTR ・ テープレコーダー ・ VTR ・ 作品 	<p>生・交3-5 道 1-(2)</p> <p>国 2-6 道 2-(2)</p> <p>生・役 3-1, 2 道 2-(1) 国 3-14, 15, 18</p> <p>図 3-4 道 2-(3) 音 3-7, 19</p> <p>生・決 3-4 道 2-(1) 音 3-19, 20</p> <p>図 2-12 3-14 生・手 2-3, 5 生・役 2-5 道 2-(2)</p>

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>(4) 一日の生活（学習）の流れについて知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 登校から下校まで <p>2 新しい学級や学部について話し合う。</p> <p>(1) 学習内容、構成について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 時間割, 校時 <p>(2) 学級の決まりや係を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日直, 係, 給食当番など <p>(3) 目当てを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学級の目標 個人の目標 <p>3 歓迎会に参加する。</p> <p>(1) 昨年の様子を知る。</p> <p>(2) 準備や練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己紹介の練習 出し物の練習 出し物の小道具作り <p>(3) 歓迎会に参加する。</p> <p>4 まとめをする。</p> <p>(1) 歓迎会を振り返る。</p> <p>(2) 係や目当てを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> タイムカードなど実際に使わせて利用の仕方を具体的に理解させる。 年間の大きな行事や初めて経験する作業学習等ではVTRや作品を用いる。 教科の学習グループを表を用いて発表する。 生徒の自主的な意見を尊重しながら, 特性を十分考慮して決める。 家庭とも話し合いながら, 達成できるような目当てになるよう配慮する。 目当てはカードに書いて発表し, その後は教室に掲示しておく。 昨年のVTRや写真を見せて, 歓迎会の内容や雰囲気を感じさせる。 名前カードを見せながら, 大きな声ではっきりと自己紹介できるように練習する。 出し物は生徒の関心のあるものを生かして決めさせる。 準備では実態に応じて役割分担させたり, ペアを組ませたりして, 協力して行えるようにする。 入学の喜びを味わわせるために, 保護者への参加を呼び掛ける。 歓迎会のVTRの視聴や, 係や目当ての発表を通して中学生になった自覚をより促す。 	<ul style="list-style-type: none"> タイムカード 時間割表 作品 VTR 表 目当てカード フェルトペン VTR 自己紹介用カード 小道具の材料 目当てカード VTR 	<ul style="list-style-type: none"> 国 3-1 2-5 3-11, 13 数 4-8 国 2-5 国 4-6 国 3-15 国 3-1 道 2-(3) 生・交 3-1 生・役 3-4 国 3-4 4-6

中学部 2・3学年

単元名	新しい学年		月(時数)	4月(18時間)
単 元 に つ い て	<p>生徒たちは新しい学年にそれぞれ進級し、進級した喜びや自分自身何かを頑張りたいという気持ちは漠然とは感じているものの、具体的にどんなことを頑張っていってよいか明確な目当てや見通しを持つまでには至っていない時期である。同時にこれまでと担任や教室が変わり、緊張感や不安感も抱いており、それぞれの学年の立場や学習環境にも十分慣れていないため、進んで学校生活を送るまでには至っていない。</p> <p>そこで、新しい学年を迎えたこの時期は、2・3年生としての自覚を持たせ、学級の係や目当てを決めさせるなどの活動や歓迎会を通して、集団における役割や自分自身の在り方などを考えさせるよい機会となる。</p> <p>具体的には、学級での係や当番などについて話し合うことで、早く学級に慣れさせ、目当てを決めるなどの活動を通して、集団における役割や自分自身の在り方について理解させ、見通しを持って進んで学校生活を送れるようにしていきたい。また、1年生の入学を祝って2・3年生が協力して歓迎会を計画・準備し、実施することを通して、学部の先輩としての意識や責任感を持たせるとともに優しくしてあげようという思いやりの心や集団活動へ積極的に参加していこうとする意欲や態度を育てていきたい。</p> <p>このような学習を通して、生徒たちは、進級の喜びを味わい、2・3年生としての自覚(目標)を持って進んで集団生活を送ることができ、下級生を思いやる心も育ていき、これからの学校生活をより豊かなものにしていくと考える。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目当ての設定や歓迎会の諸準備等を通して、進級の喜びを味わわせ、新入生を温かく迎えようとする態度を育て、中学部の上級生としての自覚を持たせる。 ○ 目当ての設定や歓迎会の諸準備等を通して、進級の喜びを味わわせ、進んで新入生を温かく迎えようとする態度を養うとともに、中学部の最高学年としての自覚を持たせる。 			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関 連 内 容	
<p>1 新しい学年、学級について話し合う。</p> <p>(1) 自己紹介をする。</p> <p>(2) 進級の喜びや希望を話し合う。</p> <p>(3) 自分の靴箱、座席、棚の位置を決める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真や名前カード等を使って、新入生の名前だけでなく、新任の教師の名前等についても知らせる。 ・ 上級生になったことを喜び合い、学部の上級生、最高学年としての立場について具体例をあげながら話し合わせる。 ・ 一つ一つ確認しながら、自分で名札をはらせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スライド ・ 写真 ・ 名札 	<p>道 4-(6)</p> <p>国 3-4 4-6</p> <p>道 2-(3)</p> <p>生・基 3-34</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>(4) 学年、学級のきまりを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日直、朝（帰り）の会、時間割（校時表）等 ・ 係の仕事 <p>(5) 目当てを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学級の目標 ・ 個人の目標 <p>2 歓迎会をする。</p> <p>(1) 歓迎会について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日時、場所、対象 <p>(2) 歓迎会の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 係分担（招待状係、横断幕係、名札係） ・ 出し物の練習 ・ 自己紹介の練習 <p>(3) 歓迎会をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ol style="list-style-type: none"> ① はじめのことば ② 中学部の歌 ③ 先生の話 ④ 新入生自己紹介 ⑤ 歓迎のあいさつ ⑥ 新入生お礼のことば ⑦ レクリエーション ⑧ 若者たち斉唱 ⑨ おわりのことば </div> <p>3 まとめをする。</p> <p>(1) 歓迎会を振り返る。</p> <p>(2) 係や目当ての発表をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校生活の流れを、話し合いの中で再確認させ、掲示物になるべく生徒に書かせ、絵や写真等も利用する。 ・ 係については、生徒の方から出させるようにし、一人一役になるようにさせる。 ・ 目当てについては、前年度の目当てや実態の資料も参考にしながら、できるだけ身近な具体的な事柄をあげるようにする。その際、学年の位置付けについても考慮する。 ・ 昨年度の様子を振り返りながら、生徒の考えを生かし、なるべく自主的に活動させ、1年生を迎える雰囲気高める。 ・ 3年生を中心にしながら、一人一人の能力や適性を十分生かした役割の分担を行い、協力して活動を行わせる。 ・ 進級の喜びを十分味わわせるために、保護者への参加を呼び掛ける。 ・ レクリエーションは学級の出し物とともに全体で楽しめるものも準備する。 ・ 歓迎会のVTRを視聴させたり、学部全体の前で係や目当てを発表させることで、進級した自覚をより促すとともに承認の欲求に応じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間割 ・ 色画用紙 ・ 絵 ・ 写真 ・ フェルトペン ・ VTR ・ 色画用紙 ・ 大判紙 ・ フェルトペン ・ のり ・ 絵の具 ・ テープ ・ アンブ ・ 横断幕 ・ 会順 ・ 名札 ・ 目当てカード ・ VTR 	<p>国 3-14, 15, 17</p> <p>数 4-8</p> <p>道 1-(1) 4-(1)</p> <p>国 3-15</p> <p>道 1-(2)</p> <p>生・役 3-4</p> <p>生・役 3-1 2</p> <p>道 2-(3)</p> <p>国 3-4</p> <p>4-6</p>

中学部

単元名	バスや電車の利用		月(時数)	5月(27時間)
単 元 に つ い て	<p>生徒たちの交通機関の利用の様子をしてみると、登下校だけに利用している生徒がほとんどであり、一人で交通機関を利用して公共施設を利用する経験はあまりない。そして、家庭で出かけるときもほとんどの生徒が自家用車を利用している。また、新学期が始まって間もないこの時期は、通学路や交通機関の利用に慣れない状態である。</p> <p>そこで、本単元では、停留所の名前や乗り降りの仕方等の練習をしたり、実際に利用することを通して、交通機関を利用する能力を高めたり、態度を育てたい。そして、博物館やデパートなどを見学したり、実際に利用したりすることを通して、公共施設への関心を持たせ、利用する際のマナー等を育てたい。</p> <p>指導に当たっては、一人一人の課題を達成するために、交通機関への興味・関心や登下校時のバス利用の自立の度合いなどを目安にして、グループを編成して指導する。また、行き先を選ぶ際には、生徒が興味・関心を強く示しそうな博物館や科学館、文化センター、デパートなどを候補とし目的意識を持たせ、期待感を高めながら指導する。そして、実際に利用するごとに反省させ、一人一人の学習課題を明確にしながらか学習できるようにする。</p> <p>このような学習を通して、バスや電車等の交通機関を利用できる能力や態度、公共施設への関心高め、利用する際のマナーを育てることができると考える。そして、やがて主体的に交通機関や公共施設を利用しようとする意欲や態度を育てることができると考える。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ バスや電車等の交通機関の利用を通して、停留所の名前や乗り降りの仕方、マナー等の交通機関を利用する能力や態度を育てる。 ○ 博物館や科学館、デパート等の公共施設を見学したり、利用したりすることを通して、公共施設に関心を持たせるとともに、利用する際のマナーを育てる。 			
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容	
<p>1 バスや電車の利用について話し合う。</p> <p>(1) 昨年のバスや電車の利用について思い出す(知る)。</p> <p>(2) 今年の計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日について ・ グループについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTRを視聴させ、バスや電車の利用について思い出させたり、イメージを持たせたりして学習への期待感を高め、意欲付けを図る。 ・ グループ分けは、学年を解いて生徒の交通機関への興味・関心や登下校時の利用状況と関連付けて行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 暦 	<p>国 2-5 4-2</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>2 バスや電車の利用の練習をする。(グループごと)</p> <p>(1) 身近な交通機関について調べる。</p> <p>(2) 学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日, 行き先 ・ 学習計画表の作成 <p>(3) バスや電車の利用に必要な事柄について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 路線や停留所を調べる。 ○ バスや電車の利用の練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 整理券の取り方 ・ 降車ボタンの押し方 ・ 整理券の入れ方 ・ 友愛バスの見せ方 ・ 車内での態度 ○ 公共施設の利用のマナーを調べる。 <p>(4) バスや電車を利用して, 公共施設へ出かける。(3回実施)</p> <p>(5) 反省をする。</p> <p>3 全体反省をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際にバス等を見に行ったり利用したり, また生徒が登下校で利用している交通機関を発表させたりすることで, 学習意欲を高めるとともに, 学習内容を明確に意識させる。 ・ 行き先については市内地図や観光パンフレット等の資料を参考に, 生徒の興味関心の高い公共施設を選定するようにする。その際, 乗り換えの有無や交通機関の種類, 所用時間等グループに応じて考慮する。 ・ 路線図や市内地図など生徒の実態に応じた物を準備し, できるだけ自分たちで調べるようにするとともに, 公共施設の大まかな所在地についても理解させる。 ・ 生徒一人一人の実態や課題に応じた活動の工夫と臨場感を味わいながら学習できるような状況設定(場合によっては実際のバスを利用)する。 ・ 車内での態度については, 顕著な場面のVTRや絵カード等を利用する。 ・ 利用の仕方やマナーなどについて理解を深めるとともに場合によってはお金の支払いについても取り扱う。 ・ 前回の反省を十分生かしながら, 新たな課題を設定する。 ・ VTRを見ながら, お互いの利用状況を確かめさせ, 次の課題を明確にする。 ・ 各グループの利用状況を確かめさせることで, 今後の交通機関や公共施設利用への意欲付けを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乗り物の絵カード ・ 市内地図 ・ 観光パンフレット ・ 学習計画表 ・ 市内地図 ・ 路線図 ・ 停留所名のカード ・ 模擬バス ・ 整理券 ・ 整理券入れ ・ 友愛バス ・ 時刻表 ・ VTR 	<p>生・社 2-9</p> <p>数 4-9 5-5</p> <p>生・公 2-2</p> <p>生・決 1-8 2-7, 8</p> <p>生・健 3-12</p> <p>道 2-(1), (2)</p> <p>数 4-8 5-6, 29</p> <p>生・健 3-12</p> <p>道 4-(2) 国 3-3</p>

中学部 2・3学年

単元名	修学旅行（隔年）		月（時数）	5月上旬～中旬 (27時間)
単 元 に つ い て	<p>修学旅行は、自分の住む地域を離れ、見知らぬ自然や文化に直接触れることのできる機会であり生徒たちが最も楽しみにしている学校行事の一つであり、感動的体験のできる修学旅行とその事前・事後の学習を通して積極的に取り組む態度や社会生活に必要な態度や能力を養うものである。</p> <p>中学部2・3年生はこれまで校内・校外宿泊や交通機関の利用等の学習を通して、基本的生活習慣や集団生活の在り方、公共機関利用の能力や態度を身に付けてきているとともに身近な自然や文化についての興味・関心を持ちつつある。また、社会にかかわる範囲は身近な地域に限られているものの、ニュースに出てくる言葉や地名に興味を示す生徒もあり、さらに集団生活を友達と楽しく過ごそうという気持ちや態度も身に付けつつある。指導に当たっては、生徒の興味・関心の拡大という視点から目的地や利用する交通機関を選定するとともに、資料の充実に努め、生徒が主体的に学習に取り組めるようにしておく。そして、目的地の自然や施設、利用する交通機関などを調べる活動を通して旅行への興味・関心を高めるとともに、自我の発達段階や生活能力を考慮しながらグループを構成し、グループでの活動内容や役割などを決めていく。さらに準備活動から当日の行動や宿泊を一緒にさせることで集団での自分の役割を意識させ、仲間意識や旅行への期待感・見通しを持たせ、実践させていく。</p> <p>これらの事前学習や実際の旅行を通して、様々な地域や文化、交通機関への興味・関心を広げるとともに、社会的マナーについても実践させることで、より積極的に社会生活に参加する態度を養っていかれるものとする。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目的地の施設や自然、利用する交通機関などについて調べる活動を通して、様々な地域への興味・関心を持たせ、修学旅行に意欲的に参加しようとする態度を育てる。 ○ グループ分けや係分担、準備などの活動を通して、集団の一員としての役割意識を持たせ、協力して楽しく集団生活を送ろうとする態度を養うとともに、交通機関や施設の利用・マナー等についての実践力を育てる。 			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関 連 内 容	
<p>1 修学旅行について調べる。</p> <p>(1) 今年の計画について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日 ・ 目的地 ・ 日程（コース） <p>(2) 日程表や地図を作る。</p> <p>(3) 学習計画表を作る。</p> <p>2 修学旅行の準備をする。</p> <p>(1) しおりの製本をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回のVTRや写真などを利用して修学旅行のイメージを持たせる。 ・ 目的地や交通機関の写真・パンフレット等を準備して日程表や地図を作成させながら旅行への関心を高めるとともに地図や地名への興味を持たせる。 ・ しおりの原稿は学習計画にそって生徒が書き込めるようにした物を準備しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 計画書 ・ 地図 ・ パンフレット ・ しおり原稿 	<p>社 4-29</p> <p>数 4-7</p> <p>数 4-8</p> <p>生・役 3-4</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>(2) 目的地や利用する交通機関について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目的地 ・ 交通機関 ・ ホテル ・ 遊園地 <p>(3) 買物の計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土産を買う人 ・ 品物 ・ 金額 ・ 遊園地での乗り物 <p>(4) 班分けや係分担をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 班名 ・ 班長 ・ 生活係 ・ レク係 ・ 集会係 外 <p>(5) レクリエーションの準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出し物 ・ 道具の準備 ・ 練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一人に分担して調べさせ全体の場で発表させたり、しおりに書き込ませたりして仲間意識・役割意識を持たせる。 ・ 家庭で話し合ったことをしおりに記入させ、お金の使い方に見通しを持たせる。 ・ 班分けは、学年を解いて男女別に、ホテルの部屋割り等も考慮して行う。 ・ 一人一役で役割分担させ、係・氏名等は教室に掲示して意識化を図る。 ・ レクリエーションの出し物は手軽で身体の動きを伴うものを考える。 ・ 飛び入りのカラオケ等も希望者を募っておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地図 ・ パンフレット ・ しおり ・ 名前カード ・ しおり ・ テープレコーダー 	<p>社 4-29</p> <p>生・金 3-7 家 5-48</p> <p>生・基 2-7</p>
<p>3 旅行中のマナーについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通機関の利用の仕方 ・ 施設の見学の仕方 ・ ホテルでの過ごし方 ・ 整列の練習 ・ 旅行中の目標 	<ul style="list-style-type: none"> ・ マナーについては具体例を示したり実態に即して劇化させたりして意識させるとともに、グループごとに目標を立てさせ当日の実践へと結び付ける。 ・ 整列の練習では、班長に人員を確認させ隊長に報告させるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵カード ・ しおり 	<p>社 4-7</p> <p>生・健 2-9 生・健 3-10</p> <p>社 5-8 道 4-(2), (1)</p>
<p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">修学旅行へ出かける。</p>			<p>生・金 3-7</p>
<p>4 反省をする。</p> <p>(1) 思い出を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行った場所（地名・施設名） ・ 楽しかったこと ・ 誉められたことや注意されたことなど <p>(2) しおりのまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小遣いのまとめ ・ お礼の手紙 <p>(3) 思い出を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作文 ・ 絵 	<ul style="list-style-type: none"> ・ しおりやVTRを基に日程に沿って振り返っていく。 ・ ガイドや添乗員の感想等も参考に、生徒が頑張ったことについては大いに認め、自信を持たせる。 ・ 買物の整理やお世話になったバスガイドさんや旅行者の方にお礼の手紙を書かせ、感謝の気持ちを持たせる。 ・ 実態に応じて文や絵で思い出を記録させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ しおり ・ 原稿用紙 ・ 画用紙 ・ しおり 	<p>生・基 2-3</p> <p>生・交 3-5</p> <p>国 4-4</p> <p>道 2-(2)</p> <p>国 4-15</p> <p>美 2-2</p> <p>美 4-1</p> <p>国 5-18</p>

中学部

単元名	校内宿泊学習		月(時数)	5月下旬～6月中旬 (27時間)
単 元 に つ い て	<p>生徒たちは、これまで数回の宿泊学習を経験してきたり、家庭で繰り返し行ってきたりして、自分の身の回りのことを自分でしようとする意識が芽生えており、中にはほぼ確立しつつある生徒もいる。しかし、脱いだ衣服をきちんとたたんだり、お風呂で身体や髪の毛をきちんと洗ったりすることがまだ十分にできない生徒も多く、掃除・洗濯・調理のような活動になると、ほとんどの生徒が親に依存しており自分でしようとするのは少なく、それらの活動への意識も薄い。また、集団を意識しながら活動できるようになってきつつあるが、協力しながら共に活動する姿はあまり見られない。</p> <p>そこで、本単元では、校内宿泊に向けて昨年のVTRを見たり、日程表や学習計画表を作ったりする活動を通して宿泊への意欲を持たせるようにする。そして、入浴や寝具の取り扱いなど自分の身の回りに関することや掃除、簡単な調理など家庭生活に必要なことなどについて一人一人の実態を考慮しながら繰り返し練習させていくことにより、それぞれの活動に見通しを持たせるとともに活動の仕方を分からせるようにする。このような活動を行うことにより、自分のことは自分でしようとする態度を育てるようにする。また、校内宿泊の活動内容には、生徒が興味・関心を持ち、自発的に活動していけるようなものや係別活動を設定していくことにより、友達と一緒に活動できるような場面を多く取り入れるようにする。</p> <p>このような活動を通して、身辺処理能力等が高まり、自発的に活動できるようになるとともに友達と協力する態度が養われ、共に活動する楽しさや喜びを味わうことができると考える。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常生活に必要な衣服や寝具の取り扱い、入浴などの身辺処理能力や、掃除・簡単な調理などの基本的な技能を高め、自発的な生活態度を育てる。 ○ 係活動をしたり友達や教師と共同生活をしたりすることを通して、集団の一員として自分の役割を意識させるとともに、友達と協力する態度を養い、共に活動する楽しさや喜びを味わわせる。 			
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容	
<p>1 校内宿泊について話し合う。</p> <p>(1) 昨年の校内宿泊を思い出す (校内宿泊について知る)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年のVTR視聴 <p>(2) 今年の計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日時、場所 ・ 活動内容 ・ 日程表作り ・ 学習計画表作り ・ 係決めと分担 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR視聴により、宿泊のイメージを持たせたり、昨年の宿泊を思い出させたりするとともに、宿泊への興味・関心や意欲を高める。 ・ 活動内容については、当日の日程表に従って順に行うことにより、見通しを持って主体的に活動できるように配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 暦 ・ 日程表 ・ 学習計画表 	<p>国 3-1, 3 4-4</p> <p>国 3-14, 15 数 3-7 4-8</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容		
<p>2 校内宿泊学習の練習と準備をする。</p> <p>(1) 持ち物調べをする。</p> <p>(2) 入浴の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入浴の仕方 ・ 温泉での入浴 <p>(3) 調理練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 献立決め ・ 作り方調べ ・ 買い物 ・ 調理, 会食, 片付け <p>(4) 寝具の扱い方の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シーツやタオルケットの敷き方, たたみ方 <p>(5) 学級での出し物練習をする。</p> <p>(6) 係活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゲーム大会の準備 (ゲーム係) ・ レクリエーションの準備 (レクリエーション係) ・ 集会の準備 (集会係) <p>3 校内宿泊に参加する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>― 校内宿泊の活動内容 ―</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>< 1日目 ></p> <p>① はじめの式 ④ 入浴</p> <p>② 買い物 ⑤ 夕食</p> <p>③ 夕食準備 ⑥ レクリエーション</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>< 2日目 ></p> <p>① 朝の集い ④ 昼食</p> <p>② 朝食 ⑤ 荷物の整理</p> <p>③ ゲーム大会 ⑥ おわりの式</p> </td> </tr> </table> </div> <p>4 反省をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ VTR視聴 ・ 頑張ったことの発表 	<p>< 1日目 ></p> <p>① はじめの式 ④ 入浴</p> <p>② 買い物 ⑤ 夕食</p> <p>③ 夕食準備 ⑥ レクリエーション</p>	<p>< 2日目 ></p> <p>① 朝の集い ④ 昼食</p> <p>② 朝食 ⑤ 荷物の整理</p> <p>③ ゲーム大会 ⑥ おわりの式</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実態調査を基に, 家庭と連携を取りながら個人の課題を明確にして取り組ませる。 ・ 自分の荷物の確認をさせた後, 荷物の整理の仕方やたたみ方等も指導していく。 ・ 経験の違いや興味・関心を考慮しながら, 献立は生徒が意欲を持って取り組み, できるだけ自分たちで作れるようなものに決めさせる。 ・ 献立決めから買い物, 調理, 片付けという活動を通して, 調理に必要な一連の活動を理解させる。 ・ 自分たちが宿泊する場所や調理室などを掃除させ, 用具にはカーペットクリーナーやガラスクリーナー等, 生徒が興味を示すようなものを準備しておく。 ・ 係を分担する際には, 学年を解いたグループを編成し, 他学年の生徒とのかかわりが深められるようにする。 ・ 係別の活動を行う際には, 係を明示させるものを準備したり, 友達と協力して活動させるような内容を選んだりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ チェック表 ・ 宿泊用具 ・ 着替え ・ 洗面用具 ・ 調理用具 ・ 材料 ・ 料理の本 ・ 絵カード ・ 料理の模様 ・ 寝具一式 ・ 掃除機 ・ カーペットクリーナー ・ 雑巾 ・ 宿泊用具 ・ 調理用具 ・ 寝具 ・ VTR ・ VTR 	<ul style="list-style-type: none"> 生・基 3-34 36 21~26 生・手 3-6 生・基 3-5 生・金 2-3 生・基 3-1, 3, 4 2-9 生・基 3-15 生・役 2-4 生・手 2-5 国 3-7 音 3-7, 9 12 音 4-7, 8 生・役 2-1 生・基 1-11 ~14 1-16
<p>< 1日目 ></p> <p>① はじめの式 ④ 入浴</p> <p>② 買い物 ⑤ 夕食</p> <p>③ 夕食準備 ⑥ レクリエーション</p>	<p>< 2日目 ></p> <p>① 朝の集い ④ 昼食</p> <p>② 朝食 ⑤ 荷物の整理</p> <p>③ ゲーム大会 ⑥ おわりの式</p>				

中学部

単元名	校外宿泊学習		月(時数)	6月下旬～7月上旬 (18時間)
単 元 に つ い て	<p>生徒たちにとって、学校や家庭を離れ自然の中で友達と一緒に生活する経験は、非日常的で新鮮味があり興味・関心が高い。同時に、自分のことは自分で、様々な活動は生徒たち自身で協力してしなければならないという状況にある。このような宿泊に向けて活動することは、校内宿泊を経験し、自分の身の回りのことに主体的に取り組もうとする態度が養われつつある生徒たちにとって、校内宿泊での活動をより発展的に行うことで、身辺生活への意欲を高めていける場となる。また、自他の役割を意識して共に活動することの少ない生徒たちにとって、様々な活動を自分たちで行う過程で互いに協力していくことの重要性を学ぶことのできる機会ともなる。さらに、自然の中での活動を通して、自然と触れ合う体験を得させることができる場でもある。</p> <p>そこで、本単元では、生活経験や課題等を考慮し、学年を解いた縦割りのグループを編成し、準備や練習、当日の活動などグループを中心として活動させていくようにする。その際、各グループに応じた活動を設定し、その中で成員相互がテーマを意識し活動できるように個々の生徒に応じた役割を設定していくとともに、共同的な活動も取り入れていく。このような活動を通して、自他の関係に気付かせ、個々の生徒の役割意識を高めていくとともに、友達と協力して活動する喜びを味わわせていけるものとする。また、当日に向けての荷物や道具の準備活動や当日の活動をグループ内で協力して行うことで道具の取り扱いや荷物の整理の仕方などへの意識や技能を高められる。さらに、自然を取り入れたゲームや散策活動を通して、自然の様子等への関心を持たせていけるものとする。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校外宿泊に向けて係分担し、活動の計画を立てたり準備をしたりすることを通して自分の役割を意識し、主体的に活動に参加できるようにするとともに、共に活動する喜びを味わわせる。 ○ 校内宿泊での経験を基に、掃除や荷物の整理、入浴、調理等の活動を通して、日常生活における基本的な技能や態度を高め、自発的な生活態度を養う。 ○ 登山や、散策等、自然と触れ合う活動を通して、動植物や自然現象への興味・関心を高める。 			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容	
<p>1 校外宿泊の計画を立てる。</p> <p>(1) 昨年の校外宿泊について思い出す(知る)。</p> <p>(2) 今年の校外宿泊の計画を立てる。</p> <p>① 行き先、期日、活動内容について話し合う。</p> <p>② 日程表を作る。</p> <p>(3) 準備や練習する内容を話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTRを視聴させ、校外宿泊の様子を思い出させたり、イメージを持たせたりして意欲を高める。 ・ 活動内容については、生徒の経験や興味・関心を考慮したり、役割分担したりして個々の生徒が主体的に活動できるようにするとともに、自然との触れ合いを十分持てるように配慮する。 ・ 計画を立てる段階では2、3年生をリーダーに、主体的に立案できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 暦 ・ 地図 ・ 時計 ・ 日程表 	<p>図 4-1</p> <p>数 3-7 数 4-7,8</p> <p>家 4-41</p> <p>社 4-6</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容																		
<p>① 学習計画表を作る。</p> <p>② 班決め、係分担をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゲーム係 ・ 生活係 ・ 集会係 ・ キャンプファイヤ-係 <p>2 校外宿泊の準備や練習をする。</p> <p>(1) 宿泊の準備をする。</p> <p>① 班での準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゲーム大会の準備 ・ 日程カードや起床テーブルの準備 ・ 集会活動の準備 ・ キャンプファイヤ-の用具の準備 <p>② 持ち物の準備をする。</p> <p>③ 道具の準備をする。</p> <p>④ 買い物をする。</p> <p>⑤ 荷物を積み込む。</p> <p>(2) 宿泊の練習をする。</p> <p>① 調理の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 献立決め ・ 作り方調べ ・ 調理 ・ 会食 ・ 後始末 <p>② キャンプファイヤ-の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キャンプファイヤ- ・ 班のレクイエ-ション 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の係や班については、生活経験、興味・関心、昨年の係等を考慮するとともに生徒相互が協力して活動できるように配慮して集団構成をする。 ・ 各班の活動は、成員相互が協力して活動できるように共同的な活動や、役割を明確にした活動を準備するとともに、宿泊当日の活動に結び付け、生徒が主体的に活動できるように配慮する。 ・ 準備は各班で分担して活動させるが、活動の開始と終わりは全体で行い、各班の活動の必要性を意識させたり、活動を認め合わせたりする。 ・ 生徒たちの経験や興味・関心、校内宿泊での調理との関連等を考慮し献立を決めるとともに、調理活動の経験の拡大を図るように配慮する。 ・ 献立を各班で分担して調理するようにして役割を明確にさせ、協力して活動できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 暦 ・ 名前カード ・ 日程カード ・ テーブルコーダー ・ 宿泊用具 ・ 着替え ・ 洗面用具 ・ 調理用具 ・ 材料 ・ 料理の本 ・ 絵カード ・ 料理の模様 ・ トーチ ・ テーブルコーダー 	<p>社 4-10</p> <p>道 2-(3)</p> <p>職 4-7, 15</p> <p>生・基 3-28</p> <p>生・基 3-36</p> <p>家 4-45</p> <p>職 4-26</p> <p>家 4-16</p> <p>~18</p> <p>家 4-20</p> <p>~23</p> <p>社 4-10</p> <p>音 4-6</p>																		
<p>3 校外宿泊に参加する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>校外宿泊の活動内容</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">〔1日目〕</td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">〔2日目〕</td> </tr> <tr> <td>① 荷物の整理</td> <td>① 朝の集会</td> </tr> <tr> <td>② 部屋の掃除</td> <td>② 散歩</td> </tr> <tr> <td>③ 開村式</td> <td>③ 朝食準備</td> </tr> <tr> <td>④ 夕食準備</td> <td>④ 朝食</td> </tr> <tr> <td>⑤ ゲーム大会</td> <td>⑤ 荷物の整理</td> </tr> <tr> <td>⑥ 入浴</td> <td>⑥ 閉村式</td> </tr> <tr> <td>⑦ 夕食</td> <td>⑦ 自然めぐり</td> </tr> <tr> <td>⑧ キャンプファイヤ-</td> <td></td> </tr> </table> </div> <p>4 道具の後始末をする。</p> <p>5 反省をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ VTR視聴 ・ 頑張ったことの発表 	〔1日目〕	〔2日目〕	① 荷物の整理	① 朝の集会	② 部屋の掃除	② 散歩	③ 開村式	③ 朝食準備	④ 夕食準備	④ 朝食	⑤ ゲーム大会	⑤ 荷物の整理	⑥ 入浴	⑥ 閉村式	⑦ 夕食	⑦ 自然めぐり	⑧ キャンプファイヤ-		<ul style="list-style-type: none"> ・ 頑張ったことを発表する場を設定し、生徒相互で活動を認め合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR 	
〔1日目〕	〔2日目〕																				
① 荷物の整理	① 朝の集会																				
② 部屋の掃除	② 散歩																				
③ 開村式	③ 朝食準備																				
④ 夕食準備	④ 朝食																				
⑤ ゲーム大会	⑤ 荷物の整理																				
⑥ 入浴	⑥ 閉村式																				
⑦ 夕食	⑦ 自然めぐり																				
⑧ キャンプファイヤ-																					

中学部

単元名	もうすぐ夏休み		月(時数)	7月中旬～7月下旬 (9時間)
単 元 に つ い て	<p>生徒たちは、1学期の学習活動を通してそれぞれに成長している。そこで、学期という節目で自らの生活を振り返り互いの成長を確かめ合うということは生徒たちにとって有意義なことである。その後に来る夏休みは、暑さにより体調を崩しやすい時期であり、生活のリズムを崩しやすい時期でもある。また、長期的に学校生活を離れるために、普段の学校生活でできないことに取り組むよい機会である。したがって、この時期に夏休みを計画的に過ごそうとする態度を育てたり、有意義な活動に取り組もうとする意欲を育てたりすることは大切なことである。</p> <p>具体的には、4月に立てた自分の目標、行事、身体の成長を振り返らせ1学期の自己の成長に気付かせるとともに、それぞれ成長した点を全体場で発表し合うことにより、お互いの成長を認め合わせ、これから始まる夏休みも頑張るぞという意欲を持たせたい。その上で、夏休みの過ごし方について考えさせる。まず、楽しい夏休みの行事を知ることにより、夏休みは楽しいものだということに気付かせる。また、夏休みの計画、決まりや生活について話し合い、健康や安全に気を付け規則正しい生活が送れるようにさせたい。</p> <p>このような学習活動を通して、生徒たちは、自己の成長を知ることができるとともに計画的で有意義な夏休みが送れるようになると思う。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年度当初に立てた目標や1学期の学習活動や身体の成長を振り返らせ、発表させることを通して、お互いの成長に気付かせる。 ○ 夏休みの過ごし方を考え、計画的で有意義な生活を送ることができるようにする。 			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関 連 内 容	
<p>1 1学期の学習活動を振り返る。</p> <p>(1) 年度始めの目標について確かめる。</p> <p>(2) VTRを見て反省する。</p> <p>(3) 写真の整理をしながら、アルバムの作成をする。</p> <p>(4) 持ち物整理をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 互いの成長の発表の場(1学期に身に付けたこと)を設定し、認め合わせるにより、社会的承認の得られやすい環境づくりを工夫する。 ・ 身体測定個人票等により自己の成長に気付かせる。 ・ 混乱がないように、教師が写真を分類したり、ラベルを準備したりしておく。 ・ 1学期の学習活動と物とを結び付けられるように、話題を準備しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連絡帳 ・ 暦 ・ 身体測定個人票 ・ VTR ・ アルバム ・ 写真 ・ ラベル ・ 作品等 	<p>道 1-(1)</p> <p>数 4-9</p> <p>国 3-4,9</p> <p>国 4-1</p> <p>生・健 3-2</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>2 夏休みの過ごし方を考える。</p> <p>(1) 夏休みの楽しい行事を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海水浴 ・ 夏祭り（六月灯） ・ キャンプ ・ 墓参り（お盆） <p>(2) 夏休みの計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休みの課題帳作り ・ 夏休みの計画表作り <p>(3) 夏休みの決まりや生活について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康面（規則正しい生活、睡眠、運動、病気治療） ・ 安全面（交通事故、水遊び火遊び等） ・ 手伝いについて ・ 外出の諸注意（公衆道徳等） ・ 地域行事への参加（ラジオ体操、夏祭り等） <p>3 まとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各自の夏休みの目標の発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 踊りやぼんぼん釣り、金魚すくいなど実際に行うことにより興味・関心を持たせる。 ・ 楽しさとともに、古くからの伝統行事や自然に触れるよい機会であることを押さえ、進んで行事に参加しようとする意欲を持たせる。 ・ 夏休み中の思い出を残したりするような内容も入れ、作ったものを確かめることにより夏休みが来るのだという意識を持たせる。 ・ 1日の計画や、夏休みの予定について家族と相談させ、発表させる。 ・ 教師が作成した模範VTRや教師の演技などで、規則正しい生活について考えさせる。 ・ それぞれ夏休みに頑張ることを決めさせる。 ・ 仕事をする事への興味を持たせ、家族の一員であるという所属感を持たせる。 ・ それぞれの地域行事を予定表に記入させ地域の人々との交流を図らせる。 ・ 夏休みに頑張ることの発表をさせ、夏休みを楽しく有意義に過ごそうとする意欲を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 暦 ・ 絵カード ・ VTR ・ テープレコーダー ・ 金魚すくい道具一式 ・ 風船 ・ 夏休みの課題帳 ・ 夏休みの生活の心得 ・ 模範VTR ・ 目覚まし時計 ・ ラジオ体操カード 	<p>国 4-1</p> <p>国 3-4</p> <p>国 3-9</p> <p>生・決 3-2</p> <p>生・基 3-11</p> <p>14</p> <p>生・決 2-3</p> <p>生・健 2-6,</p> <p>13</p> <p>生・交 2-3</p> <p>道 4-(1)</p> <p>生・社 2-8</p> <p>職 4-1, 3</p> <p>社 4-8</p> <p>国 3-4, 9</p>

中学部

単元名	運 動 会		月 (時数)	9月上旬～9月下旬 (27時間)
単 元 に つ い て	<p>運動会は、その準備や練習の段階から自分の体を精一杯動かして活動でき、興味・関心の高い行事である。生徒たちの様子を見ると、友達と一緒に活動する楽しさは味わってはいるが、自他の役割を意識しお互いに協力して活動するまでには至っていない。また、承認の欲求は強いものの表現力に乏しい面がみられる。</p> <p>本単元では運動会までの、見通しを持たせ、興味・関心を持続させていくことで諸準備や練習に最後まで積極的に参加しようとする態度を育てるものである。そして、諸準備や練習で友達と十分活動する楽しさを味わう中で自分の役割を果たそうとする態度や協力する態度も養われる。さらに、練習を通して運動や健康への関心を高めることもできると考える。</p> <p>具体的には、諸準備や練習に意欲的に取り組ませるために、昨年のVTR視聴や今年の計画を調べる活動などを通して見通しを持たせるとともに、生徒の希望や意見を尊重した係分担を行うとともに協力して行ったり競争心をふるい起こすような種目を設定していく。また、役割意識を高めるために、経験、自らの発達段階、興味・関心を考慮し、学年を解いた縦割りのグループや学級ごとの活動を通して個に応じた役割を設定していくとともに共同的な活動を取り入れていく。更に、諸準備練習ともに発表の場を数多く設け、承認の欲求や自己を表現する喜びを味わわせていく。</p> <p>このような学習を通して、生徒たちは成就感が得られ、最後まで積極的に参加しようとする態度や協調性、進んで運動に取り組む態度が得られると考える。</p>			
目 標	<p>○ 係活動や種目の道具作りや練習を通して、運動会への見通しや意欲を持たせ、最後まで積極的に参加しようとする態度を育てるとともに、自分の役割を果たそうとする意識や友達と協力する態度を養う。</p>			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容	
<p>1 運動会について話し合う。</p> <p>(1) 昨年の運動会について思い出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加種目 ・ 応援 ・ 係 <p>(2) 今年の運動会について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日 ・ 種目 ・ 係及び役員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTRや写真により、昨年の運動会を思い出させやすくするとともに、動作化させて運動会への意欲を高める。 (2, 3年) ・ VTRや写真、上級生の動作等により運動会のイメージを持たせやすくするとともに、運動会への興味を持たせる。 (1年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 写真 ・ 昨年のプログラム ・ 絵カード ・ 暦 ・ 文字カード ・ 絵カード 	<p>国 4-4 国 3-4</p> <p>数 3-7</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>(3) 学習計画を立てる。</p> <p>2 運動会の準備をする。</p> <p>(1) 組分けや係を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 赤, 白 ・ 応援係, 旗係, 看板係 ・ 当日の係 <p>(2) 係活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応援係…はちまき, うちわ等 ・ 旗係…万国旗 ・ 看板係…看板 <p>(3) 各係の活動内容の発表を行う。</p> <p>(4) 学部種目やリズムについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 種目の内容 ・ 曲の選定 ・ グループ分け ・ 必要な用具 <p>(5) 用具作りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 演技用の用具作り <p>3 運動会の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 短距離走 ・ 学部種目 ・ リズム ・ 全体練習 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin: 10px 0;"> <p>運動会に参加する。</p> </div> <p>4 反省をする。</p> <p>(1) 用具の後始末をする。</p> <p>(2) 競技や係の反省をする。</p> <p>(3) 楽しかったことや頑張ったことを発表する。</p> <p>(4) 運動会の思い出を絵や作文にかく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動会に向けての活動を話し合い, 運動会への見通しを持たせる。 ・ それぞれの係の役割について押さえ, 活動の見通しを持たせ, 意欲を高める。 ・ 生徒たちの興味・関心, 昨年の係などを考慮するとともに, 生徒相互が協力して活動できるように配慮して集団構成する。 ・ 各係は, 成員相互が協力して活動できるように, 共同的な活動や役割を明確にした活動を準備するとともに, 生徒が主体的に活動できるように配慮する。 ・ 各係で作ったものをお互いに発表し合いそれぞれの活動を認め合わせる。 ・ 内容はこれまでの学習体験や興味・関心等を考慮する。 ・ かかわりを促すために, 友達と協力したり競争したりできる競技を考慮する。 ・ 作成する用具の内容によって学級別活動や縦割りグループなど工夫して行わせる。 ・ 保健体育科や音楽科との関連を持たせて行う。 ・ 過労にならないように, 練習と休息のバランスを取って行う。 ・ 動きのよい生徒や頑張った生徒は賞賛するとともに他の生徒の参考にさせる。 ・ 運動と健康の関係について触れるとともに練習後の汗の始末, 手洗い・うがい等を通して健康への意識を高める。 ・ 頑張ったことを発表したり, 認め合ったりする場面を設定することにより, 成就感を味わわせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習計画表 ・ 色画用紙 ・ 文字カード ・ 名前カード ・ うちわ ・ 笛 ・ 紙 ・ 絵の具 ・ フェルトペン ・ 絵カード ・ テープレコーダー ・ 各種目で使用する用具 ・ ストップウォッチ ・ 学習計画表 ・ VTR ・ 用具 ・ クレパス ・ 絵の具 	<p>生・役 3-2</p> <p>道 4-(1)</p> <p>道 2-3</p> <p>美 3-7</p> <p>美 3-11</p> <p>国 3-4</p> <p>美 3-11</p> <p>美 3-9</p> <p>道 1-(5)</p> <p>体 3-2, 3, 16, 18, 28</p> <p>保健 4-4, 6</p> <p>音 3-8, 9</p> <p>生・役 3-4</p> <p>国 4-4</p> <p>美 3-2</p> <p>国 4-15</p>

中学部

単元名	校 内 実 習		月 (時数)	9～10月 (45時間)
単 元 に つ い て	<p>校内実習は、現実の事業所に近い環境の中で働く経験をさせることにより、働くことの楽しさや厳しさを体得させるとともに、望ましい作業態度を養うために設定されたものである。これまでの校内実習への取り組みを見てみると、1年生は、初めて経験するために具体的なイメージが持てず、2年生は昨年経験し、見通しは持っているものの、働くことに対する興味・関心や友達と協力して仕事をしようとする意識はまだ低い。</p> <p>そこで本単元では、身近な仕事や職業を取り上げることで、仕事に対する興味・関心を持たせるとともに、校内実習の材料の提供先や現場実習の実習先の見学、高等部の実習の見学などを通して校内実習への見通しや、参加意欲を高めたい。そして、校内実習に関連する係分担や作業分担を話し合わせたり、事前に作業を経験させたりして、友達と協力することの必要性や大切さの理解を深めさせたい。</p> <p>具体的には、身近な仕事を経験したり、仕事調べをしたりすることで、働くことへの興味・関心を高めていく。次に、職場見学をしたり、高等部の校内実習の様子を参観したりして、校内実習への参加意欲を高めていく。そして、実習中の一日の流れに沿った指導や実際の作業を事前に経験させる等して、校内実習の見通しをより明確に持たせるようにする。また、これまでの作業学習との関連を図り、学習に反映させるようにする。そして、次の単元である「年のくれ」の学習活動と関連付けながら指導を行い、校内実習への意欲をより喚起したい。</p> <p>このような学習を通して、校内実習への見通しを明確に持ち、協力することの大切さを理解でき校内実習へスムーズに、かつ意欲的に参加できるようになると考える。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろな仕事調べや職場見学、高等部の校内実習の参観、実習種目の事前学習を通して、働くことへの興味・関心を持たせるとともに、実習への見通しや参加意欲を高める。 ○ 実習中のいろいろな係分担や仕事の役割分担を話し合うことを通して、友達と協力することの必要性や大切さを理解させるとともに、協力して仕事をしようとする態度を育てる。 			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容	
<p>1 仕事について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の校内実習について ・ 学校や家庭での自分の仕事 ・ 父母の仕事調べ ・ 学校周辺のいろいろな仕事調べや見学 <p>2 今年の校内実習の計画について調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年生の昨年の経験の発表、前年度の製品やVTR等を基に働くことへの興味・関心を高める。 ・ 実際に動作化させることで、自分の仕事や父母の仕事に関心を持たせる。 ・ 学校行事等でお世話になっているなじみの職場を中心に取り上げ、仕事の種類や仕事をしている人の様子を中心に見学させ、仕事に対する関心を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵カード ・ 道具 ・ VTR ・ 製品 ・ 暦 	<p>職 4-3</p> <p>国 3-3</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 期日, 作業内容 ・ 学習計画表の作成 <p>3 職場見学をする。</p> <p>(1) 職場見学の計画について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日 ・ 見学先 <p>(2) 職場見学をする。</p> <p>4 校内実習の準備をする。</p> <p>(1) 高等部の校内実習を見学する。</p> <p>(2) 実習日程について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出勤→実習日誌の提出→朝礼→作業→休憩→後始末→終礼→退社 <p>(3) 実習中の係分担任を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 清掃・湯茶等 <p>(4) 実習日誌を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 記入の仕方 <p>(5) 実習中の決まりについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出社時, 作業中, 休憩時 ・ 持ち物, 退社時 <p>(6) グループ分けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作業種ごとの学習 ・ 作業分担任と練習 <p>(7) 作業時の留意点を話し合う。</p> <p>(8) 現場実習壮行会の準備をする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>壮行会をする。 校内実習をする。</p> </div> <p>4 校内実習の反省をする。</p> <p>(1) 校内実習のVTRを見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 頑張ったことの発表 <p>(2) 現場実習のVTRを見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3年生の報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 材料, 製品を提示し, 作業内容を理解しやすくする。 ・ 校内実習や現場実習の事業所を見学することを理解させるようにする。 ・ 作業内容や作業態度に注目して見学させるようにする。 ・ あいさつの指導も十分行う。 ・ 作業内容や作業態度に注目して見学させるようにする。 ・ 日程表を基に, 1日の流れに沿って具体的な場面を設定し, 動作化させながら展開する。 ・ 学年差, 実態などを考慮して分担任させるようにする。 ・ 実習日誌の書き方の指導も事前に行う。 ・ 実習日誌の使用について, 家庭にも事前に連絡をする。 ・ 作業学習や職場見学などの具体的な場面を思い出させて, 考えやすいようにする。 ・ 作業種, 作業分担任を理解しやすくするために, 具体物や絵カード, 作業工程表などを準備する。 ・ 友達と協力することの大切さに気付かせるようにする。 ・ 3年生を励ますとともに, 校内実習への意欲を高める。 ・ お互いの作業の様子を認め合い, 所属や承認の欲求を満たせるようにする。 ・ 2年生は来年度現場実習へ行くことを意識させるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 材料 ・ 製品 ・ 学習計画表 ・ 日程表 ・ 朝礼, 終礼の進行情カード ・ 名前カード ・ 部屋名カード ・ 実習日誌 ・ 単語カード ・ 絵カード ・ 原材料 ・ 道具 ・ 作業工程表 ・ 分担任表 ・ 名前カード ・ 暦 ・ VTR 	<ul style="list-style-type: none"> 職 4-2 道 2-(1) 道 2-(5), (4) 職 4-32, 34 37 社 4-24 社 4-1 道 2-(1) 国 4-3 道 4-(9) 道 2-(1) 職 4-31 道 4-(1) 国 3-2 道 4-(2) 国 4-6 生・手 3-5 道 1-(2) 生・基 3-31 生・基 3-34 職 4-3, 27 39 社 4-25 国 3-2 国 3-2 道 2-(5)

中学部 3 学年

単元名	現 場 実 習		月 (時数)	9～10月 (45時間)
単 元 に つ い て	<p>現場実習は、これまでに作業学習や校内実習で身に付けた働く態度や習慣を基に、初めて実際の職場を体験する場であり、現実の仕事の厳しさを知る場でもある。</p> <p>生徒たちは、校内実習を2回経験しており、働くことへの興味・関心が高まりつつある。しかしまだ、働くことの意義や現場実習の日程や具体的な活動については十分理解できていない。</p> <p>そこで、本単元では身近な仕事や職業について取り上げたり、現場実習に向けての学習に取り組ませることで、働くことに対する興味・関心を高めさせ、現場実習への見通しや意欲を持たせる。そして、社会人としての望ましい対人関係の持ち方等についても意識させていきたい。</p> <p>具体的には、学校や家庭での自分の仕事や生徒に身近な人々の仕事を調べたり見学したりして仕事への興味・関心を持たせる。次に、過去の現場実習の様子を視聴したり、自分たちが働く現場を見学したりすることを通して、現場実習に対する興味・関心を高めさせていく。また、現場実習に向けて学習計画表や実習日誌等を用いることで見通しを持たせながら、職場での一日の流れや仕事内容を具体物を用いたり動作化したりするなど実際場面に即した具体的な活動をさせることでできるだけ体験的に学ばせていく。活動する際は、友達の活動にも注目させたり、友達と協力して活動する場面も設定していくことで、望ましい対人関係の持ち方等についても考えさせ、現場実習に向けての心構えや意欲を持たせていく。</p>			
	目 標	<p>○ 身近な仕事調べや職場見学、現場実習の準備の学習を通して、働くことへの興味・関心や対人関係の持ち方についての意識を高めるとともに現場実習への見通しや意欲を持たせる。</p>		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容	
<p>1 仕事について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の現場実習について ・ 学校や家庭での自分の仕事 ・ 父母の仕事調べ ・ 学校周辺のいろいろな仕事調べや見学 <p>2 今年の現場実習の計画について調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の先輩や現場実習での様子をVTRや写真や具体物等を使って知らせることで現場実習の内容について関心を高める。 ・ 実際に動作化させることで、自分の仕事や父母の仕事に関心を持たせる。 ・ 働くことで報酬が得られ、生活できていることもおさえる。 ・ 生徒の生活に関連の深い職場を中心に取り上げ、仕事の種類や仕事をしている人の様子を中心に見学させ、仕事に対する関心を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 写真 ・ 製品 ・ 原材料 ・ 絵カード ・ 仕事に必要な用具 ・ 絵カード ・ 写真 	<p>職 4-3</p> <p>道 1-(2) 2-(1), (5) 4-(4)</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>(2) 現場実習の計画について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日、日程 ・ 実習先 ・ 仕事内容 <p>(3) 学習計画表を作る。</p> <p>2 職場見学をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習先 ・ 仕事内容 ・ 更衣室 ・ トイレ <p>3 現場実習の準備をする。</p> <p>(1) 通勤方法を知る。</p> <p>(2) 実習日誌を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 書き方 ・ 提出の仕方 <p>(3) 職場での一日について知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職場での生活 ・ 職場での約束 ・ 目当て <p>4 現場実習壮行会の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習先 ・ 仕事内容 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>壮行会に参加する。 現場実習をする。 校内実習をする。</p> </div> <p>5 反省をする。</p> <p>(1) 反省をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 頑張ったことの発表 <p>(2) 実習先にお礼状を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習先やその仕事内容については、地図や写真、製品等を準備し、分かりやすく提示する。 ・ 今後の学習に用いていくことで活動に見通しを持って取り組めるようにする。 ・ 実習する職場を実際に訪問することで自分の職場の場所や仕事内容について確認させ、仕事への意欲や自覚を高める。また、友達の仕事にも関心を持たせる。 ・ 家から実習先までの道順や交通機関を地図や路線図等を利用して調べさせる。通勤練習は家庭との連携を図って実施する。 ・ 提出の仕方や受け取るときの礼儀など実際場面に即して行う。 ・ 実際の職場の雰囲気が出るように職場で用いている用具等を準備し、一日の流れに沿ってあいさつや仕事を動作化することでより職場のイメージを持ちやすくする。また、友達の活動にも注目させる。 ・ 昨年の校内実習の様子や仕事内容等を参考に具体的な目当てを設定させる。 ・ 全体場で実習先や目当てを発表させることで実習への意欲を高める。 ・ 1, 2年生と一緒に校内実習や現場実習で頑張ったことやほめられたことについて発表し合ったり、認め合ったりさせることで成就感や自信を持たせる。 ・ 実習先に対して感謝の気持ちを持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 仕事に必要な用具 ・ 学習計画表 ・ 写真 ・ 製品 ・ VTR ・ 写真 ・ 地図 ・ 実習日誌 ・ 仕事で使う用具類 ・ 目当てカード ・ 実習日誌 ・ 評価表 ・ VTR ・ 封筒 	<ul style="list-style-type: none"> 数 4-9 国 3-15 社 4-23, 24 5-23 職 4-32, 33 34 道 3-(3) 社 4-29 5-28 国 3-15 4-15 職 4-9, 10, 11 生・手 5-9, 10 3-7, 10 国 3-4 4-6 国 3-3, 4 4-6 国 3-18 4-16 生・交 3-11

中学部

単元名	附 養 ま つ り		月 (時数)	11月 (18時間)
単 元 に つ い て	<p>附養祭りは、みこしパレードや販売活動、附小の演奏会など、他校の児童生徒や地域の人々と触れ合いを持たせることができる場である。</p> <p>生徒たちは、本校の附養祭りや地元の祭りに参加したことがあり、祭りでどんなことをするのか(みこしパレード、出店等)大まかに理解しており興味・関心も高い。</p> <p>そこで、本単元では、間近に迫った附養祭りに向けての準備活動を行うことで、祭りへの期待感や見通しを持たせ、進んで祭りに参加しようとする態度を育て、また、準備活動の中で、自分の役割を果たそうとする態度や友達と協力する態度も養われると考える。</p> <p>指導に当たって、みこしやうちわ作りについては学級毎に活動させ、これまでの附養祭りでの経験等を十分に生かしながら計画を立てさせたり、制作を行わせるようにしていきたい。また、出店の販売準備については、作業学習や現場実習との関連を図りながら学習を展開させていく。具体的には、製品の準備や店の飾り付け等については、1、2年生は作業学習のコースごとのグループで行い、3年生は現場実習でお世話になった青果店の販売準備を行うようにする。また、販売活動等を通して、地域の人々との触れ合いも持たせるようにする。</p> <p>このような活動を通して、友達と一緒に協力して活動する楽しさを味わうとともに、進んで地域の行事等へ参加しようとする態度が育つものと考ええる。</p>			
目 標	<p>○ 祭りで使うみこしやうちわ作り、出店の準備活動を通して、附養祭りへの見通しや意欲を持たせ、進んで附養祭りに参加しようとする態度や、自分の役割を果たそうとする意識、友達と協力する態度を養う。</p>			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容	
<p>1 附養祭りについて話し合う。</p> <p>(1) 昨年の附養祭りについて思い出す(知る)。</p> <p>(2) 今年の附養祭りについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日 ・ 日程 ・ 出し物 <p>(3) 学習計画を立てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTRを視聴させ、2、3年生に昨年の経験を発表させ、1年生の興味・関心を高めるとともに、附養祭りでの活動内容を明確にさせる。 ・ 昨年の附養祭りの日程を参考にしながら当日の日程や出し物等について調べることで、当日にどんな準備や活動が必要か見通しを持って取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 写真 ・ 法被 ・ 暦 ・ 日程表 ・ 学習計画表 	<p>国 3-1</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>2 附養祭りの準備をする。</p> <p>(1) みこしやうちわを作る。</p> <p>① みこしやうちわについて話し合う。</p> <p>② みこしやうちわを作る。</p> <p>(2) 出店の準備をする。</p> <p>① 出店で売る品物を決める。</p> <p>② 出店で売る品物を準備する。</p> <p>③ 出店の飾りを作る。</p> <p>④ 販売の準備をする。</p> <p>(3) 案内状を作る。</p> <p>附養祭りに参加する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の興味・関心を基に話し合わせるが、その際これまで作ったみこしやTVのキャラクターなどの写真を準備する。 ・ 生徒の実態に応じて役割分担をして、協力して活動ができるようにする。 ・ 材料や用具等については生徒の実態に感じられるようにいろいろ準備する。 ・ みこしの発表会を行い、パレードの練習をすることで、祭りへの期待感を高める。 ・ 1, 2年生については、作業学習との関連を図りながら、作業学習の製品を、3年生については現場実習との関連で野菜や果物等の販売をする。 ・ 品物については、袋詰めや値札まで生徒たちの手で行わせる。 ・ できるだけ出店が目立つように、看板の文字を大きくさせる。 ・ 生徒の実態に応じて役割分担をして、協力して活動ができるようにする。 ・ お世話になった教生先生や交流校を中心に作らせる。 ・ 販売活動など役割を分担して、生徒たちが中心になって取り組めるようにさせる。 ・ 販売活動だけでなく、外の出店等を見学する時間等も十分設定することで、いろいろな人との触れ合いが持てるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真 ・ 段ボール箱 ・ 角材 ・ 絵の具 ・ 大判紙 ・ 身の回りの物 ・ 作業学習製品 ・ 野菜、果物等 ・ ビニール袋 ・ 色紙 ・ 色画用紙 ・ 絵の具 ・ 色画用紙 ・ 法被 ・ みこし ・ うちわ 	<p>美 3-5, 7 8, 11</p> <p>生・役 3-4</p> <p>道 2-(3)</p> <p>生・役 3-4</p> <p>美 3-7</p> <p>国 3-18 4-16</p> <p>生・金 2-2 3-2</p> <p>数 4-13</p>
<p>3 反省をする。</p> <p>(1) みこしや店の後始末をする。</p> <p>(2) 反省をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後始末はできるだけ自分たちでさせる。 ・ VTRを視聴させ、頑張ったことや楽しかったことを発表させる場を設定することにより、成就感を味わわせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR 	<p>生・役 2-8</p>

中学部

単元名	年 の く れ		月 (時数)	12月 (27時間)
単 元 に つ い て	<p>12月は、二学期を終え冬休みを迎える月であるだけでなく、1年間を振り返り締めくくると同時に、新しい年を迎えるための準備の月でもある。</p> <p>生徒たちは、4月の新学期以降さまざまな学習活動に取り組むことで、学校生活のおおまかな流れについて理解しつつある。しかしながら、1月に始まり12月に終わる1年の周期については、その自然現象や社会事象の移り変わりの特徴を十分に意識しながら生活しているとはいいたくない。</p> <p>そこで本単元では、年の暮れのさまざまな社会的行事や事象への参加を通して年末の生活への理解と関心を深めることを中心としながら、1年間を季節毎に振り返らせることで自然現象についての興味を広げ、日常生活との関係を理解させることを主なねらいとする。また、二学期に成長したことをお互いに確認させ、冬休みを有意義に過ごそうとする意識を高めることへとつなぎたい。</p> <p>具体的には、暮れの街を見学し、クリスマス会やもちつき大会に参加することで年末の社会事象への理解と関心を深め、VTR等を用いて1年間を振り返らせることで自然現象の移り変わり等へも目を向けさせる。また、二学期の互いの成長を承認し合える場を設定することや、アルバム整理や課題帳の作成等を通して、冬休みの有意義な生活への意欲を高めたい。これらの活動を通して、生徒たちは社会と自分の生活との関係についてより多く認識し、意欲的に社会へ参加しようとする態度を培うことができると考える。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年始から年末までの1年間の出来事を振り返らせることで、暮らしとの関連の中で季節の移り変わりに気付かせる。 ○ 年末の家庭や街の様子を見たり、クリスマスやもちつきなどの行事を経験させることで、年の暮れの生活への関心を高める。 ○ 二学期の反省と冬休みへの準備を通して、冬休みを計画的に過ごすことへの意識を高める。 			
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容	
<p>1 1年間を振り返り、いろいろな出来事について話し合う。</p> <p>(1) 正月からの1年間の季節の移り変わりや主な出来事を振り返る。</p> <p>(2) 歳末の特徴や主な行事等について話し合う。</p> <p>2 暮れの街の様子について知る。</p> <p>(1) 「暮れの街の見学」について調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節感を味わえるVTR等の資料を利用し、四季の移り変わりをとらえやすいようにする。 ・ 学校生活だけでなく家庭生活も振り返るように親からの情報収集に努める。 ・ 昨年度の暮れの街の見学やクリスマス会及びもちつき大会のVTR等でイメージを膨らませると同時に、雑誌や広告紙等の社会の情勢も利用して、歳末の雰囲気について感じ取らせる。また、暮れの街でのクリスマスプレゼントの購入など見通しを持った学習計画になるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本年VTR ・ アルバム ・ 夏休みの課題帳 ・ 親からの家庭資料 ・ 昨年VTR ・ 広告紙 ・ カタログ 雑誌 ・ お金 ・ メニュー 	<p>理 4-22</p> <p>道 4-(1), (2)</p> <p>職 4-46</p> <p>数 4-13</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 暮れの街の特徴 ・ 学習内容（期日，日程，場所など） (2) 暮れの街の見学をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 街の様子の見学 ・ プレゼント等の買い物 ・ 食事 ・ ゲーム等 (3) 見学の反省をする。 3 クリスマス会をする。 <ul style="list-style-type: none"> (1) クリスマス会を計画する。 (2) クリスマス会の準備をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ツリーの飾り付け ・ ケーキ作り ・ 出し物練習 ・ 招待状作り (3) クリスマス会をする。 (4) 反省をする。 4 もちつき大会をする。 5 二学期の学習活動を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 二学期の反省をする。 (2) 写真の整理をしながらアルバムの作成をする。 6 冬休みの準備をする。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 冬休みの過ごし方について話し合う。 (2) 冬休みの課題帳を作る。 (3) 大掃除をする。 7 まとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通機関の利用，買い物，食事，ゲーム等のための経費については，作業学習や校内実習と関連付け，働くことの喜びを感じとらせるとともに社会の仕組みについても理解させるようにする。 ・ 会の準備については，ツリー，ケーキ招待状など学級単位で役割を分担し，学部全体で作り上げていくことで，雰囲気を高めていくようにする。 ・ 親や教育実習生その他多くのゲストを招き，多くの人々とかかわり合える場になるようにする。 ・ 家庭や地域のもちつき熟練者などを招き，参加してもらうことで，年末の日本の伝統的年中行事の雰囲気を味わうことができるようにする。 ・ それぞれの生徒が二学期の間に成長したことを認め合える場になるように，生徒の変容について表にしたものなどを準備しておくことで，承認の欲求を満足させるような状況設定に努める。 ・ 課題帳は，共同製作的なものやゲーム的なものを多く盛り込み，家族や親せきと十分にかかわり合えるような内容になるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貯金通帳 ・ 校内実習 ・ VTR ・ 写真 ・ ツリー ・ ケーキ材料，装材料 ・ サンタ衣装 ・ カセットテープ ・ もちつき用具一式 ・ VTR ・ 写真 ・ アルバム ・ 冬休み生活のしおり 	<ul style="list-style-type: none"> 生・金 3-6 社 4-25 生・公 3-2 生 3-10 職 4-36 道 4-(4) 生・社 3-7 社 4-31 道 4-(7) 生・手 3-2 家 4-31

中学部

単元名	新 し い 年		月 (時数)	1月 (27時間)
単 元 に つ い て	<p>1月は、新年を迎え心を新たに作る節目の時期であり、生徒たちは、家庭で初もうでや親せきの家への年始回りをしたり、おせち料理を食べたりするなど正月の行事を多く経験してきており新年を迎えた喜びを感じつつあるが、今年も頑張ろうという意欲はまだ待ちにくい。</p> <p>そこで本単元では、鏡開きや書初め会やお楽しみ会等の正月の行事等を通して、新年の抱負を持たせ、正月の行事への関心を高めさせるとともに新年を迎えた喜びを味わわせ、新年への期待感を持たせる。</p> <p>具体的には、年号について調べさせたり、年間の行事や上学年へ進級することなどについて知らせたりすることで、1年の活動には見通しを持たせ、目当てを決めさせる。そして、みんなの前で目当てを発表する機会を設定することで、新しく年を迎えたこと意識をより高めていきたい。また、書初め会や鏡開き等については、正月の雰囲気高めよう場の設定に努め、正月の行事に関心を高めるとともに、新年を迎えた実感や喜びを味わわせる。また、新年お楽しみ会や諸行事の計画・準備・実施に当たっては、できるだけ自分たちで行わせることで、成就感や自分たちでできるという自信を持たせ、友達と協力する態度や積極的に集団活動へ参加しようとする態度を育てていきたい。</p>			
目 標	<p>○ 鏡開きや書初め会や新年お楽しみ会等を通して、新年への抱負を持たせたり、正月の行事への関心を高めたりして、新年を迎えた喜びを味わわせるとともに今年も頑張ろうという意欲を持たせる。</p>			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容	
<p>1 新しい年について話し合う。</p> <p>(1) 年の呼び方について調べる。</p> <p>(2) 冬休みの生活について発表する。</p> <p>(3) 年間の行事について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習発表会、卒業式、入学式、運動会等 <p>(4) 目当て(抱負)を決める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 暦や諸資料の絵や数字を基に西暦、えとについて調べる。 ・ 主な行事について知らせることで新年の活動に見通しを持たせる。特に3年生は高等部での新たな行事についても知らせる。 ・ 昨年の目当てを基に、家庭と連携を図りながら目当てを決めていく。 ・ 目当てをカードに書き、教室等に掲示することで目当てをよりいっそう明確にさせる。また、家庭との連携を図りながら意識を高めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 暦 ・ VTR ・ 写真 ・ 文字カード 	<p>数 4-9 5-5</p> <p>道 1-(2) 2-(1)</p> <p>国 3-4 4-6</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
2 新年の行事について調べる。 ・ 主な行事 ・ 学習計画表	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新年の行事についてVTRや写真等で振り返ること新年の行事について発表させる。 ・ 一つ一つの行事について事前事後にどんな活動が必要か行事を思い出させながら、学習活動を立てさせていくようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 写真 ・ 学習計画表 	
3 新年の行事をする。 (1) 書初め会をする。 ① 書初めをする。 ② 鑑賞する。 (2) 鏡開きをする。 ① 準備をする。 ・ 雑煮の作り方 ・ 買い物 ・ 調理用具準備 ② 鏡開きをする。 ・ 目当ての発表 ・ もち降ろし、もち割り ・ 雑煮作り ・ 会食 ③ 後始末をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書く前に教師の方で手本を示す。 ・ 書く内容については、各自の決めた目当てとすることで書くことへの関心を高め、目当てに対しての自覚をより促す。 ・ 作り方の手順については絵カードを用いたり、実際に調理をしながら説明することで関心や理解を深める。 ・ 暮れのもちつきで作った鏡もちであることを知らせ、行事への関心を高める。 ・ 目当てカードを持って発表させることで本人の自覚を促し、お互いの目当てについて理解を深める。 ・ 調理では個の能力や興味・関心に依りて役割を分担し協力して行うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 習字道具 ・ 調理用具 ・ 目当てカード 	国 5-24 道 4-(7) 生・金 2-3 3-3 国 3-4 4-6 家 4-10, 16, 17 18, 20 生・遊 3-1 4
4 冬の遊びをする。 ・ こま回し ・ たこ揚げ ・ 羽根つき ・ 福笑い等	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな遊びを準備することで生徒の興味・関心を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊び道具 (たこ, こま, 羽子板等) 	道 1-(5) 生・役 3-4
5 新年お楽しみ会をする。 ① 準備をする。 ② 新年お楽しみ会をする。 ・ 模範演技大会 (こま回し, 福笑い等) ・ かるた取り大会等 ③ 後始末をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級ごとに大会の内容から準備・運営まで行わせることで、役割意識や所属感を高めていくようにする。 ・ 大会については、生徒の興味・関心を考慮し、冬の遊び等の活動とも関連を図りながら設定する。 		生・役 3-1 2
6 反省をする。 ・ 楽しかったことの発表	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1月行事の中で楽しかったことなど発表させることで、お互いの活動を認め合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR 	国 3-4 4-6

中学部

単元名	学 習 発 表 会		月(時数)	1～2月(36時間)
単 元 に つ い て	<p>生徒たちは、これまでに友達と共に活動する喜びや楽しさを感じる経験をしてきており、集団の中で活動したい、そこで認められたいという欲求も高まっている。また、様々な形で自分を表現したいという欲求も高い。</p> <p>ところで学習発表会は、演劇、リズム、歌唱等を通して一人一人の力を十分に生かしながら全員で力を合わせてこれまでの学習の成果を発表する場であり、生徒たちはそれへの参加をとっても楽しみにしている。このことから、この発表会に向けての学習では積極的な活動が期待でき、また自分を思い切り表現する機会ともなり得ると考える。</p> <p>そこで本単元では、グループを中心に学習発表会に向けて道具を作ったり、練習をしたりする活動を通して役割意識を高め、友達と協力する態度を養うとともに演劇、リズム、歌唱等の表現力を伸ばしていきたい。</p> <p>具体的には、生徒の興味・関心等を考慮した劇やリズムの内容の選定、配役をし、劇の準備や練習に当たっては、場面の展開や生徒の実態に応じた縦割りのグループを構成して進めていく。また、劇やリズムで個人で用いる小道具を先に自分たちで作る、それをを用いて練習を展開することで、イメージを明確に持たせ、より豊かな表現力も引き出していけるようにする。その練習の中では、生徒同士で演技を見せ合う機会を随時設定し、上達した点、もう少しの点などを確認しながら全員で劇やリズムをよりよいものにしていくという気持ちを持たせていきたい。こうして学習発表会に取り組み、全員でやり遂げる経験が、今後の生活での主体的な態度につながっていくと考える。</p>			
目 標	<p>○ 学習発表会への練習や準備を通して、自分の役割や分担を意識し、協力して責任を果たそうとすることができるようになるとともに、リズム、歌唱等の表現力を伸ばし、学習発表会に進んで参加しようとする態度を育てる。</p>			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容	
<p>1 学習発表会について話し合う。</p> <p>(1) 昨年の発表会を思い出す。 (知る。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日 ・ 発表内容 <p>(2) 今年の発表会について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTRや昨年用いた道具、紙芝居等を利用して、イメージを持たせやすくするとともに、興味や意欲を高める。 ・ 2・3年生を中心に昨年の発表会について発表させることで1年生に興味を持たせるとともに、2・3年生が主体的に活動できるようにする。 ・ 劇については紙芝居や教師の演技などイメージを持たせやすくする工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小道具 ・ 紙芝居 ・ VTR ・ 文字カード ・ 紙芝居 	<ul style="list-style-type: none"> 国 3-1 国 2-5 国 4-6 国 4-1 数 3-7 	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表内容（劇，リズム，作品展示） ・ 学習計画表作成 <p>2 学習発表会の準備や練習をする。</p> <p>(1) 役や係りを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配役 ・ グループ <p>(2) 道具の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大道具 ・ 小道具 ・ 衣装 <p>(3) 劇，リズムの練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ練習 ・ 全体練習 <p>・ 予行練習</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px 0;">学習発表会に参加する。</div> <p>3 反省をする。</p> <p>(1) 頑張ったことを発表する。</p> <p>(2) 絵や作文をかく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容やせりふは生徒の実態に応じて分かりやすく，また言いやすいように工夫する。 ・ 上級生の経験を活動に生かし，1年生が見通しを持ちやすくするために学年を解いたグループを構成する。 ・ 配役やグループは生徒たちの自我，欲求，興味・関心，昨年の係等を考慮する。 ・ 役のイメージを高めるために，中心的な小道具を作って練習に臨むようにする。 ・ 生徒相互で協力して活動できるように共同的な活動や，役割を明確にした活動を準備する。 ・ 台本の製本も生徒の活動に取り入れる。 ・ 教師が演技してみせることで表現力を高める一助とする。 ・ 国語や音楽の学習と十分関連付けながら展開していく。 ・ せりふは練習の中で生徒の実態に応じ適宜修正する。 ・ 頑張った点はその都度ほめ，承認の欲求に応じ，練習の意欲を高める。 ・ 練習の様子を録画して見せることで，自分や友達の練習の成果を確認させる。 ・ グループや全体の練習を関連させながら取り入れ，練習の効果を高める。 ・ 生徒の実態に応じてマイクを使わせる。 ・ 予行で頑張った点，もう少しの点などを反省させ当日への意欲を高める。 ・ 頑張ったことを生徒相互で認め合わせることで，成就感を味わえるようにする。 ・ VTRや小道具等を用いて思い出すときの手がかりにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペーパーサート ・ 計画表 ・ 筆記用具 ・ 役割表 ・ 厚紙 ・ 画用紙 ・ 絵の具 ・ 段ボール ・ 道具の見本 ・ ビニルテープ ・ のり ・ はさみ ・ 台本 ・ ホチキス ・ 衣装 ・ VTR ・ マイク ・ VTR ・ 小道具 ・ 画用紙 ・ 作文用紙 	<ul style="list-style-type: none"> 国 4-1 数 2-6 国 3-15 道 4-(1) 2-(3) 1-(5) 美 3-11 生・役 3-4 国 3-7 音 3-9 国 3-4 4-6

中学部 1・2 学年

単元名	もうすぐ進級		月(時数)	2～3月(27時間)
単 元 に つ い て	<p>3月は一年間の学習のまとめの時期であるが、生徒たちは学年が終わることはだいたい意識しているものの、一年間を通しての自分や友達の成長を振り返ろうとする姿はあまり見られない。また3年生の卒業も近いが、3年生に対するお礼の気持ちや卒業を祝う気持ちなども持ちにくい。</p> <p>そこで、本単元では、VTRを見たり写真の整理をしたりすることにより、一年間の楽しかった出来事や嬉しかったこと苦しかったことなど思い出したり反省したり、思い出テープや文集を作ることにより学習のまとめをしたりする。また、一年間過ごした教室や特別教室を掃除したり、作品の整理をしたりする。このような活動を通して4月のころに比べて自分や友達が成長していることに気付かせるとともに、一年の締めくくりであることを意識させ、新しい学年になることへの喜びや希望を持たせるようにする。また、3年生と過ごしたことやお世話になったことを思い出したり、お別れ会や卒業式の準備をしたり参加したりすることにより、3年生へのお礼の気持ちや卒業を祝う気持ちを持たせるようにする。</p> <p>指導に当たっては、生徒たちが成長の様子を視覚的にとらえやすいような資料を準備する。また1年生は自分の成長を中心に振り返らせ来年は今年の経験を生かして頑張ることを、2年生は自分だけでなく友達の成長にも目を向けさせ最高学年として頑張っていくことを意識付けたい。</p> <p>このような学習を通して、一年間の節目を意識するようになり、新しい学年への希望を持って生活していけると考える。</p>			
目 標	<p>○ アルバムの整理、思い出テープや文集作りを通して一年間を振り返り、自分の成長に気付かせるとともに、2年生になることへの喜びと希望を持たせる。(1年)</p> <p>○ アルバムの整理、思い出テープや文集作りを通して一年間の反省とまとめをし、自分や友達の成長に気付かせるとともに、最高学年になることへの喜びと希望を持たせる。(2年)</p> <p>○ お別れ会や卒業式の準備や参加を通して、卒業生を祝福しようという気持ちを持たせる。</p>			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容	
<p>1 一年間の思い出について話し合う。</p> <p>(1) 学習計画表を作る。</p> <p>(2) 一年間を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身体面 ・ 身近処理面 ・ 学習面 ・ 運動面 <p>2 一年間のまとめをする。</p> <p>(1) アルバムの整理をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 写真の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTRを見ながら、大まかに一年間の行事を思い出させる。1年生は自分を中心に、2年生は自分だけでなく友達にも目を向けさせ成長の様子に気付かせる。 ・ 成長の様子が視覚的にとらえやすいような資料を準備する。 ・ 3年生との思い出も話し合いながら、3年生との別れも近いことを知らせる。 ・ 写真を見ながら、思い出を話したり見出しやコメントを付けたりして楽しく活動できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ アルバム ・ 写真 	<p>国 3-14, 15 数 3-7 4-8 生・健 3-3</p> <p>国 3-3 4-4</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>(2) 思い出テープを作る。</p> <p>① 内容を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業生との思い出 ・ 自分で頑張ったこと ・ 歌 <p>② 練習をする。</p> <p>③ 録音をする。</p> <p>(3) 文集を作る。</p> <p>① 書く内容を決める。</p> <p>② 原稿を書く。</p> <p>3 お別れ会をする。</p> <p>(1) お別れの準備をする。</p> <p>① 会の内容について話し合う。</p> <p>② 役割分担をする。 (装飾係、名札係、招待状係等)</p> <p>③ プレゼントを作る。</p> <p>④ 出し物の練習をする。</p> <p>⑤ 会場設営をする。</p> <p>(2) お別れ会をする。</p> <p>4 卒業式の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全体練習 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">卒業式に参加する。</div> <p>5 教室内外の整理をする。</p> <p>(1) 教室内外の掃除をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教室 ・ 廊下 ・ 特別教室 <p>(2) 作品の整理をする。</p> <p>6 まとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業生へのはなむけの意味も込められていることを知らせ、内容を決める際に配慮させる。 ・ 発音がはっきりしない生徒には、ゆっくりと一音ずつ発音させるようにする。 ・ 国語や音楽などの関連を図りながら、指導をすすめていくようにする。 ・ 題材の決定は、生徒の自由な発想に任せるが、連絡帳やこれまでの学習など資料を準備し決めやすいようにする。 ・ 印刷・製本まで生徒たちで分担・協力して行えるようにする。 ・ VTRを見たり、2年生に昨年の様子を聞いたりしながら、思い出させる。 ・ 2年生は、昨年の経験を生かしながら役割分担や準備を積極的に行わせるようにする。1年生は、自分の役割を知り活動させるようにする。 ・ 3年生とのお別れ会や卒業式に参加される前に、3年生との思い出やお世話になったことを振り返らせ、別れを惜しむ気持ちや祝福する気持ちを持たせる。 ・ 礼の仕方やいすの座り方などを中心に練習させ、卒業式の持つ雰囲気などを感じさせるようにする。 ・ 一年間過ごした教室や学習した特別教室など掃除をすることにより、物を大切にすることの気持ちや感謝の気持ちも持たせるようにする。 ・ 新しい学年に対しての意識付けとして新しい学年の教室を見る活動も取り入れるようにする。 ・ 作品等の整理をさせながら、一年間の頑張りを確かめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テープレコーダー ・ マイク ・ 楽器 ・ 今年の文集 ・ 原稿用紙 ・ 筆記用具 ・ ホチキス ・ 製本テープ ・ 名札 ・ 色画用紙 ・ 色紙 ・ フェルトペン ・ はさみ ・ のり ・ いす ・ マイク ・ 楽器 ・ カセット ・ ほうき ・ ぞうきん ・ 作品 ・ 白表紙 	<p>国 3-8</p> <p>4-4.8</p> <p>音 3-16, 17, 20</p> <p>4-3, 15</p> <p>国 3-15</p> <p>4-15</p> <p>国 3-3, 8</p> <p>4-8</p> <p>生・基 1-34</p> <p>図 3-14</p>

中学部 3 学年

単元名	もうすぐ卒業		月(時数)	2～3月(18時間)
単 元 に つ い て	<p>この時期は卒業を控えた三年生にとっては、卒業や新しい生活に関する話題が増え、生徒たちの期待感も高まりつつある時期である。しかし、3年間のしめくりであるという意識を明確には持ちにくく、三年間を通して自分や友達の成長を振り返ろうとする姿はあまり見られない。</p> <p>そこで本単元では、三年間のまとめやお別れ会への参加、卒業式の練習等を通して互いの成長に気付かせるとともに卒業という一つの節目であることを意識させ、また、親や友達への感謝の気持ちを持つことができるようにしたい。</p> <p>具体的には、三年間のまとめとしてVTR試聴や写真整理をしながら出来事を振り返ったり、思い出をテープや文集に残したりする。また卒業式の練習やお別れ会に参加することを通して卒業していくという気持ちを高めていく。さらに親や友達にプレゼントを作り、お別れ会の際に渡すようにし、感謝の気持ちを表す機会を作っていく。新しい生活については、高等部の体験入学の中で、高等部の先生の話を出いたり、実際に高等部ならではの活動に参加したりしてより期待感を高めるとともに、ある程度のイメージを持たせていく。</p> <p>指導に当たっては、三年間の出来事や成長に関する資料を多く準備し、思い出を膨らませて録音や文集の内容をできるだけ自分で考えられるようにする。また、思い出や頑張ったことなどを発表する機会を持ち、互いに成長を確認したり一緒に卒業する仲間であるという気持ちを高めたりしたい。このような活動を通して、自分を振り返る態度を身に付けるとともに、新しい生活で希望を持って生き生きと生活していけると考える。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ アルバムの整理や思い出テープ、文集作りを通して三年間の反省とまとめをし、互いの成長に気付かせる。 ○ お別れ会の準備、参加や卒業式の練習を通して、卒業の意識を持たせるとともに、親や友達への感謝の気持ちを持たせる。 			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関 連 内 容	
<p>1 中学部三年間の思い出について話し合う。</p> <p>(1) 学習計画表を作る。</p> <p>(2) 三年間を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出来事 ・ 身体、学習面の成長 など <p>2 三年間のまとめをする。</p> <p>(1) アルバムの整理をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTRを試聴させたり、出来事に関連する道具等を提示したりして思い出しやすいようにする。 ・ 暦や卒業までの日数を示すカードを用いて、卒業の日が近づきつつあることを意識させる。 ・ 一年生からの写真を見たり、はったりしながら、行事や出来事を話題にして一緒に振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法被 劇の小道具 など ・ 暦 ・ VTR 	<p>数 3-7</p> <p>国 3-15</p> <p>国 3-3,4</p> <p>数 4-9</p> <p>生・健 2-2</p> <p>道 1-(3)</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>(2) 思い出テープを作る。</p> <p>① 内容を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三年間の思い出 ・ 1・2年生に向けて ・ 歌等 <p>② 練習をする。</p> <p>③ 録音をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事など振り返った後、話す内容をできるだけ生徒たち自身で決めさせるようにする。言葉での録音が難しい生徒は、楽器演奏など、発表のさせ方を工夫し、互いに認め合えるようにする。 ・ 個人だけでなく、学級全員での歌唱や演奏などにも残し、全員の思い出とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テープレコーダー ・ マイク ・ 楽器 	<p>国 4-6</p> <p>生・交 3-1</p> <p>道 2-(2)</p> <p>音 4-3</p>
<p>(3) 文集を作る。</p> <p>① 書く内容を決める。</p> <p>② 原稿を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国語科や音楽科と関連を持たせながら指導を進める。 ・ 書く内容はできるだけ生徒たち自身で決めさせる。文章だけでなく、絵など得意なものを生かせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原稿用紙 ・ 筆記用具 ・ ホチキス ・ 製本テープ 	<p>国 3-15</p> <p>生・役 3-4</p>
<p>3 お別れ会に参加する。</p> <p>(1) お別れの準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出し物の練習 ・ プレゼントの準備 <p>(2) お別れ会に参加する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容は生徒の興味・関心の高いものを主体的に決めさせるようにする。 ・ 感謝の気持ちを込めて作り、お礼の言葉を添えて送るよう助言をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テープレコーダー ・ 楽器 ・ マイク 	<p>音 3-8</p> <p>道 2-(2), (3)</p> <p>4-(5)</p> <p>2-(1)</p>
<p>4 卒業に向けての準備をする。</p> <p>(1) 卒業式の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歌 ・ 礼や返事の仕方 ・ 証書の受け取り方 <p>(2) 身の回りの整理をする。</p> <p>(3) 高等部の見学をする。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">卒業式に参加する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 練習の中で上手になった点は褒め、自身を持たせる。 ・ 礼の仕方やいすの座り方などの、礼儀作法についても指導する。 ・ 作品まとめや、一年間使った棚や靴箱等の掃除をさせる。 ・ 高等部の先生の話の聞いたり、中学部と違う活動に実際に参加したりさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業証書 ・ 作品つづり ・ 作品箱 	<p>社 4-1</p> <p>生・役 1-1, 3</p> <p>家 4-31</p>

高等部 1 学年

単元名	高校生になって		月(時数)	4月上旬～4月下旬 (12時間)
単 元 に つ い て	<p>新入生にとって4月は、新しい友達や先生との出会いがあり、学校や教室が変わって新しい環境の下での生活が始まるという、不安や緊張と同時に、新しい学校生活への期待感が大きく膨らむ時期である。</p> <p>生徒たちは今までに、幼稚園や小、中学校への入園、入学を経験して、新しい学校生活への期待感 は大きい。しかし、一方では、今までの友達と離れて一人になってしまう不安感も大きく、自分自身をう まく表現できずに自己内に閉じ込めてしまったり、教師や友達をよく知らないため、自分の意思を思う ように伝えられず、消極的になってしまったりする。</p> <p>そこで、新しい友達や先生について知らせることで、学級を基本とする集団の中でのかかわりを持た せ、新しい学校での生活に対する不安感を取り除き、入学の喜びを味わわせる。また、大まかな一日の学 校生活の流れや、一学期の行事などを知らせることで、高等部での生活について見通しを持って、友達や 上級生と協力しながら活動していこうとする意欲を持たせる。さらに、歓迎会に参加することで高等部の 生徒としての自覚を持たせる。</p> <p>このような学習を通して、高校生になった喜びを味わい、新しい学校生活に頑張りたいという意欲が芽 生え、友達と協力して積極的に活動しようとする態度を育てていくことができる。</p>			
目 標	<p>○ 自己紹介や抱負の発表などを通して入学の喜びを味わわせ、高等部の生活や友達について知ること で、高等部の生徒として自覚を持って積極的に活動できるようにする。</p>			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関 連 内 容	
<p>1 高等部の生活について話し合 う。</p> <p>(1) 入学の喜びや抱負について 発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己紹介 ・ 抱負の発表 ・ 2, 3年生や先生の名前 ・ 一学期の行事 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な例を示しながら新しい高等部 の生活への目安を持たせる。 ・ それぞれの実態に応じて自己紹介の方 法を工夫して、自分自身で入学の喜びや 抱負を表現できるようにする。 ・ 2, 3年生の名前や高等部の先生の名 前を知らせ、高等部の生徒であると同時に、 附属養護学校の生徒であることも知ら せる。 ・ 高校生であることを自覚させ、小学部 中学部をリードしていく立場にあること に気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己紹介 カード 	<p>国 5-5, 6 国 4-6 道 1-(1), (3) 道 4-(1)</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>(2) 一日の生活の流れを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タイムカード ・ あいさつの仕方 ・ 朝のランニング ・ 日課帳, 時間割 ・ 朝の会, 帰りの会 <p>(3) 身の整理をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教室, 座席, ロッカー靴箱 ・ 更衣室の利用の仕方 ・ 諸道具の整理・整とん ・ 教室の設営 <p>(4) 学級や個人の目標を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学級の目標 ・ 個人の目標 ・ 学級の係や学級委員 <p>(5) 学習班の構成について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の学習班 ・ 担当の先生, 学習場所 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な練習を通して, できるだけ自分たちで活動できるように学校生活に見通しを持たせる。 ・ 個人で使う場所であると同時に, みんなで生活する場所であることを知らせ, 友達を意識させながら, 気持ちよく生活できるようにする。 ・ 自分の周囲だけでなく, 教室内外, 学校周辺へも目を向けるように促していく。 ・ 一学期の行事などと関連させて, 見通しの持てる目標を立てさせるようにする。 ・ 教室に掲示するなどして目標を常に意識できるようにする。 ・ できるだけ生徒自身の話し合いによって決めさせる。 ・ 時間割と関連させて知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ タイムカード ・ 日課帳 ・ 時間割表 ・ 個人の持ち物 ・ 掲示物 ・ 作業区域分担表 ・ 組織表 ・ 目当てカード ・ 係, 当番表 ・ 時間割表 ・ 班編成表 	<p>生・決 3-1, 3 数 5-5, 8 生・交 2-3 3-4 道 1-(1) 2-(1) 生・手 3-2, 3, 5 2-5 社 4-27 家 5-27 道 4-(4), (6) 道 1-(2) 生・役 3-3, 4 道 4-(1)</p>
<p>2 歓迎会に参加する。</p> <p>(1) 歓迎会について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画 (日時, 場所, 内容) ・ 学級での準備 (係 レクリエーション) (お礼の言葉) <p>(2) 歓迎会の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己紹介の練習 ・ レクリエーションの練習 <p>(3) 歓迎会に参加する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 招待状の内容について知り, 必要な準備や参加の仕方を工夫させ, 進んで歓迎会に参加できるようにする。 ・ 学級全員で協力してレクリエーションをしたり, それぞれの特技を生かした役割を決めさせたりして学級の一人であることを意識させる。 ・ 特技を生かした自己紹介やレクリエーションを準備することで, 豊かな自己表現ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンプ ・ VTR ・ プログラム 	<p>音 5-8, 9 5-10 道 4-(1)</p>

高等部 2 学年

単元名	高校 2 年生になって		月 (時数)	4 月上旬～4 月下旬 (12時間)
単 元 に つ い て	<p>4 月は 2 年生にとって進級した喜びと同時に、新しく 1 年生を迎えることで、中堅学年としての自覚を育てていくことができる時期である。また、昨年の経験を生かして、見通しを持って、学部行事や学校行事などに、積極的に取り組もうとする意識を育てることができるよい時期でもある。</p> <p>しかし、生徒たちは、新入生に対して上級生として行動しなければならない場面になっても今まで上級生からかかわられることがほとんどで、自分たちが下級生に対してリーダーシップを取りながら、自主的、積極的に活動した経験がないために、上級生としての適切なかかわり方や接し方が十分、身に付いてるとは言えない。また、新入生や新しい先生についてよく知らないために、かかわり方が消極的になったり、役割を果たせなかったりすることも多い。</p> <p>そこで、学級集団の中で進級した抱負を発表させたり、昨年の学習を思い出しながら一学期の行事計画を立てたりすることで、自己表現の機会を持たせ、高等部の生活や様々な行事などの活動に対して、見通しを持って取り組んでいく態度を育てる。また、新入生の歓迎会を 3 年生と一緒に計画、実施することで、2 年生としての自覚を持たせるとともに、3 年生と協力しながら活動する態度も身に付けさせていく。</p> <p>このような学習を通して、学級内での仲間意識を高め、集団でのかかわりを増やしていくことができる。さらに歓迎会での係や役割を果たすことで、2 年生としての責任感や自覚を高め、思いやりの気持ちも育てていくことができる。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 抱負を発表したり、新しい学年や一学期の行事について話し合うことを通して、進級の喜びを味わわせ、見通しを持って活動に取り組もうとする意欲や高等部 2 年生としての自覚を高める。 ○ 歓迎会や学部での係や役割を果たすことで、友達と協力して活動する態度を育て、下級生への思いやりを持って接することができるようにする。 			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関 連 内 容	
<p>1 新しい学年について話し合う。</p> <p>(1) 新しい学年について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 決意や抱負 ・ 上級生の役割 ・ 学級や個人の目標 ・ 一学期の行事 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度の行事について知らせ、中心となって活動していかなければならないことに気付かせ、決意や抱負を発表させる。 ・ 昨年のことを思い出させ、自分たちも上級生として下級生に接していく立場になったことに気付かせる。 ・ 生徒自身の意見を大切にしながら、話し合いの中で相互に認め合い、個人の目標につながるような意見も引き出すようにする。 ・ 昨年の経験からできるだけ生徒が自発的に活動できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目当てカード ・ 行事計画 	<p>国 5-5,6 道 1-(2), (3), (5) 2-(2), (3) 4-(1)</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級の係、学級委員 <p>(2) 身の周りの整理をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 諸道具の整理・整とん ・ 教室の設営 <p>(3) 学習班の構成について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の学習班 ・ 担当の先生、学習場所 <p>2 歓迎会をする。</p> <p>(1) 歓迎会について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新入生や先生の名前 ・ 歓迎会の計画と内容 ・ 係分担 <p>(2) 歓迎会の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 招待状作り ・ 会場設営 ・ プログラム ・ レクリエーションの練習 <p>(3) 歓迎会を開く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 進行 ・ 後始末 <p>(4) 歓迎会の反省をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級集団としての昨年の経験を基に、係が片寄らないようにさせる。 ・ 自分の持ち物を中心として、周囲にも気を配り、下級生の手本になるように意識させる。 ・ 学級の係とも関連させ、自分たちの学級環境を整えさせるようにする。 ・ 時間割と関連させて知らせる。 ・ 昨年の歓迎会を振り返り、新入生を温かく迎えるために必要な準備について話し合わせる。 ・ 3年生と一緒に計画、立案させることで自主性や責任感を育て、協力する態度を養う。 ・ 一人一人の適性に応じて係を決め、お互いに協力できるようにする。 ・ 会場設営や後始末などは協力してさせる。 ・ 自分たちが歓迎された昨年の経験を基に、新入生や新しい先生と親しんだり、触れ合ったりできるような活動も考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組織表 ・ 個人の持ち物 ・ 掲示物 ・ 作業区域分担表 ・ 時間割表 ・ 班編成表 ・ 名簿 ・ 歓迎会計画表 ・ アンプ ・ VTR ・ プログラム 	<ul style="list-style-type: none"> 生・役 3-3, 4 生・基 3-12, 34, 35 生・手 3-2, 5, 2-3, 5 家 5-27 社 4-27 道 4-(4), (6) 道 2-(3), 4-(1) 国 4-16 音 5-8, 9, 5-10

高等部 3 学年

単元名	高校 3 年生になって		月 (時数)	4 月上旬～4 月下旬 (12時間)
単 元 に つ い て	<p>3 年生にとって 4 月は最高学年になった喜びと同時に、学校生活での行事や児童生徒会活動などにおいて責任のある立場になり期待感や不安感を強く感じ始める時期である。</p> <p>しかし、上級生の卒業によって、自分たちが最高学年になったという意識を持ち、学校の中心として活動しなくてはならないことは分かっているものの、小学部や中学部の児童生徒にどのようにかわり、リードしていけばよいのか、十分に理解しているとは言えない。また、様々な行事を経験し、活動内容についてもよく知っているが、積極的に取り組んだり、下級生をリードしながら活動するまでに至っていない。</p> <p>そこで、これまでの経験から、一年間の主な行事計画を立てることによって、見通しを持って主体的に活動に取り組んだり、下級生に教えながら、活動したりすることができるようにする。また、目標の発表の場を持たせたり、上級生の役割について話し合わせたりすることで、自己表現を高め、最高学年になった誇りと責任を自覚させ、積極的に活動できるようにする。さらに、歓迎会の準備や、学部での係分担をする中でリーダー的な立場を準備し、他者の立場に立って行動する必要性にも気付かせていくことで、1、2 年生と協力して活動しようとする態度を身に付けさせる。</p> <p>このような学習を通して、最高学年として自覚を持たせるとともに、責任感や自主性を育てていくことができる。また他者の立場に立って行動することで、思いやりの気持ちを高め、集団の中で自己の役割を意識して活動しようとする態度を育てていくことができる。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 抱負を発表したり、年間の行事計画を立てたりすることを通して、進級の喜びを味わわせ、最高学年としての自覚を持たせる。 ○ 歓迎会や学部での係や役割を果たすことで、下級生と協力して活動する態度を育て、下級生をリードしながら積極的に活動することができるようにする。 			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容	
<p>1 最高学年になった抱負を話し合う。</p> <p>(1) 新しい学年について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間の行事計画 ・ 決意や抱負 ・ 最上級生の役割 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1、2 年生での経験を基に大まかに年行事計画を立てさせる。卒業生のことについても触れ、最高学年になったという意識を持たせると同時に、自分の進路についても考えさせるようにする。 ・ これまで自分たちが上級生にもらったことなどを思い出させ、これからは自分たちが、下級生をリードして中心的に活動していかななくてはならないことに気付かせる。 		<p>国 5-5.6 道 1-(2), (3), (5)</p> <p>道 2-(2), (3) 4-(1)</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級や個人の目標 ・ 学級の係, 学級委員 <p>(2) 身辺の整理をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 諸道具の整理・整とん ・ 教室の設営 <p>(3) 学習班の構成について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の学習班 ・ 担当の先生, 学習場所 <p>2 歓迎会をする。</p> <p>(1) 歓迎会について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新入生や先生の名前 ・ 歓迎会の計画と内容 ・ 係分担 <p>(2) 歓迎会の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 招待状作り ・ 会場設営 ・ プログラム ・ レクリエーションの練習 <p>(3) 歓迎会を開く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 進行 ・ 後始末 <p>(4) 歓迎会の反省をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最高学年であることを意識させ, 目標を決めさせる。このとき, 自分自身で気を付けるべきことや, もっと伸ばしたいことをはっきりさせる。 ・ 生徒自身の意見を大切にしながら, 最高学年としての意識や, 進路まで踏まえて目標を考えさせる。 ・ 学級集団としてこれまでの経験を基に係が片寄らないように話し合わせる。 ・ 更衣室などの利用については, 自分が整理・整とんすることが, 下級生に教えることにもつながることを意識させる。 ・ 学級の係などとも関連させ, 自分たちで学習環境を整えさせるようにする。 ・ 時間割と関連させて知らせる。 ・ 2年生と協力して計画を立てさせ, 今までの経験を基に, 2年生に助言するなどして, リードできるようにする。 ・ 新入生を温かく迎えることができるようなレクリエーションの内容を考えさせる。 ・ 一人一人の個性に応じて係を決められるように話し合わせる。 ・ 会場設営や後始末などは協力してさせる。 ・ 役割を分担して, できるだけ2年生をリードしながら活動させる。 ・ 歓迎会であることを踏まえて, 新入生や新しい先生と親しんだり, 触れ合ったりできるような活動も考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目当てカード ・ 組織表 ・ 個人の持ち物 ・ 掲示物 ・ 作業区域分担表 ・ 時間割表 ・ 班編成表 ・ 名簿 ・ 歓迎会計画表 ・ アンプ ・ VTR ・ プログラム 	<ul style="list-style-type: none"> 生・役 3-3, 4 生・基 3-12, 34, 35 生・手 3-2, 5, 2-3, 5 家 5-27, 社 4-27, 道 4-(4), (6) 道 2-(3), 道 4-(1), 国 4-16, 音 5-8, 9, 5-10

高等部 2, 3 学年

単元名	修学旅行（隔年）		月（時数）	5月上旬～5月中旬 (12時間)
単 元 に つ い て	<p>修学旅行は、自分の住む地域と異なる自然や文化、産業を実際に体験できる機会であるとともに友達や教師とのかかわり合いを深め、学生時代の思い出として心に残るものである。</p> <p>高等部2, 3年生は、これまでに臨海宿泊や公共施設の利用といった校外での学習を通して、身近な地域の自然や文化等に触れたり、集団や社会へのかかわり方について学習したりして、社会生活への適応力を身に付けてきつつある。しかし、その地域は学校や家庭の周辺に限られており、積極的に社会生活に参加しようとする態度は十分ではなく、集団の中の一員としての自覚や集団内での協調性も十分とは言えない。</p> <p>そこで本単元においては、目的地の自然や文化、産業について調べたり、見学先や宿泊先といった旅行先でのマナーについて調べたりする活動を通して、いろいろな地域に対する興味・関心を高め、意欲的に修学旅行に参加しようとする態度を養っていく。また、それぞれの班のリーダーを中心に班の活動での自分の役割を決めたり、係の仕事内容を調べたりすることで、一人一人の役割を明確にし、集団や社会の中での責任感や協調性を養っていく。さらに、しおりを有効に活用し生徒が見通しを持って学習に取り組めるようにするとともに、反省や報告会を行なうことによって自己を表現する能力を高めていく。</p> <p>このような事前、事後の学習や実際の修学旅行を通して生徒は、仲間とのかかわり合いを強めながら新鮮な感動を体験することができ、現在及び将来の社会生活へ積極的に取り組む態度を培うことができる。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目的地の自然や文化、産業などについての興味・関心を高め、意欲的に修学旅行に参加しようとする態度を養うとともに、旅行先でのマナーを身に付けさせる。 ○ リーダーを中心とした班の活動や班を解いた全体での活動といった集団での学習活動を通して、集団の一員としての自覚や責任感及び協調性を養う。 			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容	
<p>1 修学旅行について話し合う。</p> <p>(1) 修学旅行について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回のVTRの視聴 <p>(2) 学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目的地 ・ 学習計画 <p>(3) 班編成をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 班分け ・ 宿舎での部屋割 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTRを視聴させることで、関心を高め、学習への意欲を高める。また、修学旅行の目的を考えさせる。 ・ 学習計画を立てることで、旅行への見通しを持たせる。 ・ 学習を進めるに当たっては、しおりを有効に活用させ、見通しを持って学習に取り組めるようにする。 ・ 班編成に当たっては、集団構成の視点を明らかにし、班の活動がスムーズに行われるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 写真 ・ しおり ・ 計画表 ・ 地図 ・ 地図 ・ 日程表 	<p>生・交 3-5</p> <p>数 5-5</p> <p>社 5-28, 16</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 役割分担 <p>2 目的地について調べる。</p> <p>(1) 日程を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日程 ・ 交通機関 ・ 見学コース ・ 宿舎 <p>(2) 目的地の様子を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然 ・ 産業 ・ 文化 ・ 見学する施設 <p>3 旅行の準備やマナーを調べる。</p> <p>(1) 準備する物を調べる。</p> <p>(2) 持ち物の点検をする。</p> <p>(3) 買い物の計画を立てる。</p> <p>(4) レクリエーションの練習をする。</p> <p>(5) 旅行中のマナーについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集団行動 ・ 交通機関の利用 ・ 見学先、宿舎でのマナー ・ 健康面 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班ごとに分かれて学習をする。 ・ 役割分担に当たっては、一人一役を与え、集団の一員としての自覚を促す。 ・ 地図や日程表を利用して調べさせる。 <p>自分たちの住む鹿児島との違いから、目的地の特長に気付かせ、自然や文化、社会に関する興味・関心を高めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旅行に必要な物を、日常生活場面や旅行先での行動を想起させながら調べさせる。 ・ しおりを活用しながら点検を行う。 ・ 事前に家庭と連絡を取り、みやげ品名や数量等を調べ、計画的な買い物ができるようにさせる。 ・ 班長を中心に生徒で計画、練習をさせ集団で自己を表現できるようにする。 ・ いろいろな場面を想定して生徒たちに演じさせることで、旅行先でのマナーを理解させ、社会の一員としての自覚を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ しおり ・ 写真 ・ パンフレット ・ 絵はがき ・ 特産品 ・ しおり ・ しおり ・ みやげの模型、箱 ・ CD 	<p>社 5-6, 8</p> <p>社 5-22, 26 4-33</p> <p>道 4-(7) 生・基 3-36</p> <p>生・金 3-7, 8</p> <p>音 5-9</p> <p>社 5-1, 2, 6, 8</p> <p>道 4-(1) 2-(1)</p>
<p style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">修学旅行に行く</p> <p>4 修学旅行の反省をする。</p> <p>(1) 思い出をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵や作文 ・ しおりのまとめ ・ 班ごとの反省 <p>(2) 報告会を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ビデオの視聴 ・ 思い出や反省の発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班や係の活動を計画的に取り入れて、事前の学習が活かされるようにする。 ・ 見学地のスタンプや入場券を整理させて思い出をまとめさせる。 ・ 他教科との関連を図りながら、絵や作文にまとめさせる。 ・ 1年生への報告会を行うことで、目的を果たした喜びを味わわせ、将来の生活に旅行を取り入れたいといった希望を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ しおり ・ 画用紙 ・ 作文用紙 ・ VTR ・ みやげ 	<p>保健 5-1, 5</p> <p>美 5-1 国 5-18</p> <p>国 5-4</p>

高等部 1 学年

単元名	働 く 生 活 I	月 (時数)	5月上旬～6月中旬 (18時間)	
単 元 に つ い て	<p>高等部1年生は、高校生になったという意識や自分の家族の様々な仕事についての興味・関心を持ちつつあり、こういった時期に高等部の学習の中心となる働くことの楽しさ、喜びを感じさせ、働くことに対する意欲を持たせるとともに、自分の将来の生活に目を向けさせることは重要なことである。</p> <p>生徒たちは、自分の係の仕事が何であるか、家族の仕事にどんなものがあるかは分かってきつつあり、校内実習、現場実習を体験している生徒もいる。しかし、生徒たちは、働くことの楽しさ、喜びを十分に味わっていないためか、自分から意欲的に働いている様子はあまり見られない。また、家族のみんなが役割を分担し、それぞれ働きながら毎日の生活を過ごしている、卒業した先輩が仕事場等で働きながら頑張っているなど、自分の周りの人が働きながら毎日の生活を過ごしていることに関心を持っているとは言えない。</p> <p>そこで、本単元においては、家族の仕事の役割や先輩が卒業先で頑張っている様子を調べたり、校内実習、現場実習に向けて、一日の生活の流れ、仕事内容、働く態度などを学習したりしながら、家庭や仕事場等で働いている人たちの生活に関心を持たせていきたい。また校内実習を終えての満足感、喜びをお互いに発表し合うとともに、現場実習に向けて頑張ることを確認しながら、働くことへの意欲を持たせていきたいと考える。なお、指導に当たっては、VTRを使ったり、実際の具体場面を動作化したりするなどの工夫をしながら進めていくようにする。</p> <p>これらの学習を通して、生徒たちは、いろいろな場で働くことへの意識を持つようになるであろうし、卒業後の自分の生活にも次第に目を向けるようになっていくものと考えている。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実習に向けての目標を設定したり、実習を終えての感想等を発表し合ったりしながら、働くことへの意欲を持たせるようにする。 ○ 家族の仕事、卒業後の先輩の仕事調べたり、実習に向けて一日の生活の流れ、働く態度などを学習したりしながら働いている人たちの生活への関心を持たせるようにする。 			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容	
<p>1 いろいろな仕事を調べる。</p> <p>(1) 自分の係や、家族の仕事を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の係の仕事 ・ 両親の仕事・兄や姉の仕事 ・ 家庭での手伝い <p>(2) 先輩の仕事調べ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業生の進路 ・ 就職、入所、通所授産施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の係の仕事、父母や兄弟などの職業や家庭内での仕事を調べ、それぞれが学校生活や家庭生活の中で重要な役割を持っていることに気付かせる。 ・ カードに記入する活動などを通して、家庭の手伝いの習慣化を図る。 ・ VTRなどにより卒業後は様々な進路があり、卒業生がそれぞれの場で頑張っていることに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真 ・ 仕事カード ・ カード ・ VTR ・ 進路先一覧表 	<p>職 4-3</p> <p>道 4-(1)</p> <p>家 4-38</p> <p>職 4-33</p> <p>職 4-35</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
(3) 職場見学をする。 ・ 計画 ・ 日時 ・ 場所 ・ 職場や仕事内容	<ul style="list-style-type: none"> 企業や授産施設、福祉工場など様々な職場を見学させ、いずれも働く生活が中心になっていることに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地図 VTR 	職 4-32
(4) 将来の生活を考える。 ・ 自分のしてみたい仕事	<ul style="list-style-type: none"> 先輩の仕事を参考にしながら、自分のしてみたい仕事を発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> カメラ 	国 4-8
2 校内実習の計画を調べる。			
(1) 目的と意識を知る。	<ul style="list-style-type: none"> 将来の働く生活のために、数多くの実習を経験する必要性のあることを、行事計画表で理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 行事計画表 	
(2) 今年の計画を調べる。	<ul style="list-style-type: none"> VTRを上級生と一緒に視聴することにより、具体的な内容を3年生から知らせてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> VTR 	数 5-5
<ul style="list-style-type: none"> 年間計画 時期と回数 6月の計画 班編成 仕事内容 	<ul style="list-style-type: none"> 掲示用の表を利用し、空欄を埋める作業により作業内容や班編成などに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日程表 班編成表 作業内容表 	
(3) 実習の目標を決める。 ・ 実習における態度	<ul style="list-style-type: none"> 実習の目標を、作業学習の様子などを基にしながら決めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標カード 	職 4-10
(4) 実習に向けて気を付けることを調べる。	<ul style="list-style-type: none"> 校内実習中の日程表を基に、一日の流れに沿って具体的な場面を動作化するなどして、実習において気を付けることを気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実習日誌 	道 2-(1)
<ul style="list-style-type: none"> 日誌の提出 言葉遣い 服装 休憩の過ごし方 	<ul style="list-style-type: none"> 実習をやり遂げたときの喜び、満足感などを知らせ、実習への意欲を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 作業服 	
<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">校内実習をする</div>	<ul style="list-style-type: none"> 班を中心とした役割分担や仕事内容を設定し、互いに協力しながら活動させる。 		道 4-(1)
	<ul style="list-style-type: none"> 休憩時間には、友達同士で遊ばせるなどして、お互いのかかわりを深めるようにする。 		道 2-(3)
			職 4-43
3 校内実習の反省をする。			
(1) 後始末をする。	<ul style="list-style-type: none"> 班で使用した作業場や道具の後始末を協力して行わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> VTR 	
(2) 反省会をする。	<ul style="list-style-type: none"> 班で話し合った実習の反省を全体場で発表させ、集団の中での自己表現力も高めさせる。 		道 1-(5)

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>4 現場実習について調べる。</p> <p>(1) VTRを視聴する。</p> <p>(2) 計画を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日 ・ 目的 ・ 内容 ・ 班編成 <p>(3) 先輩の実習先を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上級生と一緒に学習することにより、実際の経験を発表してもらい、今回の現場実習に対しての見通しを持たせる。 ・ 先輩の職場を知ること、次回の現場実習に対して希望と意欲を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 仕事内容表 	
<p>5 現場実習の準備をする。</p> <p>(1) 職場訪問をする。</p> <p>(2) 実習壮行会の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事内容 ・ 個人目標 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習の職場を見学することで、様々な職種があることや社会のしくみを知らせる。 ・ 仕事内容や個人目標を画用紙に書かせたり、みんなの前で発表させたりすることにより実習への意欲を高めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 色画用紙 ・ 油性ペン 	社 4-24
<p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">実習壮行会に参加する</p>			国 5-4
<p>(3) 実習の準備をする。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">現場実習をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習日誌等を利用して家庭との連携を密にして個人指導に努める。 ・ 出来高表を利用して個人の一日の仕事量を記録し、具体的に賞賛できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習日誌 	職 4-37
<p>6 現場実習の反省をする。</p> <p>(1) 実習報告会をする。</p> <p>(2) 反省や課題をまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習日誌を基に、個人目標がどの程度達成できたか一緒に考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 個人目標カード 	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>2 校内実習の計画を調べる。</p> <p>(1) 今年の計画を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の経験の発表 ・ 今年の日程と作業内容 ・ 班編成 <p>(2) 実習の目標を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度の反省と課題 ・ 今年頑張ること <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">校内実習をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の経験を全体の前で発表したり、動作化したりして自己表現力を高めさせる。 ・ 昨年のVTRを見せながら、今年の日程、作業内容などを発表させる。 ・ 前回の実習日誌、評価表、個人目標などから課題を導き出させ、具体的な個人目標を設定させる。 ・ 朝礼や清掃、給食など班を中心にして活動させる。 ・ 作業内容や時間など実際の職場を想定して実習に取り組ませる。 ・ 休憩時間には、友達同士で話をしたり遊んだりしながら、かかわりを深めるようにする。 ・ 出来高表を使って、一日の仕事量を知らせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 日程表 ・ 作業内容表 ・ 班編成表 ・ 目標カード ・ 実習日誌 ・ 評価表 ・ 掃除道具 ・ 日程表 ・ 出来高表 	<p>道 1-(5)</p> <p>数 5-5</p> <p>道 4-(1) 2-(3)</p> <p>職 4-9</p>
<p>3 校内実習、校内宿泊の反省をする。</p> <p>(1) 後始末をする。</p> <p>(2) 反省会をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班で使用した作業場や道具の後始末を協力して行わせる。 ・ 班で話し合った実習の反省を全体場で発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR 	
<p>4 現場実習について調べる。</p> <p>(1) VTRを視聴する。</p> <p>(2) 昨年の経験を発表する。</p> <p>(3) 実習先を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習先 ・ 所在地 ・ 仕事内容 <p>(4) 個人目標を決める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生に分かりやすく説明することで自己表現力も高めさせる。 ・ 家から実習先までの交通機関を路線図や地図などを利用して調べさせる。 ・ 実習先の仕事内容から今回の実習で努力しなければならないことを発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地図 ・ 実習先一覧表 ・ バス路線図 ・ 時刻表 	<p>国 5-4</p>

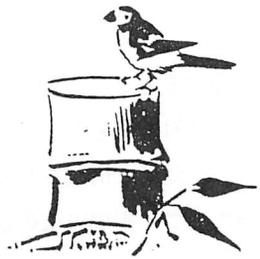
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>5 実習の準備をする。</p> <p>(1) 通勤方法を調べる。</p> <p>(2) 必要な練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電話の掛け方と連絡の仕方 ・ あいさつや返事 <p>(3) 職場訪問をする。</p> <p>(4) 実習社行会の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習性 ・ 仕事内容 <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">実習社行会に参加する</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 10px;">現場実習をする</p> <p>6 現場実習の反省をする。</p> <p>(1) 実習報告会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 頑張ったこと ・ 注意されたことなど <p>(2) 実習先にお礼状を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手紙と作文 <p>(3) 次の実習で頑張ることをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族との連携をとり、実習先までの通勤練習に取り組ませる。 ・ 病気やバスに乗り遅れたときのことを想定して、電話の掛け方の練習をさせる。 ・ 仕事内容がよく理解できなかつたり、失敗したときに、どのように尋ねればよいか考えさせる。 ・ 実習先や個人目標を全体の前で発表することにより決意を新たにさせる。 ・ 家庭や実習先との連携を密にし、実習の目的や個人目標が達成できるように個人指導を進める。 ・ 実習日誌を基にして発表する内容をまとめさせる。 ・ 次の実習で努力しなければならない事項を一人一人設定する。 ・ 実習での課題や成果は教育相談等を通して家庭にも知らせ、課題は家庭と学校と協力しながら解決していくようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受話器 ・ テレホンカード ・ 色画用紙 ・ 出来高表 ・ 作業内容表 ・ 実習日誌 ・ VTR ・ 作文用紙 ・ 封筒 ・ 切手 ・ 便箋 ・ 画用紙 	<p>職 4-36</p> <p>道 2-(1)</p> <p>社 4-24</p> <p>職 4-10, 37, 38</p> <p>国 5-18</p>

高等部 3 学年

単元名	働く生活Ⅲ		月(時数)	5月上旬～6月中旬 (18時間)	
単 元 に つ い て	<p>高等部3年生は、卒業を間近に控え、こういった時期に、卒業後様々な場で働く生活を送ることになることを理解させたり、自分の働くことに関する課題に気付かせ、その課題解決に取り組みながら残りの学校生活を過ごさせたりすることは重要なことである。</p> <p>生徒たちは、これまでに4回の校内実習と現場実習を経験しており、実習の具体的な内容は、ほぼ理解しており、また卒業後、様々な場で働かなければならないことを意識しつつある。しかし、自分の働くことに関する課題を意識し、それを解決しようという意欲は生まれつつあるが、課題を解決していくことが自分のよりよい生活につながっているといったことを十分に理解してるとは言えない。また、卒業後の自分の働く場が決まるまで、どういったことがあるのかといった見通しを十分に持っている生徒は少ない状態である。</p> <p>そこで、本単元においては、これまでの実習を振り返り、頑張ってきたことをお互いに発表し合うとともに、今後残された自分の課題を解決していくためには、どのようにしていけばよいかを考えさせたり、課題を解決していくことが自分のよりよい生活につながることに関心させたりしながら、働くことへの期待感を持たせるようにしていきたい。また、先輩の進路選択までの経緯を聞き、いろいろな進路があることを知ったり、卒業までの実習を調べたりしながら、卒業後の自分の働く場が決まるまでの見通しを持たせていきたいと考える。</p> <p>これらの学習を通して、生徒たちは、自分の課題を学校生活の中でも意識しながら解決しようとするであろうし、ひいてはそのことが、卒業後のよりよい生活につながっていくものと考えている。</p>				
	<p>○ 校内実習や現場実習に向けて、これまでの実習を基にした課題を解決していくことが、よりよい生活につながることに気付かせ、働くことへの期待感を持たせるようにする。</p> <p>○ 先輩の進路選択までの経緯を聞いたり、卒業までの実習を調べたりしながら、卒業後の自分の働く生活が決まるまでの見通しを持たせるようにする。</p>				
主な学習活動・内容		留意点		準備	関連内容
<p>1 卒業後の生活を考える。</p> <p>(1) 卒業生の進路を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就職. 入所. 通所授産施設 <p>(2) 卒業までの実習を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習の回数 ・ 実習の意義 <p>(3) 卒業後の生活を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の仕事 ・ 収入 ・ 家庭での仕事 <p>2 校内実習について調べる。</p> <p>(1) 今までの実習の反省をすすめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ VTRの視聴 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年3月の高等部卒業生の進路を調べることにより、いろいろな進路があることを知らせる。 ・ 卒業までの実習を調べることにより、残りの高等部生活や実習を充実したものにしていく意欲を持たせる。 ・ 卒業後は社会での仕事だけでなく、家庭での手伝いや役割があることを知らせる。 ・ 昨年度の実習を全体の前で発表したり動作化したりすることで表現力も高める。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真 ・ VTR ・ 行事予定表 ・ カレンダー ・ VTR 	<p>職 4-3</p> <p>社 5-24</p> <p>道 4-(1)</p> <p>職 5-32</p> <p>道 1-(5)</p>

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習日誌調べ <p>(2) 今年の計画を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日程表や仕事内容 ・ 班編成 <p>(3) 実習の目標を決める。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;">校内実習をする</div> <p>3 校内実習の反省をする。</p> <p>(1) 後始末をする。</p> <p>(2) 反省会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 個人目標 ・ 班としての反省 <p>4 現場実習について話し合う。</p> <p>(1) これまでの体験を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ VTR視聴 <p>(2) 実習先を調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 所在地 ・ 仕事内容 <p>(3) 個人目標を決める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習日誌などから前回注意されたことやうまくいかなかったことを調べさせる。 ・ 昨年のVTRを基に校内実習の日程、仕事内容などを発表させる。 ・ 前回の実習日誌、個人目標から課題を導き出し、特に頑張ることを考えさせる。 ・ 朝礼や終礼、清掃や給食など班を中心にして活動させる。 ・ 作業内容や時間など実際の職場を想定して実習に取り組ませる。 ・ 休憩時間は、自分で工夫しながら、有効的に使わせるようにする。 ・ 出来高表を使って、一日の仕事量を知らせるようにする。 ・ 班で使用した作業場や道具の後始末を協力して行わせる。 ・ 学級や班で話し合った実習の反省を全体の場で発表させる。 ・ 1, 2年生にも実習の内容を分かりやすく説明することで、自己表現力も高める。 ・ 実習先の所在地や仕事内容を調べることで実習に対しての意欲を高めさせる。 ・ 実習先の仕事内容やこれまでの実習の反省から、今回の実習で努力することを決め発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習日誌 ・ 仕事内容表 ・ 班編成表 ・ 目標カード ・ 掃除道具 ・ 日程表 ・ 出来高表 ・ 掃除道具 ・ VTR ・ 実習先一覧表 ・ 地図 	<p>数 5-5</p> <p>道 4-(1) 2-(3)</p> <p>職 4-(3)</p> <p>職 5-40</p> <p>国 5-4</p>

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>5 実習の準備をする。</p> <p>(1) 通勤方法を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通機関と道順 <p>(2) 必要な練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電話の掛け方 ・ 言葉掛け <p>(3) 職場訪問をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事内容の確認 ・ 担当者へのあいさつ <p>(4) 実習壮行会の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習性、仕事内容、個人目標の発表 <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">実習壮行会に参加する</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 10px;">現場実習をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家から実習先までの道順や交通機関を路線図や地図などを利用して調べさせる。 ・ 病気やバスに乗り遅れたときのことを想定して、電話の掛け方の練習をさせる。 ・ 仕事内容や指示がよく理解できなかったときや失敗したときに、どのように尋ねればよいかを考える。 ・ 担当者や仕事内容の確認を十分にし、初日からの不安を軽減させる。 ・ 実習先や個人目標を全体の前で発表することにより決意を新たにさせる。 ・ 家庭や実習先との連携を密にし、実習の目的や個人目標が達成できるように個人指導を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 路線図 ・ 時刻表 ・ 受話器 ・ テレホンカード ・ 色画用紙 ・ 出来高表 ・ 作業内容表 ・ 実習日誌 	<p>職 5-24, 33</p> <p>道 2-(1)</p> <p>職 5-10</p> <p>職 5-29</p> <p>職 5-34, 35</p>
<p>6 現場実習の反省をする。</p> <p>(1) 実習報告会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 頑張ったこと ・ 注意されたことなど <p>(2) 実習先にお礼状を書く。</p> <p>(3) 実習の反省をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休みに取り組むこと ・ 家庭での仕事 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下級生の前で、自分が努力したことなどを動作化して分かりやすく説明させる。 ・ 次の実習や進路選択に向けて、努力しなければならないことをまとめさせる。 ・ 実習での課題や成果は教育相談等を通して家庭にも知らせ、道路選択のため課題を積極的に解決できるように協力を得る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作文用紙 ・ 封筒 ・ 切手 ・ 便せん 	<p>図 5-18</p>



高等部 全学年

単元名	臨 海 宿 泊		月 (時数)	6月下旬～7月上旬 (18時間)
単 元 に つ い て	<p>海には、貝や魚などの生物や波の音や潮のにおいと自然の要素が多く、季節柄、私たちもよく接する。このような自然に親しみ、友達と一緒にテントを立て寝食を共にする活動は、日ごろ家庭で親への依存的な生活に慣れている生徒たちにとっては自立を目指す上で大切な体験の機会である。</p> <p>生徒たちは、身近な動植物に触れる経験はあり、貝や魚などに興味はあるが、名前や特徴などの理解の深まりや海を汚さないといった自然を大切に、キャンプなどで自然に親しむといった意識も高まっていると言えない。また、衣服の整理や食事等の準備や後始末など自分で確実にこなせなかったり、集団の中で自主的に取り組もうとしなかったりと集団生活に課題を持つ者も多い。</p> <p>本単元では、海辺の生物の名前を調べたり実際に触れさせたりし、自然探索や観察等をさせたりして、自然への理解を深め、親しむ態度を育て、キャンプという集団生活での自分の身の回りの整理や係を行うことで役割意識を高め、協調性や自主性を育てていこうとするものである。</p> <p>そこで、集団での活動が充実するように学年を解いた班編成を行い、個々の能力や経験を生かした役割分担や課題設定ができるようにしていきたい。そして、生徒たちは、自分たちで計画し、身の回りの整理や係などを確実に、役割を果たすことで相互の協力する態度を育てたい。また、自然への理解を深めるために、生物の名前や特徴を調べ、実際に触れさせる事前学習の外にごみを捨てないなど自然を大切にすることで、一層楽しいキャンプになることにも気付かせたい。</p> <p>これらの学習を通して、自然への理解をより高め、自然と親しみを深め、大切にしようとする態度を育て、集団生活での協調性や役割意識、自主性を育てることができると考える。</p>			
目 標	<p>○ 海辺の自然の生物等の名前や特徴を調べたり、実際に接したりすることで、自然に対する理解を深めるとともに、2、3年の上級生と食事などの準備や練習をしたり、自分の身の回りの整理や役割を行ったりする中で、集団生活の楽しさを味わわせる。(1年)</p> <p>○ 自然の生物や景色に触れ、自然と大切にすることを育てるとともに、集団活動での役割や活動を知り、下級生と一緒に練習や準備を行うことで、協調性や自主的な態度を育てる。(2、3年)</p>			
主な学主活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容	
<p>1 臨海宿泊について話し合う。</p> <p>(1) 臨海宿泊の計画について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年のVTR ・ 期日 ・ 目的 ・ 場所 <p>(2) 班編成をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 班長や副班長 <p>(3) 学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ しおりの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年のVTRを見せ、臨海宿泊の活動を大まかにとらえさせ、意欲を高めるとともに学習への見通しを持たせる。 ・ 経験のある2、3年生を中心に学習を進め、活動をスムーズにするとともに学習計画表等を使い繰り返し確認することで活動への意識を高める。 ・ しおりは活動や海の自然や目的地の地理など、図や絵を用いて生徒が理解しやすいようにし、実態に応じて記入法を工夫して学習の中で活用させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 地図 ・ 写真 ・ 学習計画表 ・ 製本に必要な道具 	<p>国 3-3 数 3-5~7</p> <p>社 4-6, 29, 30</p> <p>国 3-15 数 4-1 職 5-7</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>2 臨海宿泊の場所や生活について話し合う。</p> <p>(1) 場所について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地理や交通経路 <p>(2) 係分担任をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テント班 活動班 ・ 必要な仕事や係 <p>(3) 約束や心得を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設等の利用 <p>(4) 自然探索について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の内容 ・ 準備する物 <p>(5) 海の自然などについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生き物や環境 ・ 釣りや貝掘り、採集活動 <p>3 準備や練習をする。</p> <p>(1) 持ち物の準備と整理をする。</p> <p>(2) テント用具の準備と立て方の練習をする。</p> <p>(3) 献立計画と買い物練習をする。</p> <p>(4) キャンプファイヤーの出し物の計画と練習をする。</p> <p>4 荷造りや荷積みをする。</p> <p>5 臨海宿泊に行く。</p> <p>6 後始末や反省をする。</p> <p>(1) 用具類の後始末をする。</p> <p>(2) 反省や思い出の発表をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の役割や仕事 ・ 楽しかったことや思い出 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生は、自分の班員や班名をしっかりと理解させ集団での活動を意識させる。 ・ 2, 3年生は、活動の中心となるように促していく。係の仕事内容や活動について経験があることから動作化させて1年生に知らせたり、一緒に活動させたりしてリーダーとしての自覚を高める。 ・ 約束や心得は絵カードなどを用いて分かりやすいように知らせ、動作化させて体験的に理解させる。 ・ 生徒の実態に応じて内容を精選するとともに生徒自身が調べたり、実物と触れられる時間を設定する。2, 3年生は実態に応じて更に発展的な内容を扱っていく。 ・ 釣りや貝掘りなど模擬的な活動を準備し、興味・関心を高めるようにする。 ・ 1年生は、身の回りの処理を中心に繰り返し練習させ、自分でできるようにする。 ・ 2, 3年生は、自分たちで献立や出し物を決める場を設定し、練習や準備を班のリーダーとして主体的に1年生と一緒に行うように促す。 ・ 荷造り等は班ごとに仕事を割り当て、班ごとに協力して行うように配慮する。 ・ 生徒の自主性を大切にし、自然に直接触れる機会を多く持たせ、決まりを守り安全に楽しく活動させる。 ・ 1年生は、自分の身の回りの整理や係の仕事がしっかりできたかを中心に、2, 3年生は、活動に積極的に取り組めたかを中心に扱う。 ・ 思い出など絵や文にして発表させたり採集物などを整理させたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地図 ・ 班編成表 ・ 係分担任表 ・ 絵カード ・ しおり ・ 図鑑 ・ 植物や生物(貝や魚など)の実物 ・ パンフレット ・ キャンプ道具(着替え等) ・ テント用具 ・ 調理用具 ・ 買い物計画表 ・ 献立表 ・ 出し物の道具 ・ ロープ ・ ダンボール ・ しおり ・ 反省表 ・ VTR ・ 筆記用具や絵の具等 	<p>社 4-29, 30</p> <p>社 5-8</p> <p>道 4-(1)</p> <p>国 3-15</p> <p>4-15, 17</p> <p>社 4-9</p> <p>5-5, 8</p> <p>理 4-8, 9, 22, 24</p> <p>道 3-(3)</p> <p>社 4-9</p> <p>5-8, 9</p> <p>道 2-(3)</p> <p>職 4-6</p> <p>5-3</p> <p>理 4-24</p> <p>道 2-5</p> <p>職 4-13, 14</p> <p>5-15</p> <p>国 4-15</p> <p>5-18</p> <p>美 4-1</p>

高等部 全学年

単元名	運 動 会		月 (時数)	9月上旬～9月中旬 (18時間)
単 元 に つ い て	<p>学校行事として行われる運動会は、身体発育の盛んな生徒たちにとって自分の運動能力を発揮するとともに、競技の楽しさなどを味わう良い機会であり、しかも全校で取り組むため小・中学部の下級生の世話などをし、率先して活動できる体験の場である。また、秋は運動に適した季節で各種スポーツ大会などもあり、運動や自分の体力や健康への関心も高くなる。</p> <p>生徒たちは、学校全体の活動として全校集会やいくつかの行事を行ってきているが、自分たちが中心となって活動したり、リーダーとして下級生と一緒に活動しようという意識はあるが十分に育っていない。また、大きな集団になると自分の役割について見失ってしまうところも見られる。さらに、スポーツを見たり、遊びの中で身体を動かしたりすることは好きだが、運動に積極的に取り組もうとか、健康と結び付けて考えようとしたりするまで意識は高まっていない。</p> <p>本単元では、運動会に関する種目の練習や準備等の学習を通して、紅白の大きな集団での相互のかかわりに慣れるとともに、小・中学部の世話をしたり、自分たちが活動の中心となり率先して動いたり、模範を示したりすることで最高学年部の生徒としての意識を高め、思いやる態度や協力する態度を育てたい。そのために生徒たちの過去の経験を生かし、準備や係などで見通しを持って主体的に参加させ、周囲からの承認で満足感を味わうようにする。また、社会生活を控えているので、運動と身体の健康の関係や手洗やうがい等の衛生管理に関する面に触れ、健康への意識を高めていく。</p> <p>これらの学習を通して、協力して自分の役割を果たそうとする態度や今後の生活においてより積極的に様々な活動に参加しようという意識を高め、運動に取り組もうとする意欲を養えようとする。</p>			
	目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運動会の練習や準備、係活動、競技などを通して、友達や下級生と協力しようとする態度や自分の役割を果たそうという意識を高める。(1年) ○ 運動会の練習や準備、係活動を通して、積極的に下級生と一緒に協力して取り組む態度や自分の役割を最後までやり通そうという責任感を育てる。(2, 3年) 		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容	
<p>1 運動会について話し合う。</p> <p>(1) 昨年の運動会を思い出す。</p> <p>(2) 今年の計画を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日や日程 ・ 出場種目や練習計画 <p>(3) 練習での心構えを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機敏な動作や協力 ・ 運動後の手洗いや汗ふき 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度のVTRを視聴させることで想起させ、学習への興味・関心を高める。 ・ 経験を基に学習計画を立てさせ、より見通しを持ちやすいようにする。 ・ 係の活動等は実際に活動したり絵カードを指示したりし分かりやすく知らせる。 ・ 話し合い活動では、教師は生徒の実態に応じて援助をしたり教具等を工夫したりして表現しやすくするようにする。 ・ 実際に練習の中での活動を通してできるだけ意識化できるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年のVTR ・ 学習計画表 ・ プログラム ・ 絵カード ・ タオル等 	<p>国 3-2 5-4</p> <p>国 5-2, 4, 17, 25</p> <p>道 1-(1) 数 3-7 5-5</p> <p>保健 5-4</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>2 運動会の組分けをする。</p> <p>(1) 紅白の組分け</p> <p>(2) 短距離走やリズムの組分け</p> <p>3 組ごとに準備や練習をする。</p> <p>(1) 係を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応援団や団長 ・ 用具や審判、放送 ・ 種目紹介や開閉会式の係 <p>(2) 用具の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学部種目やダンスの用具 <p>(3) 練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学部練習 ・ 全体練習 <p>開会式 閉会式 全体種目 応援など</p> <p>(4) 会場設営をする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px 0;">運動会に参加する</div> <p>4 用具の後始末をする。</p> <p>5 反省をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 係や上級生としての役割 ・ 楽しかったこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の希望や自主性を大切にして係や種目などを決めるが、男女比や学年などを考慮するように働き掛ける。 ・ 紅白のやや大きな集団での学習であるが、競争意識などを高めるなどで相互の所属意識を高めさせる。 ・ 経験のある2, 3年生にはいろいろな活動のリーダーをさせたり1年生への模範として活動させたりするように配慮する。 ・ 用具の準備等はグループで行わせる。 ・ 小・中学部の世話もするように言葉を掛けたり、一緒に教師が活動したりする。 ・ 最高学年の生徒としてリーダーシップを発揮させ、分担された種目や仕事に積極的に取り組ませる。 ・ 運動の後や練習の後は、手洗いやうがい、汗ふきなどに配慮し健康管理について随時触れるようにする。 ・ 運動会当日は、生徒もそれぞれの健康観察を十分に行うとともに、係や組等の確認やプログラムの確認をすることで見通しを持たせ、意欲を高めるようにする。 ・ 会場設営の準備や後始末等では、学校のリーダーとしての高等部であることを伝え、率先して取り組むように促し、全員が取り組めるようにする。 ・ VTRなどを用いて印象に残ったことなどを中心に他教科との関連を図りながら絵や文でまとめさせる。 ・ 運動会での競技種目に触れたり、身近な運動が想起しやすいように運動に使う道具、スライドやVTRなどを準備したりして、運動への興味・関心を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵カード ・ 組み分け表 ・ 係分担表 ・ 種目に必要な用具 ・ うちわ ・ 笛 ・ 団旗等 ・ 練習のVTR ・ プログラム ・ 種目に必要な用具 ・ うちわ ・ 笛 ・ 団旗等 ・ 後始末に使う道具(清掃用具など) ・ VTR ・ 画用紙や作文用紙 	<p>国 5-6 道 4-(3) 算 1-7 2-1, 2 道 1-(3) 社 5-5 職 4-1 美 3-7, 8 4-1 道 4-(1) 体 3-3, 4 4-16, 29, 30 音 3-9 4-7 社 5-6 職 4-1, 9 国 5-4, 18 美 4-1 社 5-32 保 5-2, 7 道 1-(1) 数 2-13 体 4-28 5-20 国 5-5</p>

高等部 全学年（グループ別）

単元名	職 場 の 生 活 I		月（時数）	9月下旬～11月下旬 （24時間）
単 元 に つ い て	<p>学校卒業後は家庭生活や職業生活において、社会の一員として周りの人々や物とのかかわりを持ちながら生活を送ることが中心となる。将来の社会自立のための生活する力を高める基礎的・基本的な能力や作業態度を養護商会（学校内）での実習を通して身に付けさせていくことは重要な意義がある。</p> <p>ところで生徒たちは、これまでに現場実習、校内実習を通して社会（養護商会を含む）施設等での仕事を経験したり、周りの人々と協力したりする経験をしてきている。しかし、援助や指示による短時間の作業はできても、作業の途中で行動が滞ってしまったり投げ出してしまったりするなど、働くことに関する意識や意欲はあまり見られない。また、日常の生活場面においても身辺処理面に課題があったり、問題行動が見られたりする生徒も多く、会社や施設で働いていくための好ましい対人関係や基本的な生活習慣等においても多くの課題が見られる。</p> <p>そこで、本単元ではこれまでの現場実習や校内実習での評価や反省を基に、課題を明確にし、具体的な体験活動を取り入れて改善させていきたい。そのためにも事前・事後学習において身辺処理面の外、職場に出勤して退社するまでの職場の一日の流れに沿った実際の活動を繰り返し練習する場面設定で指導し、働く力を身に付けさせていきたい。</p> <p>これらの学習を通して、養護商会での仕事をやる意義を分からせるとともに、進んで仕事に取り組む態度を身に付けさせ、将来の家庭生活や職業生活に関心を持たせることができると考える。</p>			
目 標	<p>○ これまで取り組んできた現場実習や校内実習での反省を基に、職場での一日の流れに沿った生活ができるように、働くことに関することを具体的、実際的に体験させ、養護商会での仕事に積極的に取り組もうとする態度を身に付けさせる。</p> <p>○ 養護商会での実習に向けての準備や練習、実際を通して、将来の家庭生活や職業生活について関心を持たせる。</p>			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容	
<p>1 卒業後の生活を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分にできる仕事 ・ 家庭での生活 ・ 授産施設（入所・通所） ・ 福祉作業所での生活 <p>2 現場実習について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習の意義、目標、実習期間、仕事内容 ・ 実習中の注意、約束 <p>3 実習へ向けての準備と練習をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業生がどんな所で生活しているか写真やVTRを基にして話し合わせる。 ・ 3年生には卒業を前にした現実的な話をする。 ・ これまでの実習をVTRなどで確認しながら実習内容について話し合う。 ・ 働くことに関する自分の課題を解決するように目標の話し合いをさせる。 ・ 具体的な場面を設定し、練習させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真 ・ VTR ・ 学習計画表 ・ VTR ・ 実習日誌 	<p>職 4-35 社 4-23, 16</p> <p>生・社 3-1</p> <p>国 3-3 職 4-37, 39 道 4-(1) 国 3-16</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
(1) 班編成をする。 (2) 実習日誌の提出の仕方を練習する。 (3) 作業着の着脱、自分の持ち物の区別や整理の仕方を練習する。 (4) 職場での態度やあいさつの仕方を練習する。 (5) 食事、手洗いや用便など身辺処理に関する練習をする。 (6) 職場での昼休みなどの余暇活用の仕方について練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> 日誌の正しい提出の仕方を練習させる。 養護商会の一日の流れを模擬的に取り扱い、職場での過ごし方について具体的な場面を取り入れながら練習させる。 相手に分かるようなあいさつの仕方を練習させる。 場面を設定して改善しなければいけない所を繰り返し練習させる。 周りの人と話をしたり、レクリエーションをしたり、体を休めたりすることの大切さを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日程表 タイムカード 作業服 作業帽子 運動用具 娯楽用具 	道 2-(1) 職 4-43 音 4-7, 8 6-1
4 実習壮行会について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 実習先、仕事内容、実習目標、発表態度 発表の練習 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px 0;"> 実習壮行会をする 現場実習をする </div>	<ul style="list-style-type: none"> 全体の前で発表したり、動作化させたりすることで自己表現力を高める。 発表方法は、生徒の実態を考慮して進め、仕事をする意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表用紙 作業服 作業帽子 	国 3-8, 17 職 4-38 道 4-(4) 2-(1)
5 現場実習の反省をする。 (1) 報告会の準備をする。 (2) 報告会をする。 (3) 実習の思い出を絵や作文に書く。	<ul style="list-style-type: none"> 現場実習で良かった点、悪かった点を知らせる。 報告会の準備を実態に応じて進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 実習日誌 写真 VTR 	国 3-8 職 4-40
6 校内実習について話し合う。 (1) 校内実習について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> 実習目標、期間、仕事内容、役割分担 班編成、作業場の準備 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px 0;"> 校内実習をする </div>	<ul style="list-style-type: none"> 現場実習で身に付けたことを校内実習に生かし、自分の課題を解決していく努力をさせる。 養護商会での仕事内容を確認し、努力しなければいけないことを発表させる。 注意されたことを模擬的に扱い、改善させるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習計画表 出来高表 社訓 日程表 実習日誌 	国 3-3 職 4-1~11 生・役 3-4
(2) 校内実習の反省をする。 <ul style="list-style-type: none"> 目標と改善点 7 職場の生活についての反省をする。	<ul style="list-style-type: none"> 仕事をする大切さや、卒業後の生活についての関心を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 原稿用紙 画用紙 	国 3-8 5-4 職 5-32

高等部 全学年（グループ別）

単元名	職 場 の 生 活 Ⅱ		月（時数）	9月下旬～11月下旬 （24時間）
単 元 に つ い て	<p>学校卒業後は家庭生活や職業生活において、社会の一員として周りの人々や物とのかかわりを持ちながら、生活を送ることが中心となる。将来の社会自立のための生活する力を高める基礎的・基本的な能力や作業態度を授産施設や作業所での実習を通して身に付けさせていくことは重要な意義がある。</p> <p>ところで生徒たちは、これまでに現場実習、校内実習を通して会社（養護商会を含む）施設等での仕事を経験したり、周りの人々と協力したりする経験をしてきている。しかし、簡単な作業能力や態度は備わっていても働く意義の理解は不十分で、自分の課題を意識し解決していこうとする意欲はあまり見られない。また職場での生活を送りながら余暇を楽しむといった自分の将来の生活についての関心は高まっていない。</p> <p>そこで、本単元では実習に向けた職場での生活を目指して、これまでの現場実習や校内実習での評価や反省を基に、実習についての意義や目的などの心構えを身に付けさせたい。そのためにも仕事内容の外に職場でのあいさつやマナーなどの対人関係に関することや、日誌の提出の仕方、更衣室の利用や整理整頓の仕方、食事の仕方など職場の一日の流れに沿って具体的な内容を、模擬的に扱った上で現場実習を体験させ、そこで指摘されたことを校内実習で改善していく努力をさせる。また、昼休み帰宅後の過ごし方などについて実際のな活動を取り入れ、将来への生活への関心を高めさせていきたい。</p> <p>これらの学習を通して、職場で働く心構えができ、自分の課題解決に向かって取り組んでいこうとする態度や将来の進路についての関心が高まっていくものとする。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの校内実習や現場実習での反省を基に、実習についての意義や目的などの心構えを身に付けさせるとともに、授産施設や福祉作業所等の職場で意欲を持って働こうとする態度を育てる。 ○ 卒業後の生活について調べながら、授産施設や福祉作業所での実習に向けての準備や練習、実際を通して、職場での生活や将来の進路について関心を高めさせる。 			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関 連 内 容	
<p>1 将来の職業について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業生の進路先（事業所・授産施設・福祉作業所等） ・ 家庭での生活 <p>2 現場実習について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習の意義・目的 ・ 実習先、就労時間、実習期間、仕事内容、通勤方法 <p>3 現場実習へ向けての準備と練習をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業生の生活の様子を写真やVTRで気付かせる。 ・ これまでの実習を振り返り、もっと努力しなければならないことを発表し合う。 ・ 3年生には現実的な話をする。 ・ 働く時間や仕事の内容を話し合い、学校生活と違った職場の生活について分らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真 ・ VTR ・ 学習計画表 ・ 実習日誌 	<p>職 4-35 社 4-16, 23</p> <p>生・社 3-1</p> <p>国 4-4 職 4-37, 39</p> <p>国 3-16</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
(1) 班編成をする。 (2) 実習日誌の提出の仕方の練習をする。 ・ 記入の仕方 (3) 作業服の着脱、自分の持ち物の整理の仕方を練習する。 (4) 職場でのマナーやあいさつの仕方を練習する。 ・ 作業をする上での約束 ・ 質問や報告、届け出 ・ 余暇の過ごし方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日誌の参考例を見せながら、記入させたり、提出させたり練習をさせる。 ・ 授産施設や福祉作業所の一日の流れを模擬的に扱い、職場での過ごし方を話し合わせる。 ・ 自分の持ち物を確認したり、整理したりしなければいけないことを分からせる。 ・ 気持ちのいいあいさつの仕方について分からせる。 ・ 交通機関利用の間違いや気分が悪くなったときの処置の仕方を練習させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日程表 ・ タイムカード ・ 作業服 ・ 作業帽子 	生・基 2-38 生・基 3-38 道 2-(1) 国 4-8
4 実習壮行会について話し合う。 ・ 実習先、仕事内容、実習目標 ・ 発表の練習 実習壮行会をする 現場実習をする	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職場の人々の触れ合いの大切さや帰宅後の過ごし方について知らせる。 ・ 発表方法を工夫させ、相手にはっきりと分かるように練習させる。 ・ 現場実習に意欲を持って取り組む動機付けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 模擬電話 ・ 発表用紙 ・ 運動用具 ・ 作業服 ・ 作業帽子 	職 4-43 職 5-24, 38 国 3-8, 17
5 現場実習の反省をする。 (1) 自分たちの実習について反省し合いながら、報告会の準備をする。 (2) 報告会をする。 (3) 実習先にお礼状を書く。 6 校内実習について話し合う。 (1) 校内実習で頑張ることを話し合う。 ・ 意義と目標 ・ 期間、仕事内容 ・ 作業場、材料の準備 校内実習をする	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現場実習での評価や反省を校内実習で解決していくようにさせる。 ・ 日誌、写真、VTR等で職場の様子を話し合う。 ・ 校内実習に向けての抱負を発表させる。 ・ 感謝の気持ちを込めてお礼の手紙を書かせる。 ・ 現場実習先での経験から、努力したり改善したりしなければならないことを発表させる。 ・ 実際の職場の形態に近い雰囲気の中で作業に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巡回記録簿 ・ 実習日誌 ・ 写真 ・ VTR ・ 封筒 ・ 便箋、封筒、切手 ・ 学習計画表 ・ 出来高表 ・ 社訓 ・ 日程表 ・ 実習日誌 	職 4-38 道 4-(4) 国 3-8 職 4-40 道 2-(1) 国 3-18 職 4-34 道 4-(1) 職 4-1~11 職 4-43
(2) 校内実習の反省をする。 7 職場の生活について反省をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業後は、働きながら生活を送ることが中心になることを話し合わせ、将来の進路について関心を高めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原稿用紙 ・ 画用紙 	国 3-8 職 5-32

高等部 全学年（グループ別）

単元名	職 場 の 生 活 Ⅲ		月（時数）	9月下旬～11月下旬 （24時間）
単 元 に つ い て	<p>学校卒業後は家庭生活や職業生活において、社会の一員として周りの人々や物とのかかわりを持ちながら生活を送ることが中心となる。卒業後それぞれ事業所等での職場において働きながら生活を送ることを自覚させ、家庭や職場での豊かな生活を送るための自分の将来の生活への課題を意識し、それに向かって自ら解決していこうとする態度を身に付けておくことは、重要な意義がある。</p> <p>ところで生徒たちは、これまでに現場実習、校内実習を通して働く力を身に付け、卒業後は働きながら生活を送らなければならないという自覚が徐々に高まってきている。しかし、将来の進路のことに見通しを持って考え、生涯を通して職場で働き、収入を得て生活を営んだり、余暇を楽しんだりすることなどといった自分の将来の生活への意識化は十分に備っていない。また自分の働くことに関する課題の解決に向かって積極的に取り組み、改善していこうとする生徒は少ない。</p> <p>そこで、本単元ではまず自分のこれまでの実習評価や反省を基に、職場の一日の流れに沿った実際的な体験活動を積んだ上で現場実習に取り組みせ、その中で指摘された事柄の課題解決に向けて校内実習で取り組みませ改善を図っていく。これらの事前、事後の学習を通して自分の働くことに関する課題を改善していこうしたり、将来の進路選択について積極的に考えていこうしたりする態度や、働く意義を十分に身に付けさせ、実際の職場で働くことへの意欲を更に高めさせたい。また昼休みの過ごし方や、帰宅後の余暇の活用の仕方について工夫させ、働きながら生活する自分の将来の生活への意識化を図りたい。</p> <p>これらの学習を通して、事業所等の職場で働く心構えが高まり、自分の課題解決に向けた仕事に意欲的に取り組む態度や、将来の進路に対する見通しを持つことができると考える。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの校内実習や現場実習での反省を基に、自分の働くことに関する課題を積極的に改善していこうとする態度や、意欲を持って実際に事業所で働いていこうとする心構えを育てる。 ○ 卒業生の様子や将来の職業について調べ、卒業後の生活の意識化を図るとともに、事務所での実習に向けての準備や練習、実際を通して働く意義を理解させ、将来の進路について見通しを持たせる。 			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容	
<p>1 将来の職業について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の夢や希望 ・ 家族、卒業生の職業 ・ 卒業後の生活 <p>2 現場実習の心構えについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習の意義や目的 ・ 実習先、就労先、実習期間、仕事内容 <p>3 現場実習に向けての準備と練習をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業後の進路について考えさせ、これまでの実習を振り返り、改善しなければいけないところを話し合わせる。 ・ 3年生には現実的な話し合いをさせる。 ・ 1・2年生には将来の職業について自由に話し合わせる。 ・ 職場の生活について調べさせる。 ・ 就労時間、仕事内容等を調べさせ、学校生活と違った職場の生活を考えさせる。 ・ 通勤方法について調べさせるとともに余暇等を利用して実際の練習をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業生が働いている写真 ・ VTR ・ 学習計画表 ・ 地図 ・ 実習日誌 	<p>職 5-34 道 4-(1) 社 4-16 生・社 3-1</p> <p>国 5-4 社 5-24, 25 4-23 5-16</p> <p>職 5-33</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>(1) 班編成をする。</p> <p>(2) 実習日誌の扱い方の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日誌の記入, 提出, 受け取り方 <p>(3) 作業服の着脱, 持ち物の整理をする。</p> <p>(4) 職場でのマナーやあいさつの交わり方を練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作業上での届けと報告 ・ 電話連絡の仕方 ・ 体調不良での遅刻, 欠勤をするときの処置の仕方 ・ 昼食, 休憩, 帰宅後の余暇活用の仕方 <p>4 実習社行会について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意義と目標 ・ 実習先, 仕事内容, 実習目標 <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">実習社行会をする</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">現場実習をする</p> <p>5 現場実習の反省をする。</p> <p>(1) 反省と報告会の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日, 会場等の確認 ・ 日誌の整理と発表練習 <p>(2) 報告会をする。</p> <p>(3) 実習先にお礼状を書く。</p> <p>6 校内実習について調べる。</p> <p>(1) 計画について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意義と目標 ・ 期間, 内容, 仕事分担 ・ 作業場, 材料の準備 <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">校内実習をする。</p> <p>(2) 校内実習の反省をする。</p> <p>7 職場の生活について反省をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の実習での反省を基にした日誌の使い方や, 提出の仕方などを通して実習への意欲を持たせる。 ・ 職場での更衣室(時間内での更衣), 休憩室などの正しい利用の仕方(整理整頓)について気付かせる。 ・ 職場の一日の流れを模擬的に取り扱った場に合った対処の仕方について分からせる。(礼儀作法等) ・ 職場では仕事をするだけでなく, 周りの人々と協調すること(触れ合いを通じた余暇の活用)も大切であることを分からせる。 ・ 帰宅後の余暇活用を工夫させる。 ・ 前回の実習の反省を生かした発表内容を用紙に書かせ, 一人一人に決意を述べさせ, 意欲的に取り組ませ, 自己の役割意識を高めさせたり, 自己表現を豊かにさせる。 ・ 現場実習の評価や反省を校内実習で改善していくようにさせる。 ・ 日誌, 写真VTRなどを基にして, 職場で経験したことや反省点などをまとめさせる。 ・ 良かった点を賞賛し, 意欲を持たせる。 ・ 感謝の気持ちを込めてお礼の手紙を書かせる。 ・ 現場実習での課題解決に向けた実際の職場の形態に近い雰囲気, できるだけ生徒たちに自主的に運営させる。 ・ 卒業後は働きながら生活していくことの自覚を高めさせる。 ・ 仕事をしながら生活することの厳しさや楽しさを知らせるとともに, 卒業後の社会生活自立に向けた反省をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業服 ・ 作業帽子 ・ タイムカード ・ 模擬電話 ・ 10円玉 ・ テレホンカード ・ 発表用紙 ・ 作業服 ・ 作業帽子 ・ 巡回記録簿 ・ 実習日誌 ・ 写真 ・ VTR ・ 便箋, 封筒, 切手 ・ 学習計画表 ・ 出来高表 ・ 社訓 ・ 日程表 ・ 実習日誌 ・ VTR ・ 原稿用紙 ・ 画用紙 	<p>生・基 3-28 34</p> <p>職 4-43 道 2-(1)</p> <p>国 5-8, 9 職 5-25, 38 50</p> <p>職 5-4 国 5-18 職 5-36</p> <p>道 2-(1) 道 4-(4)</p> <p>国 3-8 5-4 職 5-32</p> <p>国 4-16 職 5-31, 36 40</p> <p>道 4-(1)</p> <p>生・社 3-21 ~26</p> <p>職 5-50 国 5-4</p>

高等部 全学年

単元名	忘 年 会		月 (時数)	11月下旬～12月下旬 (18時間)
単 元 に つ い て	<p>師走のこの時期には、一年間の締めくくりの行事として職場や施設、家庭などでは忘年会が行われる。作業学習や実習で働くことを学習した生徒たちにとっても、忘年会を催す中で自分たちで主体的に計画運営したり、一年間のお互いの労をねぎらったり、さらに益金の有効利用として正しい金銭感覚を身に付けたりする良い行事の一つである。</p> <p>生徒たちは、学校で様々な行事や会などを通してある程度の計画や運営を経験しており、自主的な意欲や態度が見られつつある。しかし、作業学習など働くことに対する目標や目的がまだはっきりしておらず、働くことによって得られる満足感や益金などのことも十分には理解していない。</p> <p>そこで、本単元においては、学年差を考慮した等質のグループ編成をし、経験のある者が進んで教えたり援助したりしながら、生徒同士が協力して忘年会に向けて主体性を持って計画、準備、運営が出来るようにし積極性、責任感を養っていく。また、グループごとのレクリエーションなどは自己表現の場として活かせるように創意、工夫をさせ練習、準備にも時間を十分取りたい。さらに、今年一年間の反省をし、作業学習などの益金を一人一人に与え、これを自分で計画を立て、予算の範囲内で忘年会の会費やプレゼントなどの買い物をする事で正しい金銭の取り扱い方が分かり、今後の消費生活にも興味を持つこともでき働くことへの意欲も高まると考える。</p> <p>これらの学習を通して、より積極的に社会生活に参加しようとする態度を養うことができ、卒業後の経済生活への関心もより高まっていくものと考え。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 忘年会を計画、準備、運営する活動を通して意欲的に活動に取り組もうとする態度を育て、金銭の計画的な扱いに慣れさせるとともに一年間の反省と来年の抱負を抱かせる。(1年) ○ 忘年会の計画、準備、運営する活動を通して経験を活かして自主的、計画的に取り組む態度を育て、正しい金銭の取り扱い方ができるようにし、将来の社会生活に希望を持たせる。(2, 3年) 			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容	
<p>1 忘年会の学習について話し合う。</p> <p>(1) 昨年の忘年会を思い出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 場所 ・ プレゼント ・ 出し物 ・ VTR <p>(2) 今年の忘年会の計画を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容、期日、日程 ・ グループ編成 ・ 準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時期的な特徴に気付かせる。 ・ 今年一年間の反省、作業学習の慰労や来年への意欲を持たせるために忘年会を催すことを知らせる。 ・ 1年生は、VTRによって昨年の忘年会の様子を知り、2, 3年生は昨年の経験を基に話し合いを順調に進めさせる。 ・ 昨年や今までの経験、体験を全員に思い出させ意欲的に発表させる。 ・ できるだけ生徒同士で自主的に話し合いをさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広告紙 (チラシ) ・ 地図 ・ VTR ・ 日程表 ・ グループ編成表 	<p>国 5-1, 4</p> <p>道 1-(1)</p> <p>国 5-6</p> <p>社 5-5, 6</p> <p>生・決 3-4</p> <p>道 1-(3)</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>2 各グループに分かれて計画、話し合いをする。</p> <p>○ 忘年会の計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 係 ・ 場所 ・ 出し物 ・ プレゼント ・ お金(品目) ・ 交通手段(バス、電車) <p>3 準備、練習をする。</p> <p>(1) 各係に必要な物を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物 <p>(2) 出し物の練習をする。(レクリエーション、反省、抱負)</p> <p>(3) 用具の準備をする。</p> <p>4 忘年会に出掛ける。</p> <p>(1) 交通機関を利用する。</p> <p>(2) 買い物をする。</p> <p>(3) 忘年会をする。</p> <p>5 忘年会の反省をする。</p> <p>(1) グループ別での反省をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 街や買い物の様子 ・ 各係の仕事 <p>(2) 全体で反省をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ VTR 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ活動で行い2, 3年生は1年生をリードすることを自覚させる。 ・ 班長, 副班長を中心としてできるだけ生徒同士で話し合わせる。 ・ ボーナス支給の範囲で買い物に注意させ, 無駄の無いように計画的に立てさせる。 ・ 市内地図, バスの路線図を使用して自主的に調べさせる。 ・ バスや電車の正しい乗り方や車内でのマナーを学習させる。 ・ 買い物のときに必要な支払い方法や応答の仕方を練習させ, 実際に買い物に行く。 ・ よく話し合わせ, 練習にも十分時間をとる。 ・ 用具の準備, 製作はできるだけ生徒自身で創意工夫させる。 ・ ルールやマナーを守り, 周りに迷惑を掛けないように注意させる。 ・ 各係の役割を生かし, 円滑に運営させる。 ・ 忘年会に参加し, 一年間の反省や思い出, 来年への抱負を話し合わせる。 ・ VTRを見て, 忘年会の内容やお互いの出し物, 係の仕事, 参加する態度についてどうであったかを話し合わせる。 ・ 一人一人予算内の範囲できちんとできたか全員の前で発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ編成表 ・ 市内地図 ・ バス路線図 ・ 模造貨幣 ・ VTR ・ レシート 	<p>生・役 5-2</p> <p>道 4-(1), (4)</p> <p>生・交 3-1</p> <p>道 1-(3)</p> <p>生・金 3-1</p> <p>生・公 3-2</p> <p>数 5-10</p> <p>道 2-(3)</p> <p>音 6-4</p> <p>道 1-(1)</p> <p>生・公 3-2</p> <p>生・金 3-1, 2</p> <p>数 5-10</p> <p>道 1-(1)</p> <p>社 5-16, 19</p> <p>生・金 3-3</p> <p>数 5-5</p> <p>道 4-(4)</p> <p>2-(1)</p> <p>音 5-5, 6</p> <p>国 4-1</p> <p>道 1-(5)</p>

単元名	公共施設の利用		月(時数)	1月(180時間)
単 元 に つ い て	<p>生徒たちは、これまで様々な公共施設とかかわりを持ちながら生活してきており、身近な公共施設の利用や、初歩的な社会の仕組み、地域社会や芸術・文化への興味・関心なども持ちつつある。また、卒業後それぞれ何らかの形で働くことになる生徒たちにとって、身近な公共施設の利用の経験を広げ、深めさせていくことは、彼等の生活域を拡大させ、職場以外のより広い社会に積極的にかかわっていく力へと結び付くものと考えられる。</p> <p>ところで、生徒たちは、様々な公共施設を家族と一緒に利用した経験はあるものの、自分から進んで利用しようとすることは少ない。このことは施設の種類や目的、目的に応じた施設選択、利用方法を十分に理解していなかったり、具体的な交通機関の利用の仕方、金銭の取り扱い等について理解できていないことによるものと考えられる。</p> <p>そこで本単元では、生徒たちの公共施設に対する興味・関心や経験等を考慮して班編成し、目的に応じて利用する施設を決め、利用の手順や交通機関などを調べたり、実際に利用したりする活動を設定し生徒たちの公共施設への興味・関心を広げ、積極的に利用していこうとする態度を育てるとともに、交通機関や利用のマナーについての理解を図るようにしていく。また、金融機関を利用することにより、金銭の計画的な取り扱いについての意識も高めていく。さらには、班ごとに目的を共有し合いながら活動を進めていくことで、積極的に集団に参加する態度も身に付けさせていく。</p> <p>これらの学習を通して、いろいろな公共施設を進んで利用できるようになり、現在及び卒業後の生活において、より広く社会にかかわれるようになるものと期待できる。</p>			
	目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 役所や劇場、金融機関などのいろいろな公共施設の利用の仕方を調べたり、これらの施設を見学・利用したりすることで、公共施設利用への興味・関心を高める。(1年) ○ 目的に応じて役所や劇場、金融機関などのいろいろな公共施設の利用の計画を立て、見学・利用することで、積極的に利用しようとする態度を育てる。(2, 3年) 		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関 連 内 容	
<p>1 いろいろな公共施設について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 官公庁 ・ 遊戯・娯楽施設 ・ 金融機関 ・ 体育・スポーツ施設 ・ 文化・福祉施設 <p>2 公共施設の利用の計画について調べる。</p> <p>(1) 期日や主な活動について調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家や学校の周りの公共施設に気付かせたり、これまでの経験を基にしたりして話し合わせる。 ・ いろいろな公共施設のVTRを見せたり、公共施設を分類して働きと関連付けさせたりして利用したい施設を意識付ける。 ・ 昨年度の活動の様子をVTRで振り返らせ、見通しを持たせる。 ・ 当日の活動は学年を解いた班で行うことを知らせ、経験のある2, 3年生が1年生をリードすることを意識付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内地図 ・ パンフレット ・ VTR ・ VTR ・ 日程表 	<ul style="list-style-type: none"> 国 5-4 社 4-3 国 5-7 社 4-14, 19 社 4-20 社 5-8 国 5-3 	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>(2) 班編成をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 班名 ・ 班長, 副班長 <p>3 班ごとに利用の計画を立てる。</p> <p>(1) 学習計画を立てる。</p> <p>(2) 利用の準備や練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 準備をする <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用する施設の決定 ・ 場所調べ ・ 利用交通機関 ・ 道順調べ ・ 必要なお金調べ ○ 練習をする <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用の仕方 ・ お金の取り扱い <p>4 公共施設を利用する。</p> <p>5 公共施設の利用の反省をする。</p> <p>(1) 班ごとに反省する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マナーや利用の仕方 ・ 利用の感想 <p>(2) 全体で反省する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班編成では, 生徒の利用の目的を尊重するとともに, 経験差やリーダー性も考慮して編成する。 ・ 班長, 副班長としての役割を説明し, リーダーとしての意識を高める。 ・ できるだけ生徒が主体となって計画が立てられるように, 班長, 副班長を中心に話し合わせる。 ・ 市内地図や路線図, 時刻表などを用い, これらの活用の仕方を理解させる。 ・ 学習したことや調べたことをしおりにまとめさせ, 利用するために必要なことを意識付ける。 ・ 必要なお金については金融機関を利用して引き出すことを知らせ, 金銭の計画的な使い方や金融機関の利用についても考えさせる。 ・ 練習場面では実際に近い場面を設定し, 相互に演じさせることで利用の仕方やマナーを具体的に理解させる。 ・ 公共施設の利用の際は, 人とのやり取り, お金の取り扱いなど, できるだけ生徒自身で行わせ活動の成就感を味わわせる。 ・ 役割演技などの具体的な活動によって楽しかったことや進んできたことなどを思い出させ, 発表させることで, 今後も積極的にいろいろな公共施設を利用しようとする意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班編成表 ・ 名前カード ・ 班カード ・ しおり ・ 市内地図 ・ 路線図 ・ 時刻表 ・ お金 ・ 払い戻し票 ・ 通帳 ・ 友愛パス ・ 財布 ・ しおり ・ VTR ・ パンフレット 	<ul style="list-style-type: none"> 道 4-(1) 社 5-6 社 5-5 道 1-(3) 数 5-6 国 5-13 社 5-25 4-29 家 5-48 ~50 社 5-6, 8, 10 国 5-14 数 5-2, 10 道 4-(2) 数 5-3 社 5-1, 2, 8 14~16 18~20 職 5-24 道 2-(1), (3) 国 5-4, 18

高等部 全学年

単元名	地 域 と の 交 流		月 (時数)	2月 (18時間)
単 元 に つ い て	<p>3年生は卒業，1，2年生は次の学年に進級を間近に控えたこの時期に，身近な地域社会に目を向けさせ様々な交流活動の経験を拡大し，お互いの理解を深めることによって，地域社会の一員であることを認識するとともに，地域社会に積極的にかかわる態度を育成することは，生徒たちにとって大変意義深いことである。</p> <p>生徒たちはお互いのかかわり合いも徐々に増え，学校の一員として自覚も高まりつつある。しかし，日ごろから生活の大半を学校と家庭で過ごすことが多く，学校の仲間や家族以外の交流ではほとんど受け身的立場に立つ場合が多い。また，地域の行事に積極的に参加したり，地域の人々と自らかかわることは少なく，相手の立場に立って考え，行動したりする態度もあまり見受けられない。</p> <p>そこで本単元では，施設の訪問活動を通して地域の人々との触れ合いを深め，心を込めた手作りのプレゼントを贈るなど，相手をいたわる心や譲り合う心を育て，さらに，交流会の練習や準備，自分たちで計画，分担することで責任感や協調性，自主性を養うことができる。また，様々な年齢の人々との交流活動を通してかかわり合う体験を広げ，好ましい接し方やマナーを養うこともでき交流した人々を学習発表会に招待することで，自信を持って表現活動に取り組む態度や学校の中の一員としての自身を理解してもらうこともできると考える。</p> <p>このような活動を通して，奉仕的な経験を拡大し，地域社会へのより積極的なかかわりを促すことができ，生活をより豊かにし，さらに社会生活へも広く目を向けることができる。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設訪問の奉仕作業，交流会，学習発表会で地域の人々と触れ合う体験を広げ，様々な人とかかわり合う喜びを味わわせる。(1年) ○ 施設訪問の奉仕作業，交流会，学習発表会などの計画を立て，地域の様々な人々と触れ合う経験を広めるとともに積極的に人とかかわり合おうとする態度やマナーを育てる。(2，3年) 			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容	
<p>1 今までの交流会を思い出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年のVTRを見る。 ・ 昨年の写真を見る。 ・ 昨年のプレゼントを見せ合う。 <p>2 交流会について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設訪問 ・ 学習発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでのVTRを視聴させ交流会の内容を理解させる。(1年) ・ これまでのVTRや写真，交換しあったプレゼントなどを基に交流会の様子を思い出させる。(2・3年) ・ VTRや写真，パンフレットなどを基に交流先の様子を調べさせお互いの気持ちや態度を話し合い，交流への見通しを持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年のプレゼント ・ VTR ・ 写真 ・ パンフレット 	<ul style="list-style-type: none"> 国 4-1 5-4 道 2-(2) 4-(4) 社 5-5, 9, 26 道 2-(1) 4-(1), (4), (6) 	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>3 交流会の計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設訪問 ・ 学習発表会 <p>(1) 期日や日程を調べる。 (2) 交流内容を話し合う。 (3) 班編成をする。</p> <p>4 交流会の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設訪問 ・ 学習発表会 <p>(1) 作業やプレゼント製作，発表練習の計画を立てる。 (2) 製作や練習をする。 (3) 案内状を書く。 (4) 学習発表会のオリエンテーションで係を決めたり日程を確認したりする。 (5) 道具の準備をする。</p> <p>5 交流会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設訪問 <p>(1) 奉仕活動をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 美化作業 (2) レクリエーションをする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>学習発表会に参加する</p> </div> <p>6 交流会の反省をする</p> <p>(1) 反省会をする。 (2) VTRを見る。 (3) 手紙を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2, 3年生をリーダーに立て，昨年の活動を基に，当日までの日程や計画を考えさせる。 ・ 期日や日程などはあらかじめプリントしておき計画を立てやすくしておく。 ・ 生徒たちの話し合いを基に製作や準備の班編成をさせ，他領域，教科との関連を図りながら製作と練習を行わせる。 ・ これまでの交流内容を基に自主的に計画を立てさせる。 ・ 役割分担をしたり，共同作業をしたりしながら，一人一人の能力に応じた活動をさせる。 ・ 当日の日程に合わせて実際の活動内容や方法を練習させる。 ・ 集団の中での役割を意識させながら活動に参加させる。(1年) ・ 望ましい言動や態度で主体的に活動できるようにマナーについても指導する。(2, 3年) ・ 今まで交流した人に招待状を出し，発表会に訪れた人々を案内する。 ・ 望ましい態度で参加できたかどうか反省させ，地域社会の一員として進んで活動することの大切さについて話し合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ プリント ・ 計画表 ・ プレゼントの材料 ・ 劇や合奏合唱の道具類 ・ プレゼント ・ 作業用具 ・ 便箋 ・ 封筒など 	<p>国 4-15</p> <p>国 5-6</p> <p>数 5-5 道 1-(3)</p> <p>社 4-5 職 5-11 道 4-(1), (4) 音 5-6</p> <p>美 3-8 道 1-(3) 国 5-5, 8</p> <p>道 2-(1), (2), (3) 4-(4)</p> <p>社 5-1</p> <p>国 4-4, 19 5-23</p> <p>道 2-(2), (3) 社 5-4 道 4-(1), (9)</p>

高等部 1 学年

単元名	もうすぐ進級 I		月 (時数)	3月上旬～3月中旬 (12時間)
単 元 に つ い て	<p>進級を間近にしたこの時期に、これまでの一年間の学校生活を振り返り、思い出や反省を発表させながら自己の成長を振り返らせ、卒業していく3年生や2年生との友情を深め仲間意識を育てることは、生徒の成長にとって価値のあることである。さらに、新入生を迎えることを念頭に置きながら、上級生になる期待を抱かせ、自覚や抱負を持たせることも大切である。</p> <p>生徒たちは、一年間の高等部における多くの経験の中で、上級生を見習いながら少しずつ活発に活動できるようになった。しかし、リーダーシップをとって積極的にかかわっていかうとする様子は少なく、積極的にかかわっていても一方的であるなど、自分の役割を意識して、協力して活動しようとする姿はまだ少ない。また、自分や友達の成長を確かめ合おうとする態度も十分ではない。</p> <p>そこで、一年間の学習の様子をVTRやアルバムで確認させ頑張ったことや楽しかったことなど発表させたり、思い出文集に書かせたりすることで自己の成長を振り返らせる。また、2年生と協力して思い出文集を作り3年生に贈ったり、お別れ会を運営したり、卒業式に参加したりすることを通して、3年生との友情を深め仲間意識を育てるとともに温かく送る気持ちを持たせていく。さらに、4月には新入生を迎えて自分たちが2年生になるという自覚を促していく。</p> <p>このような学習を通して、学級内での活動はもとより学部全体での活動の中でかかわりを広げていくことができ、文集作りやお別れ会を通して上級生と協力することや3年生に思いやりを持って接することができるようになると思う。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一年間の反省を通して自分自身や友達の成長に気付かせ、進級する喜びや希望について話し合わせることで、新年度への期待感を持たせる。 ○ 思い出文集作りやお別れ会で2年生と協力する態度を育てながら、3年生との交流を深め、卒業を祝うことができるようにする。 			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関 連 内 容	
<p>1 一年間の反省をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行事の反省 ・ 目標の反省 ・ アルバム、作品の整理 <p>2 文集作りをする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 内容を決める。 (2) 形式を決める。 (3) 原稿を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間の行事をVTRや写真などで振り返り、頑張ったことや楽しかったことなど、思い出深いことを発表させる。 ・ 身長や体重などの身体的な成長についてもグラフなどで確かめさせる。 ・ 2年生と協力して、内容や形式を決めさせ、3年生への原稿依頼をさせる。 ・ アルバムなどを見ながら、内容を決めさせ、国語科との関連を図りながら作文等の指導をしていく。 ・ 進級に当たっての考えや、卒業生に対する感謝の気持ちなども含めて書かせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 写真 ・ 目標カード ・ 成長記録カード ・ 思い出文集 ・ 原稿用紙 ・ 製本テープ 	<p>道 1-(2), (5)</p> <p>国 4-15, 16 18</p> <p>国 5-18, 24</p> <p>道 4-(1)</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>(4) 原稿を集める。</p> <p>(5) 編集・製本をする。</p> <p>3 お別れ会をする。</p> <p>(1) 日時、場所、内容について話し合う。</p> <p>(2) 準備や練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 係分担 ・ レクリエーション ・ プレゼント準備 <p>(3) お別れ会をする。</p> <p>4 卒業式の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全体練習 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px 0;">卒業式に参加する</div> <p>5 新年度の準備をする。</p> <p>(1) 教室の整理をする。</p> <p>(2) 新年度の抱負を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上級生の役割 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 編集や製本など自主的に取り組ませるようにするが、2年生と協力して活動させる。 ・ 準備から後片づけまで活動させる中で仲間意識を高め、自分たちが高等部の中心として活動していかなければならないことに気付かせる。 ・ 2年生と協力して係を分担させる。 ・ 卒業生が気持ち良く楽しい時間を過ごせるように準備していこうという気持ちを持てるように促していく。 ・ レクリエーションの練習やプレゼントの準備を自分たちで協力してさせることで仲間意識を高める。 ・ 礼の仕方や椅子の掛け方などを中心に練習させる。 ・ 卒業式の持つ厳粛な雰囲気を感じさせるようにする。 ・ 一年間使った教室を感謝の気持ちを込めて丁寧に掃除させる。 ・ 次年度は新入生を迎え、先輩として下級生をリードしていかなければならないことに気付かせ抱負を考えさせる。 ・ 教室を移動して授業するなどして進級するという意識を持たせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホッチキス ・ アルバム ・ プレゼントの材料 ・ レクリエーションの道具 ・ プレゼント ・ 掃除用具 	<p>道 2-(2)</p> <p>国 5-5</p> <p>生・交 3-4</p> <p>生・役 3-2 ～4</p> <p>道 2-(1), (2), (3)</p> <p>音 5-8</p> <p>生・決 3-4</p> <p>道 2-(1), (2)</p> <p>4-(1)</p> <p>生・手 3-5</p> <p>道 4-(1), (3), (4), (6)</p>

高等部 2 学年

単元名	もうすぐ進級Ⅱ		月(時数)	3月上旬～3月中旬 (12時間)
単 元 に つ い て	<p>進級を間近にしたこの時期に、自己の成長を確かめ、進級する喜びを味わわせるとともに、最後の一年間を学校全体のリーダーとして行動するためにはどのようにしたらよいかを考えさせることは、生徒の成長にとって価値のあることである。また3年生に対して感謝の気持ちを持たせ、卒業を喜び合うことも大切である。</p> <p>生徒たちの姿を見ると、これまでの学習の中で、友達や上級生の助けを借りながらリーダーとして役割を果たす場面が増えてきている。しかし、それらは限られた場であり、上級生としてまだ十分に自己を表現したり、役割を意識してかかわったりすることは少ない。また、自分や友達の成長を確かめ合おうとする態度は十分とは言えない。</p> <p>そこで、今までの作品の整理をし、作文や絵にまとめ、思い出文集を作らせることで自分や友達の成長を確かめさせる。さらに、思い出文集を1年生と協力して作ったり、それを3年生に送ったり、お別れ会を企画・運営したりすることで、1年生や3年生との友情を深め仲間意識や感謝の気持ちを育てる。また、卒業式に参加したり新年度の準備をしたりすることを通して、次年度の自分自身の生活や、卒業後の生活にも目を向けさせていく。</p> <p>このような学習を通して、友情とのかかわりを更に広げていくことができ、文集作りやお別れ会を通して下級生をリードしながら、卒業していく先輩に感謝の気持ちを持ち、最上級生になる心構えを持つことができるようになる。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一年間の反省や思い出文集作りを通して自分自身や友達の成長を確かめさせ、進級する喜びを味わわせ、最上級生として活動をしようとする意欲を育てる。 ○ 1年生と協力して思い出文集を作ったり、お別れ会を企画・運営したりすることで、3年生との交流を深め、卒業を祝うことができるようにする。 			
主 な 学 習 活 動	留 意 点	準 備	関 連 内 容	
<p>1 一年間の反省をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行事の反省 ・ 目標の反省 ・ アルバム、作品の整理 <p>2 文集作りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 内容を決める。 (2) 形式を決める。 (3) 原稿を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間の行事をVTRや写真などで振り返り、頑張ったことや楽しかったことなど、思い出深いことを発表させる。 ・ 身長や体重などの身体的な成長についてもグラフなどによって確かめさせる。 ・ 1年生と協力しながら、前年度の思い出文集を基に内容や形式を決めさせ、原稿依頼をさせる(3年生、先生、保護者など) ・ 進級に当たっての決意や卒業生との思い出、感謝の気持ちなどを含めて書かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 写真 ・ 目標カード ・ 成長記録カード ・ 思い出文集 ・ 作文用紙 	<p>道 1-(2) 1-(5)</p> <p>国 4-15, 16 18</p> <p>国 5-18, 24</p> <p>道 4-(1)</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>(4) 原稿を集める。</p> <p>(5) 編集・製本する。</p> <p>3 お別れ会をする。</p> <p>(1) 日時、場所、内容について話し合う。</p> <p>(2) 準備や練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 係分担 ・ レクリエーション ・ プレゼント準備 <p>(3) お別れ会をする。</p> <p>4 卒業式の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全体練習 ・ 送る言葉 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px 0;">卒業式に参加する。</div> <p>5 新年度の準備をする。</p> <p>(1) 教室の整理をする。</p> <p>(2) 新年度の抱負を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最上級生の役割 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アルバムなどを見ながら、楽しかったことや頑張ったことなどを思い出させ、国語科との関連を図りながら作文等の指導をしていく。 ・ 編集や製本など1, 2年で協力させ、仲間意識や、リーダー性を高めていく。 ・ 準備から後片付けまで責任を持って活動させることで、これから最上級生として活動していかなければならないことに気付かせる。 ・ 1年生にも係分担させ協力させる。 ・ 卒業生にとって気持ちよく、楽しい時間が過ごせるようにするためには、どのような準備をすればよいか考えさせ、敬愛の気持ちを育てる。 ・ レクリエーションやプレゼントなど話し合いを通して練習、準備の計画を立てさせ自主的、積極的な態度を育てるとともに協力する態度も高めていく。 ・ 礼の仕方や椅子の掛け方、送る言葉、卒業式の歌などの練習を、国語科や音楽科との関連を図りながら練習させる。 ・ 卒業式の持つ厳粛な雰囲気を感じさせる。 ・ 卒業生に感謝する気持ちを持たせるとともに進級に対する心構えを持たせる。 ・ 一年間使った教室を感謝の気持ちを込めて丁寧に掃除させる。 ・ 次年度は、最上級生として学校全体をリードしていかなければならないことに気付かせ、抱負を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アルバム ・ ホチキス ・ 製本用具 ・ プレゼン トの材料 ・ レクリエ ーション の道具 ・ カセット ・ プレゼン ト ・ 掃除用具 	<p>道 2-(2)</p> <p>国 5-5</p> <p>生・交 3-4</p> <p>生・役 3-2</p> <p>~4</p> <p>道 2-(1),</p> <p>(2), (3)</p> <p>音 5-8</p> <p>生・決 3-4</p> <p>道 2-(1),</p> <p>(2)</p> <p>4-(1)</p> <p>生・手 3-5</p> <p>道 4-(1),</p> <p>(3),</p> <p>(4), (6)</p>

高等部 3 学年

単元名	もうすぐ卒業		月 (時数)	3月上旬～3月中旬 (12時間)
単 元 に つ い て	<p>卒業を目前にした生徒にとって、事業所や作業所、施設など自分や友達の進路を押さえ、学校生活を終え新しい世界に旅立っていくのだという自覚を持たせることは大切である。また、今までの学校生活について振り返らせ、新しい生活について考えさせていかなければならない時期でもある。</p> <p>生徒たちは今まで、在校生としては一年間の反省をし次年度への抱負を持つなどの学習を続けてきている。しかし、卒業を控えたこの時期は、新しい世界への期待や不安で落ち着かず、周りへ感謝の気持ちを持っていない。また、社会人としての言葉遣いや身なりの整え方、問題に対処するための手立てなど、まだ身に付けているとは言えない。</p> <p>そこで、アルバムや作品の整理を通して思い出文集の原稿としてまとめさせることで自分自身や友達の成長を確かめさせ、今まで自分にかかわってくれた人に感謝の気持ちを持たせる。また、職場での言葉遣いや身だしなみ、休日の過ごし方など、卒業後の生活について考えさせることで社会人としての自覚を持たせる。さらに、同窓会や青年学級、同期会などについて知らせることで、既に卒業した先輩たちについて知り、卒業後の結び付きを知らせる。基本的には学級集団での学習を中心にするが、お別れ会や卒業式などを通して下級生や小学部、中学部の児童・生徒ともかかわり合える場を設定することで、大きな集団での活動も大切にし、自分が育った学校という意識を持たせ、愛校心を育てていく。</p> <p>このような学習を通して、学校生活のまとめをし、感謝の気持ちを持って卒業することができるようになり、社会人として新たに出発していこうとする自覚を持たせることができると思う。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの学校生活を振り返りアルバムや作品の整理をしたり、思い出文集を作ったり、卒業式に参加したりすることで、自己の成長を確かめさせ、感謝の気持ちを持って友達や保護者に接する態度を育てる。 ○ 卒業を喜び、社会人としての自覚を持って生活していこうとする態度を育てる。 			
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容	
<p>1 三年間の反省をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行事の反省 ・ 目標の反省 ・ アルバム、作品の整理 <p>2 文集を作る。</p> <p>(1) 内容を決める。</p> <p>(2) 原稿を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTRや今までのアルバムなどで高等部の生活を振り返り、頑張ったことや楽しかったことなど思い出を発表させる。 ・ 身体的な成長についてもグラフなどでたしかめさせる。 ・ アルバムの整理では、仕上げを一部残しておき自分の手で説明文などをはらせるようにする。 ・ 思い出文集の内容や形式などを先輩から聞き、思い出文集に書き込ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ アルバム ・ 目標カード ・ 成長記録カード ・ 思い出文集 ・ アルバム 	<p>道 1-(2), (5) 2-(1), (2)</p> <p>国 1-15, 16 18</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>(3) 製本する。</p> <p>3 卒業後について話し合う。</p> <p>(1) 卒業後の生活について話し合う。</p> <p>○ 心構えについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 進路 ・ 心構え ・ 言葉遣い ・ 身だしなみ など <p>○ 生活について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 余暇の利用 ・ 結婚 ・ グループホーム など <p>(2) 卒業後の結び付きを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同窓会 ・ 青年学級 ・ 同期会 <p>4 卒業の準備をする。</p> <p>(1) お別れ会に参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ レクリエーション ・ プレゼント準備 ・ お礼の言葉 <p>(2) 教室の整理をする。</p> <p>(3) 卒業式の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 心構え ・ 別れの言葉 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; width: fit-content; margin-top: 10px;">卒業式に参加する</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ アルバムを参考に書く内容を選ばせる。 ・ 卒業に当たっての考えも書かせるようにする。 ・ 一人一人発表させ、卒業後の進路に自覚や夢を持たせる。 ・ 職場の上司や友達など実際の場面を想定しながら考えさせる。 ・ 交通ルールやエチケットなども含めて周りの人に、不愉快な思いをさせないようにするためにはどうしたらよいか考えさせる。 ・ これからの生活にはどのようなものがあるか、先輩の例を取り上げながら、考えさせていく。 ・ グループホーム、寮、一人での生活などいろいろな道があることを知らせ、将来の生活への希望をふくらませる。 ・ 既に卒業した先輩たちについて知らせ卒業後の休日の過ごし方や同窓会などの組織について知らせることで、卒業後の結び付きを強め、愛校心を育てる。 ・ レクリエーションやプレゼントなどを準備し、感謝の気持ちを伝える。 ・ 礼の仕方や椅子の掛け方、別れの言葉卒業式の歌などの練習を、国語科や音楽科との関連を図りながら練習させる。 ・ 卒業式の練習や、教室の整理を通して今までにお世話になった人たちや教室、学校に感謝の気持ちを持たせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製本道具 ・ 進路カード ・ ネクタイ ・ スーツ ・ 化粧品 ・ 同窓会のVTR ・ 青年学級のVTR ・ 掃除用具 ・ プレゼント 	<p>国 5-18, 24</p> <p>道 2-(2)</p> <p>保健 5-1, 5</p> <p>生・交 3-4</p> <p>生・基 3-27</p> <p>28, 35</p> <p>道 4-(1)</p> <p>～(4)</p> <p>社 5-7</p> <p>職家 5-50,</p> <p>51</p> <p>国 5-5</p> <p>道 2-(1)</p> <p>～(4)</p> <p>生・交 3-4</p> <p>生・役 3-2,</p> <p>3, 4</p> <p>音 5-8, 9,</p> <p>10</p> <p>道 2-(1),</p> <p>(2)</p> <p>道 4-(1)</p> <p>国 5-6</p> <p>職家 5-3,</p> <p>36</p> <p>道 4-(3)</p> <p>～(7)</p>

